市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	観光プラザ整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光都市としての国内･国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぶす那覇」に観光案内所を整備する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	238,420	－	55,561		
	(b)予算現額	238,420	－	55,561		
	(c)増減額(b-a)	0	－	0		
	(d)繰越額	－	236,454	0		
	A．計(b+d)	238,420	236,454	55,561		
B．執行済額		1,966	180,135	48,885		
うち交付金充当額		1,572	144,108	39,107		
次年度繰越額		236,454	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.8%	76.2%	88.0%		

予算の状況の説明：観光プラザ改修工事の予算額49,000千円に対し、落札額44,037千円だったことが主な原因で執行率88%となっているが、予定どおりに整備することができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
新たな観光案内所(観光プラザ)の開設に向けた改修工事の実施	目　標	観光案内所設置のため、区分所有建物を確保	改修工事実施		
	実　績	確保済み	実施完成		
	目　標				
	実　績				

達成状況説明：「てんぶす那覇」1階の一部の所有権を取得し、今年度改修工事を経て、新たな観光案内所(観光プラザ)を開設(H26.4.1)。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
新たな観光案内所(観光プラザ)開設	目　標		区分所有建物を確保	新たな観光プラザ開設		
	実　績		予定どおり確保	予定どおりオープン(H26.4.1)		
	目　標					
	実　績					

進捗状況説明：「てんぶす那覇」1階の一部の所有権を取得し、今年度改修工事を経て、新たな観光案内所(観光プラザ)を開設(H26.4.1)。

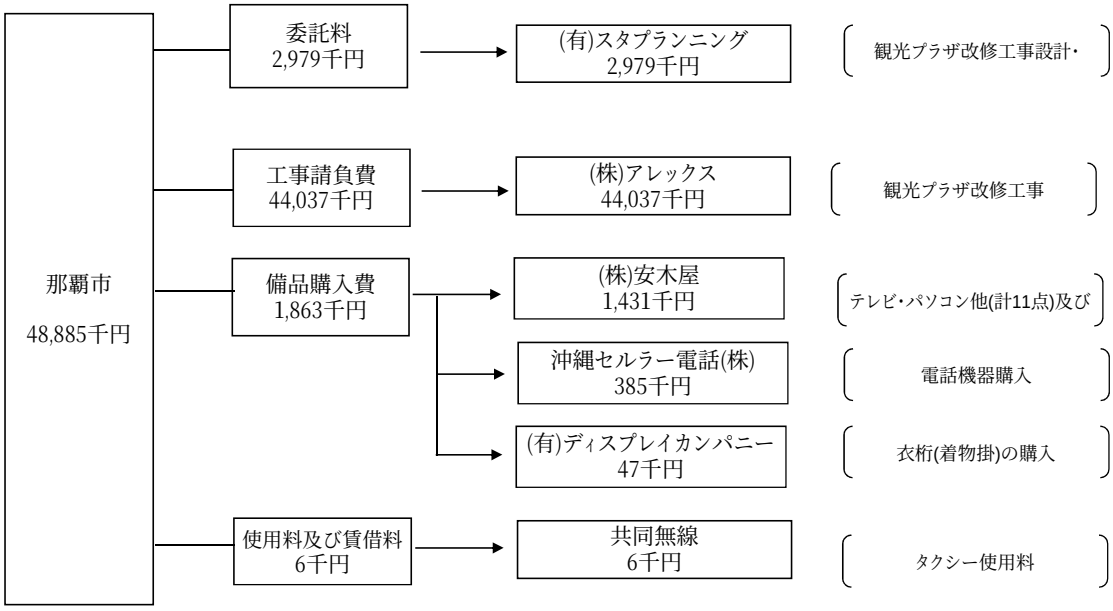
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	全国的な建築需要の高まりを受け、工事の遅れが懸念されたが、工期内に完了できた。	建設関連の人材不足は今後も続くと想定されるため、適切な積算及び工期の確保が重要となる。

今後の取り組み方針

当該事業は終了する。
観光都市として、国内･国外観光客を受入できる観光案内所となる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
48,885	48,885	39,107	9,778	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者、工事請負事業者、備品購入事業者は、指名競争入札又は見積書比較による最低価格業者で決定しており、妥当であったと考えている。 費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場と屋内運動場及び関連する周辺施設整備等の機能強化を行う。
外野ファールゾーンの人工芝設置に伴い、接する天然芝の部分が目土により5cmから10cm盛り上がっているため、段差をなくするため天然芝を張り替える委託業務である。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0		2,494		
	(b)予算現額	101,275		2,494		
	(c)増減額(b-a)	101,275	0	0		
	(d)繰越額	－	20,368	－		
	A. 計(b+d)	101,275	20,368	2,494		
B. 執行済額		80,907	19,893	2,415		
うち交付金充当額		64,725	15,914	1,932		
次年度繰越額		20,368	0	0		
執行率（%）(B/A)		79.9%	97.7%	96.8%		

予算の状況の説明：不要額が79千円発生しているが、業務委託料の契約残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
外野ファールゾーン部分等(800㎡)の天然芝張替及び段差の復旧工事	目　標	(　)	(　整備の実施　)	(　)	(　)
	実　績		整備実施済み		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：天然芝部分と人工芝部分の段差をなくすることにより、奥武山野球場を利用する際の安全が確保され、イベント対応機能の強化が図られた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
外野ファールゾーン部分等(800㎡)の天然芝張替及び段差の復旧工事	目　標	(　)	(　)	(　整備の実施　)	(　)	(　)
	実　績			整備実施済み		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：天然芝部分と人工芝部分の段差をなくすることにより、奥武山野球場を利用する際の安全が確保され、イベント対応機能の強化が図られた。

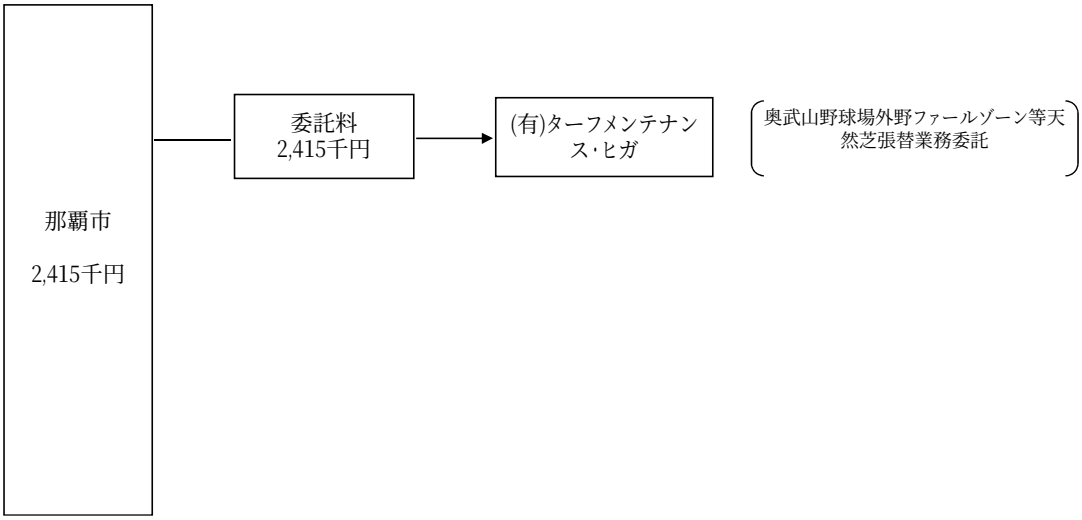
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	奥武山野球場の人工芝の整備に伴い、利用者の観点から閉場期間の短縮を図る必要がある。	奥武山野球場の入場者数を確保するためにも、工期の短縮、時期の選定を調整したい。

今後の取り組み方針

今後は、各部局で構成される那覇市営奥武山体育施設活性化検討委員会において情報収集し、奥武山野球場と屋内運動場への各種イベントの誘致について努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,415	2,415	1,932	483	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	那覇市伝統工芸ブランド確立事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ウ
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度		文化コンテンツ産業の振興
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

那覇市の伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,142	31,911			
	(b)予算現額	30,142	31,911			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	30,142	31,911			
B．執行済額		30,098	31,868			
うち交付金充当額		24,078	25,494			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%	99.9%			

予算の状況の説明：コンセプトの確立及び改築業務の委託費用として㈱丹青社と31,868千円で随意契約し、ほぼ事業計画どおり執行した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市の伝統工芸品のブランドコンセプトの確立	目　標	(-)	(コンセプトの確立)	( )	( )
	実　績	-	コンセプト設定		
販売場の改築	目　標	(-)	(販売場の改築)	( )	( )
	実　績	-	H26.3.月改築完了		

達成状況説明：伝統工芸館のブランドコンセプトの確立し、そのコンセプトに基づく、販売場の改築を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
販売場の改築	目　標	( )	(-)	(販売場の改築)	( )	( )
	実　績		-	H26.3月.改築完了		
･市の伝統工芸品における理念のもと、デザイン･販売戦略等の方向性を確立	目　標	( )	(-)	(方向性の確立)	( )	( )
	実　績		-	方向性設定		

進捗状況説明：伝統工芸品のブランドコンセプトの確立では、特別展示室と一体化した伝統工芸館サイン表示の統一をし、伝産マークをメインにした内装意匠を行い、ブランド力を向上を図った。そのコンセプトに基づき、販売場を改築し,目標を達成した。

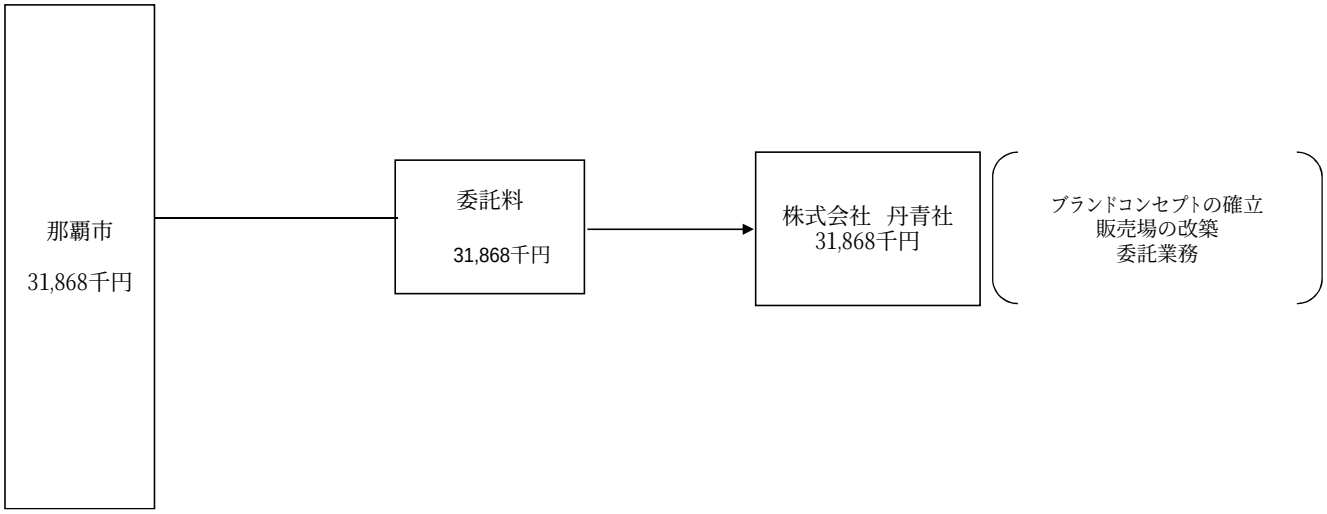
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	伝統的工芸品を中心に販売するというコンセプトのもと、販売場を改築することにより、ハード面の整備はほぼ完了し,高品質な伝統的工芸品であるというコンセプトも確立できつつあるが、情報発信の不足や伝統工芸品の良さを伝えきれていない等のソフト面の課題が浮上した。	イベント等を行うことにより、さらなる観光客の誘致や地元のリピーターの増加を図ると同時に。訪れた来館者に対し、丁寧に工芸品の良さを伝えることで知名度向上が図れないか検討する。伝統工芸館が入居するてんぶす館に、大型ビジョンが設置され、1階に観光案内所もできたことから、それらの施設と連携した情報発信を検討する。

今後の取り組み方針

イベント等を開催し、それを軸としたＰＲを展開することにより、伝統工芸館及び伝統工芸品の知名度向上を図る。
同じ建物内の他施設（ぶんかテンブス館、観光案内所、大型ビジョン等）と連携して、情報発信していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,868	31,868	25,494	6,374	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑥	プラネタリウム番組開発等事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ウ
					文化コンテンツ産業の振興
担当部課名	生涯学習部　中央公民館	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	18,110			
	(b)予算現額	31,398	20,909			
	(c)増減額(b-a)	31,398	2,799			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	31,398	20,909			
B．執行済額		30,642	19,581			
うち交付金充当額		24,512	15,664			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		97.6%	93.6%			
予算の状況の説明		プラネタリウム広報用の横断幕、印刷物の作成及び天体望遠鏡を追加購入したので、当初予算と予算現額に差が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・プラネタリウムオリジナル番組開発 ・プラネタリウム番組広報活動	目　標	（番組4本製作、1本借用）	番組4本制作、（パンフレット等作成）	（　）	（　）
	実　績	番組4本制作、1本借用	番組4本制作、パンフレット等作成		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	昨年度制作した番組を投影しつつ、今年度も番組を4本作成した。どの番組も沖縄を強く意識した内容で、観光客だけでなく市民にも好評だった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
プラネタリウム年間観覧者数:24,000人	目　標	（22,000人）	（23,000人）	（24,000人）	（　）	（28,000人）
	実　績		24,000人	20,000人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	観覧者数が前年度比4,000人減少した。24年度は、全国的に有名なプラネタリウム番組を借りて投影。同番組は、美しい映像と文学を組み合わせた番組で認知度が高く、一般的に受け入られたと思う。今回製作したオリジナル番組は、学習を目的に沖縄らしさを取り込んだ番組となっているため、その趣旨をうまく広報できなかったことが観覧者数減になったものと思われる。

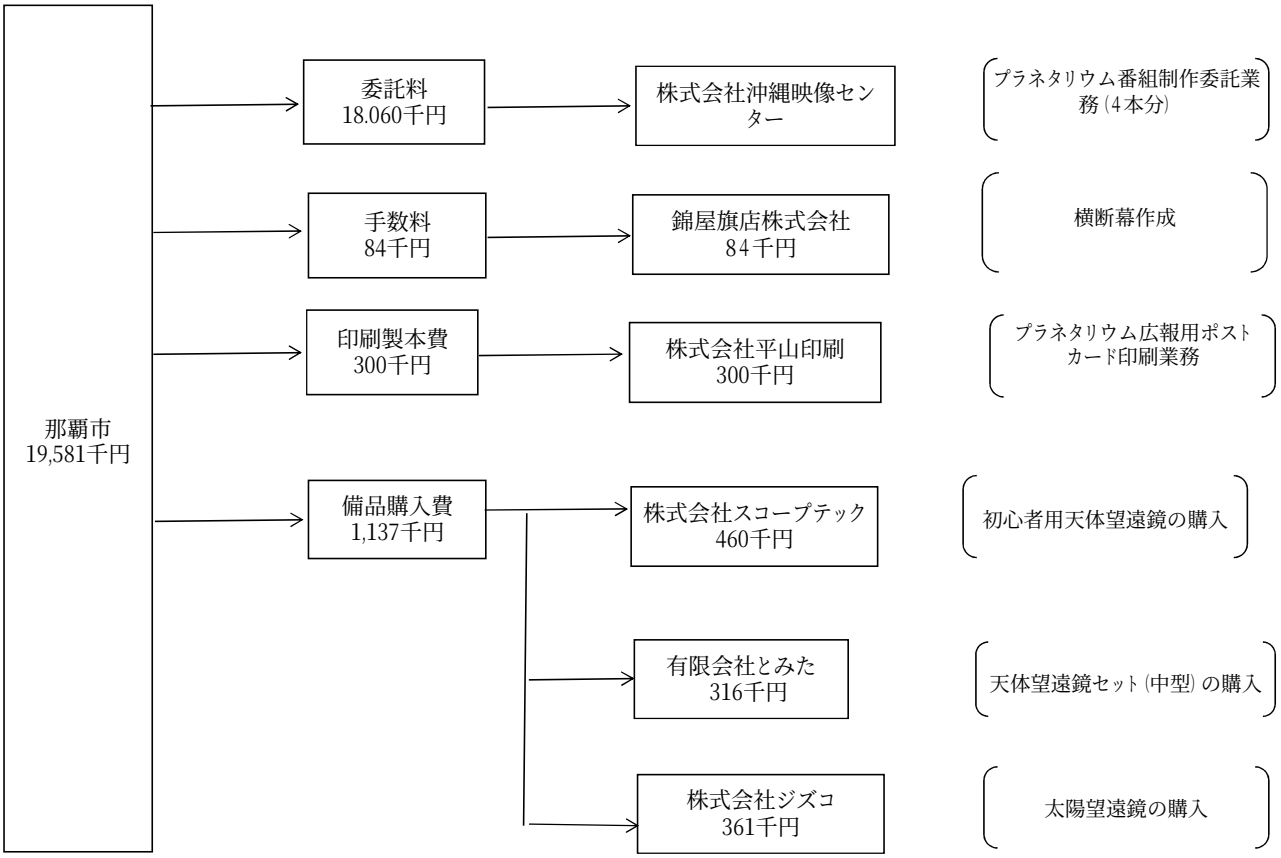
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	プラネタリウム及び新番組の認知度が低いために前年度に比べ観客数が減少したと考えられる。プラネタリウムそのものの認知度を上げることと、新番組を投影していることの認知度を上げるための対策が必要。	番組自主制作システムを使い、生解説時の半自動運転や音楽イベントでの効果的な演出が可能になった。今後も効果的な演出や天文ニュース等、自作コンテンツを増やしていきたい。

今後の取り組み方針

継続して番組を委託制作するとともに、マスコミの活用やパンフレット配布等で広報活動をおこなう。さらに天体望遠鏡を活用し星空観望会を開催して星空に親しむ機会を増やし、潜在的な需要を掘り起こすことで集客に繋げる。また、番組自主制作システムを活用し、幼児や高齢者等年代に応じたコンテンツを制作して投影内容を充実させることで観覧客の満足度を上げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,581	19,581	15,664	3,917	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	番組制作の委託先選定は公募型プロポーザル方式でおこなった。これは、事業者の企画力により番組の内容が大きく左右されることを考えると妥当な選定方法といえる。 選定委員は内部の社会教育関係職員及び学校教育部の教職経験者と外部の教育関係者で構成して公正を期した。 予算額は見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模となっている。 費目、使途は必要最小限のものに限定し支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑦	クルーズ客船ターミナル等における伝統工芸PR事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

本市の伝統工芸品の品質･伝統･個性等を、来沖する外国人観光客にPRし認知度を高め、販路拡大を目的に、那覇クルーズターミナルの工芸品展示スペースに本市の伝統工芸品を展示する。
具体的には、展示するための那覇市の伝統工芸品（首里織･壺屋焼･琉球ガラス･琉球漆器･琉球びんがた）製作及びディスプレイのためのショーケース類の製作。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況 (a)当初予算額	25,000				
予算の状況 (b)予算現額	25,000				
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0				
予算の状況 (d)繰越額	－				
予算の状況 A. 計(b+d)	25,000				
B. 執行済額	21,707				
うち交付金充当額	17,365				
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	86.8%				

予算の状況の説明

那覇クルーズターミナル伝統工芸スペースへの展示方法等について、那覇港管理組合との調整に時間がかかり、工芸品製作の着手が遅れたため、製作できる工芸品数が減少したため。しかし、展示するには十分な品目･量は確保した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
展示する伝統工芸品の製作	目　標	（展示する伝統工芸品の製作）	（　）	（　）	（　）
	実　績	製作完了			
伝統工芸品のディスプレイ	目　標	（伝統工芸品のディスプレイ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	ディスプレイ済			

達成状況説明

展示工芸品（琉球漆器･琉球びんがた･琉球ガラス･壺屋焼･首里織）の委託製作した。
ショーケース等の委託製作をした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
展示する伝統工芸品の製作：5品目	目　標	（　）	（工芸品5品目の製作）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5品目48個 ショーケース4個			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

展示工芸品5品目（琉球漆器･琉球びんがた･琉球ガラス･壺屋焼･首里織）を那覇市伝統工芸館共同企業体に委託し製作完了。
ショーケース類を（有）スタプランニング他へ委託し、製作完了。
那覇クルーズターミナルの工芸品展示スペース及び観光案内所に、上記を設置展示し、目標を達成した。

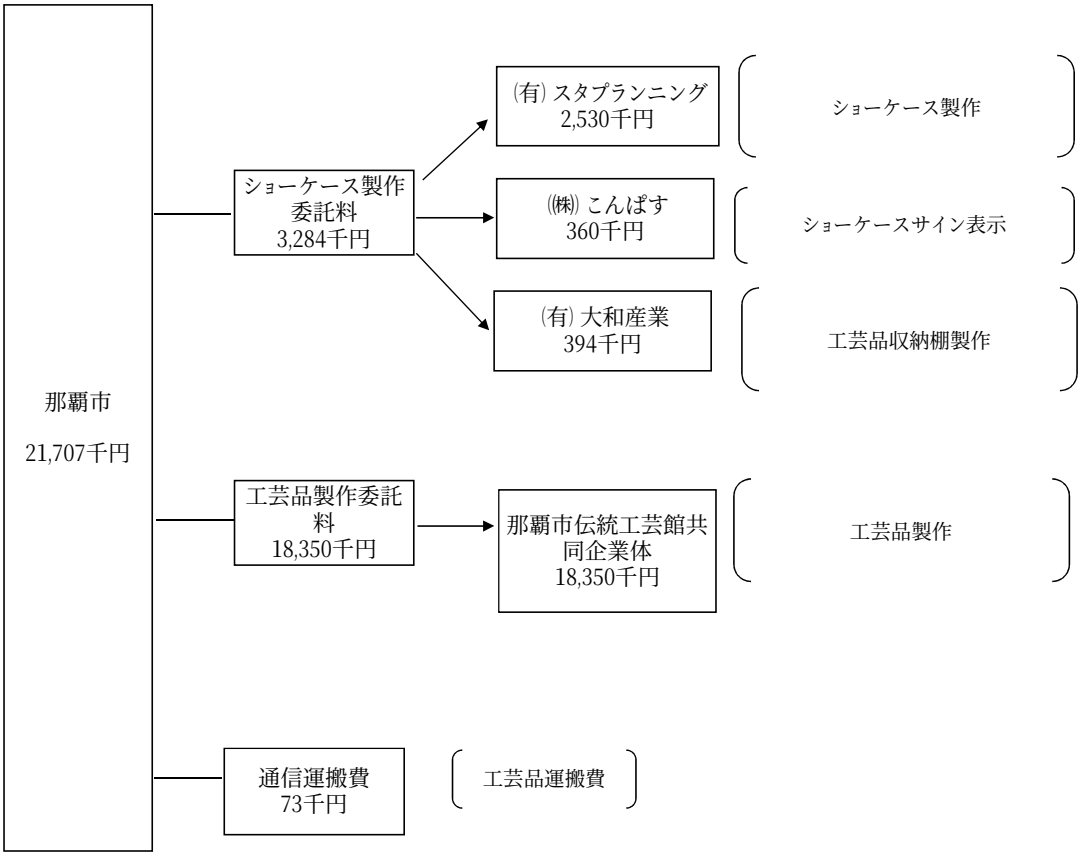
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇クルーズターミナル伝統工芸スペースへの展示方法等について、那覇港管理組合との調整に時間がかかり、工芸品製作の着手が遅れて製作数が減少したが、展示するには十分な品目・量は確保した。	特になし。

今後の取り組み方針

事業終了
展示を継続することにより、那覇の工芸品及び伝統工芸館のＰＲに努め、販路拡大につなげていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,707	21,707	17,365	4,342	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工芸品製作委託事業者は随意契約だが、この事業者以外製作できる事業者がいないため、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧	展示資料「那覇の屏風」複製制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	本市観光施設･歴史博物館に展示資料として、「那覇の屏風」の複製を製作し、県内外からの誘客を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,857				
	(b)予算現額	6,857				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	6,857				
B. 執行済額		6,258				
うち交付金充当額		5,006				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		91.3%				
予算の状況の説明		「那覇の屏風」複製品は、平成26年2月に完成したが、年度内での展示はできなかった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
「那覇の屏風」複製作製	目　標	（　完成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完成			
「那覇の屏風」複製展示	目　標	（　展示　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	展示なし			
達成状況説明	「那覇の屏風」複製品は、平成26年2月に完成したが、年度内での展示はできなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
「那覇の屏風」複製作製 「那覇の屏風」複製展示	目　標	（　）	（　完成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	「那覇の屏風」複製品は、平成26年2月に完成。					

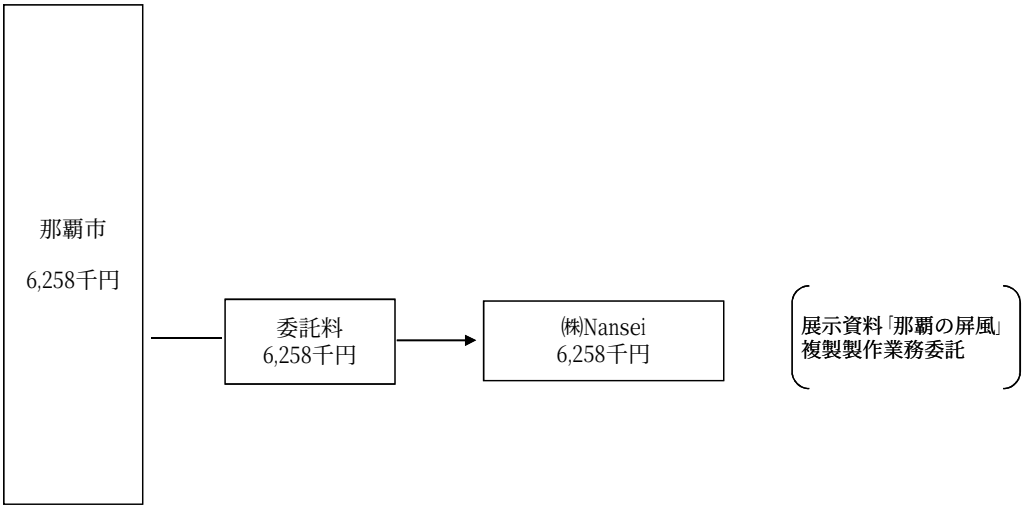
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	作製した「那覇の屏風」については平成25年度中に展示することになっていたが、博物館の展示計画の調整が困難だったため展示することができなかった。そのため、平成26年5月20日の那覇市制施行記念日に沖縄振興特別推進交付金事業を活用し新しく作製した資料を大々的に公開することとした。	今後は、展示計画の策定を早急に進めるとともに、より多くの来場者に展示物を見てもらえるように、那覇市制施行記念日や「なはの日」、10・10空襲記念日などの節目に特別に展示する計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

那覇の歴史・文化・美しさをよりわかりやすく身近に感じてもらうために、展示方法を工夫し屏風の解説を記したパンフレットや解説板を設置する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,258	6,258	5,006	1,252	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、一般競争入札により業者選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑨	「昭和のなは」復元模型製作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	本市観光施設･歴史博物館に展示資料として、王国時代から都市として発展してきた戦前の那覇の街並みを再現した縮小模型を作製し、県内外からの誘客を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	16,950				
	(b)予算現額	16,950				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	16,950				
B. 執行済額		12,075				
うち交付金充当額		9,660				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		71.2%				
予算の状況の説明		復元模型作製は、平成26年3月に完成したが、年度内での展示はできなかった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
復元模型作製	目　標	（　完成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完成			
復元模型展示	目　標	（　展示　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	展示なし			
達成状況説明	復元模型作製は、平成26年3月に完成したが、年度内での展示はできなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
復元模型作製 復元模型展示	目　標	（　）	（　完成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	復元模型作製は、平成26年3月に完成。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	作製した「昭和のなは」復元模型については平成25年度中に展示することになっていたが、博物館の展示計画の調整が困難だったため展示することができなかった。そのため、平成26年5月20日の那覇市制施行記念日に沖縄振興特別推進交付金事業を活用し新しく作製した資料を大々的に公開することとした。	今後は、展示計画の策定を早急に進めるとともに、より多くの来場者に展示物を見てもらえるように、那覇市制施行記念日や「なはの日」、10・10空襲記念日などの節目に特別に展示する計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

10・10空襲や沖縄戦等により、那覇市は赤瓦の屋根に象徴される街並など戦前の情緒ある姿をすべて失った、戦前のかつての姿を想起させる媒体として、作製した復元模型をパンフレットや解説板を利用しわかりやすく展示する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,075	12,075	9,660	2,415	

那覇市
12,075千円
→ 委託料 12,075千円 → ㈱トータルメディア開発研究所沖縄営業事務所
（「昭和のなは」復元模型製作業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、一般競争入札により業者選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑩	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための費用及び観光案内所の施設賃借料を補助する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,119				
	(b)予算現額	20,119				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	20,119				
B．執行済額		20,119				
うち交付金充当額		16,095				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				
予算の状況の説明		那覇市観光協会へ3回に分けて補助金を交付した。補助金は、外国語対応スタッフの配置費用及び観光案内所施設賃借料に執行されている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
英語、中国語、韓国語での観光案内	目　標	（　実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇市観光協会は、国際通り近くのビルを借りて観光案内所を運営しており、平成25年度には４５，７３９人が来所し、内外国人は7，４６９で、英語、中国語及び韓国語による案内を行った。
観光案内所を運営する那覇市観光協会へ、外国語対応スタッフを配置するための費用及び観光案内所の施設賃借料を補助した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
外国人観光客の案内所(1箇所)の利用人数	目　標	（3,703人）	（3,800人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		7,472人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年度の外国人利用人数は7,469人で目標を大きく上回った。利用者の国･地域別の内訳は、台湾1,369人、香港1,172人、中国本土922人、韓国630人、ヨーロッパ地域1,926人などである。
那覇市観光案内所は、JNTOの認定する外国人案内所でカテゴリー2に認定されており、JNTO外国人向けサイトで「ビジットジャパン案内所」として紹介されている。25年度は、円安の影響、那覇空港からの海外航空路線の拡充などの要因により、観光案内所利用者が増加したが、今後も個人旅行者が増えることで、観光案内所の利用者は増えると考えられる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光案内所が狭隘で、案内の順番待ちのための椅子や、休憩して観光情報を見るスペースが無い。	案内待ちのための椅子や休憩スペースを提供する。

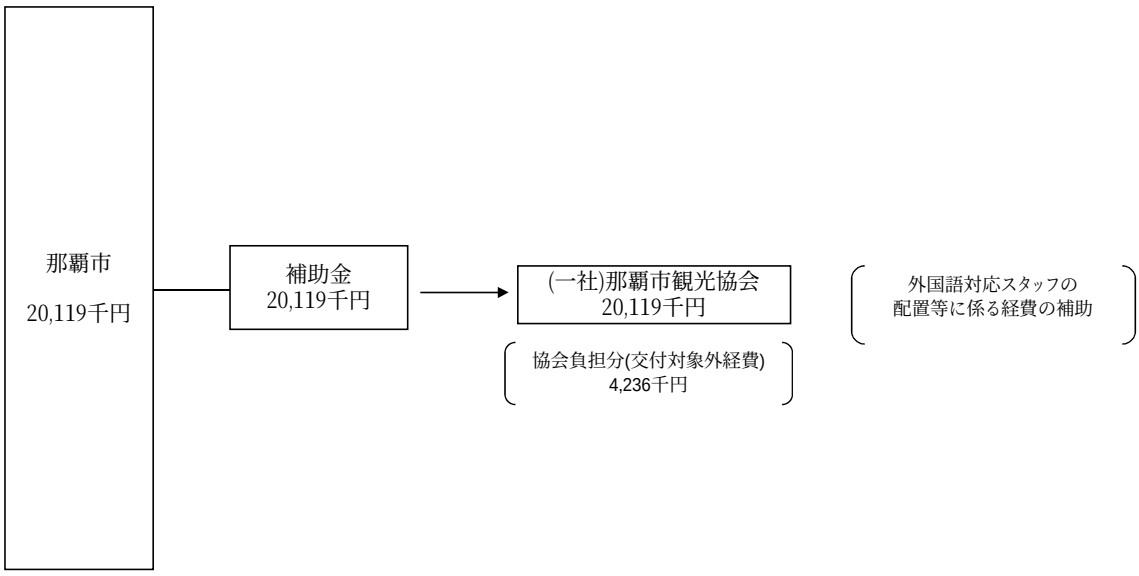
今後の取り組み方針

外国語対応スタッフ賃金等、施設管理費、光熱水費等に係る支援の実施を継続する。

休憩スペース等を設けるなど、より利用しやすい案内所とするための取り組みを行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,355	20,119	16,095	4,024	4,236



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は本市と連携して観光行政を推進している。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑪	那覇市旧跡･歴史的地名標示事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、その場所場所に説明表示板を設置し、その旧跡･歴史地名標示の内容を盛込んだガイドブックを作製する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額			7,501		
	(b)予算現額	27,468		7,501		
	(c)増減額(b-a)	27,468	0	0		
	(d)繰越額	－	23,680			
	A. 計(b+d)	27,468	23,680	7,501		
B. 執行済額		3,628	23,415	6,772		
うち交付金充当額		2,902	18,732	5,417		
次年度繰越額		23,680	0	0		
執行率（%）(B/A)		13.2%	98.9%	90.3%		
予算の状況の説明		標示候補地及び標示説明文の検討、標示板設置箇所に係る関係者との調整･場所の確定に不測の日数を要したため設置事業についたは、繰越となってしまったが、ガイドブックの作製については平成26年3月に完了し企画展を開催した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ガイドブックの作製	目　標	(　)	(　作製　)	(　)	(　)
	実　績		作製		
標示板企画展の開催	目　標	(　)	(　企画展開催　)	(　)	(　)
	実　績		企画展開催		

達成状況説明：ガイドブックを作製し、戦争や再開発で失われてしまったかつての那覇の風景を示す史跡･旧跡を写真パネルで紹介するとともに、関連する拓本等の資料を紹介する企画展を開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
ガイドブックの作製 標示板企画展の開催	目　標	(　)	(　)	(　作製 企画展開催　)	(　)	(　)
	実　績			作製 企画展開催		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：平成26年3月に旧跡･歴史的地名標示板設置し、ガイドブックを作製した。平成26年3月15日より企画展を開催した。

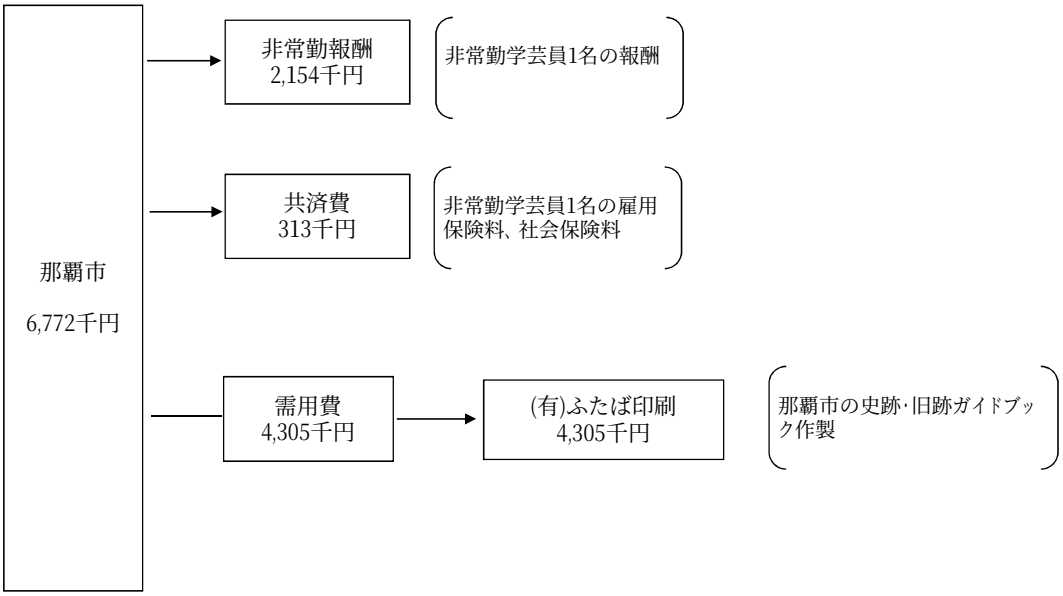
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	設置した旧跡・歴史的地名標示板の活用。	設置した標示板もとに歴史巡見ルート設定等、場所場所にあった散策プラン等を提供し地域学習・地域振興に加え、観光ガイドのポイントとして関係機関と連携し活用していくよう検討する。

今後の取り組み方針

琉球王国時代から昭和戦前期にかけて存在した王府役所跡、戦跡等の説明標示板を歴史巡見ルート設定等、場所場所にあった散策プラン等を提供し地域学習・地域振興に加え、観光ガイドのポイントとし活用する。歴史博物館の企画展と連動した巡見等を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,772	6,772	5,417	1,355	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷製本費の業者選定は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑱	市花木等普及推進事業（公共空間への植樹）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（６）－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビレアにより、公共空間の緑化に取り組む。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	-	20,000		
	(b)予算現額	19,889	-	9,000		
	(c)増減額(b-a)	▲ 111	-	▲ 11,000		
	(d)繰越額	―	18,104	0		
	A．計(b+d)	19,889	18,104	9,000		
B．執行済額		1,785	18,104	9,000		
うち交付金充当額		1,428	14,483	7,200		
次年度繰越額		18,104	0	0		
執行率（%）（B/A）		9.0%	100.0%	100.0%		

予算の状況の説明：施工場所の管理者等の調整により、施工面積の制限があったため、減額が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の公共空間への植栽：120㎡	目　標	(　120㎡　)	(　120㎡　)	(　　)	(　　)
	実　績	76.1㎡	66.3㎡		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：講習会を9回開催し、参加者へブーゲンビレアの苗等の配布を行い、緑化の推進を図った。
しかし、当初見込んでいた参加人数より実績が下回ったことにより目標値に達しなかったため、今後は参加者が講習会へ参加しやすくなるよう事業の執行を工夫し、より一層緑化の推進に努めていく。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の公共空間への植栽：120㎡	目　標	(　-　)	(　120㎡　)	(　120㎡　)	(　　)	(　　)
	実　績		76.1㎡	66.3㎡		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：講習会を9回開催し、参加者へブーゲンビレアの苗等の配布を行ったことにより、緑化の推進を図ることができた。
しかし、当初見込んでいた参加人数より実績が下回ったことにより目標値に達しなかったため、今後は参加者が講習会へ参加しやすくなるよう事業の執行を工夫し、より一層緑化の推進を図っていく。

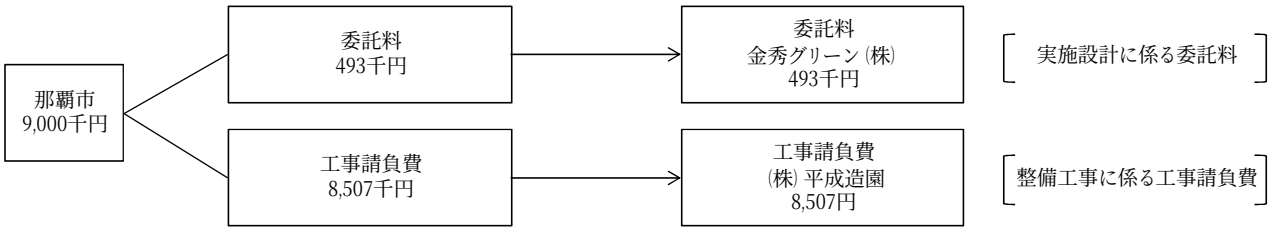
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	植栽場所によっては、管理者との調整等が生じるなど時間を要する場合がある。	事業執行に遅れが生じないよう、植栽場所の管理者との連携を密に図っていく。

今後の取り組み方針

施工場所の管理者等との事前調整を行うなど対策を行い、市花木の普及に資するよう、今後も計画的な事業執行に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,000	9,000	7,200	1,800	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は、一般競争にて選定しており、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、事業目的に即し真に必要なものであるかなど、契約一件書類等において確認を行い、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑲	ベランダ緑化推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、ベランダ緑化推進事業としてブーゲンビレアの苗等の配布を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,500	1,500			
	(b)予算現額	600	610			
	(c)増減額(b-a)	▲ 900	▲ 890			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	600	610			
B. 執行済額		600	610			
うち交付金充当額		480	488			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		本事業はベランダ緑化の講習会を実施し、参加者にブーゲンビレアの苗等を配布しているが、当初見込んでいた参加人数より実績が下回ったため、予算の減額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布:300鉢	目　標	(　300鉢　)	(　300鉢　)	(　　)	(　　)
	実　績	240鉢	122鉢		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：講習会を9回開催し、参加者へブーゲンビレアの苗等の配布を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布:300鉢	目　標	(　-　)	(　300鉢　)	(　300鉢　)	(　　)	(　　)
	実　績		240鉢	122鉢		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：講習会を9回開催し、参加者へブーゲンビレアの苗等の配布を行ったことにより、緑化の推進を図ることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市民に対し、講習会開催の情報発信を職員によるポスティングを主として行っていたため、周知の徹底が不十分であったと思われ、そのために講習会参加人数が見込みより少なかったため、目標値に達していない。	市民への本事業に関する情報発信の方法等を改善するなど、事業の啓発活動を積極的に行うことで、講習会の参加者を集める。

今後の取り組み方針

参加者が講習会へ参加しやすくなるよう事業の執行を工夫し、ベランダ緑化の一層の推進を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
610	610	488	122	0

那覇市 610千円 → 苗の購入 610千円 → 需用費 （有）繁樹園・（株）平成造園 610千円 ［ブーゲンビレア苗等の購入］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については、事業目的に即し真に必要なものであるかなど、支出関係書類等において確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑳	花いっぱい運動推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗の配布を実施する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,900	3,500			
	(b)予算現額	3,774	4,390			
	(c)増減額(b-a)	874	890			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	3,774	4,390			
B．執行済額		3,774	4,390			
うち交付金充当額		3,019	3,512			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		草花苗以外の堆肥やランの配布要望が多数あったため、予算の増額を行い対応した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢	目　標	(26,000鉢)	(26,000鉢)	( )	( )
	実　績	33,504鉢	23,299鉢		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：草花苗以外の堆肥やランの配布要望が多数あったため、目標値である鉢数には達しなかったが、市域の花いっぱい運動を推進することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢	目　標	(-)	(26,000鉢)	(26,000鉢)	( )	( )
	実　績		33,504鉢	23,299鉢		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：草花苗以外の堆肥やランの配布要望が多数あったため、目標値である鉢数には達しなかったが、市域の花いっぱい運動を推進することができた。

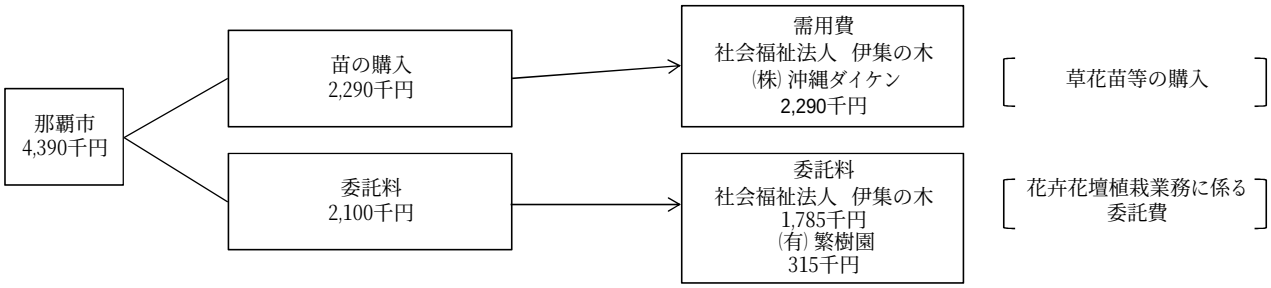
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は、草花苗以外の堆肥やランの配布要望が多数あったため、目標値である草花苗の配布が少なくなった。	目標値である草花苗の配布が少なくなったが、苗と堆肥をセットで配布できたことで苗の生育も良くなり、市域の花いっぱい運動の推進を一層図ることができた。

今後の取り組み方針

他の施策とも連携し、緑化に対する啓発活動に努めながら、本市の景観･美観の創出･継承のため、市域の花いっぱい運動を推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,390	4,390	3,512	878	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者である伊集の木とは、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基づく随意契約にて契約を行っており、選定方法において妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-21	緑の診断･生育事業（公共空間）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（６）－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入れ替え等を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	2,000			
	(b)予算現額	5,000	5,000			
	(c)増減額(b-a)	0	3,000			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	5,000	5,000			
B．執行済額		4,830	5,000			
うち交付金充当額		3,864	4,000			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		96.6%	100.0%			

予算の状況の説明：本事業は、樹木の状態を診断する「診断業務」を行い、診断に基づいた適正な手当てを施し、樹木を健全な状態へ回復させる「生育業務」まで行うものであります。
今年度は診断結果を受けて、早急な手当てが必要な樹木が当初計画より増えたため、予算を増額して対応した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
樹木の診断本数：120本	目　標	（緑の診断･生育マニュアルの策定）	（樹木の診断 120本）	（　）	（　）
	実　績	緑の診断･生育マニュアルの策定	樹木の診断 82本		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：本事業は、樹木の状態を診断する「診断業務」を行い、診断に基づいた適正な手当てを施し、樹木を健全な状態へ回復させる「生育業務」まで行うものであります。
今年度は診断結果を受けて、早急な手当てが必要な樹木が当初計画より増えたため、目標値である診断本数に達しなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
樹木の診断本数：120本	目　標	（ - ）	（緑の診断･生育マニュアルの策定）	（樹木の診断 120本）	（　）	（　）
	実　績		緑の診断･生育マニュアルの策定	樹木の診断 82本		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本事業は、樹木の状態を診断する「診断業務」を行い、診断に基づいた適正な手当てを施し、樹木を健全な状態へ回復させる「生育業務」まで行うものであります。
今年度は診断結果を受けて、早急な手当てが必要な樹木が当初計画より増えたため、目標値である診断本数に達しなかった。

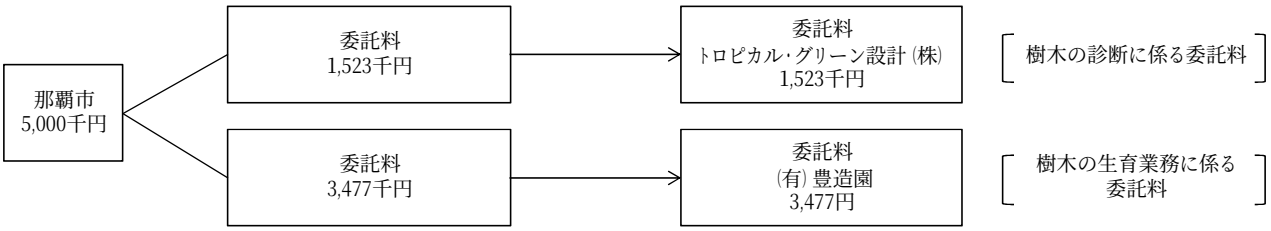
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	植栽後の管理状況が悪く、状態の悪い樹木が多数あることが判明した。	「緑の診断・生育マニュアル」に基づいた診断・手当て等を行うことで、管理状況の改善を図ることができる。

今後の取り組み方針

今後も「緑の診断・生育マニュアル」に基づき、診断・生育を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,000	5,000	4,000	1,000	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争にて選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途に関しては、事業目的に即し真に必要なものなのかなど、契約一件書類等において確認を行っており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-22	桜の名所づくり事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、桜の育成環境調査を行い選定した候補地において、桜の植栽等を行う。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	-	12,000		
	(b)予算現額	4,725	-	7,000		
	(c)増減額(b-a)	▲ 275	-	▲ 5,000		
	(d)繰越額	―	4,725	0		
	A. 計(b+d)	4,725	4,725	7,000		
B. 執行済額		0	4,725	7,000		
うち交付金充当額		0	3,780	5,600		
次年度繰越額		4,725	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		台風等の影響により本事業に必要な桜の木の十分な調達ができなかったため、予算を減額した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
桜の植栽本数:120本	目　標	(桜の育成環境の調査)	(桜の植栽 120本)	( )	( )
	実　績	桜の育成環境の調査	桜の植栽 120本		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明	桜の名所として選定された寒川緑地において、120本の桜を植栽した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
桜の植栽本数:120本	目　標	(-)	(桜の育成環境の調査)	(桜の植栽 120本)	( )	( )
	実　績		桜の育成環境の調査	桜の植栽 120本		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明	桜の名所として選定された寒川緑地において、120本の桜を植栽した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	桜を育成するためには、その生育環境が大きく関わってくるため、現状では植栽場所が限られてくることが判明した。	桜の植栽場所として限られている現状があるが、対策を行うことで生育環境の改善を図ることにより、桜の名所として整備することが可能である。

今後の取り組み方針

生育環境の改善を図ることにより、桜の名所として整備していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,000	7,000	5,600	1,400	0

那覇市
7,000千円
→
工事請負費
7,000千円
→
工事請負費
（有）宮城錦水園
7,000千円
［桜の植栽のための工事請負費］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は、一般競争にて選定しており、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、事業目的に即し真に必要なものかなど、契約一件書類等において確認を行っており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-23	デイゴ･リュウキュウマツ害虫対策事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　公園管理課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,675		10,000		
	(b)予算現額	5,675		10,000		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	3,247	－		
	A. 計(b+d)	5,675	3,247	10,000		
B. 執行済額		2,428	3,245	10,000		
うち交付金充当額		1,942	2,596	8,000		
次年度繰越額		3,247				
執行率（%）(B/A)		42.8%	99.9%	100.0%		
予算の状況の説明		全額執行完了				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･薬剤の樹幹注入：デイゴ　50本 リュウキュウマツ　600本	目　標	(　321　)	(　50 600　)	(　　)	(　　)
	実　績	34	110 627		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：デイゴおよびリュウキュウマツの薬剤注入を達成できた。今後、薬剤の有効期間を考慮しながら県花、県木の害虫対策を進めていきたい。
前年度に幹周りの大きな対象木への薬剤注入を完了したため1本あたりの薬剤注入が少なくなり目標以上に達成できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･薬剤の樹幹注入：デイゴ　50本 リュウキュウマツ　600本	目　標	(　　)	(　321　)	(　50 600　)	(　　)	(　　)
	実　績		34	110 627		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：デイゴおよびリュウキュウマツの薬剤注入を達成できた。今後、薬剤の有効期間を考慮しながら県花、県木の害虫対策を進めていきたい。
前年度に幹周りの大きな対象木への薬剤注入を完了したため1本あたりの薬剤注入が少なくなり目標以上に達成できた。

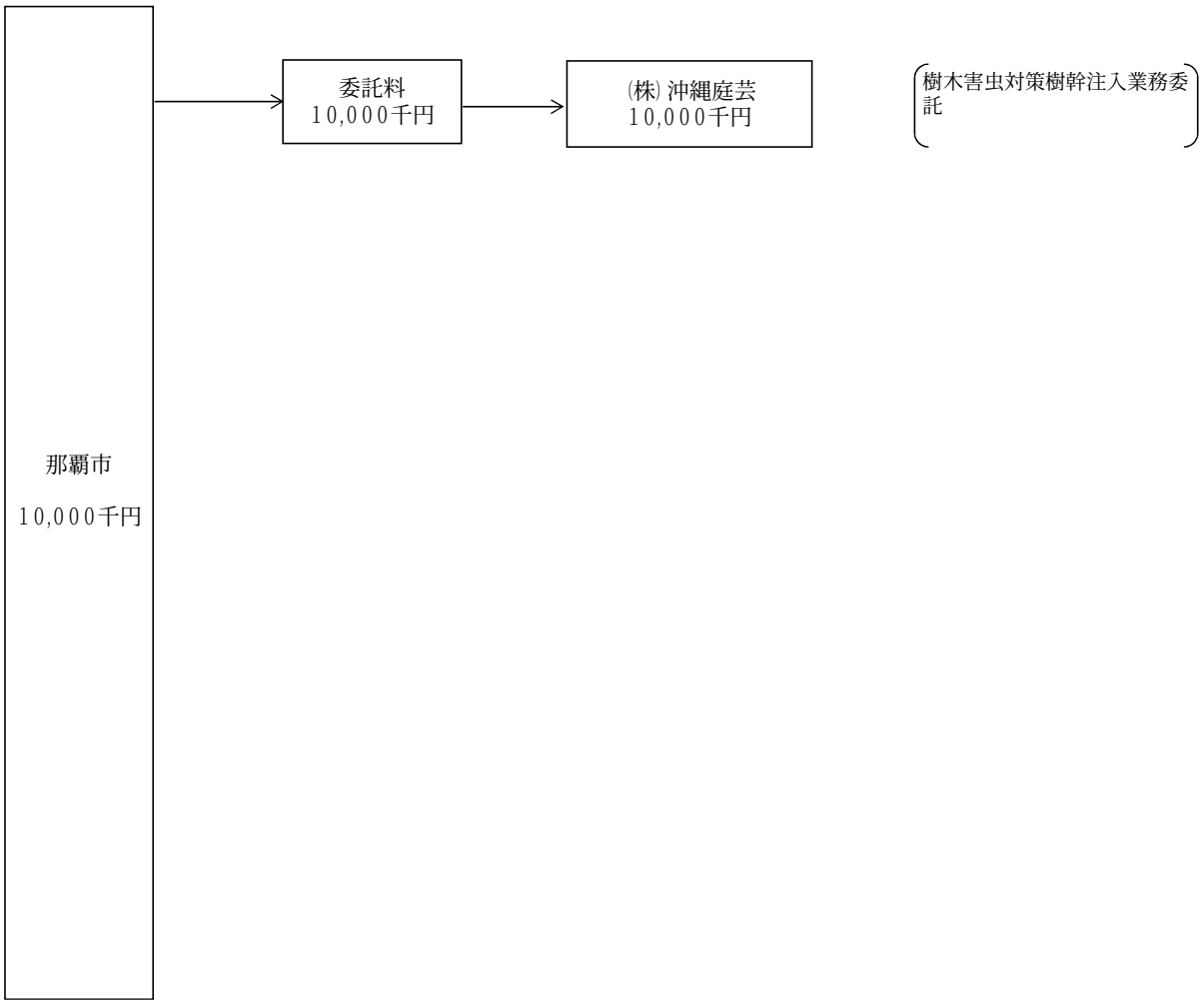
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・薬剤注入対象木すべてに薬剤注入を行うことができた。	・薬剤注入を行った樹木の経過診断を行い、樹木の生育に良い影響を与えたかを検証していく。

今後の取り組み方針

・薬剤の効力には有効期間があるので、樹木によって生育状況が異なってくる。今後生育状況の把握に努め対処していき、しいては薬剤注入対象木から外れた樹木に対しても薬剤注入が行えるよう努め、県花、県木の害虫対策を進めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,000	10,000	8,000	2,000	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各業種ごとに指名競争入札による契約を実施しているので妥当と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-24	那覇爬龍船競漕振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	183,267		8,767		
	(b)予算現額	183,267		8,767		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	180,000	0		
	A．計(b+d)	183,267	180,000	8,767		
B．執行済額		3,267	92,084	8,049		
うち交付金充当額		2,613	73,667	6,439		
次年度繰越額		180,000	0	0		
執行率（%）(B/A)		1.8%	51.2%	91.8%		

予算の状況の説明：平成25年4月、8月の2回に分け概算払いしたが、精算の結果718,000円を返還した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「那覇ハーリー」を実施する那覇爬龍船振興会に対して事業支援を実施	目　標	（事業実施）	（事業実施）	（　）	（　）
	実　績	事業実施	事業実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：「那覇ハーリー」を実施する那覇爬龍船振興会に対して事業支援を実施し、予定していた事業を滞りなく実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（平成23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇ハーリー来場者数:210,000人	目　標	（192,000）	（210,000人）	（210,000人）	（　）	（　）
	実　績		212,000人	204,000人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：2日目の目玉イベントであった海保の巡視船一般公開が尖閣諸島問題により中止された事等が影響し、目標に達しなかった。

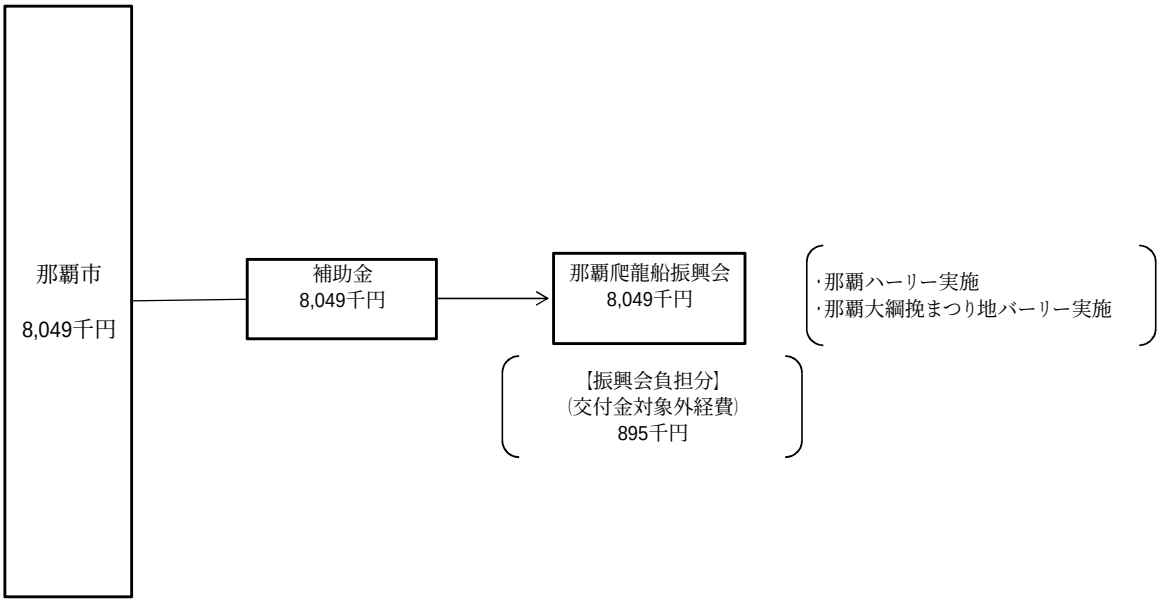
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・会場の容量や開催レースが飽和状態となっており、来場者数も頭打ちとなっている	・3日間をとおしたレーススケジュールの検討、イベント内容の改善

今後の取り組み方針

H26～H33：補助金交付団体である那覇爬龍船振興会に対して引き続き事業支援を実施すると共に、推進上の問題への対策案を提出していただき、安定した事業運営が出来るよう指導・監督していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,944	8,049	6,439	1,610	895



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・年度末の実績報告書をもって補助金額を確定し、状況に応じ返還させている ・自己資本増加の為の施策を随時促し、実施させている
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-25	那覇大綱挽振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の交流･発信
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,779	18,800			
	(b)予算現額	12,779	18,800			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	12,779	18,800			
B．執行済額		12,779	18,800			
うち交付金充当額		10,223	15,040			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：大綱挽保存会による補助金申請に対し、2回に分けて補助金を交付した。事業完了後に提出を受けた事業報告書及び収支計算書に基づき事業内容について精査したところ、事業は適正に執行されていることを確認した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「那覇大綱挽」を実施する那覇大綱挽保存会に対して事業支援を実施	目　標	（那覇大綱挽への支援の実施）	（那覇大綱挽への支援の実施）	（　　）	（　　）
	実　績	那覇大綱挽への支援の実施	那覇大綱挽への支援の実施		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：事業支援として、一般社団法人　那覇大綱挽保存会へ那覇大綱挽の実施にかかる費用の補助を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
那覇大綱挽まつり会場来場者数	目　標	（320,000人）	（400,000人）	（400,000人）	（　　）	（　　）
	実　績		400,000人	382,000人		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：大綱挽き会場への来場客数は前年度に比べ2000人増加した。綱挽きの前日に行う市民･民俗パレードと合わせて、会場来場客数は目標値に届かなかったが、例年に比べ増加している。市民･民俗パレードの来場客の伸びが大きいことから、ディズニーパレードを実施していることが大きく影響していると考えられる。また、ディズニーパレードの実施によって、イベント自体の周知やＰＲに効果的であったと考えられる。

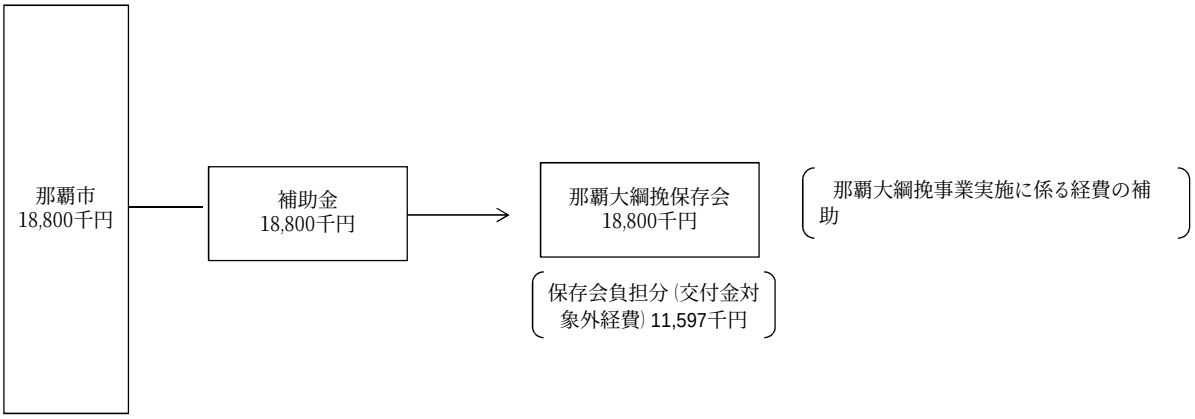
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①まつり当日、大綱挽の観客で混雑しており安全確保の面で不安がある。 ②大綱挽保存会の自主財源が必要である。 ③イベントへの参加者増が伸び悩んでいる原因の一つとして、市内のドーナツ化現象や少子化に伴い、小・中学生の参加が不足していることがあげられる。	①動員者数の確保や大綱挽会場の動線の確保、案内の方法の改善策を検討する。 ②新たに購入した桟敷席に寄付団体名を付ける等、寄付金収入が得られるように事業を行う等。 ③小・中学生が参加できる綱挽関連のイベントを検討し、集客を狙う。

今後の取り組み方針

補助交付団体である那覇大綱挽保存会に改善策の検討・提案を行ってもらい、安定したまつり運営が行えるよう、指導・助言を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,397	18,800	15,040	3,760	11,597



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○那覇大綱挽の保存・継承を行っている那覇大綱挽保存会に補助金交付を行っている。 ○補助金交付額は、那覇大綱挽総事業費約25,000千円のおよそ7.5割の補助となっている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-26	琉球王朝祭り首里振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,036	5,915			
	(b)予算現額	6,036	5,915			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	6,036	5,915			
B．執行済額		6,036	5,915			
うち交付金充当額		4,828	4,732			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明

首里振興会に対する、琉球王朝祭り首里に係る経費の補助。
当初計画していた事業内容はすべて実施した他、古式行列に使用する衣裳等を新調し、古式行列の記録資料冊子及びDVDを製作した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「琉球王朝祭り首里」を開催する首里振興会に対して事業支援を実施	目　標	（「琉球王朝祭り首里」への支援）	（「琉球王朝祭り首里」への支援）	（　　）	（　　）
	実　績	「琉球王朝祭り首里」への支援	「琉球王朝祭り首里」への支援		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

事業支援として、首里振興会へ「琉球王朝祭り首里」実施に係る費用を補助した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
琉球王朝祭り首里観客動員数	目　標	(55,000人　)	(　56,000人　)	(　60,000人　)	(　　)	(　　)
	実　績		58,000人	80,000人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明

H25年度は、開催日が日曜日だったということ、また首里振興会からモノレール株式会社、ストリートフェスタに来場を呼びかけたため観客動員数が前年より大幅に増加している。

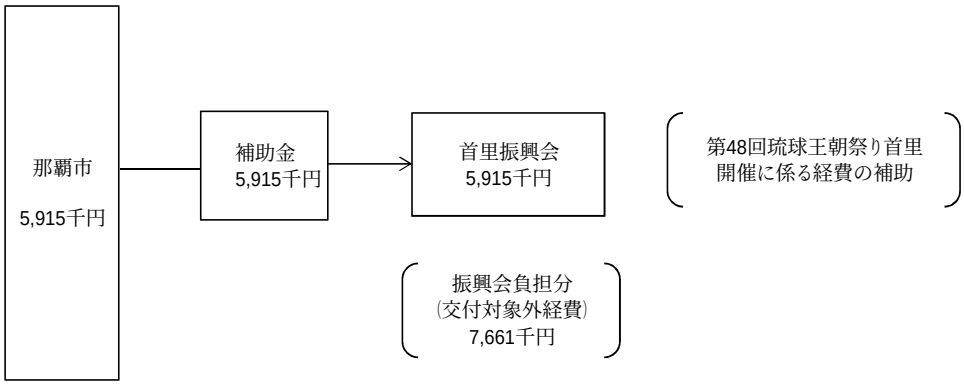
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観客動員数が大幅に増加したため、まつり会場が混雑しモノレール首里駅も混雑した、当日会場アナウンスでモノレール儀保駅も利用するよう呼びかける等対応したが、事前の対策を検討する必要がある。	・首里振興会事務局との連絡体制の強化。

今後の取り組み方針

首里振興会事務局と那覇市との業務分担及び連携方法を確認し、スムーズな事業進行を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,576	5,915	4,732	1,183	7,661



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、まつりの主催団体であり、支出先として妥当である。 ○費用について、補助金の使途として適切でない食料費等は独自予算で処理しており、補助金の使途は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-27	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興･観光誘客を図るため、首里城祭実行委員会へ琉球王朝絵巻行列実施にかかる費用を補助する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,000				
	(b)予算現額	4,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,000				
B. 執行済額		4,000				
うち交付金充当額		3,200				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		首里城祭実行委員会が実施する、首里城祭「琉球王朝絵巻行列」への補助金。 当初予定の収支計画に基づき、首里城祭実行委員会からの補助金申請に対し補助金を交付した。 事業完了後に提出を受けた事業報告書及び収支決算書に基づき、事業内容について精査したところ、事業は適正に執行されていることを確認した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
首里城祭「琉球王朝絵巻行列」を開催する首里城祭実行委員会に対して事業支援実施	目　標	（琉球王朝絵巻行列への支援実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	琉球王朝絵巻行列への支援実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	事業支援として、首里城祭実行委員会へ首里城祭「琉球王朝絵巻行列」にかかる費用を補助した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
琉球王朝絵巻行列観客動員数	目　標	（　）	（33,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		30,800人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	平成２４年度は首里城公園開園２０周年に伴い、告知ＰＲを強化したため、来場者数が例年より増えたが平成２５年度はイベント直前まで雨が降っていたこともあり、来場者数が減ったが例年とほぼ同様である。

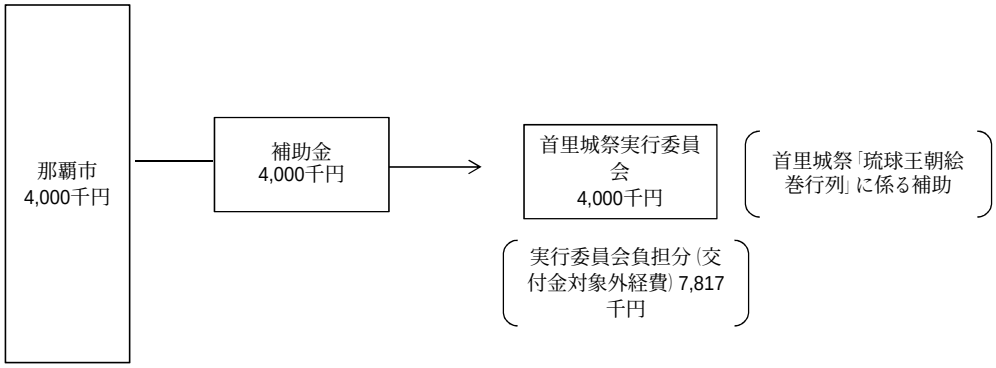
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観客動員数が減っているため、動員数を増やすことが課題。	・観客動員数の増員、イベント内容の検討

今後の取り組み方針

平成25～33年度：首里城祭実行委員会に対しての事業支援実施,し,支出先の選定方法は妥当か、使いみちが妥当かなど首里城祭実行委員会に改善策の検討・提案を行ってもらい、安定したまつり運営が行えるよう、指導・助言を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,817	4,000	3,200	800	7,817



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○年度末の実績報告書をもって補助金額を決定し、状況に応じ返還するように指導している ○首里城祭実行委員会に補助金交付を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-28	プロ野球キャンプ等支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（1）－イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（1）
事業内容	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	46,142	128,842			
	(b)予算現額	46,142	175,690			
	(c)増減額(b-a)	0	46,848			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	46,142	175,690			
B．執行済額		41,517	171,239			
うち交付金充当額		33,213	136,991			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.0%	97.5%			
予算の状況の説明		不用額4,451千円については、トレーニング室建設･設計費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて、適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「那覇の日」観光誘客キャンペーンの実施	目　標	（キャンペーン実施）	（キャンペーン実施）	（　）	（　）
	実　績	キャンペーン実施	キャンペーン実施		
トレーニング室及び倉庫建設工事	目　標	（　）	（施設建設）	（　）	（　）
	実　績		施設建設		
陸上競技場･補助競技場整備	目　標	（施設整備）	（施設整備）	（　）	（　）
	実　績	施設整備	施設整備		
キャンプ期間中の警備	目　標	（安全確保のための警備実施）	（安全確保のための警備実施）	（　）	（　）
	実　績	安全確保のための警備実施	安全確保のための警備実施		
公式戦の開催支援	目　標	（公式戦の開催支援）	（公式戦の開催支援）	（　）	（　）
	実　績	公式戦の開催支援	公式戦の開催支援		
キャンプ施設整備、施設備品購入	目　標	（施設整備備品購入）	（施設整備備品購入）	（　）	（　）
	実　績	（施設整備備品購入）	（施設整備備品購入）		

達成状況説明

- なはの日（7月8日）に東京ドームにて「めんそーれ沖縄･なはデー」を開催し、会場で那覇のＰＲを行った。
- これまでセルラースタジアム会議室をトレーニング室として使用していたが、球場横に新たにトレーニング室及び倉庫を建設した。
- キャンプ受入のため、大型テントの設置撤去、投手エリア･サブグラウンドの整地、陸上競技場の芝の整正。
- キャンプ期間中の来場者の安全確保のための警備。
- プロ野球公式戦への補助金
- キャンプ受入れのため、プレハブ設置、水道･電気工事、球場施設内整備、それに伴う備品購入を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目　標	（9,500人/日）	（9,500人/日）	（8,000人/日）	（　）	（　）
	実　績		5,796人/日	8,036人/日		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

東京ドームにて那覇のＰＲやキャンプ期間中の来場者の安全確保のための警備、プレハブ設置、水道･電気工事、球場施設内整備、それに伴う備品購入などキャンプ受入体制の強化を実施したとこに伴い、見学者数が目標値を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	なはの日キャンペーンについては、問題なく実施できているが、同行するエイサー隊の人数を増やすことができればより大きな効果が期待できる。	エイサー隊の人数を増やせればより盛大な演出が可能となる。
	受入施設の整備については、天候にも左右されるので余裕をもった発注が望ましい。	余裕をもった発注が望ましい。
	警備については、キャンプ期間及び内容により実施日数が左右されるので、事前の準備が難しい。	早めの情報収集が必要。
	公式戦の補助金については、本県が離島であるため、渡航費に多くの費用がかかる。今後も継続して公式戦を誘致するためには補助金の額を検討。	主催者の負担を減らすためにも補助金の増額が可能か検討。

今後の取り組み方針

プロ野球のキャンプおよび公式戦を継続させるために、受入体制、施設整備の充実を図っていく。
プロ野球球団に公式戦開催の要請活動も実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
171,239	171,239	136,991	34,248	0

那覇市 171,239千円

- 委託料 28,449千円
  - ㈱宣伝 716千円（なはの日映像・チラシ製作）
  - ㈱読売新聞社 246千円（なはの日チラシ配付）
  - ㈲ターフメンテナンス・ヒガ 1,522千（陸上競技場整備管理）
  - 砂辺松福ﾃﾝﾄ㈱ 8,085千円（大型テント設置撤去）
  - ㈲ターフメンテナンス・ヒガ 12,568千円（屋外ブルペン及びグラウンド整備）
  - ㈱シミズオクト 5,115千円（キャンプ警備）
  - ㈲ディスプレイ・カンパニー 99千円（会議室養生）
  - ㈲コマツ設備 98千円（給排水仮設）
- 設計工事等委託料 13,219千円
  - ㈱国建 13,219千円（トレーニング室・倉庫 設計・施工管理）
- 使用料及び賃借料 1,834千円
  - 沖縄日立キャピタル㈱ 1,462千円（トレーニング機器リース）
  - 奥武山公園運営管理事務所 327千円（奥武山陸上競技場等の使用料）
  - 共同無線 45千円（タクシー使用料）
- 工事請負費 119,428千円
  - ㈲仲村組 88,962千円（奥武山野球場トレーニング室等建築工事（建築））
  - ㈱琉金 14,978千円（奥武山野球場トレーニング室等建築工事（機械））
  - ㈲當江電気工事 8,803千円（奥武山野球場トレーニング室等建築工事（電気））
  - 新城工作所 5,450千円（セルラー球場内ゴムマット等整備工事）
  - ㈲ターフメンテナンス・ヒガ 1,040千（屋内ブルペンマウンド整備工事）
  - ㈱沖縄工設 195千円（防球ネット改良工事）
- 備品購入費 3,468千円
  - SPORTS UZA 2,751千円（トレーニング器具購入）
  - 沖縄ｽﾎﾟｰﾂ社 299千円（キャンプ用防球ネット購入）
  - ㈱丸仁 418千円（コインロッカー・靴箱購入）
- 補助金
  - 琉球放送㈱ 1,000千円（プロ野球公式戦開催補助）
  - （主催者負担分（交付金対象外経費）122,870千円）
- 事務費（賃金・旅費・消耗品・広告料）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○補助金については、主催者以外の他者との競争は無いので随意契約としています。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○補助金交付団体の琉球放送㈱は補助金対象事業において、122,870千円を負担している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-29	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ 圏域の特色を生かした産業の支援
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－1

事業内容	観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAマラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピーターを増やすための交流イベントを開催する
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,736	3,073			
	(b)予算現額	4,736	3,073			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	4,736	3,073			
B．執行済額		4,736	3,072			
うち交付金充当額		3,788	2,457			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：マラソン終了後に県内外のジョガー交流及びリピーター増を目的に、ステージイベントを開催。事業については那覇市観光協会へ委託。事業完了後に実績報告書の提出を受け、適正に履行されていることを確認した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ジョガー同士の交流を促進する各種イベント	目　標	（交流イベント開催）	（交流イベント開催）	（　）	（　）
	実　績	交流イベント開催	交流イベント開催		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：NAHAマラソンゴール後に県内･県外のジョガー同士が交流できる場を提供した。
NAHAマラソン11位から20位入賞者の表彰式や、特設ステージでの県内アーティストによるミニライブ等、多様な催しも好評であった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
NAHAマラソンジョガー交流会参加者数	目　標	（　）	（800人）	（1,400人）	（　）	（　）
	実　績		800人	1,200人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：天候にも恵まれ、参加者は昨年を上回り1,200人ほどに増えたが、目標には届かなかった。

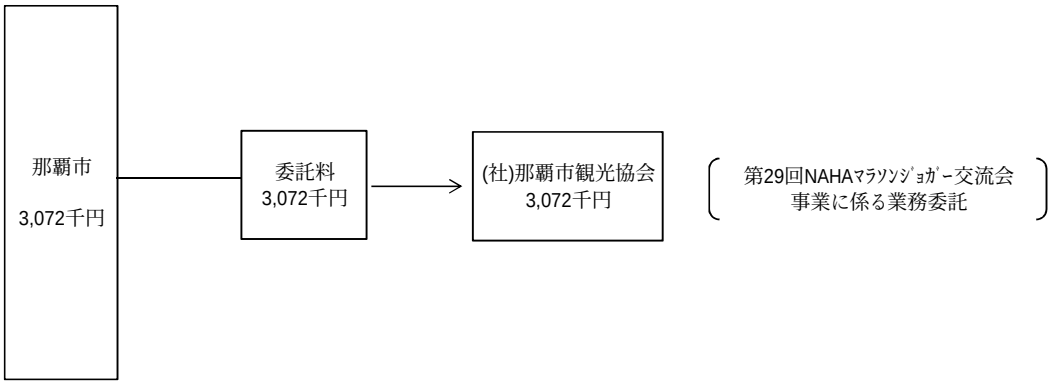
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・イベントの早い時間帯の集客力が弱い。 ・お客様を誘客するためのイベント内容に工夫が足りない。 ・県内外のジョガーに対して（新聞・申込書）などでの告知がないことから、ジョガーに周知されていない。	・雨天時の対応策として大型テントの増設検討 ・会場内のテントブース配置の見直し及び誘道路の整備 ・観光PRの内容の工夫が必要。 ・食券販売や、飲み物の無料券を配布するなどイベント内容の充実が必要。 ・県内外のジョガーに対して（新聞・申込書）などでの告知が必要ではないか。

今後の取り組み方針

H25年度までの事業なので一旦終了となるが、「取組の検証」の結果判明した改善余地等については、今後のイベント支援等に活かしたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,072	3,072	2,457	615	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者（那覇市観光協会）はNAHAマラソン実行委員会内に設置されたジョガー交流会運営委員会の所属する団体であり選定は妥当であると考えている。 ○観光協会が会場設営等業務を委託する際には2社から見積もりを取り低価格の業者を選定しており、この事業の目的から鑑み、支出等に関して適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-30	プロ野球キャンプにぎわい創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	21,450	15,000			
	(b)予算現額	21,450	21,792			
	(c)増減額(b-a)	0	6,792			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	21,450	21,792			
B．執行済額		21,410	21,721			
うち交付金充当額		17,128	17,376			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.8%	99.7%			
予算の状況の説明		不用額71千円については、契約相手方との随意契約前の調整･交渉によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施したことや、活動目標、成果目標の達成状況等から、適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等の実施	目　標	（ステージイベント等の実施）	（ステージイベント等の実施）	（　）	（　）
	実　績	ステージイベント等の実施	ステージイベント等の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：･出店、広報とステージイベントに分けて委託した。出店は沖縄･那覇の食をメインに展開、広報はモノレールラッピングを初めて実施した。ステージイベントは県内ミュージシャンを始めラジオ公開放送や巨人軍OBトークショーを行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目　標	（9,500人/日）	（9,500人/日）	（8,000人/日）	（　）	（　）
	実　績		5,796人/日	8,036人/日		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：モノレールラッピングやコンビニ店舗ラッピングなど広報活動が充実した他、ステージイベントと出店の充実も図られ、成果目標を達成する事が出来た。

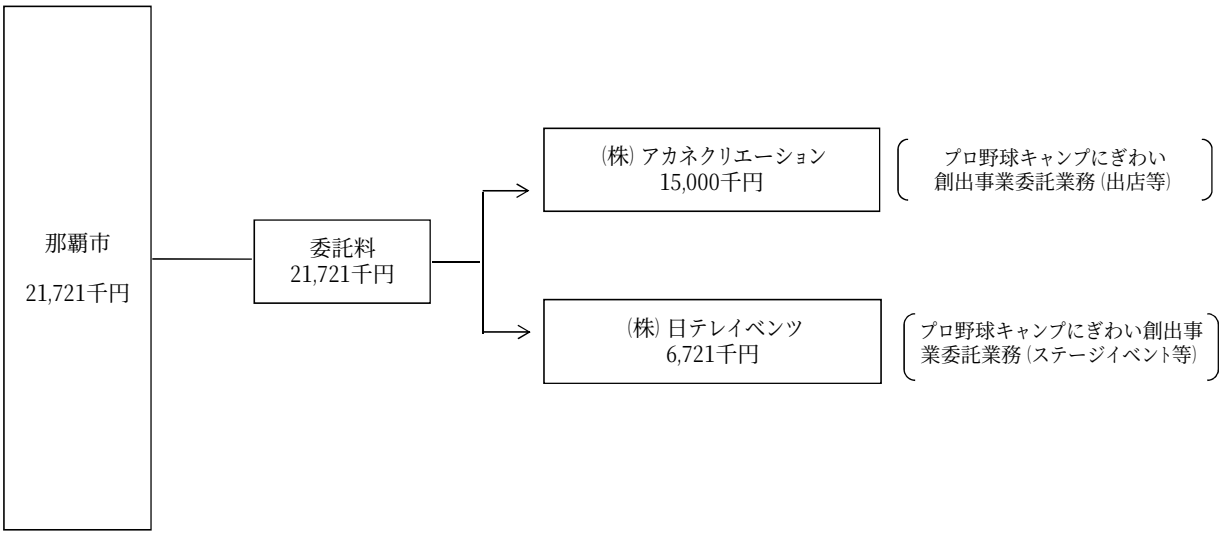
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・来場者数が天候で大きく変わる ・新規の来場者を呼び込む必要がある	・雨天対策を強化する ・出店やイベントの充実を図る

今後の取り組み方針

H26～H33：読売巨人軍春季キャンプ会場周辺のにぎわい創出
目標値（指標）：一日平均見学者数：10,000人（H33）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,721	21,721	17,376	4,345	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○随意契約も権利の都合上、他者との競争は無いため随意契約としている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-31	国際通りとマチグヮーのにぎわい事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（８）－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	ひやみかちマチグヮー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	77,127	45,859			
	(b)予算現額	77,127	45,894			
	(c)増減額(b-a)	0	35			
	(d)繰越額	―	-			
	A．計(b+d)	77,127	45,894			
B．執行済額		77,024	45,894			
うち交付金充当額		61,619	36,715			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.9%	100.0%			
予算の状況の説明		公募によるプレゼンテーション審査(提案業者４社)を行い、随意契約(43,936,992円)(H25.5.20～H26.3.31) 事務補助として臨時職員を任用(H25.4.1～H26.3.31)				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ひやみかちマチグヮー館でのイベント実施(週４～５回)	目　標	(　週４～５ 約140日　)	(　週４～５日 約200日　)	(　　)	(　　)
	実　績	176日	254日		
マチグヮーへの集客ＰＲ	目　標	(　広告等支援　)	(　広告等支援　)	(　　)	(　　)
	実　績	毎月のチラシに通り会イベントの告知	チラシへの通り会イベント告知/抽選会		

達成状況説明：
○5/31～3/9まで、ひやみかちマチグヮー館および周辺通りなどを利用して、ほぼ毎日イベント等を実施し、実施目標の約1.2倍を達成した。
○通り会のイベントをマチグヮー館のイベントチラシ(約8000枚)に掲載、またマチグヮー全体の企画として抽選会などを行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
イベントへの集客数	目　標	(　　)	(　　)	(　30000人　)	(　　)	(　　)
	実　績			51526人		
【参考指標】 H24年度はさいおんスクエア前広場イベントへの集客を目標に提示 H25年度は別事業として実施	目　標	(　　)	(　1,000人/日)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		1,158人/日			

進捗状況説明：
○集客目標30,000人のところ、約50,000人の集客ができ、目標の1.6倍を達成した。
○ステージイベントの他に常設展示などを設置し、常時楽しめる工夫をした。

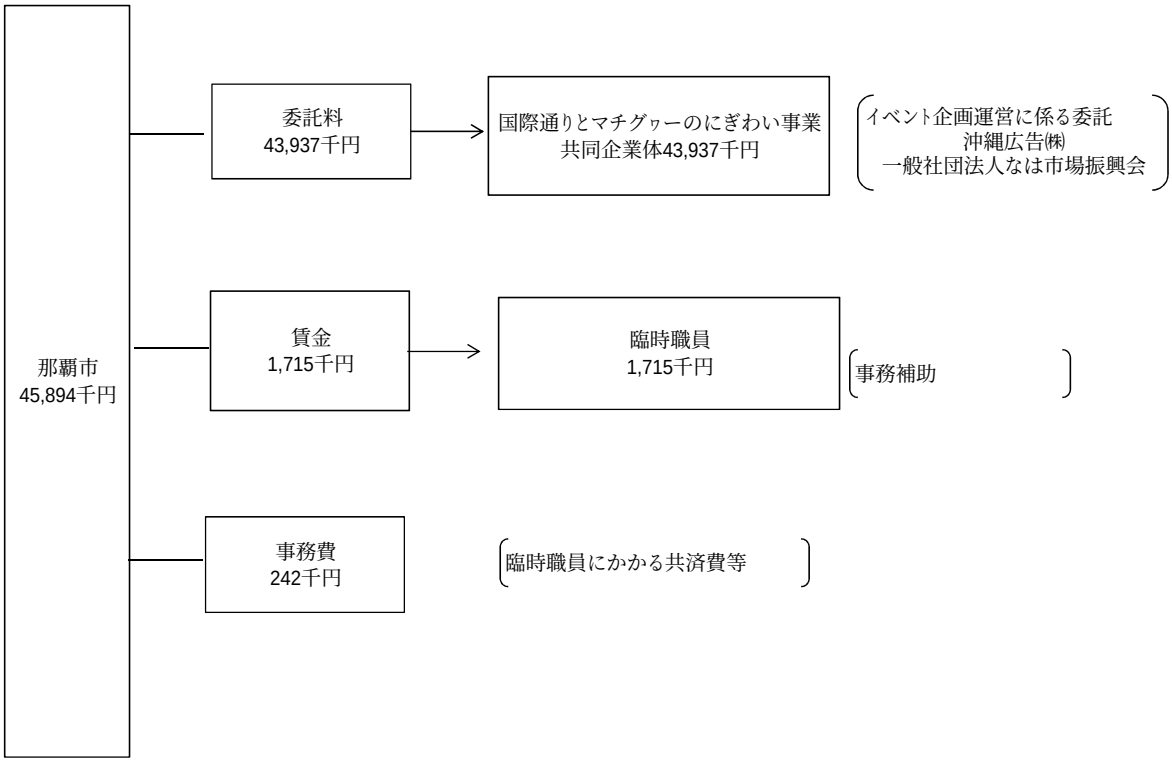
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①10ヶ月間、毎日のようにイベント等を実施することで、継続したにぎわいを創出することができた。 イベント内容として、地域の雰囲気にあった、うちなー芝居や民謡などが好評を得た。 ②地域への来街者は多少増加した感があるが、周辺商業者への経済効果は変化なし（約100店舗によるアンケート結果による） ③マチグヮー館の場所がわかりにくい等、当該施設のＰＲがまだ不十分である。	①地域の雰囲気にあったイベントをすることで、地域の観光拠点としての魅力を向上させ、さらに若年層などへの、来街するきっかけとなるような企画を盛む。 ②集客を売り上げにつなげるための各店舗による努力をサポートする。 ※チラシやクーポンの設置場所の提供等 ③マチグヮー館の案内看板や施設看板の新設、あらたな広報手法による周知の拡大

今後の取り組み方針

○地域の商業者などと連携をし、マチグヮー全体が活性化するための企画を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,894	45,894	36,715	9,179	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、企画内容等を勘案の上で選定しており、妥当である。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要である旨、実績報告や支出にかかる書類により確認をしており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-32	国際通りトランジットマイル推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	本市の産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの事業主体である国際通り商店街振興組合に対して事業支援を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,520	2,000			
	(b)予算現額	1,520	2,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	1,520	2,000			
B．執行済額		1,520	2,000			
うち交付金充当額		1,216	1,600			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		トランジットモールの事業を事業計画に基づき実施した、那覇市国際通り商店街振興組合連合会に対し、補助を実施した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りトランジットモールの活動支援	目　標	（トランジットモール実施の支援）	（トランジットモール実施の支援）	（　）	（　）
	実　績	トランジットモール実施の支援	トランジットモール実施の支援		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：国際通りの活性化を目指して、平成25年4月から平成26年3月までの間、毎週日曜日の12時から18時まで、県庁北口交差点～蔡温橋交差点の約1.3kmをトランジットモール区間として実施。那覇市国際通り商店街振興組合連合会へ事業支援を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
トランジットマイル開催時の通行者数	目　標	（20,000人）	（20,000人）	（21,000人/日）	（　）	（30000）
	実　績		20,000人/日	18,000人/日		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：トランジットモールの実施回数は、37回。トランジットモール実施における通行者数の統計調査をしていないが、平均で約18,000人/日。減少理由として、雨天時や猛暑日など通行者は減っている。

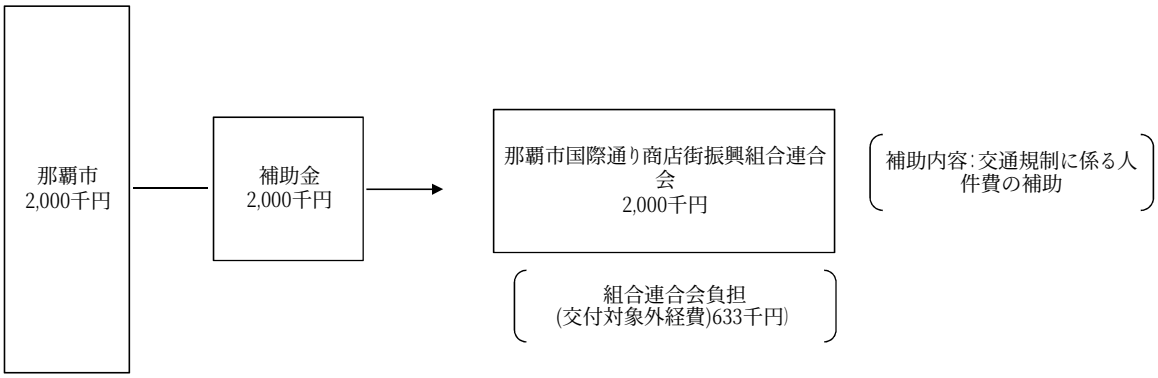
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・雨天時や猛暑日は、来街者が減少傾向にある。	・雨天時や猛暑日に誘客イベントの実施や開催時間の変更して、来街者が集客するような工夫が必要である。

今後の取り組み方針

事業の主体である国際通り商店街振興組合連合会に改善策の検討・提案を求め、安定した事業運営が行えるよう、指導・助言を行う。また、当該事業が、国際通りの活性化と合わせて、周辺商店街への誘客及び販売促進に繋がる事業になるよう、国際通り及び周辺商店街が連携する取組みの支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,633	2,000	1,600	400	633



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である那覇市国際通り商店街振興組合連合会は、国際通りを地区とする商店街振興組合で構成されており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類を確認したところ、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-33	中心商店街活性化支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,500	3,000			
	(b)予算現額	2,500	3,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	2,500	3,000			
B. 執行済額		1,777	2,747			
うち交付金充当額		1,421	2,197			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		71.1%	91.6%			
予算の状況の説明		悪天候等の理由により、当初計画していたイベント事業の一部が中止されたため、不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中心商店街(マチグヮー)が実施するイベント等の支援	目　標	(　9件　)	(　10件　)	(　　)	(　　)
	実　績	9件	12件		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：中心市街地の活性化に向けた創意工夫による積極的な取り組みを行う商店街及び通り会等に対して、平成25年6月28日まで公募を行い、11団体、12事業に対して事業費の一部を支援した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
中心商店街(マチグヮー)が実施するイベント等の支援件数	目　標	(　12件　)	(　9件　)	(　10件　)	(　　)	(　　)
	実　績		9件	12件		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：予算の範囲内で、以下のイベントに対して支援を実施した。(11団体、12事業)　下記団体の企画したイベントは、7月から翌年2月にかけて実施。
①活性化イベント　9/16敬老の日ジィジ･ババァとカラオケを歌おう！②平成25年度　「栄町市場謝恩ライブ」事業、③協働のまちづくりin壺屋【壺屋やちむん通り祭り2013】、④第18回ハロウィーン仮装大会、⑤平和通り　福獅子道ジュネー、⑥ワールドフェスタinマチグヮー、⑦一箱古本市in沖映通り及びイルミネーション点灯式事業、⑧むつみ橋PR事業、⑨市場の日関連イベント、⑩商店街をもっと活性化するための芸能イベント、⑪「人情の町」マップチラシ、⑫うちな～風「月見会」IN蔡温橋

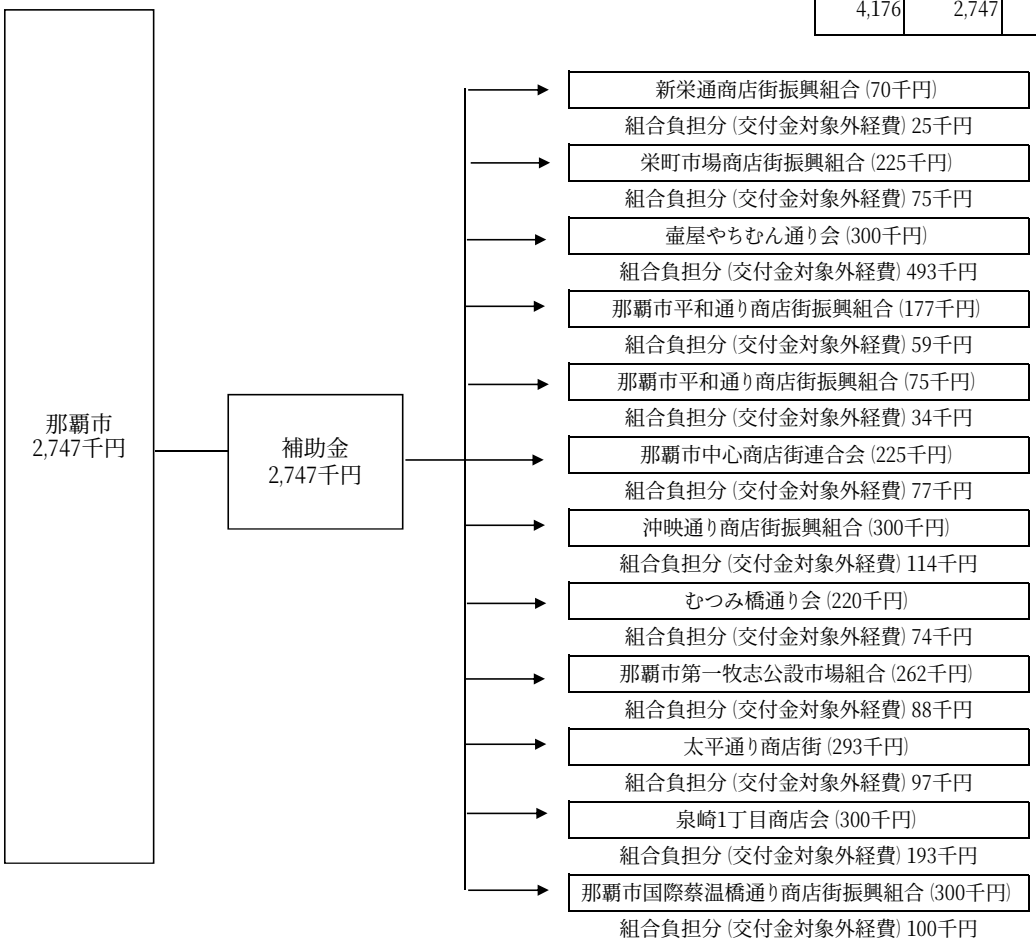
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特段の課題はみられない。 理由として、雨天等の悪天候により、イベントが中止になった事業もあるが、概ね計画通り実施されている。また、イベントを継続的に実施することにより、認知度、集客率も向上の傾向にあり、当該事業が中心市街地の活性化に寄与しているものと考える。	・現在は、商店街及び通り会等が主体的に実施するイベントを支援することで、中心市街地の認知度及び集客率の向上を目指している。 将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

今後の取り組み方針

・将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,176	2,747	2,197	550	1,429



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である商店街及び通り会は、商店街活性化助成事業補助基準に該当しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-34	一万人エイサー踊り隊推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,320	1,320			
	(b)予算現額	1,320	1,320			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	1,320	1,320			
B．執行済額		1,320	1,320			
うち交付金充当額		1,056	1,056			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：「一万人エイサー踊り隊」事業を事業計画に基づき実施した、夏祭りIN那覇実行委員会に対し事業補助を実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りをステージに6千人以上が出演する「一万人エイサー踊り隊」の支援	目　標	（一万人エイサー踊り隊への支援）	（一万人エイサー躍り隊への支援）	（　）	（　）
	実　績	一万人エイサー踊り隊の支援	一万人エイサー踊り隊の支援		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成25年8月3日～平成25年8月4日に2013夏祭りIN那覇「一万人エイサー躍り隊」を実施した夏祭りIN那覇実行委員会に対して、補助金を支出し、事業を支援した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
一万人エイサー踊り隊来場者数	目　標	（　）	（73,000）	（100,000）	（　）	（　）
	実　績		73,000	93,000		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：観客総動員数は、県外20,000人、県内73,000人。当初の計画通りに実施し、観客動員総数は、前年度を上回っているが、例年、猛暑日に実施するため、当初の目標を下回った。

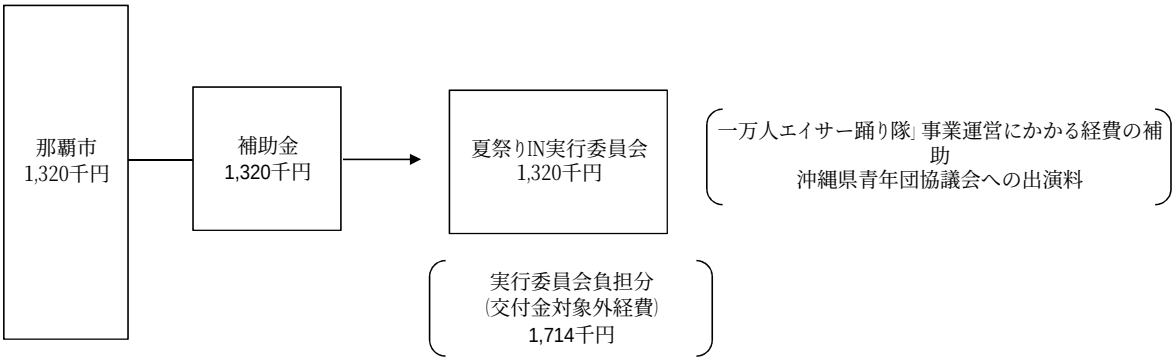
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・真夏の炎天下に、実施される事業であるため、観客の安全に気をつける必要がある。	・ミスト機の導入や打ち水を行い、暑さ対策を行った。開催時間の変更を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

今後も、当該事業が国際通りの活性化へ寄与するイベントとして継続できるよう支援協力を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,034	1,320	1,056	264	1,714



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助事業者である夏祭りIN那覇実行委員会は主体が那覇市国際通り商店街振興組合連合会であり、国際通りの活性化に居する団体であるから妥当である。 ・事業内容及び費目については、報告書類等を確認し、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-35	那覇まちまーい推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	27,586	31,608			
	(b)予算現額	27,586	31,608			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	27,586	31,608			
B．執行済額		25,085	31,608			
うち交付金充当額		20,068	25,286			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		90.9%	100.0%			
予算の状況の説明		那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」への補助金。当初予定の収支計画に基づき、那覇市観光協会からの補助金申請に対し、3回に分けて補助金を交付した。事業完了後に提出を受けた事業報告書及び収支計算書に基づき事業内容について精査したところ、事業は適正に執行されていることを確認した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」の実施 ･散策コースの新規企画	目　標	（新コース　7作成）	（新コース　7作成）	（　）	（　）
	実　績	新コース　7作成	新コース　7作成		
･「那覇まちまーい」のPR活動	目　標	（雑誌･観光サイトへの情報掲載）	（雑誌･観光サイトへの情報掲載）	（　）	（　）
	実　績	雑誌6･観光サイト5掲載	雑誌9･観光サイト3掲載		

達成状況説明	･那覇市観光協会へ事業補助を行い、「那覇まちまーい」を実施し、新規コースを作成した。 ･雑誌･観光サイトへの情報掲載を行い、「那覇まちまーい」のPRを行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇まちまーいへの参加者数	目　標	（6,132人）	（6,200人）	（7,000人）	（　）	（　）
	実　績		6,571人	9,244人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	まちまーいの認知度向上、新規コースの作成などが功を奏し、目標を大幅に上回る参加者となっている。

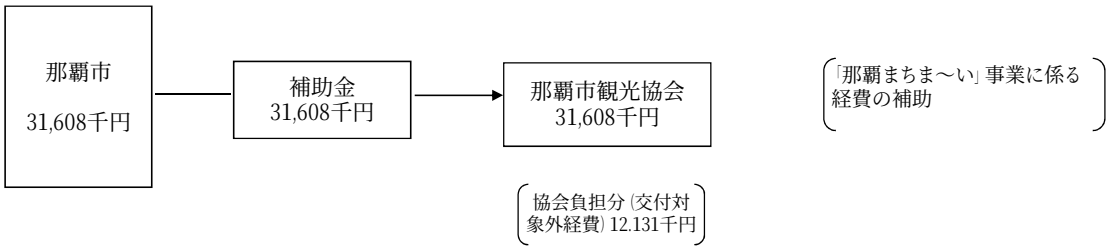
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・季節により参加者に極端な開きがある。 ・ガイドスキルの差が顕著となっている。新たなガイドの養成。 ・外国人観光客への対応ができていない。 ・人件費比率が高い。	・既存コースの廃止を含めたコースの見直し。 ・ガイドのスキルアップ養成講座等を開催し、安定的なガイド体制を構築する。 ・観光協会の人的資源も活用し、外国人の受入体制を構築する。 ・事務員の見直しを行い、自主運営できるような組織体制を構築する。

今後の取り組み方針

・コースの利用者数や収入状況、事務員の業務内容や業務量を明確に把握し、コースの見直し及び人件費比率の引き下げについて観光協会と協議する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,739	31,608	25,286	6,322	12,131



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支給先として実績、知識等を勘案した上で、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-36	「JAZZ Night in 那覇」事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,173	20,575			
	(b)予算現額	7,173	20,575			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	7,173	20,575			
B. 執行済額		7,158	20,575			
うち交付金充当額		5,726	16,460			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.8%	100.0%			

予算の状況の説明：プロポーザル方式により、最も意に沿った企画提案を行った業者を契約相手方に決定した。
業務完了後に実績報告書等の提出を受け履行状況を確認したところ、適正であった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・市内の各スポットで「JAZZ Night in 那覇」と銘打ったJAZZイベントを実施 ・JAZZを観光資源としたナイトエンターテイメンとのPR	目　標	（JAZZイベント実施）	（「AZZイベント実施）	（　）	（　）
	実　績	JAZZイベント実施	JAZZイベント実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成25年7月～平成26年2月までの間に、さいおんスクエア、パレット久茂地前、美栄橋駅前交通広場、カフーナ旭橋、等で、全60回のジャズライブを実施。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
JAZZイベント来場者数	目　標	（2,985人）	（2,400人）	（10,000人）	（　）	（　）
	実　績		2,985人	16,175人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：さいおんスクエア、パレット久茂地前、美栄橋駅前交通広場、カフーナ旭橋、等で、全60回のジャズライブを実施し来場者数目標を達成した。

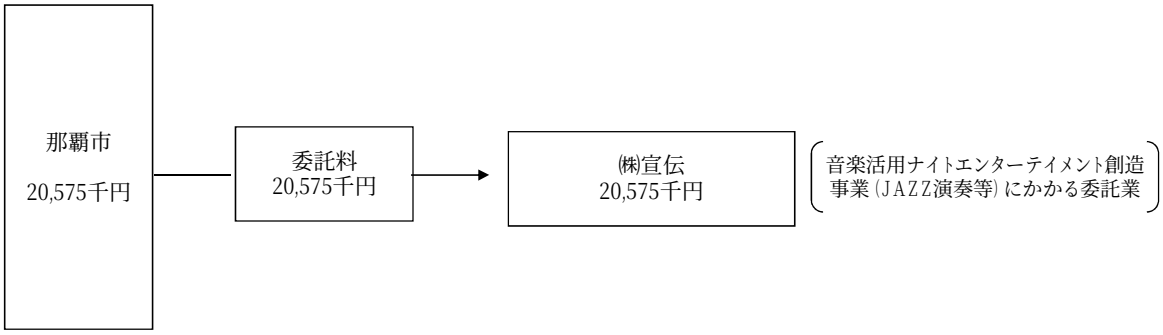
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・シニア層のリピーターが多く、反響がよかった。今後は若年層の集客をするための、イベント内容の検討が課題。	・多彩な広報活動による市民や観光客への周知度,が高まり、定着してきたが、ライブ後にライブハウスなどへの誘導ができるかが課題。

今後の取り組み方針

平成26年度は全60回（野外50回、屋内10回）のジャズライブの開催を予定している。今後は周辺地域と連携し、ライブ後のお客様をライブハウスなどへ誘客をし、さらなるにぎわいを創出することが目標。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,575	20,575	16,460	4,115	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-37	歴史博物館企画展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	619	4,483			
	(b)予算現額	619	4,483			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	619	4,483			
B. 執行済額		500	3,154			
うち交付金充当額		400	2,523			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		80.8%	70.4%			
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。不要額が1,330千円発生しているが、委託費の契約残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
企画展開催(年間6回)	目　標	(　6回　)	(　6回　)	(　　)	(　　)
	実　績	6回	6回		
企画展広報	目　標	(　6回　)	(　6回　)	(　　)	(　　)
	実　績	6回	6回		

達成状況説明：設定テーマに基づき「那覇」や「沖縄」の歴史資料の企画展示を年6回開催し、企画展の内容を充実させるため他の博物館や個人より貴重な資料を借用した。また、教育普及、啓発を目的とし企画展のテーマに合わせたギャラリトークを開催した。博物館の誘客をはかるためポスター･チラシを作成し広報を行なった。平成25年度より、沖縄都市ﾓﾉﾚｰﾙ車内･駅舎内に広告を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
歴史博物館来場者数	目　標	(　14,746人　)	(　14,000人　)	(　14,700人　)	(　　)	(　　)
	実　績		16,950人	16,564人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：琉球･沖縄の歴史･文化を企画テーマごとに分かり易く解説･展示を行なったり、企画展のテーマに合わせたギャラリトークを開催したことにより来場者数の目標を上回ったが、平成24年度より少なかった。

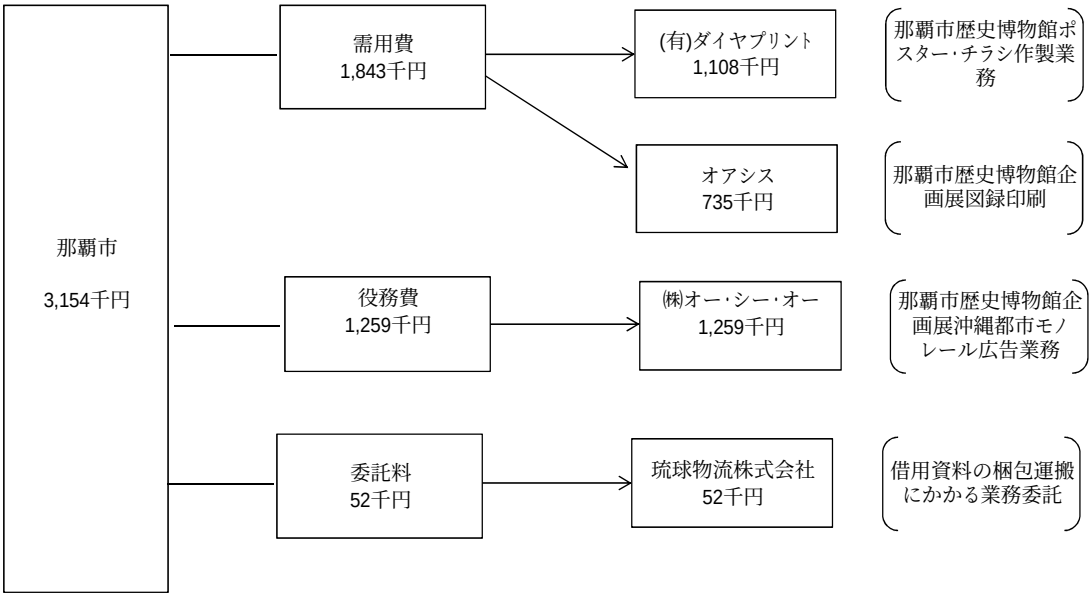
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	企画展の内容を充実させるとともに、講座等を増やす必要がある。	企画展の内容はもとより、歴史講座等を充実し年間5回以上開催し、更なる入館者増を目指す必要がある。

今後の取り組み方針

これからも、年間6回企画展を開催していく。
沖縄都市モノレールの車内や主要駅に企画展ポスターを掲示し、あるいは、テレビ、新聞等のマスコミ各社にプレスリリースを行うなど企画展の広報案内に取り組む。
歴史講座等を充実し、年間5回以上開催する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,154	3,154	2,523	631	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○役務費広告料の業者選定は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-38	観光イベント安全確保事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－1

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,000	3,707			
	(b)予算現額	2,000	3,707			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	2,000	3,707			
B．執行済額		1,867	3,402			
うち交付金充当額		1,493	2,721			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		93.4%	91.8%			

予算の状況の説明：那覇ハーリー警備委託料に1,199,625円、那覇大綱挽まつり及び琉球王朝祭り首里警備委託料に2,201,693円使用し、305,682円の残額となった。活動目標、成果目標を鑑みて適正だったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇大綱挽まつり等における雑踏警備の強化	目　標	警備委託による雑踏警備強化(3イベント)	警備委託による雑踏警備強化(4イベント)	( )	( )
	実　績	警備委託による雑踏警備強化(2イベント)	警備委託による雑踏警備強化(3イベント)		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：那覇ハーリーでは昼間11名、夜間21名、那覇大綱挽まつりにおいては、市民演芸パレード時の雑踏警備･交通誘導等に計76名、大綱挽時の雑踏警備･交通誘導等に計82名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。琉球王朝まつり首里においては、29名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。
そのため、全てのまつりとも事故等もなく無事に終了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
那覇ハーリー来場者数	目　標	(192,000人)	(210,000人)	(210,000人)	( )	( )
	実　績		212,000人	204,000人		
那覇大綱挽まつり来場者数	目　標	(320,000人)	(400,000人)	(400,000人)	( )	( )
	実　績		400,000人	382,000人		
琉球王朝祭り首里来場者数	目　標	(55,000人)	(56,000人)	(60,000人)	( )	( )
	実　績		58,000人	80,000人		

進捗状況説明：那覇ハーリーでは細やかな警備体制により、事故等無く無事にイベントを終了させた。
那覇大綱挽まつりは平成25年度は前年度に比較し来場者数が2万人ほど減少し目標来場者数値には届かなかったが、ディズニーパレードの影響で例年より来場者数が多かった。課題は生じたものの、警備委託業者が臨機応変に対応し、総じて安全性の高いまつりが実施できた。
琉球王朝祭り首里は開催日が日曜日にあたったためか例年より多くの観客が来場したものの、安全面に問題なく収めることができた。

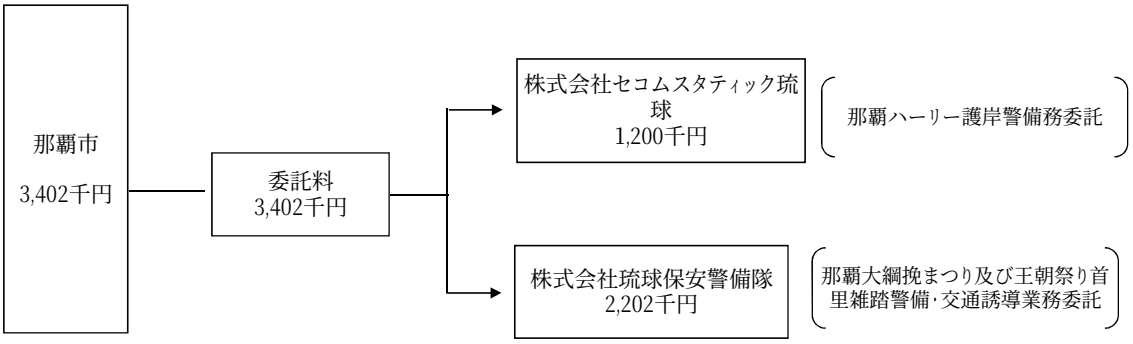
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇大綱挽まつり市民演芸パレードにおいて、ディズニーパレード出演時に多くの観客が殺到し、身動きがとれない程混雑した場所があった。そのような場所においては、観客の安全確保のため、警備員による観客の誘導が必要であったが、観客数が想定外であったため警備員の配置対応が遅れた。	警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。

今後の取り組み方針

警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,402	3,402	2,721	681	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札により決定したため妥当であった。（市内での実績等を考慮し指名選定委員会により選定、その後指名業者で入札をおこなった。） ○費目・使途は事業目的を達成するための警備委託に使用されたことを確認しており適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-39	牧志駅前交通広場等にぎわい事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

○さいおんスクエア及び国際通り商店街への集客を目的に、月に4日～8日程度、イベントを実施する。
○内容として、音楽ライブ、踊り、お笑いなどを中心に、バーベキューやマルシェ、カヌー体験などを実施した。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	27,225				
	(b)予算現額	27,225				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	27,225				
B．執行済額		27,218				
うち交付金充当額		21,774				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：4者によるプロポーザルを実施した結果、27,225,000円で契約し、27,218,000円を執行した。活動目標、成果目標の達成状況からみて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
イベントの実施	目　標	(　34日　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	57日			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：5月～3月までの約10ヶ月間のうち、イベントを57日実施(月に6日程度)し、目標34日の1.6倍を達成した。時間帯は11時～21時。
テント･椅子を用意し、音楽ライブを中心に、野菜販売のマルシェや川沿いでのバーベキューなどのほか、カヌー体験やもちつき体験なども行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
イベントへの来場者数	目　標	(　)	(　-　)	(　30,000人　)	(　)	(　)
	実　績			68,000人		
【参考指標】 マチグヮー屋台村構想事業での来場者数(別事業:国際通りとマチグヮーのにぎわい事業と合わせての開催)	目　標	(　)	(　-　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		77,000人			

進捗状況説明：○集客目標30,000人のところ、結果約68,000人の集客ができ、目標の2.2倍を達成した。
○別イベント(市や他団体主催)とのタイアップにより、広報やイベント内容を強化できたことが、目標を上回る成果につながった。

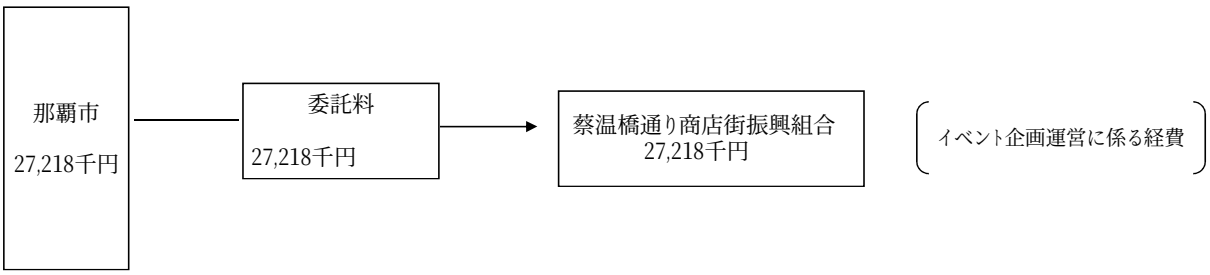
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①イベント実施による成果は、10ヶ月間のほぼ毎週末にわたる継続した賑わいの創出として、約68,000人の集客をあげた。来場者満足度は6割。 ②商店街への経済効果という面では、売上げ増加が2割、集客増加が5割あった（27店舗からのアンケート結果）。 ③昨年度の別事業イベントのときに比べ、商店街個店が積極的に出店していたのがよかったが、チラシに付けていたクーポンの利用効果までは計れなかった。 ④さいおんスクエア内の空店舗は事業開始時には、3店舗だったのが、事業終了時には6店舗となっている。再開発ビルの核テナントが未だなく、運営会社のリーシングに期待せざるをえないところがある。 ⑤蔡温橋通り商店街に、事業期間中の新規出店店舗は4店舗あった。 ⑥蔡温橋通り商店街振興組合の構成店舗は17店舗のまま事業開始と終了時点において増減なし。 ⑦イベントでは、屋外につき、天候に左右されるところがあり、強い日差しや雨をしのげるオーニングの必要性が生じている。 ⑧再開発ビル内の図書館・公民館との連携次第で、イベントや商業施設、公共施設のどちらもより集客できる面がある。	①さいおんスクエア・国際通りへの集客、経済効果を図るため、地域の商業者や商店街と連携した効果的な企画を実施する。クーポン付商店街マップなど。 ②さいおんスクエア・国際通りににぎわいを生み出すため、広場に、日差しや雨をしのげるオーニングの設置を検討する。 ③さいおんスクエア内の商業施設及び図書館・公民館の両方に集客するため、図書館・公民館の休館日（金・祝日）の変更ができないか、検討する。

今後の取り組みの方針

○牧志駅前交通広場をイベント会場として自立運営できる場所にすることができないかの検討、イベントの場所貸し、フリーマーケットや出店などで収益を得られないかアンケートを取り、検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,218	27,218	21,774	5,444	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-40	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「wifi化計画」		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	那覇市内を訪れる入域観光客の利便性の向上及び街の魅力の向上等を図るため、国際通り及び市内の主要な観光スポットに、公衆無線LAN環境を整備し、情報発信の強化と中心市街地への滞留時間や回遊性の向上へ向けた取組みをモデル的に実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	232,840		29,967		
	(b)予算現額	232,840		29,967		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	232,840			
	A．計(b+d)	232,840	232,840	29,967		
B．執行済額			165,170	13,251		
うち交付金充当額			132,136	10,600		
次年度繰越額		232,840				
執行率（%）(B/A)		0.0%	70.9%	44.2%		
予算の状況の説明		交付金対象事業としての予算執行額は低くなったが、市の一般財源を活用したものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
公衆無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証	目　標	(100ヶ所以上のAP設置)	(115)	( )	( )
	実　績	100ヶ所以上のAP設置	115		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明	平成25年度に公衆無線LANアクセスポイントを115ヶ所に設置した。ポータルサイトを構築した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
公衆無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証	目　標	( )	(100ヶ所以上の設置)	(115)	( )	( )
	実　績		100ヶ所以上の設置	115		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明	平成25年度に公衆無線LANアクセスポイントを115ヶ所に設置完了。アクセスポイントやポータルサイトの運用が開始されて、目標を達成した。

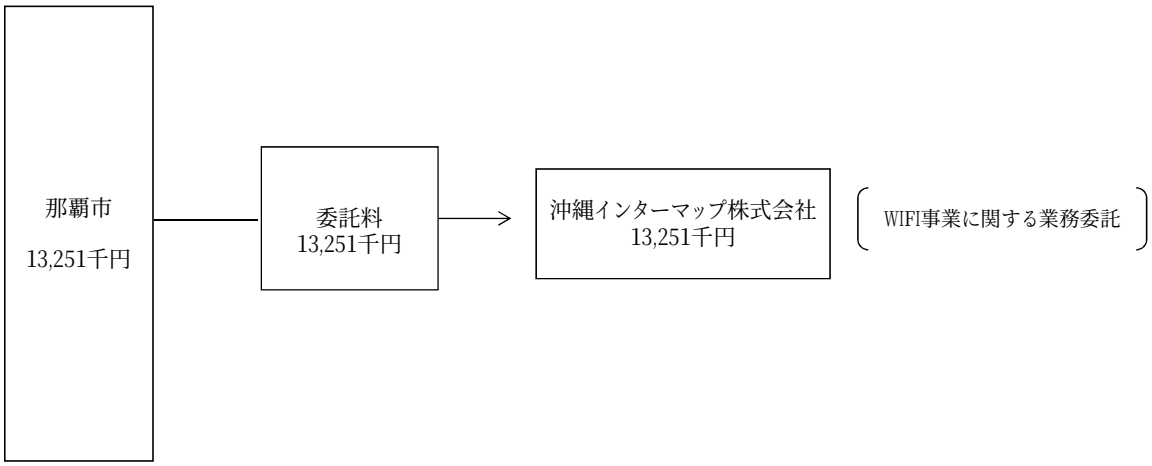
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成25年11月に公衆無線LANのAP115ヶ所に設置で、APやポータルサイトのアクセス状況を把握する。	・事業の検証を行うために、どのようなデータが必要なのかを検討する。

今後の取り組み方針

・平成26年度以降は、公衆無線LANサービスの利便性や快適性の向上のために、事業分析を行い、サービスの改善に取り組む。
・効率的な事業運営を行うために、委託事業者と調整し、費用低減に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,251	13,251	10,600	2,651	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、公募型プロポーサル方式により選定された業者で、安定且つ継続的にWIFIサービスを提供するために、サービス提供に係るシステムの仕組みを把握しており、システムを構築した業者である必要がある。 ・事業内容及び費目については報告書類等により確認し、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-41	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りの中心に設置する屋外型LEDビジョン（320ince／縦4m×横7m）“那覇てんぶすビジョン”を活用し、観光プロモーション映像及びARコンテンツの放映、各種イベントとの連携、パブリックビューイング等を実施することにより、観光リゾート地NAHAのイメージアップ、新たな賑わいの創出及び中心市街地の継続的な発展を目指す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	203,000	0	30,000		
	(b)予算現額	203,000	0	30,000		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	203,000	－		
	A．計(b+d)	203,000	203,000	30,000		
B．執行済額		0	167,958	29,972		
うち交付金充当額		0	134,366	23,977		
次年度繰越額		203,000	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	82.7%	99.9%		

予算の状況の説明

企画提案型プロポーザル方式による事業者選定を行い、19,997千円で㈱宣伝と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく随意契約を締結した。
沖縄国際映画祭と連携した大型ビジョン活用事業を実施するため、9,975千円で㈱よしもとエンタテインメント沖縄と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく随意契約を締結した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇市ぶんかテンブス館に320インチの大型ＬＥＤビジョンを整備	目　標	（　1台　）	（　-　）	（　）	（　）
	実　績	1台	-		
観光PR映像の放映：6時間／日	目　標	（　-　）	（　6時間／日　）	（　）	（　）
	実　績	-	11時間／日		

達成状況説明

平成26年3月20日（金）から屋外型LEDビジョン“那覇てんぶすビジョン”の稼働を開始しており、午前9時から午後8時までの間、観光プロモーション映像及びARコンテンツを放映した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
観光PR映像の放映：6時間／日	目　標	（　-　）	（　-　）	（　6時間／日）	（　）	（　）
	実　績		-	11時間／日		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成26年3月20日（金）から稼働を開始しているため、稼働して間もないが、概ね計画通り運用を開始している。3月21日～23日までの3日間は、第6回沖縄国際映画祭と連携した取り組みを実施し、連日多くの来街者で賑わいをみせた。来場者アンケートによると、当該イベントの満足度は91.1%と非常に高く、継続を期待する声は95.2%にものぼり、大型ビジョンとイベントとの相性の良さを実証した。

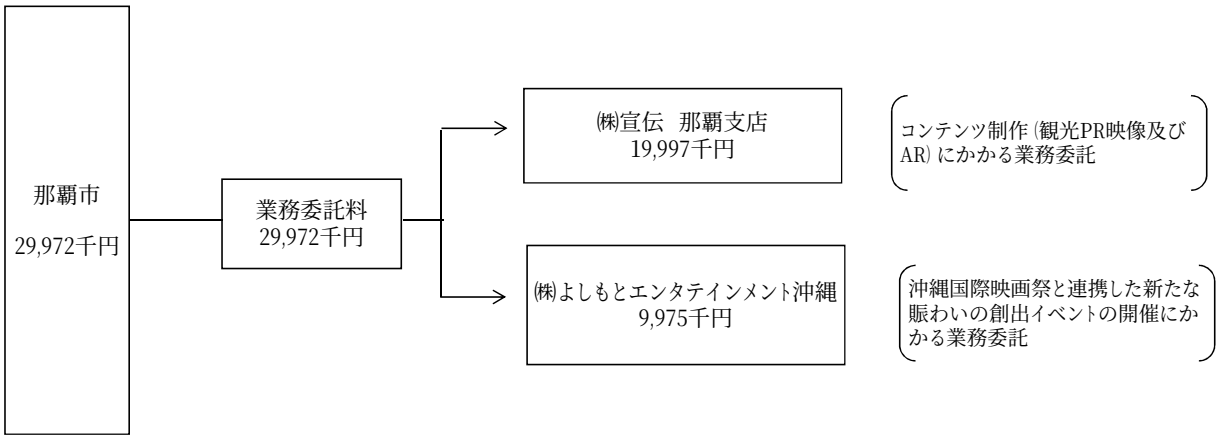
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇てんぶすビジョンより放映するコンテンツ（観光PR映像、AR等）の陳腐化・マンネリ化を避けるため、新たなコンテンツの提供が求められる。 ・那覇てんぶすビジョンを多用途に活用するため、パブリックビューイングの実施、各種イベントとの連携、学校や民間企業への貸出等、観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画の展開が求められる。	・新たなコンテンツを制作し、観光客及び地元客の継続的な誘客を図る必要がある。 ・観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画の実施するため、那覇てんぶすビジョンの運営方針を定め、多用途活用に向けた取り組みを進める必要がある。

今後の取り組み方針

・新たなコンテンツを制作し、観光客及び地元客による賑わいを創出する。また、観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画を効率的かつ効果的に展開するため、那覇てんぶすビジョンの運営方針を定め、パブリックビューイング、各種イベントの連携、学校や民間企業への貸出等、那覇てんぶすビジョンの多用途活用に向けた取り組みを積極的に進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,972	29,972	23,977	5,995	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託事業者①は、公募型プロポーザル方式により、企画内容、実績、連携事業組織体等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○業務委託事業者②は、沖縄国際映画祭と効果的かつ円滑に連携し、業務を実施する必要があることから、㈱よしもとエンタテインメント沖縄と随意契約を締結した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-42	県外メディア誘致観光プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ･観光番組･ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をＰＲする。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,024	9,024			
	(b)予算現額	9,024	9,024			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	9,024	9,024			
B．執行済額		9,024	9,024			
うち交付金充当額		7,219	7,219			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：公募型プロポーザル方式により、最も意に沿う提案を行った事業者と契約し、県外テレビ番組において、那覇市のＰＲを予定どおり実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
県外テレビ番組を活用した観光都市NAHA(観光地、イベント、物産等)のＰＲを実施	目　標	（　ＰＲ実施　）	（　ＰＲ実施　）	（　）	（　）
	実　績	ＰＲ実施	ＰＲ実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：TBS系列全国放送(関東･関西･名古屋･福岡･北海道･青森･岩手･山形･宮城･福島･新潟･長野･山梨･静岡･石川･富山･広島･山口･鳥取･島根･愛媛･高知･香川･岡山･長崎･熊本･大分･鹿児島･沖縄の２９県)の生放送番組、「ぴったんこカンカン」毎週金曜19:56～20:54放送にて、

①石塚グルメ(2014/1/24)、　②石塚グルメ(2014/2/14)で那覇市の特集を組み放送した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
県外テレビ番組の放映回数	目　標	（　）	（　2回　）	（　2回　）	（　）	（　）
	実　績		2回	2回		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：TBS系列全国放送の生放送番組、「ぴったんこカンカン」毎週金曜19:56～20:54放送にて
①石塚グルメ(2014/1/24)、　②石塚グルメ(2014/2/14)で那覇市の特集を組み放送した。
① 放映時間 約13分間(CM除く)、　平均視聴率14．5%、　想定視聴者数1791万9245人、　広告換算54，600，000円
② 放映時間 約19分間(CM除く)、　平均視聴率16．3%、　想定視聴者数2014万3703人、　広告換算79，800，000円
以上より、目標は概ね達成され、那覇市の観光地、イベント、物産等をＰＲできた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	番組放映による観光誘客の効果検証が難しい	番組内のキャンペーンなど、番組視聴が旅行意欲に繋がる仕組みを作る

今後の取り組み方針

事業効果が見えにくいことなどから、費用対効果の検証が難しい等により、H25年度で本事業は一旦終了し、H26年度以降の実施は見合わせる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,024	9,024	7,219	1,805	0

那覇市 9,024千円 → 委託料 9,024千円 → ㈱電通沖縄 9,024千円 （番組制作にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-43	観光宣伝誘致強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。また、市長を筆頭に県外への観光ＰＲ活動を実施する他、沖縄国際映画祭関連イベントを本市で実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,704	11,291			
	(b)予算現額	13,704	26,824			
	(c)増減額(b-a)	0	15,533			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	13,704	26,824			
B．執行済額		12,194	26,824			
うち交付金充当額		9,755	21,459			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		89.0%	100.0%			

予算の状況の説明

・沖縄国際映画祭のイベントを本市で実施するため、委託料として10,000千円を増額補正した。
・県外トップセールス渡航先の変更による旅費の増額や、ロゴマーク、ファンシーバッグ作成のため、1,279千円を増額補正した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・三ヶ国語ガイドマップの作成 ・県外ＰＲ業務 ・観光宣伝誘客委託 ・宿泊客アンケートの実施 ・観光統計作成 ・観光ロゴ制作 ・沖縄国際映画祭関連イベントの実施	目　標	（各指標項目の実施）	（各指標項目の実施）	（　）	（　）
	実　績	各指標項目の実施	各指標項目の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・三ヶ国語ガイドマップ24,000部作成した。
・「那覇市の観光統計～観光客の声～」作成した。
・観光ロゴ制作実施(公募にて募集)した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
・県外ＰＲ業務開催　2都市 ・観光宣伝誘客委託　10団体 ・宿泊客アンケートの実施　250件 ・沖縄国際映画祭関連イベント観客数10,000人	目　標	（　）	（ガイドマップ配布数 20,000部）	（左記指標項目の達成）	（　）	（　）
	実　績		20,000部	下記進捗状況説明のとおり		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・県外ＰＲ業務2都市(仙台市、広島市)にて開催した。
・観光宣伝誘客委託･･･本市に拠点を置く伝統芸能団体に委託し、県外自治体が主催する祭り等において、那覇観光パンフレットの配布を行う。那覇太鼓がベトナム、日南市の2都市において実施した(実績計2団体)。
・宿泊客アンケート回収数　248件あった。
・沖縄国際映画祭レッドカーペットin国際通り･･･沖縄国際映画祭(吉本興業主催)のイベントであるレッドカーペットを国際通りにおいて実施。観客数は58,000人であった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	県外PR業務については、2都市という成果目標は達成したが、渡航先でのイベント内容や集客方法について課題が残った。 観光宣伝誘客委託については、条件に合致する団体が予想よりも少なかったため、目標の団体数を達成することができなかった。	県外PR業務については、委託の仕様内容を見直し、効果的に那覇をアピールできるイベント内容となるよう改善する。 観光宣伝誘客委託についても、募集内容を見直し、目標の団体数を達成できるよう改善する。

今後の取り組み方針

県外PR業務、観光宣伝誘客委託の課題を改善し、県外での観光PRに更に力を入れたい。
引き続き、宿泊客アンケートを実施し、本市の観光現場の状況把握及び問題改善につとめたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,824	26,824	21,459	5,365	0

- 那覇市 26,824千円
  - 委託料 24,586千円
    - 国立大学法人　琉球大学 500千円 ―「那覇市の観光統計・観光客の声」作成にかかる委託業務
    - ㈱サン・エージェンシー 6,000千円 ―県外観光PR委託事業にかかる委託業務
    - 美ら美らとぅ 95千円 ―沖縄国際映画祭関連イベントにかかる委託業務
    - ㈱よしもとエイタテイメント沖縄 ―国際通りレッドカーペット実施計画にかかる委託業務
    - ㈱よしもとエイタテイメント沖縄 11,159千円 ―国際通りレッドカーペット実施にかかる委託業務
    - ㈱琉球保安警備隊 1,515千円 ―国際通りレッドカーペット警備にかか
    - ㈱よしもとラフ＆ピース 105千円 ―行政主催「OKINAWA Welcome Party」にかかる委託業務
    - 那覇太鼓 100千円 ―なは観光パンフレット等配布にかかる委託業務×2件
  - 印刷製本費 1,117千円
    - 丸正印刷株式会社 499千円 ―ファンシーバッグ（観光PR用バッグ）
    - 有限会社シーエーピーinc 488千円 ―三ヶ国語マップの作成費用
    - ㈱池宮商会 130千円 ―観光客向け絵はがきの作成費用
  - 事務費 1,121千円 ―需用費、旅費等

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザル方式や見積りを徴取した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途に関しては、額の確定時に支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-44	那覇市内観光周遊バス実証実験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

市内観光地やホテル等を回るオリジナルデザインのラッピングを施した観光周遊バスの運行により、市内滞在型観光モデルとして定着させる。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	41,634	－	167,995		
	(b)予算現額	41,634	－	167,995		
	(c)増減額(b-a)	0	－	0		
	(d)繰越額	－	5,637	0		
	A．計(b+d)	41,634	5,637	167,995		
B．執行済額		35,997	1,874	135,708		
うち交付金充当額		28,797	1,499	108,566		
次年度繰越額		5,637	0	0		
執行率（%）(B/A)		86.5%	33.2%	80.8%		

予算の状況の説明：25年4月からの運行を目指していたが、バス運行開始に向けた24年度の準備作業に不測の時間を要し、25年度に一部繰り越した。運行開始は6月からとなったことから、概ね2ヶ月分の不用額が生じた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光周遊バス運行便数(1日)	目　標	(　－　)	(　25便　)	(　　)	(　　)
	実　績	－	25便		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：予定より2カ月遅れの6月からの運行開始となったが、その後は午前10便･午後15便の1日25便を、計画どおり運行した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
観光周遊バス一日乗車数	目　標	(　－　)	(　－　)	(　300人　)	(　　)	(　　)
	実　績		－	316人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：運行を開始した6月の一日乗車数は151人。その後は、広報等により知名度が上がるにつれ徐々に増加し、2月は324人、3月は316人と目標を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・レンタカーを利用しない個人客や、修学旅行の班別行動における利用者の獲得・定着により、乗車数の増加が期待されるため、次の(1)及び(2)などの広報を行ってきた。 (1) 県内外の旅行代理店、航空会社等に対するプロモーション プロモーション用DVDの作成及び配付、JATA加盟社への事業説明会 (2) 配布用チラシ等の作成及び配布 ・今後はどれが有効な広報手段であるかや、他の有効な方法がないかを見極め、継続的に実施する必要がある。	・自主運行に向けて、コース見直し、市内ホテル等への広報強化等を行い、乗車数の増加を図る。 ・児童クラブや老人デイサービス等で実施される野外レクリエーションにおける利用増加に向けた広報等も実施する予定。 ・バス事業者によるH27年度からの自主運行に向け、採算ラインの検証等をあらためて行う。

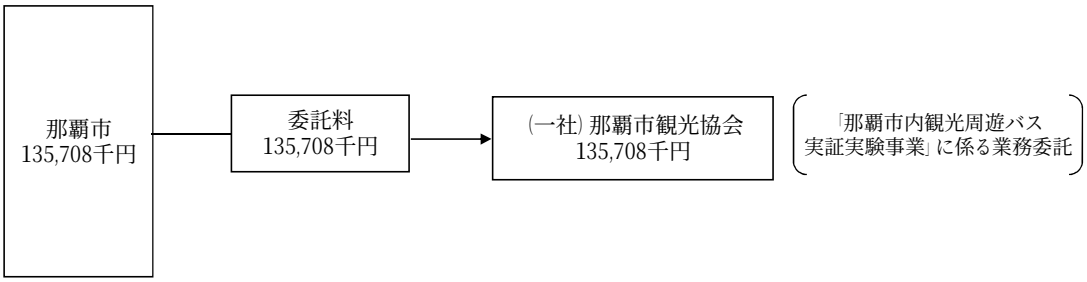
今後の取り組み方針

H26：実証実験ではバス事業者による自主運行に向け、採算ラインの検証等を含め行う。

H27以降はバス事業者による自主運行を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
135,708	135,708	108,566	27,142	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は本市と連携して観光行政を推進しており、実績や知識等の点から、他に適当な者はないことから随意契約は妥当たと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-45	景観まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	地域(観光)資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出のため、景観形成地域指定に向けた景観形成(案)の作成、屋外広告物の適正化に向けた推進計画(案)及び公共サインのあり方･基本方針(案)の作成を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	39,761		23,924		
	(b)予算現額	39,761		23,924		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	38,794	0		
	A. 計(b+d)	39,761	38,794	23,924		
B. 執行済額		967	35,813	23,310		
うち交付金充当額		773	28,650	18,648		
次年度繰越額		38,794	0	0		
執行率（%）(B/A)		2.4%	92.3%	97.4%		
予算の状況の説明		･不要額614千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･地域住民とのワークショップ等の開催 ･屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ･都市景観資源説明板の設計及び設置	目　標	行動計画書の策定、システムの更新	WS開催 各種計画(案)の作成、説明板の設置		
	実　績	行動計画書の策定、システムの更新	WS開催 各種計画(案)の作成、説明板の設置		
達成状況説明	当初の計画通り活動目標が達成できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
･首里ニシカタ地区(首里当蔵、首里桃原、首里山川、首里池端の一部)、首里三箇(首里鳥堀、首里崎山、首里赤田)の景観形成(案)作成 ･屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ･観光客に配慮された都市景観資源説明板の設置10箇所	目　標		行動計画書の策定、システムの更新	景観形成(案)の作成 各種計画(案)の作成 説明板を10箇所設置		
	実　績		行動計画書の策定、システムの更新	景観形成(案)の作成 各種計画(案)の作成 説明板を10箇所設置		
【参考指標】	目　標					
	実　績					
進捗状況説明	当初の計画通り景観形成(案)、屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)を作成し、景観資源説明板を10箇所設置することができた。					

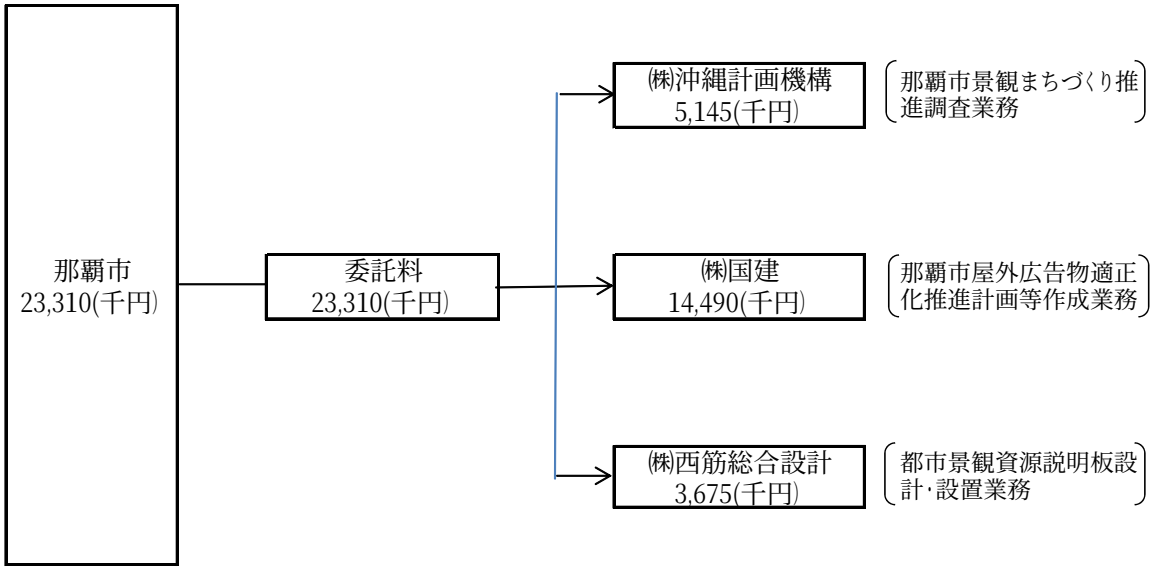
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・当該地域（ニシカタ、三箇）の景観形成の目的・理念等の共有化をはかり、両地区それぞれの地域特性や現状等を踏まえた、景観形成のあり方ついて、理解を深めることが必要がある。 ・屋外広告物の各種計画は、広告主、事業者及び関係行政機関の理解、協力が必要不可欠である。	地域住民、広告主等の関係者等と継続的に意見交換を行う。

今後の取り組み方針

・景観形成(案）については、両地区において地域住民との十分な協議を重ね、協働による都市景観形成を推進する。
・適正化推進計画及び公共サイン計画については、那覇の更なる魅力の向上のため、屋外広告物の適切なあり方について、広告主、事業者及び関係行政機関の理解、協力のもと推進する。
・景観資源説明板については、設置趣旨、場所等の広報・周知に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,310	23,310	18,648	4,662	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は都市計画に精通した業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-48	那覇西地域まちづくり総合実施計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の準備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	那覇西地域において、目標とするまちづくり構想となるよう課題改善策や地域資源の活用などを示した地域まちづくり計画を作成するための基礎調査を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,800				
	(b)予算現額	4,800				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,800				
B. 執行済額		3,864				
うち交付金充当額		3,091				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		80.5%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正な執行であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
基礎調査の実施	目　標	（基礎調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基礎調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	現況調査や関係者への聞き取りを行うなどの基礎調査を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
基礎調査の実施	目　標	（　）	（基礎調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査の実施			
[参考指標]	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	目標どおり人口や産業などの地域の現況や関係者への聞き取りができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	関係者への聞き取りの中で、緑が少ない、既存施設の周知不足、歩行者の安全確保の工夫など多くの要望があった。	要望に対応するため、地域との懇談会等をとおして一緒にルール作りを進めていく。

今後の取り組み方針

基礎調査の結果を踏まえ、アンケートやワークショップ等を行い、まちづくりの構想となる「まちづくり計画」を策定していく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,864	3,864	3,091	773	

那覇市 3,864千円 → 委託料 3,864千円 → （株）国建 3,864千円 （那覇西地域まちづくり現況調査業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は本業務執行にあたり実績等を考慮して選定しており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-49	市民体育館イベント誘致機能強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（1）－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう音響設備及び空調設備を整備し、機能強化を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0	0		
	(b)予算現額	242,466	0	90,252		
	(c)増減額(b-a)	242,466	0	90,252		
	(d)繰越額	－	231,209	－		
	A. 計(b+d)	242,466	231,209	90,252		
B. 執行済額		11,257	229,192	79,404		
うち交付金充当額		9,005	183,353	63,523		
次年度繰越額		231,209	0	0		
執行率（%）(B/A)		4.6%	99.2%	88.0%		

予算の状況の説明：不要額が10,848千円発生しているが、工事請負費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
サブアリーナの空調機機記設置及び音響設備工事	目　標	(　)	(　工事実施　)	(　)	(　)
	実　績		工事実施済み		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：市民体育館のサブアリーナに空調設備、音響設備を設置することにより、イベント会場として使用するための利便性を図ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
サブアリーナの空調機記設置及び音響設備工事	目　標	(　)	(　)	(　工事実施　)	(　)	(　)
	実　績			工事実施済み		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：市民体育館のサブアリーナに空調設備、音響設備を設置することにより、イベント会場として使用するための利便性を図ることができた。

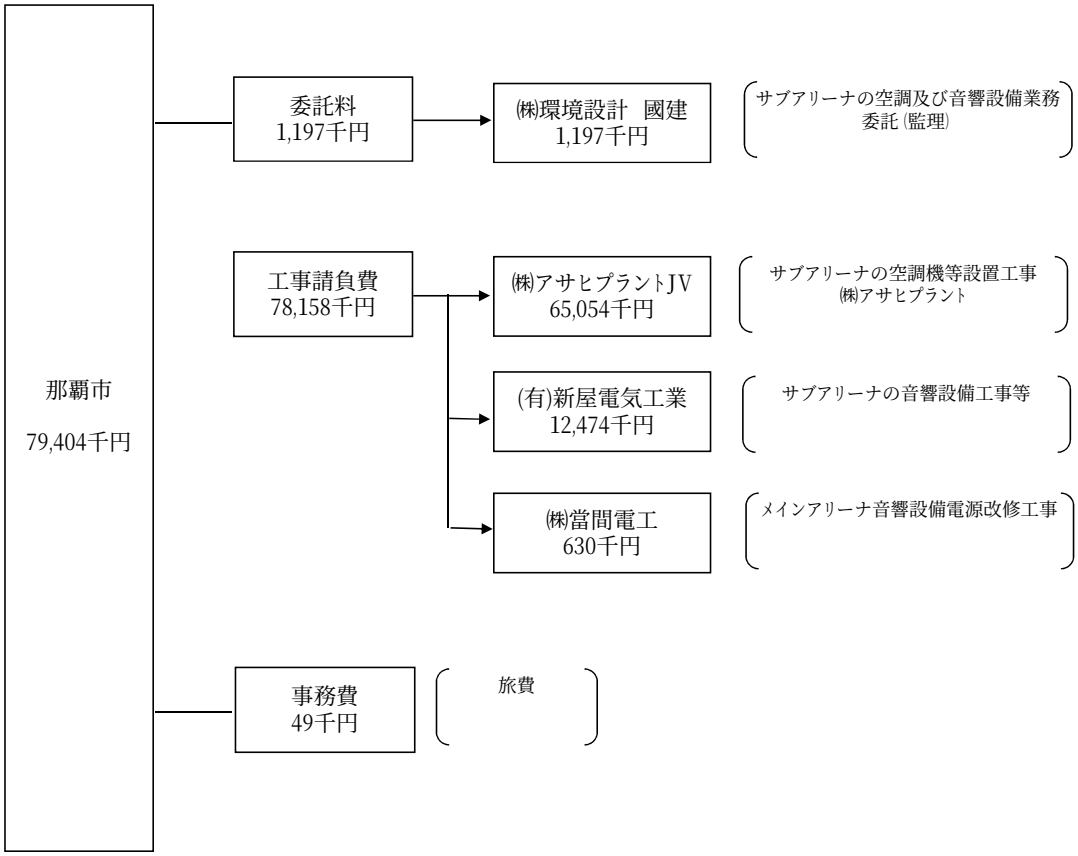
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	音響設備、空調設備の工事に伴い、利用者の観点から閉場期間の短縮を図る必要がある。	工事の安全には配慮しながら、工期短縮に努める。

今後の取り組み方針

今後は、指定管理者とも協力して那覇市民体育館への全国的な競技会の誘致に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
79,404	79,404	63,523	15,881	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-50	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	国際通りのトランジットモールでの定期的なダンスイベントを実施･定着させることで観光振興･観光誘客を図る。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,550	0			
	(b)予算現額	7,550	22,380			
	(c)増減額(b-a)	0	22,380			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	7,550	22,380			
B．執行済額		2,049	18,973			
うち交付金充当額		1,639	15,178			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		27.1%	84.8%			
予算の状況の説明		補助の相手方による事業の内容に変更があったため、補助金の額を変更した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りを会場とした定期的なダンスイベントの実施。	目　標	（ダンスイベントの実施）	（ダンスイベントの実施）	（　）	（　）
	実　績	1月～3月毎月1回実施	8月～12月、3月の第3日曜日実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

○平成25年8月～12月、26年3月の第3日曜日に、国際通りてんぶす前広場「ポケットパーク」において、ストリートダンスコンテスト「King Of Street」を実施(計6回)。
○プロダンサーを中学･高校へと派遣し、ダンスレッスンを行った。8月～10月、2～3月(計5回)。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
ストリートダンスバトル来場者数	目　標	（　）	（6,000人）	（18,000）	（　）	（　）
	実　績		6,000人	10,700人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

予定どおりの回数だけダンスイベントを実施したが、年間来場者数は目標に届かなかった。
イベントの認知度が低く、出場者数も目標数値に届かなかったため、次年度は周知、広報活動にに力を入れていく。

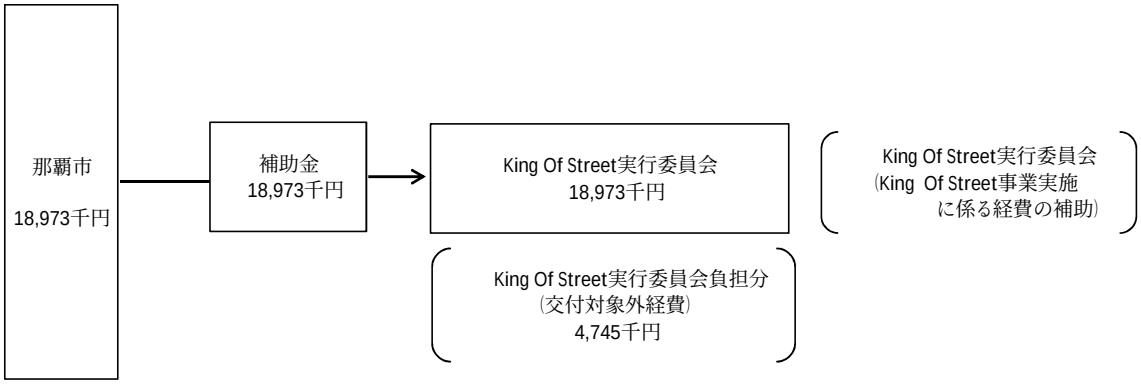
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①実行委員会の実施体制が弱い。 ②キッズ部門はエントリー数が伸びてきているが、一般部門のエントリー数が伸びない。 ③スポンサー獲得等による自主財源の確保が必要。 ④観光誘客に繋がるような取組み改善が必要。	①実行委員会に対する指導を強化する。 （改善点の確認、出場者へのアンケートの実施等）。 ②告知不足によるダンス関係者への認知度が課題となるため、より有効な周知方法・広報手段を検討させる。 ③事業の継続実施に向けたスポンサー獲得等を検討させる。

今後の取り組み方針

補助金交付団体である「King Of Street実行委員会」に、課題の検証及び改善事項の提案をさせた上で、補助を継続する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,718	18,973	15,178	3,795	4,745



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○King Of Street事業実施団体である「King Of Street実行委員会」に補助金は妥当だと考える。 ○イベント実績に基づき補助金の額を変更しており、適正であった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか、補助金額の確定時において、支出等関係書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-51	ぶんかテンブス館文化発信機能強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

那覇市ぶんかテンブス館において、音響や照明等の基幹設備の機能強化、外国語にも対応できるイヤホンガイドシステムの導入等を実施し、文化発信機能を強化することで、観光振興を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	27,350				
	(c)増減額(b-a)	27,350				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	27,350				
B. 執行済額		27,171				
うち交付金充当額		21,736				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.3%				

予算の状況の説明：音響や証明等の基幹設備の機能強化のため入札等にて「音響機器類、証明機器類」2,625千円、「舞台付属品(囲い等)」399千円、「固定式舞台」4,900千円、「音響設備･証明設備･イヤホンガイドシステム」19,247千円で整備した。事業計画に基づき適正に実施できたと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
舞台機構設置工事	目　標	（備品購入･設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	備品購入･設置			
音響設備･照明設備･イヤホンガイド設置	目　標	（備品購入･設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	備品購入･設置			

達成状況説明：今後、増加が見込まれる大型クルーズ船等の観光客や修学旅行生への対応のため、テンブス館の常設公演や体験教室等プログラムの拡充も視野に入れ、音響機器を初めとする機器のデジタル化への対応、舞台機構関係の制御･操作盤の機能充実、音響や照明等の基幹設備の機能強化、外国語にも対応できるイヤホンガイドシステムの設置導入をした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（25年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
那覇市ぶんかテンブス館テンブスホール入場者数:45,000人/年 (平成24年度　42,554人/年)	目　標	（　）	（45,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		37,754人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本事業は6月補正予算で着手し、舞台機構、デジタル音響機材、照明機材並びにイヤホンガイドシステムの設置導入は、年度末に完了しているため、その効果が現段階では現れていない。

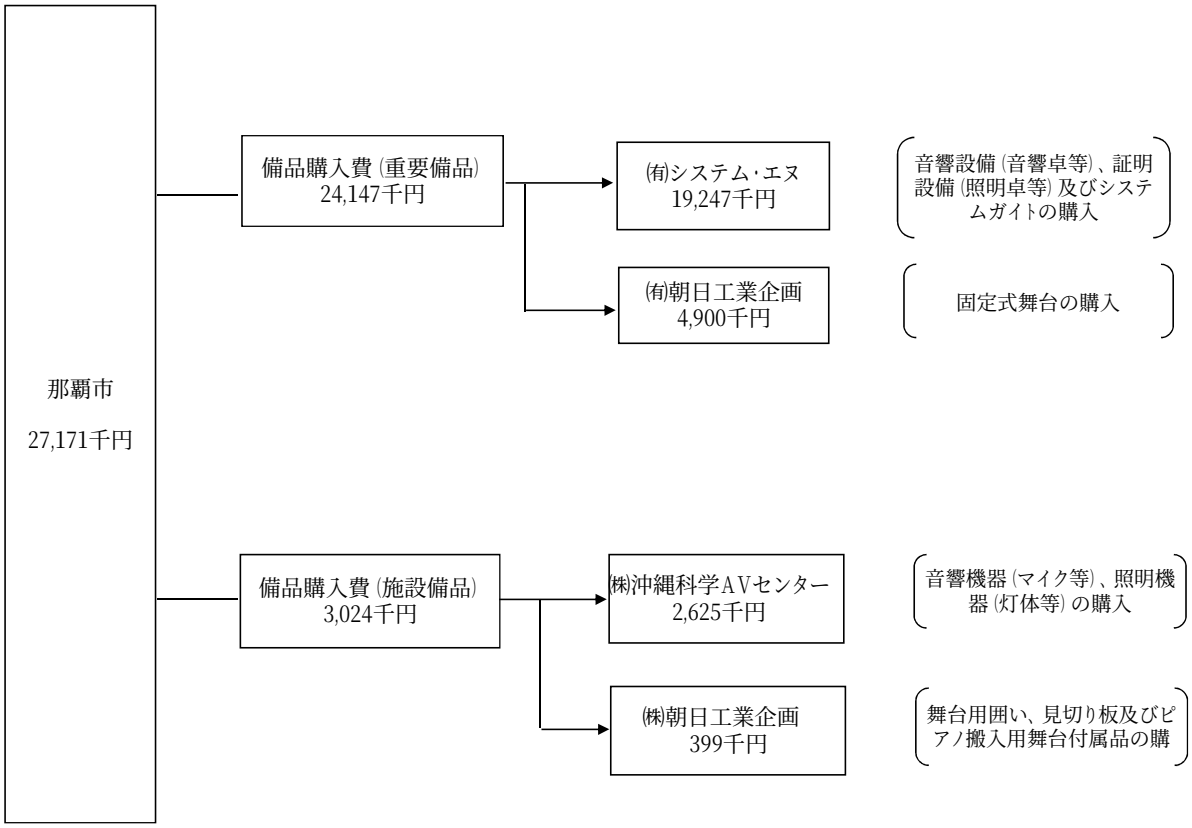
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●本事業は6月補正予算で着手し、舞台機構、デジタル音響機材、照明機材並びにイヤホンガイドシステムの設置導入は、年度末に完了しているため、その効果が現段階では現れていない。	●イヤホンガイドの運用については、試行段階であり、利用実績、効果と経費等を鑑みて本格的な利用実施に向けて検討していく。

今後の取り組み方針

音響機器を始めとする機器のデジタル化への対応、舞台機構関係の制御・操作盤の機能充実、音響や照明等の基幹設備の機能強化、外国語にも対応できるイヤホンガイドシステムを導入することで今後、増加が見込まれる大型クルーズ船等の観光客や修学旅行生への対応として、テンブス館の常設公演や体験教室等プログラムの拡充とホールの利用活性化を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,171	27,171	21,736	5,435	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、入札に付したが、落札者がいなかったため地方自治法施行令第167条の2第1項第8号に基づいて随意契約をした。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-52	観光資源データベース登録事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光情報の発信力強化のため、文化財等の観光情報を多言語化し、観光情報サイト上で公開する。
平成24年度は、英語の翻訳を行った。平成25年度は、韓国語及び中国語（簡体字･繁体字）に翻訳する。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	0			
	(b)予算現額	20,000	2,603			
	(c)増減額(b-a)	0	2,603			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	20,000	2,603			
B．執行済額		19,992	2,603			
うち交付金充当額		15,993	2,082			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：観光情報を多言語化するための翻訳業務につて、制限付一般競争入札により落札した業者へ委託を行い、予定どおり終了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光資源データベースの多言語化 韓国語、中国語(簡体字･繁体字)	目　標	（システム構築、英語翻訳）	（韓国語、中国語翻訳）	（　　）	（　　）
	実　績	システム構築、英語翻訳	韓国語、中国語翻訳		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：観光資源データベースに登録した320コンテンツの韓国語及び中国語（繁体字･簡体字）の翻訳を行い、観光資源データベースに登録した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
観光資源データベースの多言語化 韓国語、中国語(簡体字･繁体字)	目　標	（　　）	（システム構築、英語翻訳）	（韓国語、中国語翻訳）	（　　）	（　　）
	実　績		システム構築、英語翻訳	韓国語、中国語翻訳		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：観光資源データベースは、平成25年度に日本語と英語情報を、本市ホームページ、及び、公衆無線LANサービス「NAHA-City-wifi」のポータルサイト「NAHAPO」で公開した。また、那覇市観光協会が運営する観光情報サイト「那覇ナビ」（多言語サイト）では、各言語のページにリンクを貼り、観光資源データベースを検索できるようにした。
平成25年度に翻訳した韓国語、中国語（繁体字･簡体字）についても、本市ホームページで公開し、観光情報サイト「那覇ナビ」（多言語）の各言語のページにリンクを貼り、観光情報発信の充実を図った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初は、一般社団法人那覇市観光協会が運営する観光情報サイト「那覇ナビ」（多言語サイト）上で直接公開する予定であったが、「那覇ナビ」が自動翻訳システムで運用しているため、システム上、直接公開ができなかった。 そのため、本市ホームページで公開し、「那覇ナビ」とはリンクを貼ることで、観光客が利用できるようにしている。	観光資源データベースの利用者を増やすため、他の公的ホームページとリンクを貼り、認知度を高める。

今後の取り組み方針

観光資源データベースの利用者を増やすため、他の公的ホームページ「オキナヴィータ」、那覇市歴史博物館ホームページ（多言語サイト）、等とリンクを貼り、認知度を高める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,603	2,603	2,082	521	0

那覇市 2,603千円 → 委託料 2,603千円 → （株）沖縄コングレ 2,603千円 （観光資源データベース多言語翻訳業）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、制限付一般競争入札により決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-55	那覇市シティプロモーション映像制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	総務部　秘書広報課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

観光誘客･企業誘致･物産展等における発信力等の強化に資するイメージ戦略ツールとして、本市の魅力が収録された「那覇市シティプロモーション映像」を制作する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（備品購入費）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	12,165				
	(c)増減額(b-a)	12,165				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	12,165				
B. 執行済額		11,608				
うち交付金充当額		9,286				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.4%				

予算の状況の説明

映像作成委託料については執行率98.6%だが、映像放映機材一式の備品購入費714,000円のうち399,000円(執行率44.1%)の不用額が生じた。その理由は指名競争入札(指名業者9社中、4社辞退)残によるもの。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
「那覇市シティプロモーション映像」の制作	目　標	(　映像制作　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	映像制作			
シティプロモーション映像放映機器類の調達	目　標	(　機器調達　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	機器調達			

達成状況説明

プロモーション映像8分版、3分版、1分版に日本語、沖縄方言、英語、中国語(簡体字･繁体字)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語がそれぞれに収録。納品物はDVD400枚、ブルーレイ100枚。
機器は競争入札により、見積価格の56%の価格にて調達。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
那覇市の幅広い魅力を収めた「那覇市シティプロモーション映像」の制作	目　標	(　　)	(　映像制作　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		映像制作			
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明

ウェブサイトにおける無料配信サービス「YouTube(ユーチューブ)」では、5月22日現在、8分版1,151回、3分版が257回、1分版が42回の再生回数となっている。1年間で5千回以上の視聴再生回数を見込む。

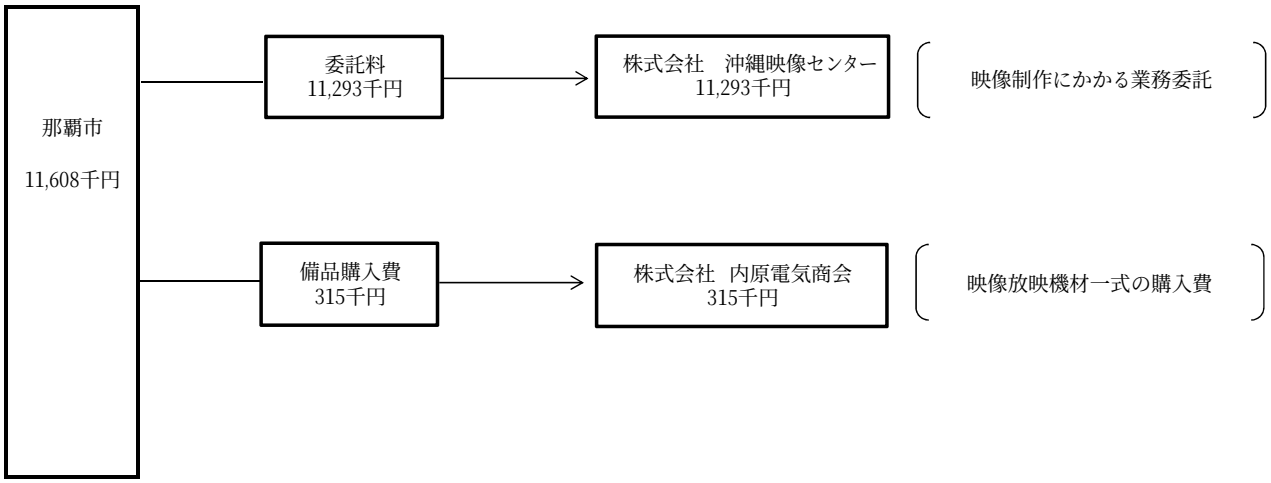
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	プロモーション活動について、経済観光部署、県外向け物産販売業者、県外自治体の出張先への配付等を間接的に行っていることから、放映回数、放映場所、視聴人数、さらに視聴者の感想等の把握ができない状況である。配付者へ実態把握の協力を求めるには、気軽に映像を放映する機会を逃してしまう懸念があるため協力を求めることはできない。しかし、環境の変化に応じたニーズの把握等、将来に向けたコンテンツのブラッシュアップに備える必要がある。	・視聴者の感想等によってプロモーションに求める実態把握方法の検討 ・客観的な指標として「YouTube」の再生回数を増やすための工夫 ・放映機会の掘り起こし

今後の取り組み方針

・市公式ホームページにて、映像を企業や個人のサイトに自由にリンクできるようアイコンをホームページ上に作成し、気軽に視聴できる環境を整備することで、「YouTube」の再生回数を増やし、合わせて視聴した感想等を募る。
・全庁的に職員向けの広報を密に実施し、物産店の開催、企業誘致説明会の会場、外国クルーズ船による外国人観光客レセプション等での放映の他、出張先及び国内外の姉妹都市等の自治体等への庁舎施設等における放映の協力を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,608	11,608	9,286	2,322	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により、事業趣旨の捉え方や映像作成技術、多言語対応など業務要件及び業務管理等を勘案し選定。 ・備品購入は指名競争入札を実施し、売買契約を締結。 以上のことから適正であり妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-57	移動式車載大型ビジョン活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

移動式車載大型ビジョンを、巨人軍春季キャンプやクルーズ船で訪れる観光客への歓送迎と那覇市観光情報の提供に使用し、観光資源である市のイベントで活用することで観光振興につなげる。その移動式車載大型ビジョンの運用業務と維持管理業務について委託し、効果的に活用する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	14,947				
	(c)増減額(b-a)	14,947				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	14,947				
B. 執行済額		7,969				
うち交付金充当額		6,375				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		53.3%				

予算の状況の説明：委託及び備品の購入については入札を行った結果、入札残額が発生しました。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･観光PR映像作成　1種類(多言語) ･映像伝送装置等一式購入	目　標	（　作成及び購入　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	作成･購入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：観光PR映像を、日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語の5言語バージョンを作成した。
映像伝送装置を購入した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
移動式車載大型ビジョン活用(県外･国外観光客への観光案内･PR等)：6回	目　標	（　-　）	（　6回/月　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		28回/2･3月			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：クルーズ船の寄港数の増加による利用回数の増加、読売巨人軍那覇キャンプで、連日利用しており目標を達成した。

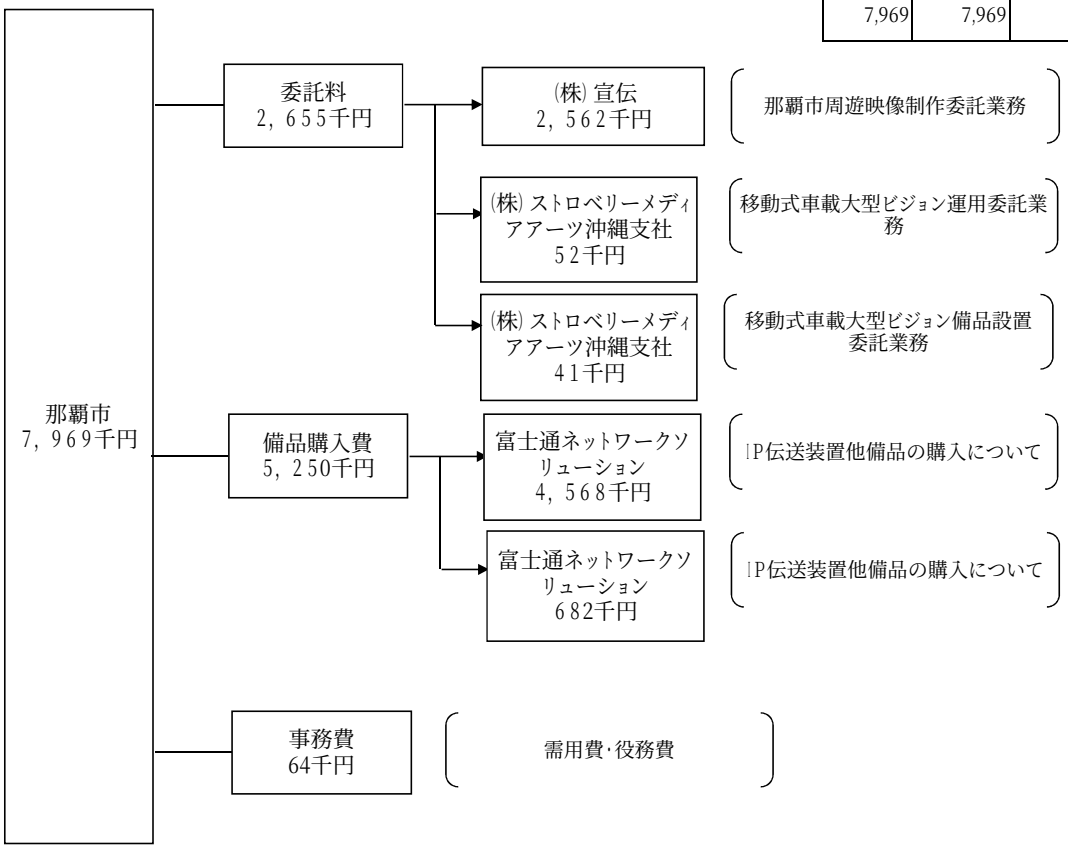
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	クルーズ船寄港の際には、乗客の国籍によって多様な案内表示が必要になる。放映する映像も状況に合わせて、多様に切り替えて展開していくことで観光客に楽しんでもらえるビジョンとする。 てんぶすビジョンとの連動については、ライブ感のある映像を撮影することが求められる。	活用していく上で、カメラワークなど事術を向上させ、よりよい映像を撮影して観光客にも楽しいでもらえるよう運用していく。 さまざまなイベントでも活用していく。

今後の取り組み方針

クルーズ船の受入や出向でのおもてなしの一つとなる活用し、イベント等については、演出の一つとなるよう工夫して活用する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,969	7,969	6,375	1,594	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託費、備品購入費の支出については、入札で行っており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-59	那覇市観光基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	沖縄の玄関口である那覇市の観光のさらなる振興を図ることを目的とする観光基本計画を平成26年度に策定するための事前調査を平成25年度に実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	4,741				
	(c)増減額(b-a)	4,741				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,741				
B. 執行済額		4,741				
うち交付金充当額		3,792				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				
予算の状況の説明		那覇市観光基本計画基礎調査委託業務につて、制限付一般競争入札により落札した業者へ委託を行い、予定どおり調査を終了した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
観光基礎調査(現状分析･課題把握等)の実施	目　標	（　基礎調査実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基礎調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

基礎調査を次の通り実施し,調査報告書を作成した。
1.市民意識調査 … 8,000人に調査票を送付し、1,409人から有効回答があった。
2.観光意識調査 … 全国ＷＥＢ調査を実施。2,060人から回答があった。
3.事業者意識調査
①商工会議所加盟事業者500件へ調査票を送付し、119件の有効回答があった。
②国際通り立地事業者100件に対し、44件の回答があった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
観光基礎調査(現状分析･課題把握等)を実施し、本市の強み、課題等を検証する。	目　標	（　）	（基礎調査実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

市民意識調査により、本市の魅力として市民は「文化伝統」を高く評価し、「おもてなし」が低くなっている。また、マナー違反として「客引き」が高くなっている。
全国ＷＥＢ観光意識調査では、本市のイメージとして「首里城などの歴史的文化遺産･史跡」が那覇らしいという回答が多い。那覇の3大祭りや伝統工芸品の認知度が低い。
事業者意識調査では、経営面の課題として、外国語･外貨の扱い、従業員の教育･確保があがった。その他、修学旅行受容れの課題を把握できたので、平成26年度策定する観光基本計画へ活かしていく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市民意識調査の回答目標が2,000件に対し有効回答14,09件、と低い結果となった。 しかし、市内ほぼすべての地域から回答があり、年齢も20代から80代まで各世代に分布しており、男女比では女性が56.4%と若干多いが、調査結果に偏りはないと想定される。	市民意識調査の回収率は、本市が2年毎に実施している本市行政全体に対する市民意識調査の回収率（平成24年度27.1%）を参考に25%と想定し、2,000件を目標としたが、有効回答が1,409件にとどまった。観光に特化した調査では、興味・関心が低い市民からの回答が得られなかったためと考えられる。今後調査を行う際には、調査票送付人数を多くする必要がある。 今回の基礎調査以外に、本市の他の観光関連の調査、沖縄県が実施した過去の調査等も観光基本計画策定の基礎資料とする。

今後の取り組み方針

基礎調査の結果を平成26年度の観光基本計画策定へ活かして行く。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,741	4,741	3,792	949	0

那覇市
4,741千円
→ 委託料
4,741千円
→ （株）ＪＴＢ沖縄
4,741千円
（那覇市観光基本計画基礎調査委託にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、制限付一般競争入札により決定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-60	亜熱帯庭園都市の公園魅力向上･活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑵-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　公園管理課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容	観光地としての沖縄･那覇の地域素材を活かした魅力ある公園とするため、民間の専門的な知識を活かした調査書(企画提案書)を作成する。 観光施設である福州園の多言語化された案内パンフレットを作成し、外国人観光客に対するサービス向上を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,600				
	(b)予算現額	7,600				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	―				
	A．計(b+d)	7,600				
B．執行済額		7,434				
うち交付金充当額		5,947				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.8%				
予算の状況の説明		･不用額が166千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･民間の専門的な知識と幅広いアイディアを活かした企画提案書の作成	目　標	（企画提案書作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	企画提案書作成			
･福州園の案内パンフレット作成(多言語)：20,000部	目　標	（20,000部作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	16,000部作成			

達成状況説明	･沖縄･那覇の地域素材を活かした魅力ある公園として有効活用するため、供用開始から20年以上経過した近隣公園以上の公園から2公園を抽出した。 ･当初、福州園の案内パンフレット作成を20,000部予定していたが実際の来園割合に合わせて枚数を配分した結果、実績を16,000部とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
･地域素材を活かした魅力ある公園として有効活用するための企画提案書の作成	目　標	（-）	（企画提案書作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		企画提案書作成			
･福州園の案内パンフレット作成(多言語)：20,000部	目　標	（-）	（20,000部作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		16,000部作成			

進捗状況説明	･近隣公園以上の公園から緑ヶ丘公園と漫湖公園の2公園を挙げ、既存施設の有効活用や動物ふれあいなどの新たな施設の導入による活性化案を作成した。 ･福州園を訪れる観光客を含めた来園者に対して、園の成り立ちや施設の案内について情報提供ができる。

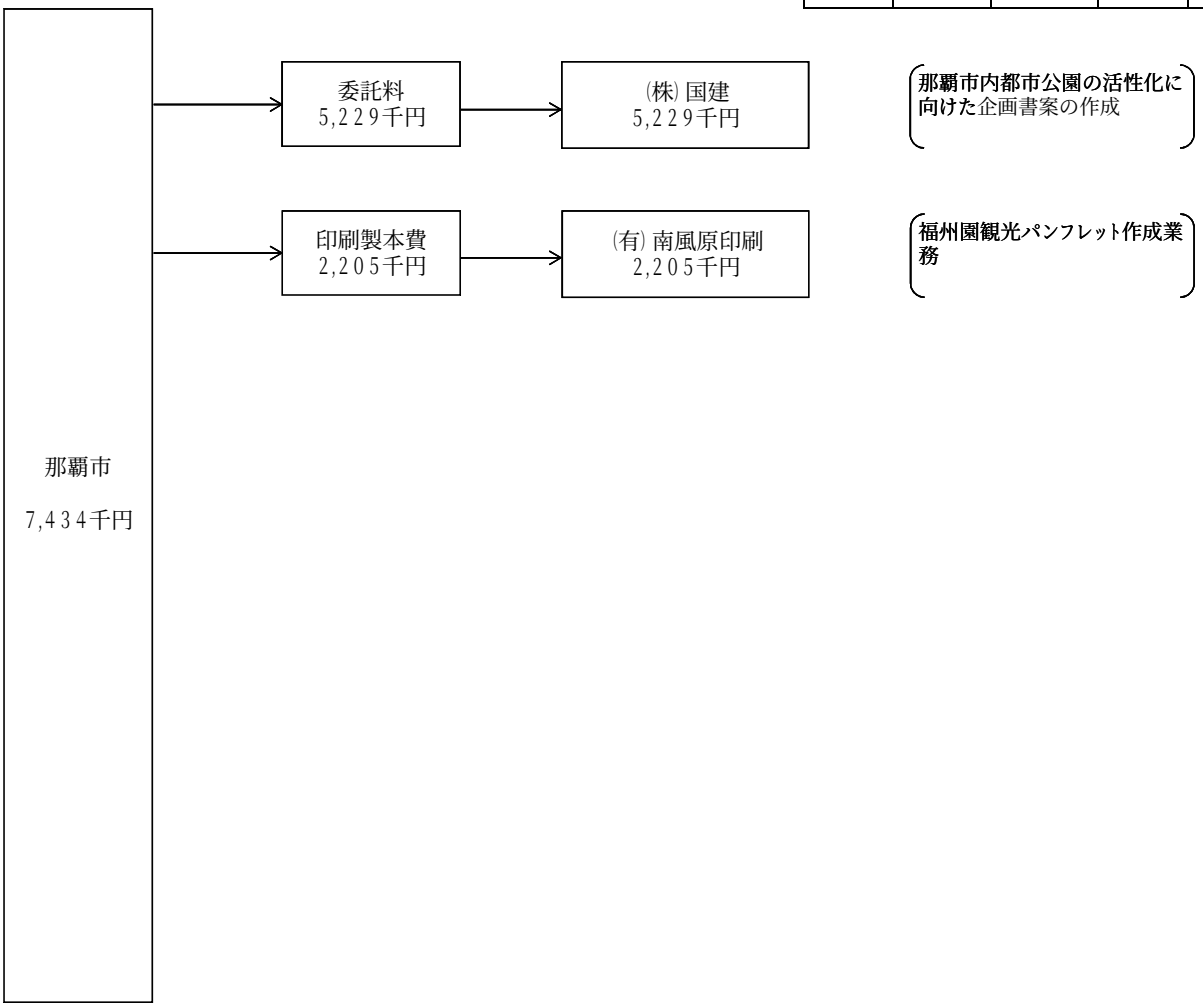
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・緑ヶ丘公園では地域住民から既存管理棟の集会所的な使用に対する要望がある。 ・漫湖公園はランニングコース、テニスコート等のスポーツ施設や管理棟、ちょうちょガーデンなどの既存施設があり、それらを有効活用した活性化の検討。	・管理棟を地域や観光客も利用できる施設として改修し、管理棟の周辺を含めた空間が有効活用できるように活性化案を作成した。 ・既存施設を有効活用しながら、新たな動物ふれあい施設を設けるなど、より公園が活性化する案を作成した。 よって、企画提案書の改善の余地はありません。

今後の取り組み方針

・企画提案書をもとに地域住民や参画の可能性ある団体とともに、ワークショップなどの方法により具体的な話し合いの場を設けて協議を行う。その結果を踏まえて活性化策を推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,434	7,434	5,947	1,487	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○印刷業者は市登録業者5者による指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えていいる。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-62	大気汚染情報発信事業（PM2.5測定装置設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受け入れ体制の整備
担当部課名	環境部　環境保全課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	微小粒子状物質測定装置を設置し、大気汚染状況を常時監視する。測定結果を観光客の往来する国際通りに設置された大型ビジョン等で情報発信し、観光客や市民に広く情報提供する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,090				
	(b)予算現額	4,043				
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,047				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	4,043				
B. 執行済額		3,780				
うち交付金充当額		3,024				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.5%				
予算の状況の説明		微小粒子状物質（PM2.5測定装置）測定機器の入札により不用額が生じたため補正減を行った。事業は、計画どおりに執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･微小粒子状物質測定装置の設置	目　標	（測定装置の設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	測定装置の設置			
･測定データの情報発信装置整備。測定開始	目　標	（測定開始）	（　）	（　）	（　）
	実　績	測定開始			

達成状況説明：
･平成26年2月に測定局（那覇市保健所内）に微小粒子状物質（PM2.5）測定装置を設置し、3月に測定を開始した。

成果目標(指標)及び進捗状況

		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
･測定データの公表、情報発信	目　標	（　）	（情報発信）	（　）	（　）	（　）
	実　績		情報発信			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･測定結果は、平成26年3月から国際通りの大型ビジョン、那覇市のホームページ、沖縄県のホームページ、環境省の大気汚染物質広域監視システム「そらまめくん」で情報を順次公開した。
･微小粒子状物資や光化学オキシダントが高濃度時、予防策を観光客や市民に周知する体制が整備された。

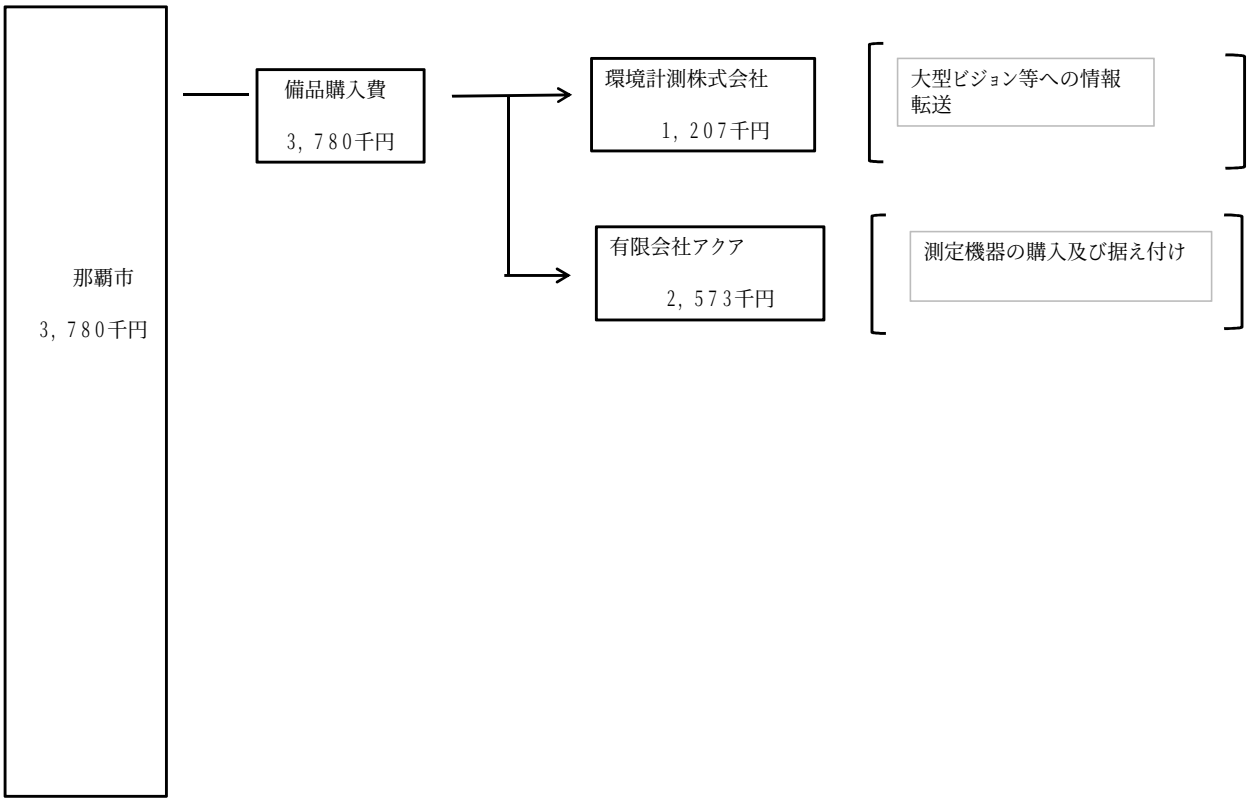
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・正確な測定データの情報発信を行うためには、測定機器の適正管理（点検及び校正）が必要である。	・測定結果を、市民や観光客に広く情報提供するために、情報発信先を増やす必要がある。

今後の取り組み方針

・測定結果を、市民や観光客に広く情報提供するために、情報発信先を増やしていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,780	3,780	3,024	756	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○微小粒子状物質(PM2.5)測定機器の指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。　○大型ビジョンへの情報転送については、沖縄県のシステムと連携し転送されるシステムになっているため、そのシステムを管理している業者と地方自治法第167条の2第1項第2号により随意契約を行った。　○費目・使途については、仕様通りの測定装置が納品され、測定も実施されている。また、大型ビジョンでの情報提供も行われており適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	市魚マグロ等水産物流通支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－イ 流通･販売･加工対策の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)
事業内容	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や業務委託を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	64,806	10,000			
	(b)予算現額	64,806	17,904			
	(c)増減額(b-a)	0	7,904			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	64,806	17,904			
B. 執行済額		64,140	17,333			
うち交付金充当額		51,311	13,866			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.0%	96.8%			

予算の状況の説明

補助金:沖縄県鮮魚卸流通協同組合　4件　補助金　14,705,203円、那覇市沿岸漁業協同組合　1件　補助金　1,831,500円、泊魚市場買受人協同組合　1件　補助金　346,908円
委託料:随意契約(法令167-2-1)　委託料　449,998円
計画に基づき実施できた。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･マグロ解体ショーの実施　･マグロ料理選手権の開催　･まぐろPRテレビ特番　･市魚マグロPR委託事業	目　標	（各指標項目の実施）	（各指標項目の実施）	（　）	（　）
	実　績	各指標項目の実施	各指標項目の実施		
･高校でのマグロを使用した料理教室の開催	目　標	（　）	（各指標項目の実施）	（　）	（　）
	実　績		各指標項目の実施		

達成状況説明

市内の漁業協同組合等によるイベント5回の開催した。
市内高等学校での高校生の食育活動や市、主催等のイベント等でのマグロのPR活動の実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
市魚マグロ等イベント開催回数	目　標	（　）	（3回）	（5回）	（　）	（　）
	実　績		5回	5回		
【参考指標】市魚マグロ等イベント来場者数	目　標	（　）	（20,000人）	（40,000人）	（　）	（　）
	実　績		20000人以上	80,000人以上		

進捗状況説明

来場者の実績として、「那覇ﾏｸﾞﾛまつり」は7,000人、「泊いゆまち食堂」は30,435人、「泊いゆまち父の日お魚ﾌｪｱｰ本まぐろ祭り」は27,392人「泊いゆまち勤労感謝祭」は18,199人、「ﾏｸﾞﾛの解体ｼｮｰと試食会」は600人の来場者があり、目標は達成された。
また、テレビ特番によるイベントでは、放映が3月2日(日)に放映された。視聴者数は大凡14～21万人と推測され、大きな反響がありPR効果は非常に大きかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ｲﾍﾞﾝﾄ等の内容や効果について更なる検討が必要。事業者は昨年の１事業者より３事業者に増加。	補助事業も浸透してきたところであるが、補助事業だけにたよる形態から業務委託等も考慮した事業転換も必要と思われる。

今後の取り組み方針

水産業振興の為にイベント等の補助金事業の他に新たな事業展開を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,673	17,333	13,866	3,467	11,340

- 那覇市 17,333千円
  - 委託料 450千円 → 沖縄鮮魚卸流通協同組合 450千円（高校におけるマグロをとおしての食育活動、市主催等のイベントでマグロ解体ショー等PR業務委託）
  - 補助金 16，883千円
    - → 那覇市沿岸漁業協同組合 1，831千円（那覇マグロまつりイベントの経費に対する補助（（協同組合負担分（交付対象外経費2，738千円））
    - → 沖縄鮮魚卸流通協同組合 1，125千円（泊いゆまち食堂イベントの経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費1，375千円））
    - → 沖縄鮮魚卸流通協同組合 3，470千円（泊いゆまち父の日お魚フェア～本まぐろ祭り～イベントの経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費4，397千
    - → 沖縄鮮魚卸流通協同組合 3，470千円（泊いゆまち勤労感謝祭イベントの経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費1，083千円））
    - → 沖縄鮮魚卸流通協同組合 6，640千円（まぐろPRテレビ特番ガチ対決まぐろ王決定戦イベント番組に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費1，660千円））
    - → 泊魚市場買受人協同組合 347千円（マグロの解体ショーと試食会イベントの経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費87千円））

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・地方自治法施行令第167条の2第1項及び那覇市契約規則第21条第1項に基づき50万円を超えない予定価格による随意契約 ・水産物流通支援事業補助金交付要綱により適正に支出している。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	漁船近代化機械設置推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯･島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	本市水産業の振興発展を図るため、漁船の近代化装備に対する支援を行う。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,000	4,000			
	(b)予算現額	8,000	4,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	8,000	4,000			
B．執行済額		6,960	4,000			
うち交付金充当額		5,567	3,200			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		87.0%	100.0%			
予算の状況の説明		補助金:那覇地区漁業協同組合組合員　6件　補助金　2,000,000円、那覇市沿岸漁業協同組合組合員　7件　補助金1,000,000円、沖縄県近海鮪漁業協同組合組合員　8件　補助金1,000,000円　を実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
漁船近代化機器設置に係る一部経費の支援	目　標	（　20件　）	（　10件　）	（　）	（　）
	実　績	20件	21件		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇地区漁協(6件)、那覇市沿岸漁協(7件) 及び沖縄県近海鮪漁協(8件)の3漁協を介して補助申請手続きを行い、漁船の近代化装備や漁具等購入の補助を実施し、漁船の安全操業や漁獲量の向上に寄与した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
漁船近代化機器設置の補助申請者数	目　標	（　）	（　20件　）	（　10件　）	（　）	（　）
	実　績		20件	21件		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：目標件数より上回る補助件数で目標を達成した。今後も漁船の近代化装備や漁具等の補助申請が見込まれるため引き続き同様な補助額を維持していきたい。

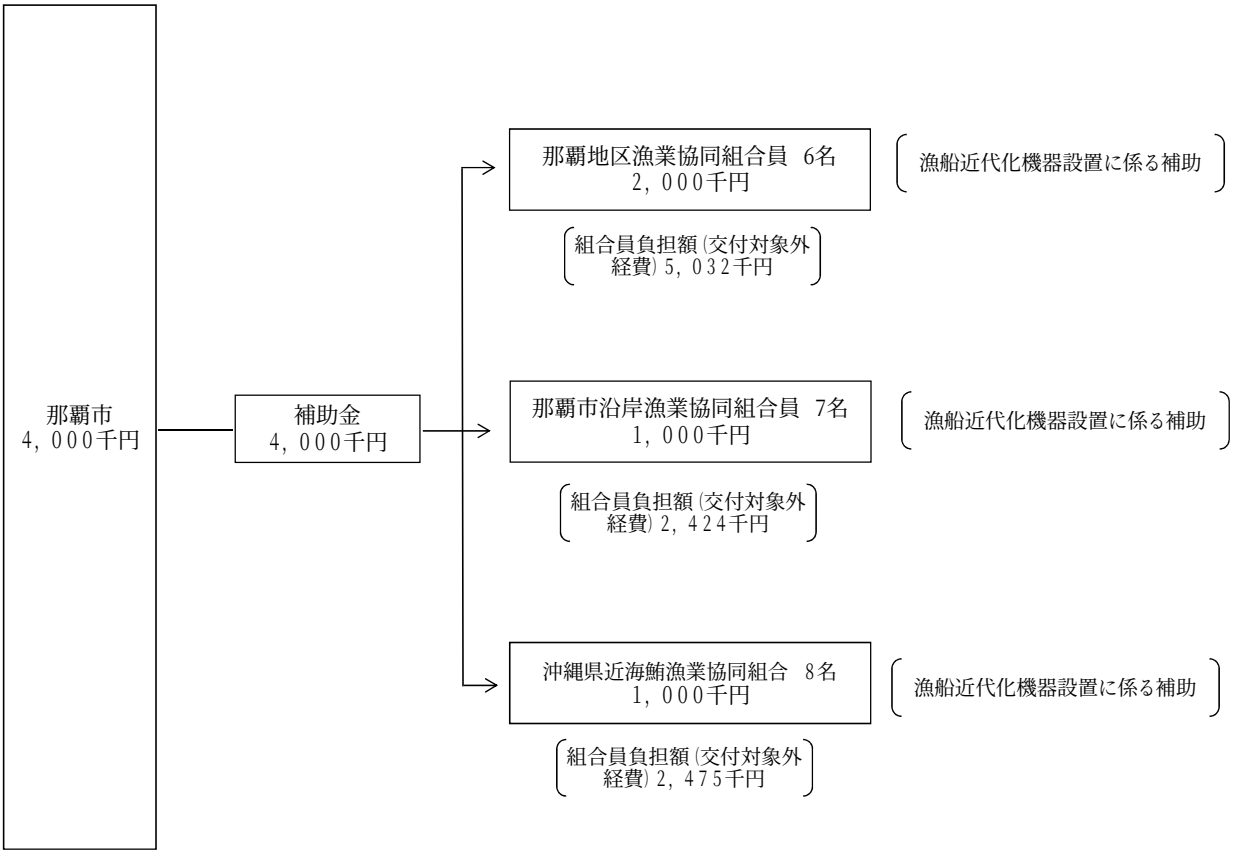
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	実績として那覇地区漁協は6件、沖縄県近海鮪漁協は8件、那覇市沿岸漁協は7件の申請件数となっている。	補助件数、補助金額とも良好に事業を実施しており、今後もこのレベルを維持できるように、3漁協に対し積極的（説明会の実施等）に働きかけていきたい。

今後の取り組み方針

今後もこの執行率を維持できるように3漁協と密に情報交換を行っていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,931	4,000	3,200	800	9,931



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策補助金交付要綱に基づき適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	那覇市農業振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－エ 農林漁業の担い手の育成･確保及び経営安定対策等の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)
事業内容	本市在住農家の農業振興発展を図るため、ビニールハウス及び農機具等の整備にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	22,500	20,000			
	(b)予算現額	22,500	20,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	22,500	20,000			
B．執行済額		9,983	16,762			
うち交付金充当額		7,986	13,409			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		44.4%	83.8%			
予算の状況の説明		農機具等への補助申請が少なかったため、予算の執行が若干少なくなっているが、前年度に比べると執行率は改善している。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ビニールハウス、農機具等の整備に係わる一部経費の支援	目　標	（　50%補助　）	（ビニールハウス補助 80% 農機具等50%補助）	（　）	（　）
	実　績	50%補助	ビニールハウス補助 80% 農機具等50%補助		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ビニールハウスや農機具等の農業経営基盤への補助事業と出荷箱への購入補助等の農業経営支援としての補助事業を実施した。農業経営の基盤強化及び農家の所得向上を図ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
ビニールハウス、農機具等の補助申請数	目　標	（　60件　）	（　50件　）	（　50件　）	（　）	（　）
	実　績		54件	9件		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：補助金要綱の改正により、従来は市から農家へ直接補助金を出していたが、一部の補助金について沖縄県農業協同組合もしくは沖縄県花卉園芸農業協同組合を通して農家へ補助する方法にかえたため、補助件数は減少している。しかし、間接的な農家への支援実績は53件となっている。

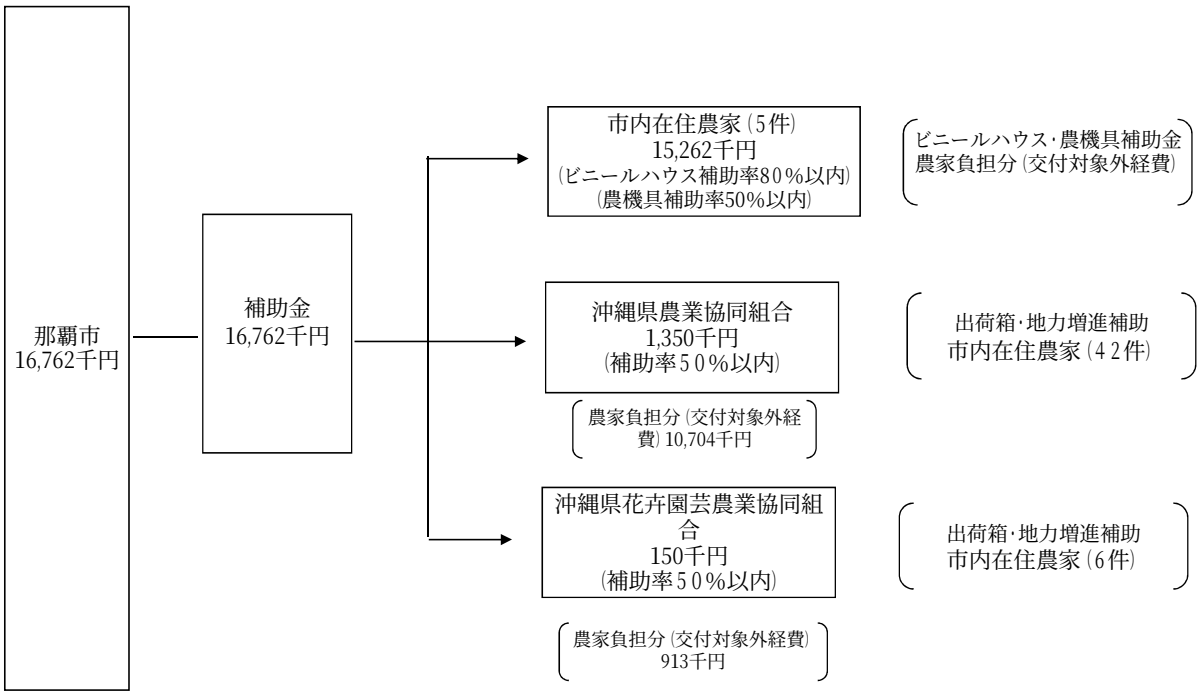
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	農機具等について関係機関等からの助成要望量調査より実際の補助申請件数が少なかった。 助成要望調査結果と申請件数に開きがあった。	本市在住農家の現状を圃場のある市町村と情報交換をしながら、必要とされる補助事業の設定を再検討する必要がある。 助成要望調査の内容を検討する。

今後の取り組み方針

本市在住農家の現状を農業普及センター及び他市町村の農業委員会、農業関係課と連携をより密にとり、補助事業の見直しを行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,178	16,762	13,409	3,353	21,416



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市農業振興対策補助金交付要綱に基づき適切に執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	地産地消推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)-イ 流通･販売･加工対策の強化
担当部課名	学校教育部　学校給食課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	地産池消コーディネーターを配置し学校給食における給食の教育的意義を十分に認識し、生鮮野菜類の生産及び出荷の状況を把握し、学校給食が必要とする食材の情報及び食材の斡旋など生産者と学校給食のコーディネート業務を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,669	6,856			
	(b)予算現額	5,669	6,856			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	5,669	6,856			
B．執行済額		5,669	6,856			
うち交付金充当額		4,535	5,484			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。 業務委託料は毎月の業務内容により、11ヶ月分(委託期間)に分割して支払った。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･食材提案会 ･産地研修 ･生産者との交流(勉強会) ･パンフレット作成 ･栄養士･調理員向け勉強会	目　標	(　実施　)	(　実施　)	(　　)	(　　)
	実　績	実施	実施		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明	那覇市地産地消会議が3回、学校給食週間県産農産物展示(H26.1.20～1.24)、那覇市農産物勉強会が3回、学校給食関係者向け料理教室が1回、那覇市産地視察が2回開催され学校給食の地産地消の拡大に取り組み、目標を上回った。 また、県産野菜の理解を深めるため、学校給食週間(H26.1.20～24)の食育活動の一環として、小学校3年生対象に地産地消パンフレット(「地産地消って何だろう？」)を配付した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類)：30%	目　標	(　26.2%　)	(　28.0%　)	(　30.0%　)	(　　)	(　35.0%　)
	実　績		29.2%	31.0%		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明	地産地消コーディネーターから提供される旬の食材の情報や学校給食で活用された献立等の資料により、地場産物の学校給食への導入がしやすくなった。

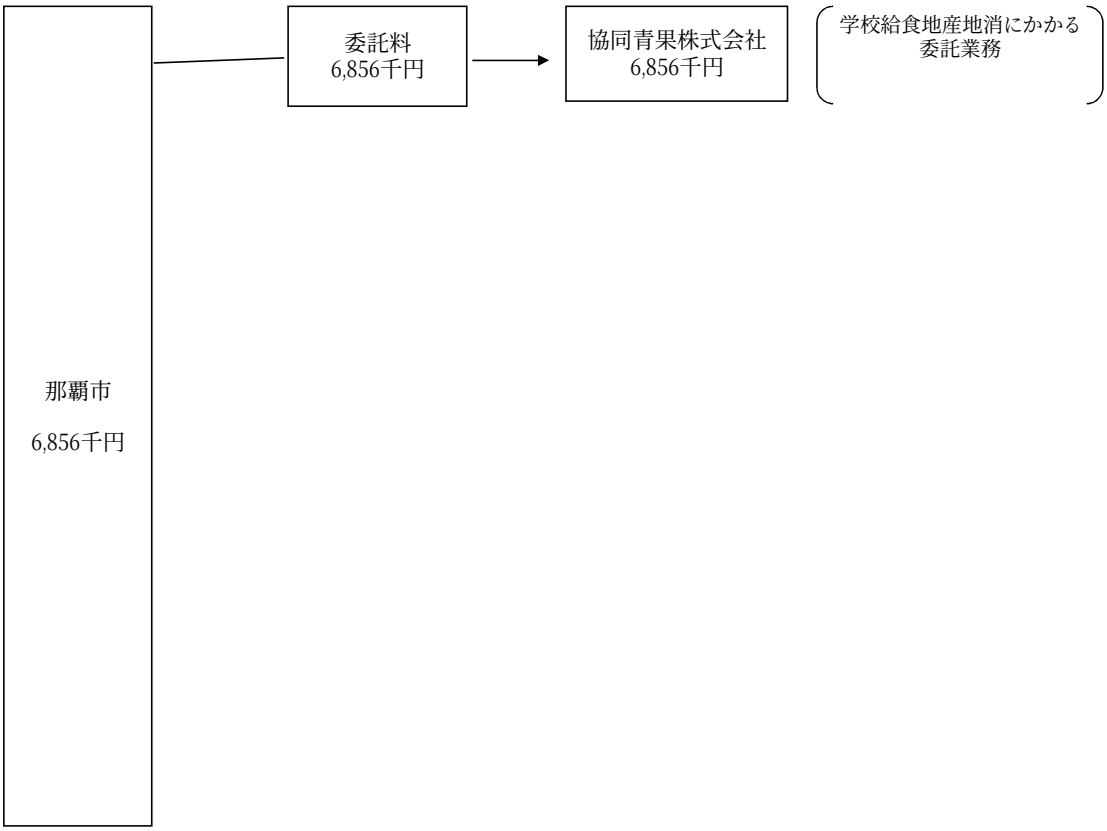
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業推進上の問題として、県産野菜は天候不良による影響を受けやすく、生産量が少ない、または、品質不良になるという時期がある。 従って、天候不良による地場産物を使用する割合が減るという状況に対応する必要がある。	地産地消会議、農産物勉強会、産地視察などを通して、地産地消コーディネーター及び栄養士等・納品業者・生産者・協同青果との連携強化を図りながら、天候不良等による影響を受けにくい需給体制の構築を検討する。

今後の取り組み方針

今後も、地産池消コーディネーターを活用し、学校給食食材に使用される地場産の生鮮野菜類の生産及び出荷の状況を把握し地産地消の拡大に取り組む。
また、モデル校（8校、地産地消会議・農産物勉強会への参加）を決め、学校給食における地場産物の使用する割合を高める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,856	6,856	5,484	1,372	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	農林水産大臣の営業許可(S59.4)を受けた沖縄県中央卸売市場唯一の卸業者である沖縄協同青果株式会社へ業務委託することで、本市産業の振興発展が図られ、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みが行われ、本市農業の振興に寄与できた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	ワッター野菜がジョートーサー事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－イ 流通･販売･加工対策の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)
事業内容	本市産業の振興発展を図るため、鏡水大根の種子の増産及び担い手の育成、また地元農家がつくった野菜の普及推進及び農作物認知度向上への支援事業を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,200	3,841			
	(b)予算現額	1,200	3,841			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	1,200	3,841			
B．執行済額		579	2,868			
うち交付金充当額		463	2,294			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		48.3%	74.7%			
予算の状況の説明		「地元野菜がジョートーサー事業」と「鏡水大普及流通促進プロジェクト」の2つの委託事業を実施。「鏡水大根普及流通促進プロジェクト事業」については、肥料、農薬等の資材が予想よりもかからなかったため、執行額が低くなっている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
(地元野菜がジョートーサー事業) 地元野菜の料理講習会等、PR活動支援	目　標	（3講座）	（5回実施）	（　）	（　）
	実　績	3講座	5回実施		
(鏡水大根普及流通促進プロジェクト) 鏡水大根の種子の保存･普及。	目　標	（6000粒）	（1万粒）	（　）	（　）
	実　績	約7000粒	約1万粒		

達成状況説明：本市在住農家が生産した農作物を活用した食材提案会を市内ホテルで5回実施した。
ホテルシェフによるレシピづくりも行い、本市在住農家の情報等と合わせてパンフレットにし、配布しPRを実施した。
沖縄県農業協同組合へ委託し、鏡水大根の種を1万粒まで増やすことができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
地元野菜を活用した料理講習会参加者数	目　標	（　）	（60人）	（60人）	（　）	（　）
	実　績		64人	115人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：食材提案会の実施により、那覇市在住農家及び農作物のPRを行うことができた。またホテルシェルによるレシピ作りを行い、食材の新たな魅力を伝えることができ目標を達成した。
鏡水大根の種子の増産と担い手の育成を行うことができた。

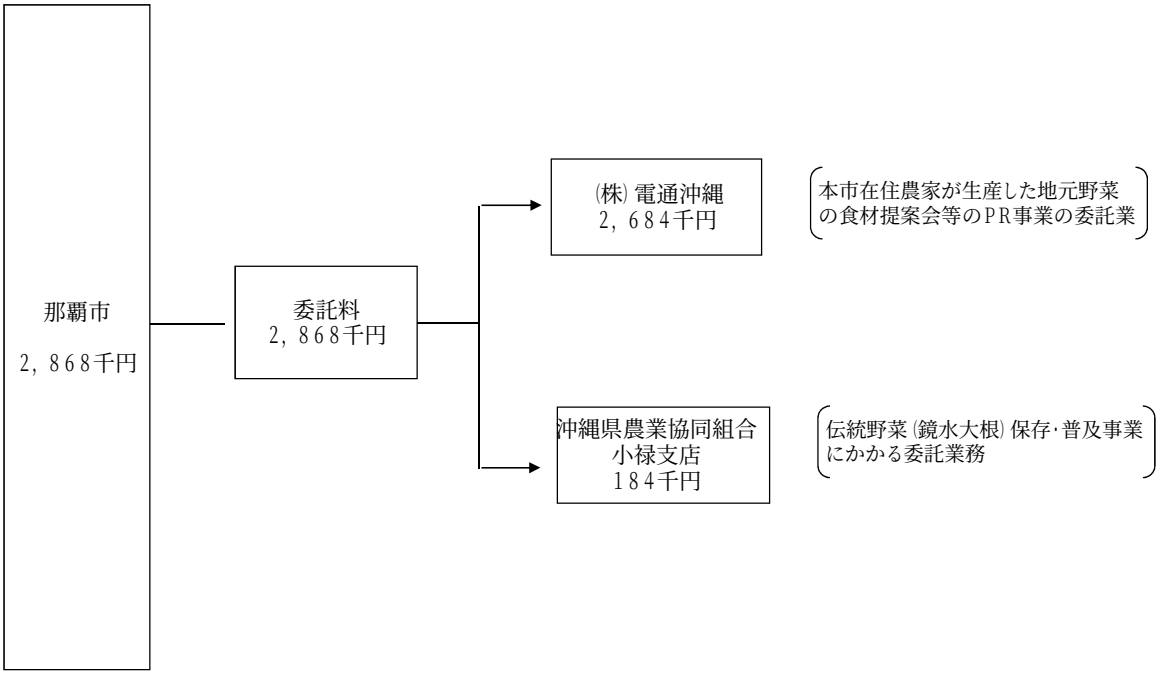
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ホテルを活用しての食材提案会により、本市農家が栽培してる農作物の新たな料理方法を提案することができた。また農家も可能な限り提案会に参加したため参加者者へ生産者への生の声を届けることができ、また飲食店関係者等、食材を取り扱う業者もあった。ただ収穫繁忙期等により全部の提案会で農家が参加することはできなかった。 鏡水大根については、種の普及のほうは計画通りに進んでいるが、生産物に若干のばらつきがあるため、今後、品質の安定、優良品種の選別を進める必要があると感じた。規格外の大根についても利用価値を見いだすことが必要と感じた。また担い手の人数もある程度増えてきているが、今後は技術の向上を図ることも必要と感じた。	食材提案会では、毎回必ず生産農家が参加し、参加者と交流をもてるような方向にする。 品質の安定化と優良品種の選別を強化するような方向にする。 規格外のものに利用価値をつけるような方法を検討する。 担い手の技術向上を検討する。

今後の取り組み方針

ホテルでの食材提案会を行ったが、ほかの飲食関係業者を活用しての食材提案会の実施を検討し、また本市農家が生産する農作物の新たな掘り起こしとPRを圃場のある市町村と情報交換を行いながら実施することを検討する。
鏡水大根の事業協同組合および栽培指導をおこなっていた農協と情報交換を行い、事業実施後の検証を話合いながら今後の方向性を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,868	2,868	2,294	574	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	【地元野菜がジョートーサー事業】 地方自治法施行令167条の2第1項2号に基づき随意契約を締結（プロポーザル形式） 【伝統野菜・保存普及事業】 地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約 （受託業者でしか本事業の遂行は困難）
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥	第3次那覇市水産業振興基本計画基礎調査		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯･島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	本市の水産業振興を図るため、社会状況や水産関係を取り巻く環境に応じた振興計画の策定が必要なため、水産業振興基本計画基礎調査を実施する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	9,964				
	(c)増減額(b-a)	9,964				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	9,964				
B. 執行済額		9,754				
うち交付金充当額		7,803				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.9%				
予算の状況の説明		随意契約(法令167-2-2)ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式による一般公募:委託料　8,914,500円、事務費　賃金 729,264円　社会保険料 104,405円　雇用保険料 5,911円で事業を実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
水産業基礎調査(現状分析･課題把握等)の実施	目　標	（　調査の実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	水産業基礎調査の臨時職員の採用や業務委託を行い基礎調査を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
「第3次那覇市水産業振興基本計画」策定に向けた那覇市水産業の現況及び課題の把握、基礎資料の整理	目　標	（　）	（基礎調査の整理）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査の整理			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	那覇市水産業の基礎資料の整理及び現況及び課題の把握することが出来た。 成果目標は予定どおり達成した。					

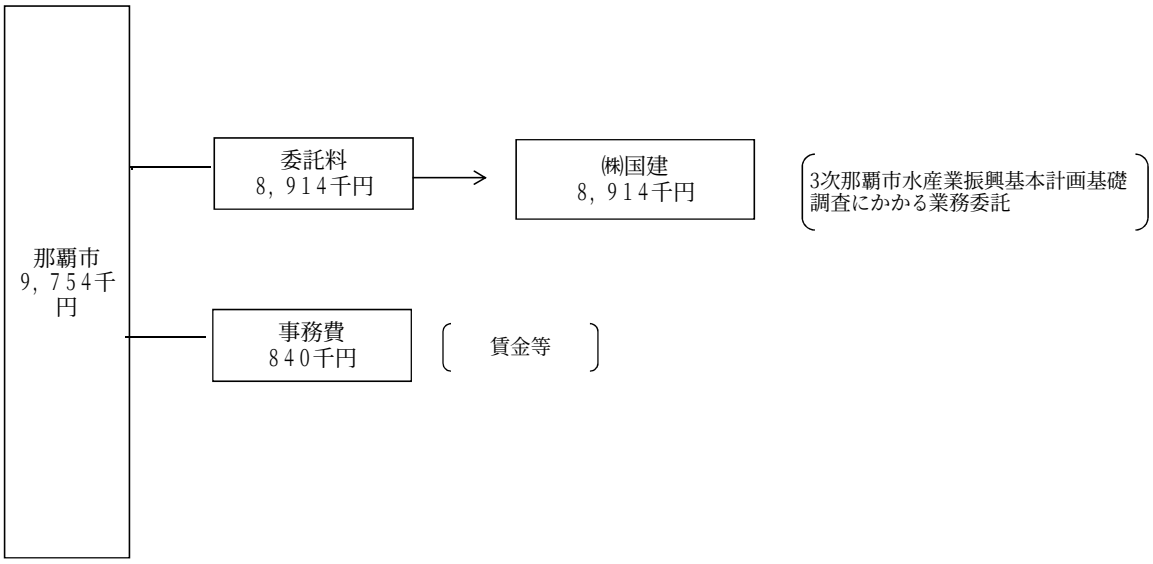
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業執行までの準備期間が短く、委託契約から事業終了までの期間が短く詳細に事業内容を検討する時間が必要であった。	今回実施した基礎調査では、那覇市の水産業の現況や、水産業取り巻く状況として、漁業実態、漁場、生産基盤、漁業生産団体、水産業関連事業及び水産業の課題等が成果として報告されており、平成26年度予定している「第3次那覇市水産業振興基本計画」策定の基礎資料として活用し、本市の水産業の課題解決や今後の方向性、方針策定を行う。

今後の取り組み方針

「第3次那覇市水産業振興基本計画」の策定を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,754	9,754	7,803	1,951	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	小禄クンジー復元支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(5)－イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(7)

事業内容

伝統産業の振興のため、戦災で途絶えた「小禄クンジー」を復元し、市内の観光施設等に展示することにより、本市の魅力ある観光資源の一つとなるよう支援する。
具体的には、小禄クンジーの技法を復元し着物を2着完成させる。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,570				
	(b)予算現額	2,570				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	2,570				
B．執行済額		2,570				
うち交付金充当額		2,056				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		小禄クンジー研究会へ、小禄クンジーの復元及び着物２着の製作業務を2,570千円の随意契約で委託し、事業計画どおり執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
小禄クンジーの復元	目　標	（　着物2着　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2着完成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：資料や現存している小禄クンジーを調査のうえ技法を復元、及び着物２着の委託製作を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
小禄クンジーを復元し、着物を仕立てる	目　標	（　）	（　着物2着　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2着完成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：資料や現存している小禄クンジーを調査のうえ技法を復元し、着物２着完成した。
完成した着物を、展示発表し、小禄クンジーの知名度向上に努める目標を達成した。

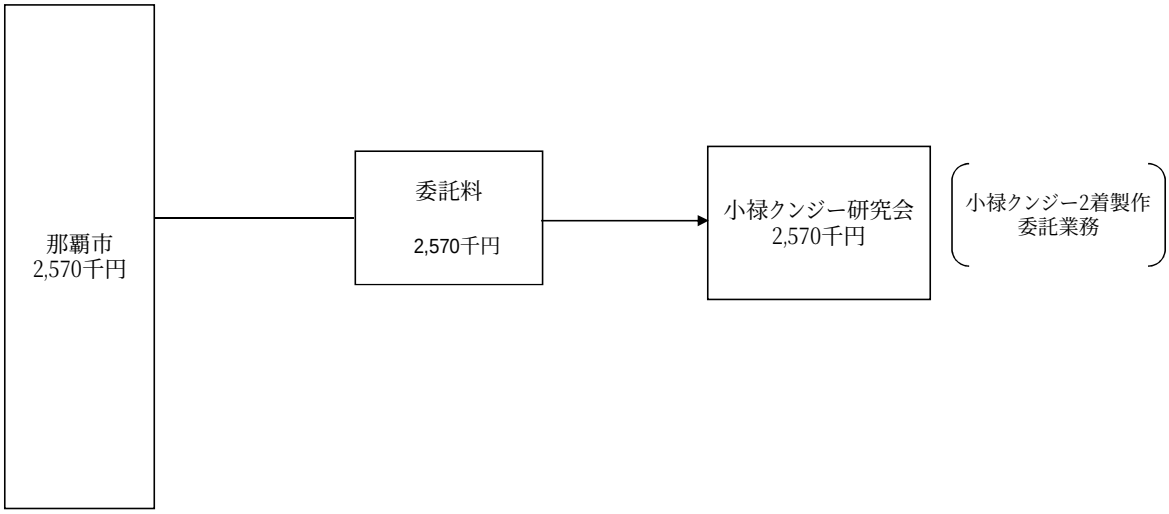
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	資料や現存している小禄クンジーを調査のうえ技法を復元し、着物2着完成した。 県内の伝統的工芸品のうち11品は織物であるが、それらの織物と、どのように差別化を図るかという課題が浮上した。	産業化していくため、他の織物との違いを鮮明にして、強みをのばしていくための研究や活動のあり方を検討する。

今後の取り組み方針

当該事業は終了するが、小禄クンジー研究会と連携して、復元した小禄クンジーの産業化について検討していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,570	2,570	2,056	514	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約だが、この事業者以外小禄クンジーを製作できる事業者がいないため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	農連市場相対売り継承調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑻-イ 地域を支える中小企業の振興
担当部課名	都市計画部　市街地整備課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑺

事業内容

農連市場地区防災街区整備事業において、既存店舗を集約した新たな商業施設が計画されている。そこで、現在の農連市場地区にみられるマチグヮー文化の特徴である相対売り等を生かした商業形態を継承し、商業の活性化を図ることを目的とした新たな商業施設の運営計画等の調査に対して補助をおこなう。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　■その他（事務費）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,000	4,050			
	(b)予算現額	6,000	4,050			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―				
	A．計(b+d)	6,000	4,050			
B．執行済額		6,000	4,019			
うち交付金充当額		4,800	3,215			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	99.2%			

予算の状況の説明：ほぼ計画通りに執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
相対売り等継承調査への支援	目　標	(　1件　)	(　1件　)	(　　)	(　　)
	実　績	1件	1件		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：農連市場地区における相対売り継承を可能とするため、H24年度に実施した商業施設の成立性、方向性及び配置計画等の検討結果を基に、出店者ヒアリングを行い、施設の具体的な配置計画の作成、ルール検討、店舗運営方針の検討等を実施できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
相対売り等継承調査への支援	目　標	(　0件　)	(　1件　)	(　1件　)	(　　)	(　　)
	実　績		1件	1件		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

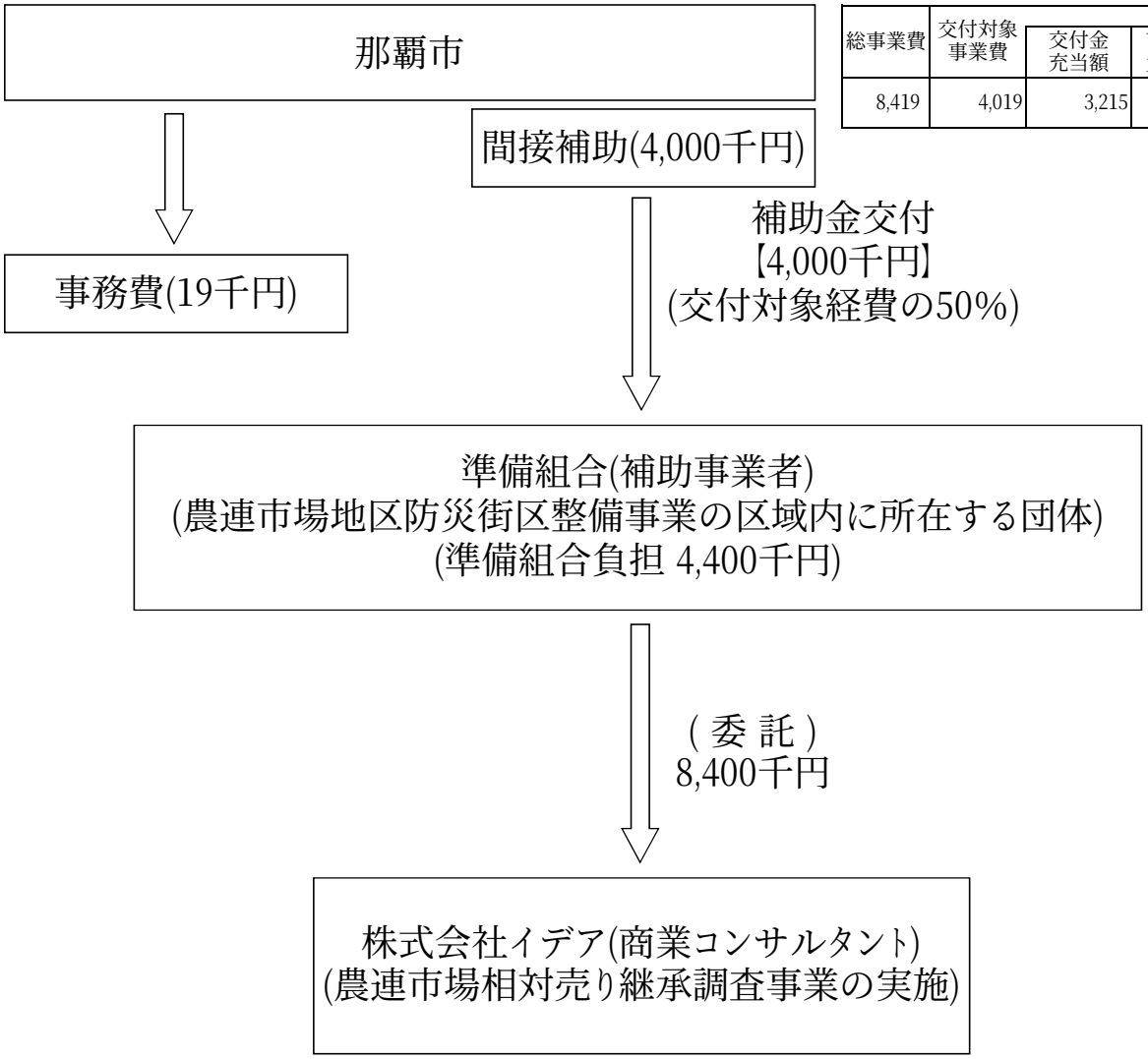
進捗状況説明：事業の実施により、新たな商業施設整備に向けて農連市場地区内の個人卸業者や小売店舗営業者の士気が高まってきており、相対売り等を生かした商業形態の継承、一般消費者をターゲットとする小売店舗への業態変更等による商業の活性化についての理解が得られた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新たな商業施設整備の配置計画確定に向けて、権利者への理解を得るための十分な説明が必要となる。	権利者への説明を十分に行い、理解を深めた上で権利者の意向を取りまとめる必要がある。

今後の取り組み方針

農連市場相対売り継承調査事業は、H25年度で補助事業を終了する。今後は農連市場地区防災街区整備事業において、当該事業の調査結果を基に、現在の農連市場地区にみられるマチグヮー文化の特徴である相対売り等を生かした商業施設にするために整備を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,419	4,019	3,215	804	4,400

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は、業務遂行に必要な商業･経済･流通に関する高度な専門知識やノウハウ及び全国ネットの情報の集積や実績等を勘案した上で選定しており妥当であった。 ・予算規模、受益者との負担関係においては、交付申請を受けた際に書類により事業目的･概要を審査し適正であった。 ・費目･使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－ア
					中小企業等の総合支援の推進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品･サービスを県外･海外へ販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a)当初予算額	30,929	33,790			
予算の状況 (b)予算現額	30,929	33,790			
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0	0			
予算の状況 (d)繰越額	－				
予算の状況 A．計(b+d)	30,929	33,790			
B．執行済額	9,567	26,707			
うち交付金充当額	7,653	21,365			
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	30.9%	79.0%			

予算の状況の説明：物産展の業務委託について、ほぼ計画通り執行できたが、補助金については、当初の事業計画より応募が少なく、低調な執行率となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
販路拡大支援補助金	目　標	（県外/14社 海外/7社）	（県外／10社 海外／6社）	（　）	（　）
	実　績	県外/3社 海外/2社	県外/9社 海外/3社		
販路拡大イベントの実施	目　標	（福州市での開催）	（県外1カ所 海外1カ所）	（　）	（　）
	実　績	シンガポールにて実施	福岡とシンガポールにて実施		

達成状況説明：
･販路拡大支援事業補助金を募集し、9社の申請があり、9社が採択された。うち県外9社、海外3社である。(県外、海外両方に会社を持つ企業あり)
･海外向け県産加工食品等販路拡大支援事業(受託者:沖縄県物産公社)について、平成25年8月に福岡ヤフオクドームで平成26年2月にシンガポール伊勢丹にて物産展及び観光プロモーションを実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
助成対象期間内における補助金採択事業者の商談件数及び成約件数	目　標	（商談件数100件 成約件数5件）	（商談件数100件･成約件数5件）	（商談件数150件･成約件数20件）	（　）	（　）
	実　績		商談件数141件 成約件数13件	商談件数208件 成約件数21件		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･補助の実施により、商談件数が208件あり、うち成約件数が21件となり目標を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●福岡とｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙでの物産展は、天候に左右されることと、経費の割りには、その後の商談への取組み体制が弱く、新規の販路開拓にいたっていない。 ●H24年度までは補助金対象は新商品･サービス等を見本市･展示会等へ出展費用としていたが、執行率が低調であったため、助成対象に物産展も加えたが、それでも応募者数、予算執行率は低調であった。	●補助金については、H26年度は事業内諾が4月であったため、速やかに募集開始でき、採択件数･助成金額とも増となるものと考える。 ●あわせて、広報についても、すでに経済関係団体へチラシ配付･広報依頼しており、前年度以上に本事業の周知徹底がなされるものと期待している。

今後の取り組み方針

●補助金について、既存の見本市･展示会等の出展費用だけでなく、全国･海外向けECサイト等への出店等、または国･県の支援策以外にかかる費用なども助成できるような、交付要綱･募集要項等の見直しを今後検討する。
●県外･海外での物産展事業委託については、今後の本市の物産事業の検討も含め、H26年度以降は事業見直し後に実施を検討することとした。
●補助金について、県中小企業家同友会、JETROなどの関係機関と協力し、広報周知を図ることで、申請及び採択企業の増を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,608	26,707	21,365	5,342	4,901

- 那覇市 26,707千円
  - 委託料 19,938千円 → 沖縄県物産公社 19,938千円（海外向け県産加工食品等販路拡大支援事業委託）
  - 補助金 4,068千円
    - ㈱琉堂 1,128千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）1,871千）
    - ㈱マーミヤ 651千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）699千円）
    - ㈱健食沖縄 537千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）537千円）
    - ㈱オキネシア 500千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）512千円）
    - ㈱沖縄物産 455千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）455千円）
    - ㈲名護珈琲 282千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）282千円）
    - ㈱あうん堂 265千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）295千円）
    - カタキチ 169千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）169千円）
    - ひろし屋食品㈱ 81千円（中小企業事業者の県外･海外向け販路拡大支援事業補）（採択企業負担分（交付対象外経費）81千円）
  - 賃金 1,682千円
  - 事務費 1,019千円（共済費、賃金、旅費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	市内企業活性化推進育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－ア 中小企業等の総合支援の推進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－7
事業内容	市内中小企業の経営者層を対象に、専門家による経営ノウハウの再構築を内容とした経営者育成事業を実施、経営力の向上を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,855				
	(b)予算現額	7,855				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	7,855				
B. 執行済額		7,711				
うち交付金充当額		6,168				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.2%				
予算の状況の説明		一般公募によるプロポーザル審査にて随意契約(7,711,200円を上限とした概算契約)。 事業計画通りに講座を実施し、ビジネスプランを作成した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
市内中小企業経営者層に対し、週一回合計3カ月間の育成講座を実施	目　標	(　指標の実施　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	指標の実施			
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明	
	民間企業への業務委託により平成25年11月～平成26年3月(5ヶ月間)の研修期間で1部研修として「気づき研修」(4講座)、2部研修として「ビジネスプラン作成研修」、まとめ研修として「ビジネスプランコンテスト」の育成講座を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
経営者育成事業受講者数:30名	目　標	(　　)	(　30名　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		27名			
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明	
	ビジネスプランを1度も作成したことの無い塾生がプラン発表にあたり、①事業によって生み出される価値、②ビジネスの優位性、③持続性と発展性、④リスクファクターとその対応、⑤収支計画を含んだビジネスプランを作成することができた。またその作成過程において沖縄だけでなく、日本のマクロ的な経済状況や市場トレンドを考慮したものが多く提案されたことは、視野が広がった成果と言える。 目標値を下回った要因としては、全ての講座への参加を募集の条件としたことが、多忙な経営者にとってはハードルが高かったと思われる。

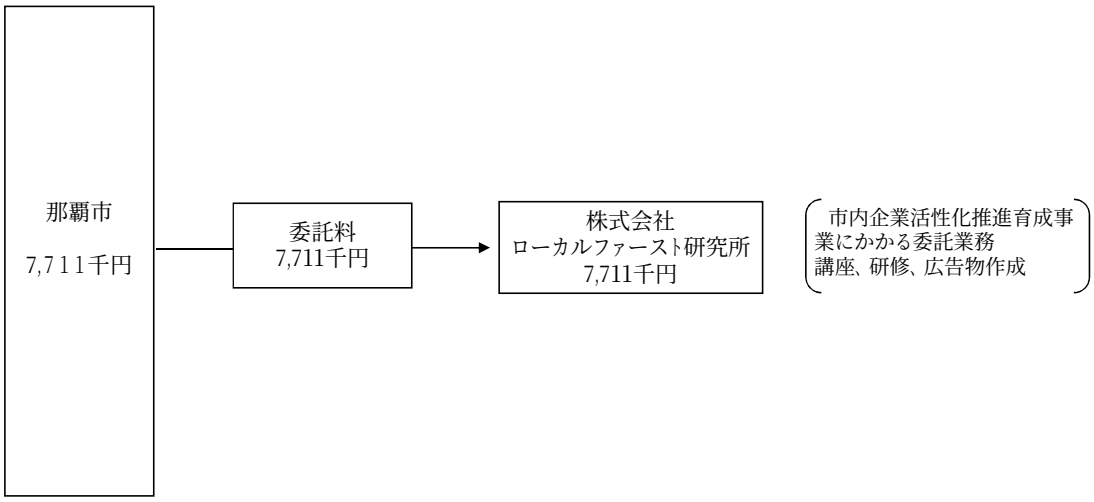
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今回は、全ての講座への参加を募集の条件としたが、多忙な経営者にとってはハードルが高かったと思われる。今後は希望講座だけで参加できる単発コースと一定の期間が必要な研修コース等、多様な研修講座の設定が求められる。	研修を修了した塾生（経営者）が、今後ビジネスプランを前進させるために行政や金融機関、商工会議所等の関係団体と連携をとり支援していく必要がある。また、財務諸表などを理解できる実務研修も並行で行うことでより高い効果が得られると考える。参加者を経営者と限定していたため、参加者が想定より少なかったため、募集要件の拡大や、講座スケジュールや内容の受講しやすい方法への変更等を検討する。

今後の取り組み方針

さらに高い効果が得られるような講座を検討するともに、修了した塾生のフォローアップなど行政や民間同士の連携が図られるような仕組みづくりを構築できるよう検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,711	7,711	6,168	1,543	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑤	頑張るマチグヮー支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)
事業内容	那覇市の中心商店街の活性化に向けた事業を行う者の創意工夫による積極的な取り組み、提案事業を財政支援し、多くの地元客を呼び戻し、中心市街地の活性化を図る。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,000				
	(b)予算現額	30,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	30,000				
B. 執行済額		27,687				
うち交付金充当額		22,149				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		92.3%				
予算の状況の説明		悪天候等の理由により、当初計画していたイベント事業の一部が中止されたため、不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	目　標	(通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援)	(　-　)	(　)	(　)
	実　績	14件			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：中心市街地の活性化に向けた創意工夫による積極的な取り組みを行う商店街及び通り会等に対して、事業費の一部支援を実施した。実績事例として、「AR(拡張現実)を利用した、なはまちなか回遊性向上アプリ事業」や「なつかしのまちぐぁー展」などを支援を実施した。補助事業者は12団体、補助件数は14件である。新天地市場本通り商店街、壺屋やちむん通り会においては、それぞれ2件の事業の支援を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	目　標	(　-　)	通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	(　-　)	(　)	(　)
	実　績		14件			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：商店街及び通り会等が実施した以下の事業に対して、事業費の一部を支援した。
①ＮＰＯ那覇市街角ガイド、②浮島通り会、③壺屋やちむん通り会、④牧志公設市場衣料部、⑤那覇市中心商店街連合会、⑥太平通り商店街、⑦新天地市場本通り商店街、⑧市場本通り会、⑨那覇市平和通り商店街振興組合連合、⑩ガーブ川中央商店街組合、⑪那覇市国際通り商店街振興組合連合、⑫沖映通り商店街振興組合

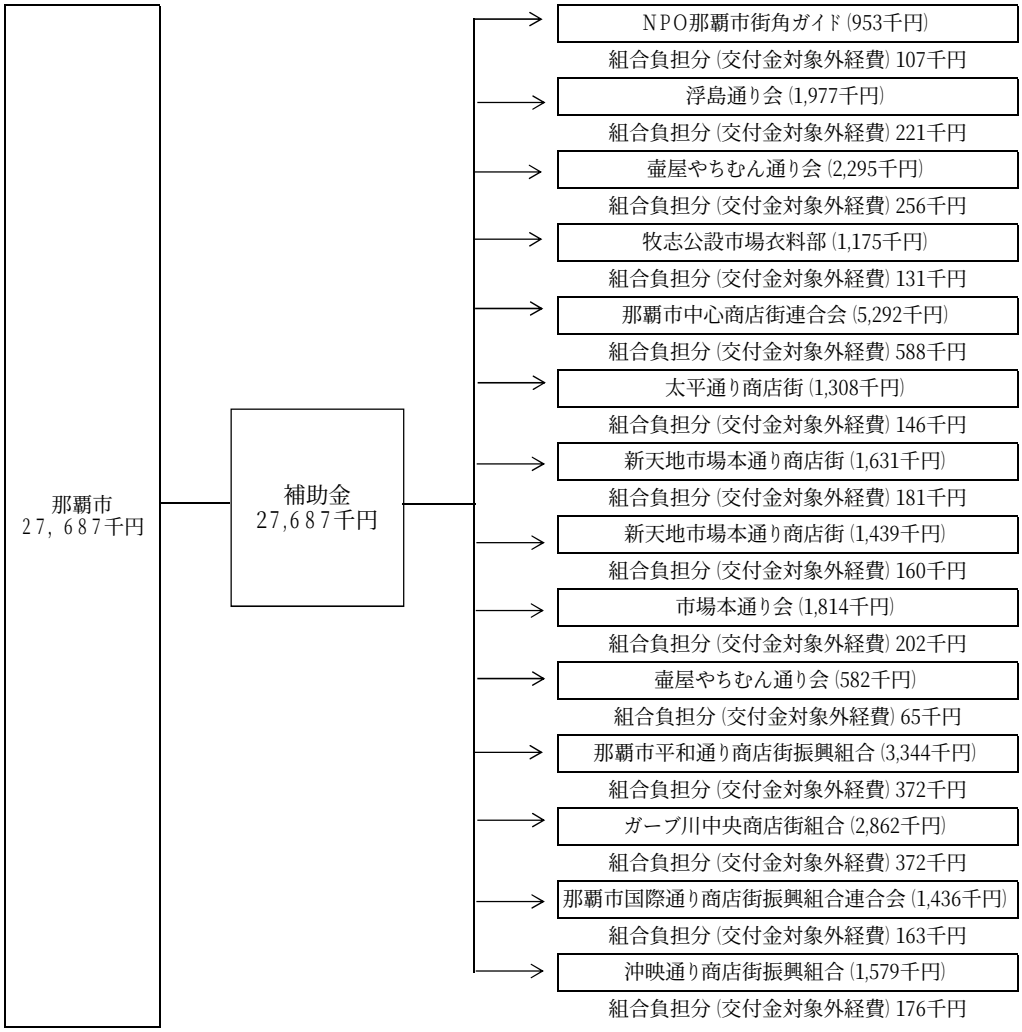
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・今日まで重要な役割を担ってきた中心商店街の落ち込みは、本市へ大きな影響を及ぼすものであり、活性化への展開方策は喫緊の課題となっており、「選択と集中」の視点に立ち、活性化施策の展開が必要である。	・現在は、商店街及び通り会等が主体的に実施するイベントを支援することで、中心市街地の認知度及び集客率の向上を目指している。 将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

今後の取り組み方針

・将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,828	27,687	22,149	5,538	3,140



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である商店街及び通り会は、那覇市頑張るマチグヮー支援基金事業補助金交付要綱に該当しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥	那覇の物産展事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(7)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためＰＲして、産業の振興を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,400	2,000			
	(b)予算現額	1,400	2,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,400	2,000			
B. 執行済額		1,400	2,000			
うち交付金充当額		1,120	1,600			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：・第36回那覇の物産展を開催するにあたり㈱リウボウインダストリーと委託契約を締結した。那覇市のＰＲや那覇市長賞の選考に関する協力と受賞商品をＰＲする等の目的に対し、新たな取り組みで集客を図り、売上に寄与していることから、業務遂行は適切であったと判断する。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
出店業者数：３４店舗以上	目　標	（市長賞応募商品数の増加）	（出店業者34社）	（　）	（　）
	実　績	12点	32社		
	目　標	（物産展への出店業者数の増加）	（　）	（　）	（　）
	実　績	34社			

達成状況説明：市HP等通じ、今回初めて広く公募し(応募２社)、審査会にて選考の結果、㈱りうぼうインダストリーへ委託して実施した。
那覇市長賞の募集、選考会準備を含め、２月に１週間デパート催事会場にて物産展を実施した(県内新聞２誌に広告掲載と折込チラシのほか、テレビCM等で広報)。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
出展業者数：３４店舗以上	目　標	（物産展の売上額 13,731千円）	（物産展の売上額 10,000千円）	（34社）	（　）	（　）
	実　績		10,504千円	32社		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内企業は中小企業者が多く、１週間の物産展出店に職員が派遣できず、臨時休業せざるを得ない状況もあり、新規出店希望が少なく、受託業者(りうぼう)から関連企業への出店を協力依頼した。市内デパートでの本市物産展は県外での物産展と比較し、客の滞留時間が短く、経費以上の売上を見込めない場合が多く、出店者数が微減傾向である。
平成25年度は、出展業者数はやや目標に達しなかったが、実演販売や動員企画など好評を博し、売上額については対前年比で約23%増となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●ここ数年物産展への出店者数と売上額が伸び悩んでおり、工芸品等を扱う業者より食品業者の出店が中止となっている。売上額増を目指すには、新規出店業者や食品以外を取り扱う業者を増やすことが重要である。そのためには、物産展事業の広報周知、地元商店街等との連携が必要。 ●25年度の市長賞商品の募集に関しては、過去最高の17社の応募があり、新商品開発意欲のある事業者が微増傾向にあるものと考える。市長賞授賞商品は物産展の新聞折込チラシ、テレビCM等で広く周知されるため、宣伝効果はかなり大きい。	●今後については、集客数と売上額の増につながる、賑わい企画、実演販売、商品演出方法等、これまでとは違った、新たな取り組みを実施していく。また、それに向けて、那覇市、市内企業、委託業者等と連携して、企業や商品のＰＲに結びつけ、相互に情報提供、支援していける体制づくりに結び付けていけるようにしたい。 ●新規出店業者の開拓 ●出店しやすい環境整備

今後の取り組み方針

●平成26年度事業実施後の実績をみて、今後、市内での物産展については、「中小企業事業者の県外･海外への販路拡大事業」や「那覇市の観光展」など他事業との連携や、合同開催、一部事業の変更等も含め、検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,000	2,000	1,600	400	0

那覇市 2，000千円 → 委託料 2,000千円 → 株式会社リウボウインダストリー 2,000千円 （物産展開催にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、市内百貨店、大手スーパー数社へ打診･公募予定だったが、受託可能業者は1社（リウボウ）しかなく、やむを得ず随意契約を締結。地理的条件（公共交通機関網の充実、市庁舎近隣）、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑦	沖縄の産業まつり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(9)－イ
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ－1－(7)
事業内容	平成9年から本市で開催されている「沖縄の産業まつり」で本市の特産品コーナーを確保し、本市の地場産業の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）の受賞企業に対し、その商品のＰＲ活動を支援する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	700				
	(b)予算現額	700				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	700				
B. 執行済額		392				
うち交付金充当額		313				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		56.0%				
予算の状況の説明		当初は1事業者あたりの出展料7万円の全額補助を検討していたが、受益者負担の観点から出展料の全額補助ではなく、8割を補助として実施した。また、10業者募集に対し7業者の申込があり、7業者の出展（出展料補助）となったため、執行率が下がっている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	27年度
本市特産品のＰＲ活動等支援	目　標	（　募集広告10件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	広告実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市のホームページにおいて本事業の那覇市特産品コーナー出展業者を10業者募集の広報を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
市の特産品コーナー出展店舗数：10件	目　標	（　）	（　出展10件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		出展7件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：7業者から申込があり、出展（助成決定）者は7業者と目標を達成できなかった。
本市ホームページのみでの募集であったため、本事業の周知方法に検討の余地あり。なお、7事業者で約290万円の売上があった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	産業まつり事務局である沖縄県工業連合会と協調し、市町村の特産品コーナーの枠を確保していく。（枠を減らさないように努力していく。）	本事業の公募にあたり、広報媒体の検証が必要である。平成25年度は市のホームページのみで広報していたが申込者数が募集数に満たなかった。今後は市メールマガジンの活用等も検討していく。

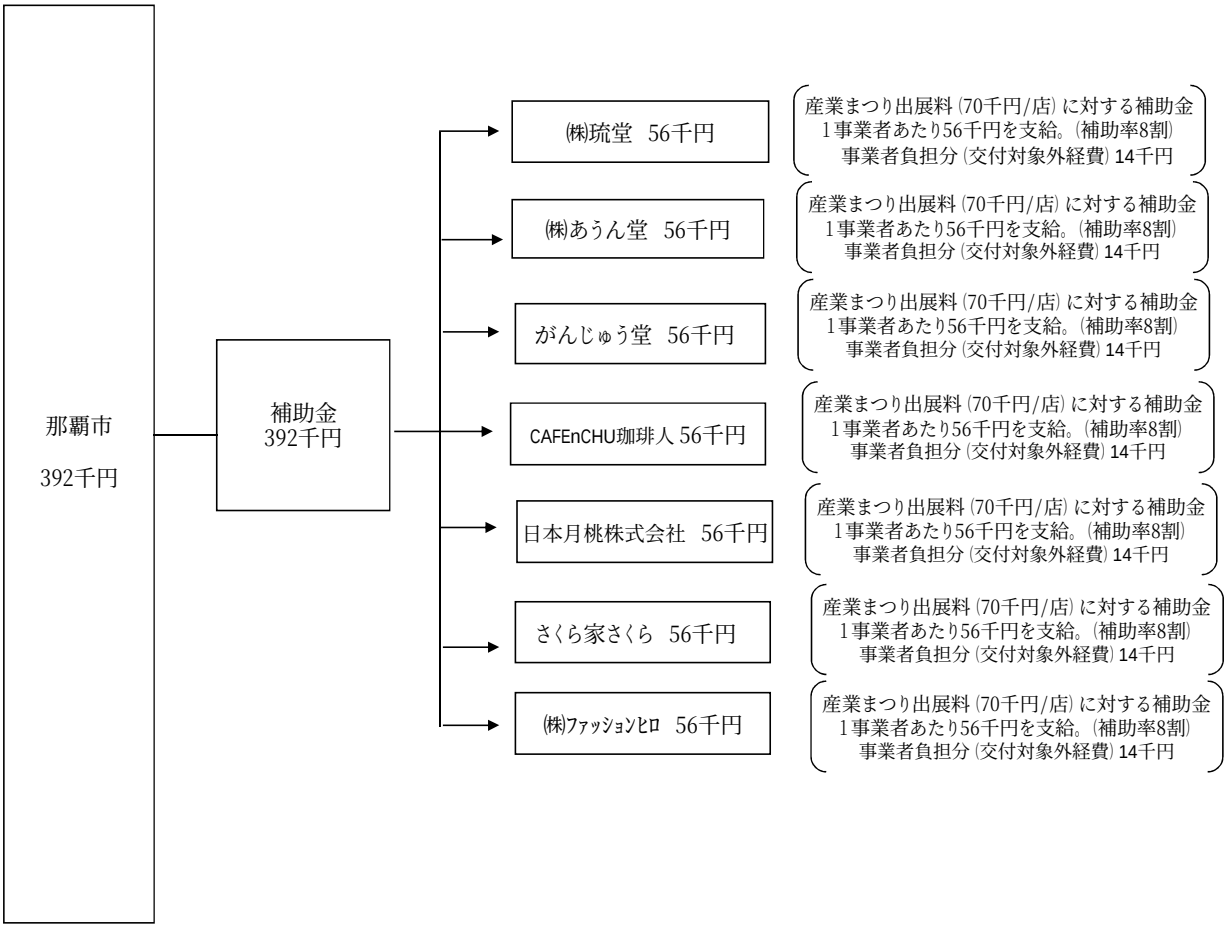
今後の取り組み方針

那覇物産展における那覇市長賞受賞企業との連携と、広報活動の強化により申込業者の増加図り、那覇市の特産品のＰＲに繋げていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

申込（那覇市）→交付決定（事業者通知）→産業まつり申込（沖縄工業連合会）→産業まつり出展→交付確定（那覇市）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
490	392	313	79	98



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・市町村コーナー出展業者（助成対象者）について沖縄の産業まつり出展審査委員会にて決定している。 ・予算額については、産業まつり事務局が本市からの募集業者数を10店舗以内としており、出展料7万×10店舗で計上しているが、次年度以降は検討する。 ・出展料7万円のうち、現在は市が8割助成している（助成額：56千円/店）　・助成対象経費は出展料のみ。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑧	企業誘致活動サポート事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(3)－ア 情報通信関連産業の立地促進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,000	10,000			
	(b)予算現額	10,000	10,411			
	(c)増減額(b-a)	0	411			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	10,000	10,411			
B. 執行済額		9,987	10,157			
うち交付金充当額		7,989	8,125			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.9%	97.6%			

予算の状況の説明

一般公募によるプロポーザル審査にて随意契約(9,991,443円を上限とした概算契約)。　普通旅費(165,360円)
事業計画通りに意向調査、企業訪問、フォローアップ活動を施した。活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･県外企業等の意向調査 ･企業訪問 ･フォローアップ活動	目　標	（各指標の実施）	（各指標の実施）	（　）	（　）
	実　績	各指標の実施	各指標の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

民間企業と委託契約を行い、誘致へ有望と思われる企業を約3,000社をリストアップし、電話や郵送によるアンケートを実施。その結果から60社を選定し、県外において企業の訪問ヒアリングを実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
県外企業の意向調査件数:3,000件 企業訪問件数:50件 フォローアップ活動件数:100件	目　標	（　）	（5,000件 50件 100件）	（3,000件 50件 100件）	（　）	（　）
	実　績		5,000件 50件 100件	3,064件 60件 100件		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

上記の調査結果を踏まえ、IT関連(12社)及び卸･物流関連(16社)で好感触であった企業を招き、現地の視察ならびに県内企業とのマッチングを目的としたツアーを実施した。うち3社の企業から「近い将来沖縄に進出する」との明言があり、誘致活動の目的を達成した。

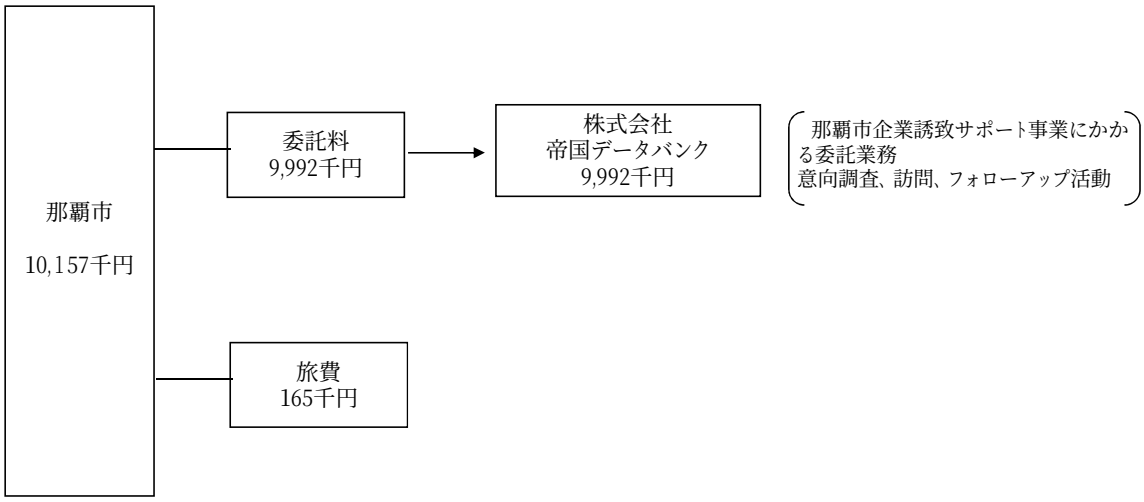
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	視察ツアーにおいて市内進出企業を訪問し、進出するにあたっての現状や課題を聴取することや、那覇空港の最新の物流施設や国際コンテナターミナルビルなど実際の現場を見せることで、実際に立地した際のソフト面やハード面の活用イメージを抱いていただけたようであった。	･那覇市の立地環境の再検証･把握、沖縄県との連携した取り組みの検討 ･継続的な情報発信

今後の取り組み方針

2年間で収集したデータを再度整理し、優先順位をつけたうえでアプローチする機会を増やす必要がある。併せて継続的な情報発信等、自治体としての関わり方を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,157	10,157	8,125	2,032	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑩	「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」策定基礎調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

市民参画による中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、これからの未来像・計画をまとめた「那覇市中心市街地活性化ﾋﾞｼﾞｮﾝ・基本計画」(仮称)を策定するための基礎調査を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
	(b)予算現額	5,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,000				
B. 執行済額		4,946				
うち交付金充当額		3,956				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.9%				

予算の状況の説明：プロポーザル公募により4者が応募。うち、企画提案内容が優れていた業者と契約し、事業計画どおり執行できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・中心市街地状況等調査の実施 ・調査結果報告書の作成	目　標	（・調査の実施 ・報告書作成）	（・調査の実施 ・報告書作成）	（　）	（　）
	実　績	・調査の実施 ・報告書作成	・調査の実施 ・報告書作成		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・中心市街地に関する現状分析、課題整理、市民アンケート等の基礎調査を実施した。
・調査結果報告書を取りまとめた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
・中心市街地状況等調査の実施 ・調査結果報告書の作成	目　標	（　）	（・調査の実施 ・報告書作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		・調査の実施 ・報告書作成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：中心市街地の現状や課題等が把握でき、目標を達成できた。

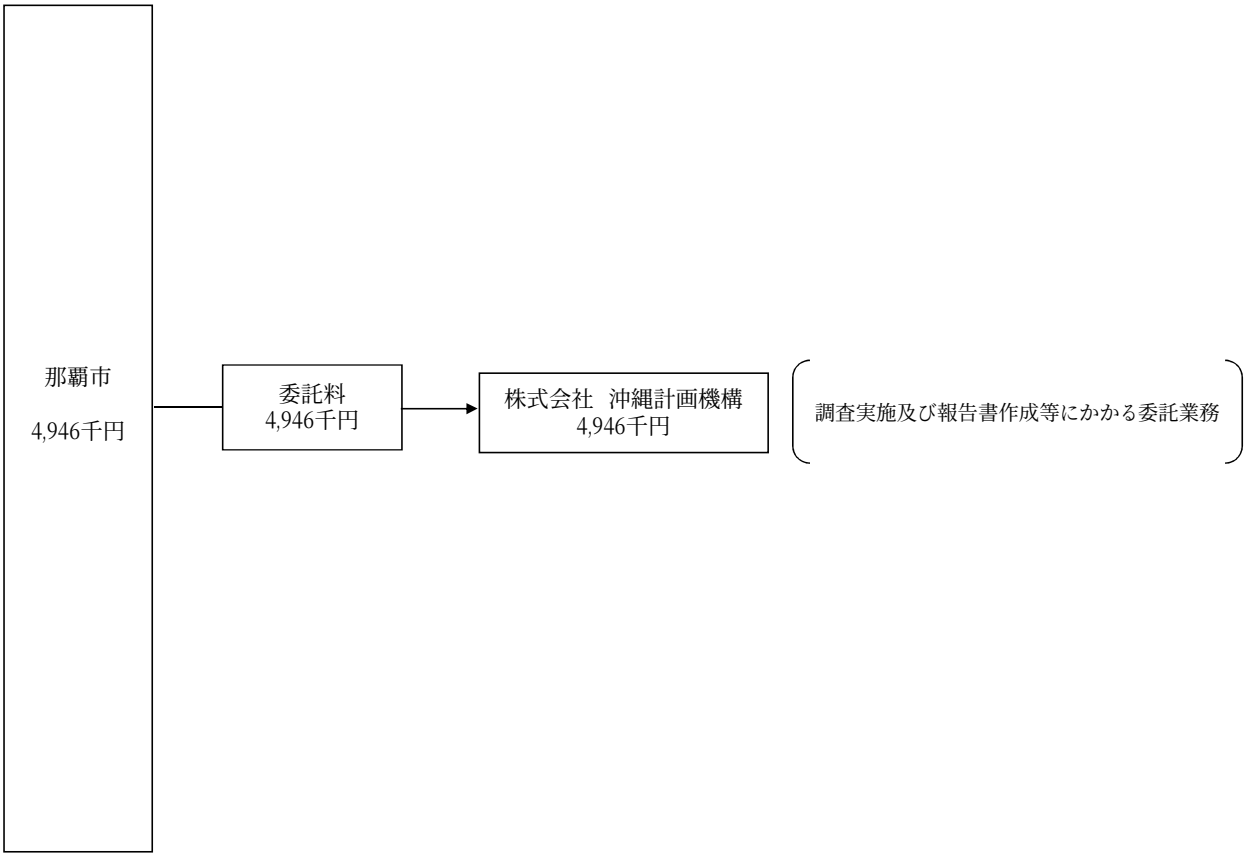
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	中心市街地の現状（人口動向、商業動向、都市基盤整備状況等）を調査した結果、中心市街地を取り巻く環境の変化が確認できた。	当該調査結果を踏まえ、さらに他の関係する計画等も含め幅広い視点をもって、中心市街地の活性化を図る必要がある。

今後の取り組み方針

当該調査結果を踏まえて、外部有識者会議及び市民ワークショップ、パブリックコメントを実施しながら中心市街地活性化基本計画を策定する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,946	4,946	3,956	990	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑫	琉球王府首里織再現支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(9)－ア ものづくり産業の戦略的展開
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、琉球王府時代の首里織(古典柄)の着物を再現･展示公開し、伝統的工芸品「首里織」を県内外に広く浸透させる。再現した首里織の技法を文書化し、技術の継承を図る。
具体的には、古典柄首里織を再現し着物を3着完成させる。完成した着物の展示会を行う。古典柄首里織再現の報告書を作成する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	5,962				
	(c)増減額(b-a)	5,962				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,962				
B. 執行済額		4,544				
うち交付金充当額		3,635				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		76.2%				

予算の状況の説明：那覇伝統織物事業協同組合と、当初5,962千円で随意契約を交わしたが、実績報告後精算し、4,544千円執行。
琉球王朝時代の首里織は事業計画どおり3着製作することができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
琉球王府首里織再現	目　標	（着物3着）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完成			
首里織の手法文書化	目　標	（報告書作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完成			

達成状況説明：資料や現存している琉球王朝時代の首里織を調査のうえ技法を復元し、着物3着の製作、
琉球王朝時代の首里織再現の過程を記録した、報告書の作成を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
琉球王府首里織再現	目　標	（　）	（着物3着）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　-　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		-			

進捗状況説明：資料や現存している琉球王朝時代の首里織を調査のうえ技法を復元し、着物3着完成させ、
琉球王朝時代の首里織再現の過程を報告書としてまとめて、目標を達成した。

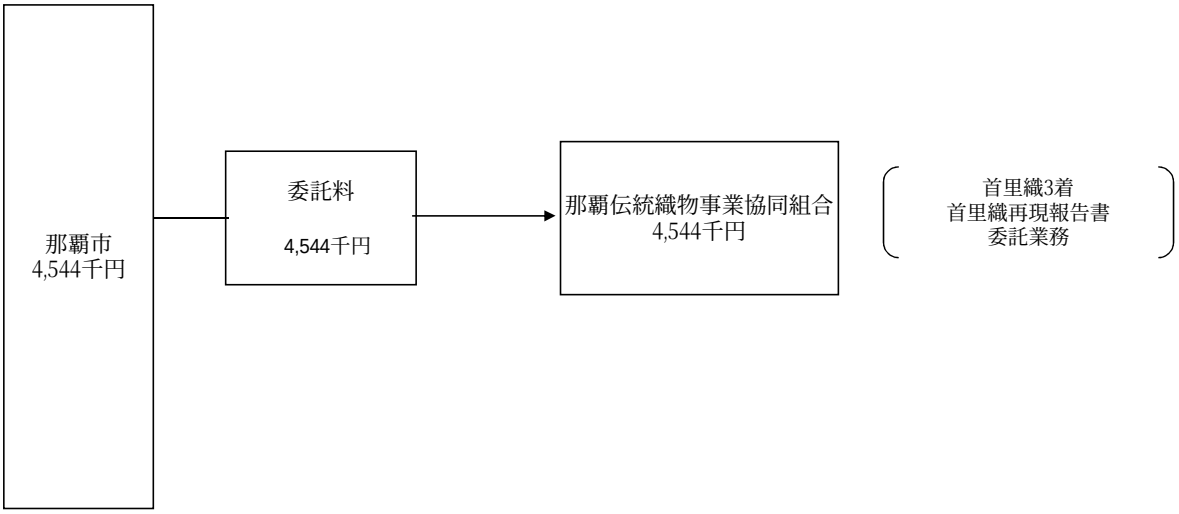
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	資料や現存している琉球王朝時代の首里織を調査のうえ技法を復元し、着物3着完成し、その過程を、報告書としてまとめることにより、後継者育成に貢献することができた。	再現した技法を活用して、首里織のさらなる知名度向上と販路拡大につなげるための活動の継続が必要。

今後の取り組み方針

当該事業は終了するが、那覇伝統織物事業協同組合との連携のもと、本事業の成果物を活用した首里織の知名度向上及び販路拡大に努めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,544	4,544	3,635	909	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約だが、この事業者以外首里織を製作できる事業者がいないため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑬	琉球漆器普及推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(9)－ア ものづくり産業の戦略的展開
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(7)

事業内容	本市産業の振興発展を図るため、琉球漆器を小学校及び市内宿泊施設で導入･使用することにより、父兄･児童･学校関係者及び宿泊客等にPRし、新たな需要の掘り起こしに努め県内外に普及を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	8,742				
	(c)増減額(b-a)	8,742				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	8,742				
B．執行済額		8,648				
うち交付金充当額		6,918				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.9%				

予算の状況の説明	食洗機対応琉球漆器の製作･導入及び使用調査の委託費用として琉球漆器事業協同組合と 8,648千円で随意契約し、ほぼ事業計画どおり執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･宿泊施設への琉球漆器導入：175個(5種類×35個)	目　標	（宿泊施設用175個）	（　）	（　）	（　）
	実　績	宿泊施設用175個			
･導入後の使用結果調査実施	目　標	（報告書作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	報告書完成			

達成状況説明	食洗機対応琉球漆器を、宿泊施設用175個及び小学校用320個の製作導入した。 また、琉球漆器に対するマーケティング調査をし実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
宿泊施設への琉球漆器導入：175個(5種類×35個)	目　標	（　）	（宿泊施設用175個）	（　）	（　）	（　）
	実　績		宿泊施設用175個			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	食洗機対応琉球漆器を、宿泊施設用175個を製作し導入することができた。 琉球漆器に対するマーケティング調査の報告書を作成するこで現状を把握することができた。、 また、食洗機対応琉球漆器の展示会を2回開催し、普及型琉球漆器のＰＲを行い、目標を達成した。

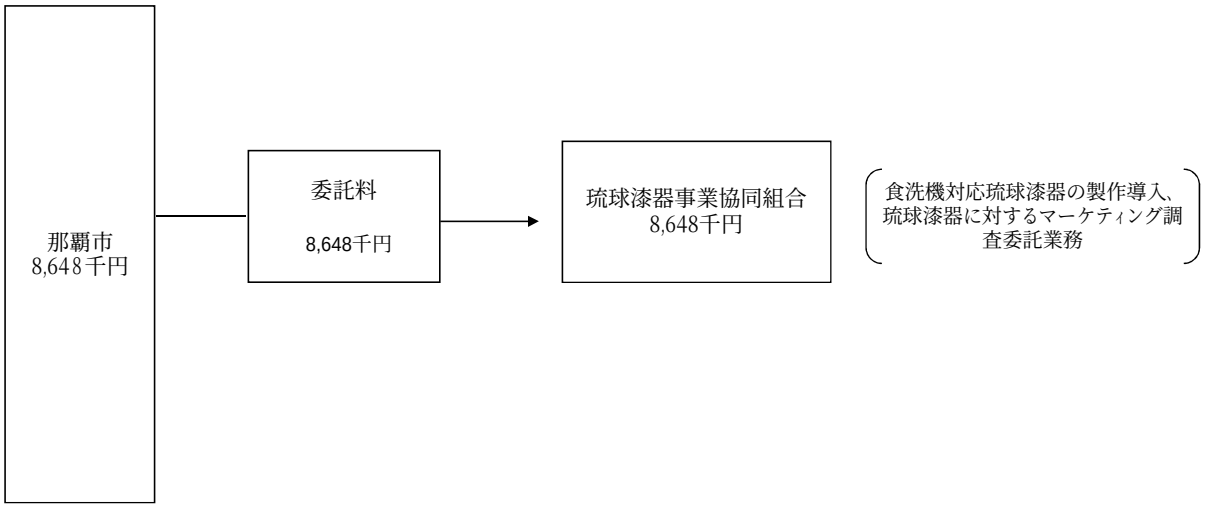
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	食洗機対応琉球漆器を、宿泊施設へ175個導入し、琉球漆器に対するマーケティング調査を行った。 琉球漆器製作に関しては、職人同士のミーティングを開催し、職人ネットワーク構築の足がかりとなった。 報告書を作成することにより、消費者のニーズを把握することができた。	報告書の内容を、漆器職人及び関係者と協議し、ニーズの把握等を行い、新商品作りに反映させなければならない。

今後の取り組み方針

漆器職人及び学術機関等のネットワークを構築し、新商品開発に取り組む。安価で消費者ニーズを反映した琉球漆器新商品を開発し、普及推進に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,648	8,648	6,918	1,730	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約だが、この事業者以外琉球漆器を製作できる事業者がいないため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	なはし就職なんでも相談センター運営事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア 雇用機会の創出･拡大と求職者支援
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2、3－(1)
事業内容	市民の就労支援を行うため平成16年に設置した、就労支援施設「なはし就職なんでも相談センター」の運営事業であり、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,119	11,704			
	(b)予算現額	8,390	11,704			
	(c)増減額(b-a)	271	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	8,390	11,704			
B. 執行済額		8,243	10,884			
うち交付金充当額		6,594	8,707			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		98.2%	93.0%			
予算の状況の説明		プロポーザル公募によりプロポーザル審査を経てと㈱プラスキャリアと随意契約締結し適切に実施した。 機器のリースについては、指名競争入札の結果、㈱コンピュータ沖縄と契約締結を実施した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･就職活動支援セミナー開催	目　標	(　６２講座以上　)	(　６０回　)	(　　)	(　　)
	実　績	９２講座	１９２回		
･就職相談	目　標	(　就職相談　)	(　就職相談　)	(　　)	(　　)
	実　績	就職相談	就職相談		
達成状況説明	就職活動におけるセミナーやパソコン講座、就職説明会の回数を目標以上に開催した。 また、就職相談も個別に対応し、就労支援に必要な情報を提供するなどを行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(18年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数	目　標	(　189人　)	(　200人　)	(　200人　)	(　　)	(　250人　)
	実　績		115人	130人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　－　)	(　－　)	(　　)	(　　)
	実　績		－	－		
進捗状況説明	実績が目標指標を下回ってはいるが、実績の数字は就労支援後に追跡調査で連絡がとれた方のみ表示されているため、連絡がとれなかった方について就職を勘案した場合には計上実績より上がる可能性がある。					

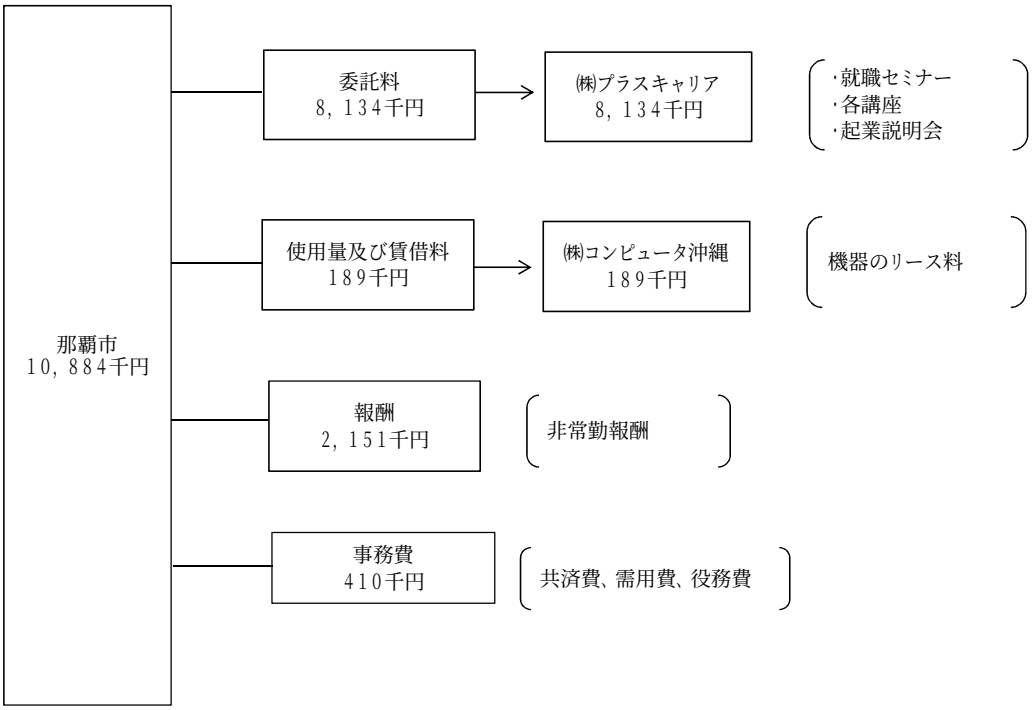
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	委託先にて講座等を開催するため、求職活動をされる方の実態を直接的に関われない部分があることから、委託先との連携を密にし就労支援が成果に繋がるよう留意したい。	就労支援活動を行ったあとの就職決定についてデータ把握が難しい部分もあるので今後検討の必要あり。

今後の取り組み方針

就労支援の運営事業の観点から、那覇市の雇用情勢における就職率効果が得られる様、委託業者との連携を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,884	10,884	8,707	2,177	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・企画提案の公募により審査を経て委託契約している。 ・費目等において就労支援において執行内容は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	訪問介護員（ホームヘルパー）養成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)－ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援
担当部課名	福祉部　ちゃーがんじゅう課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2，3－(1)
事業内容	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、介護職員初任者研修（旧：訪問介護員2級）資格を取得するための講座を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	31,989			
	(b)予算現額	21,115	31,989			
	(c)増減額(b-a)	21,115	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	21,115	31,989			
B．執行済額		21,029	29,516			
うち交付金充当額		16,823	23,612			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.6%	92.3%			
予算の状況の説明		前期100名（期間：平成25年5月1日～平成25年8月31日）、後期100名（期間：平成25年5月1日～平成25年12月31日）募集し、いずれも定員を上回る応募状況であり、予定通りの執行状況となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
訪問介護員養成人数	目　標	（200人）	（200人）	（　）	（　）
	実　績	210人	220人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

沖縄県より介護職員初任者研修の事業者および研修の指定を受けた資格取得のための講座を開講している事業者（学校等）7社と契約し、受講を希望する市民で、市が提示する条件に該当する者（①生活保護受給者②失業者③住民税非課税世帯④母子寡婦世帯等）に対して受講料の助成を行った。

市民からの関心は大変高く、当初予定していた定員200名を上回る応募があったため、予算の許す範囲内で受講決定し、結果、220名が研修修了に至った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
訪問介護員養成人数	目　標	（　）	（200人）	（200人）	（　）	（200人）
	実　績		210人	220人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・目標としていた「訪問介護員要請人数：200人」は市民の関心の高さもあり、最終的に220名と十分達成できている。

・委託契約した研修実施事業者も、平成24年度4事業者から平成25年度は7事業者に増え、研修受講を希望する市民の選択肢をより増やすことができたものと考えている。

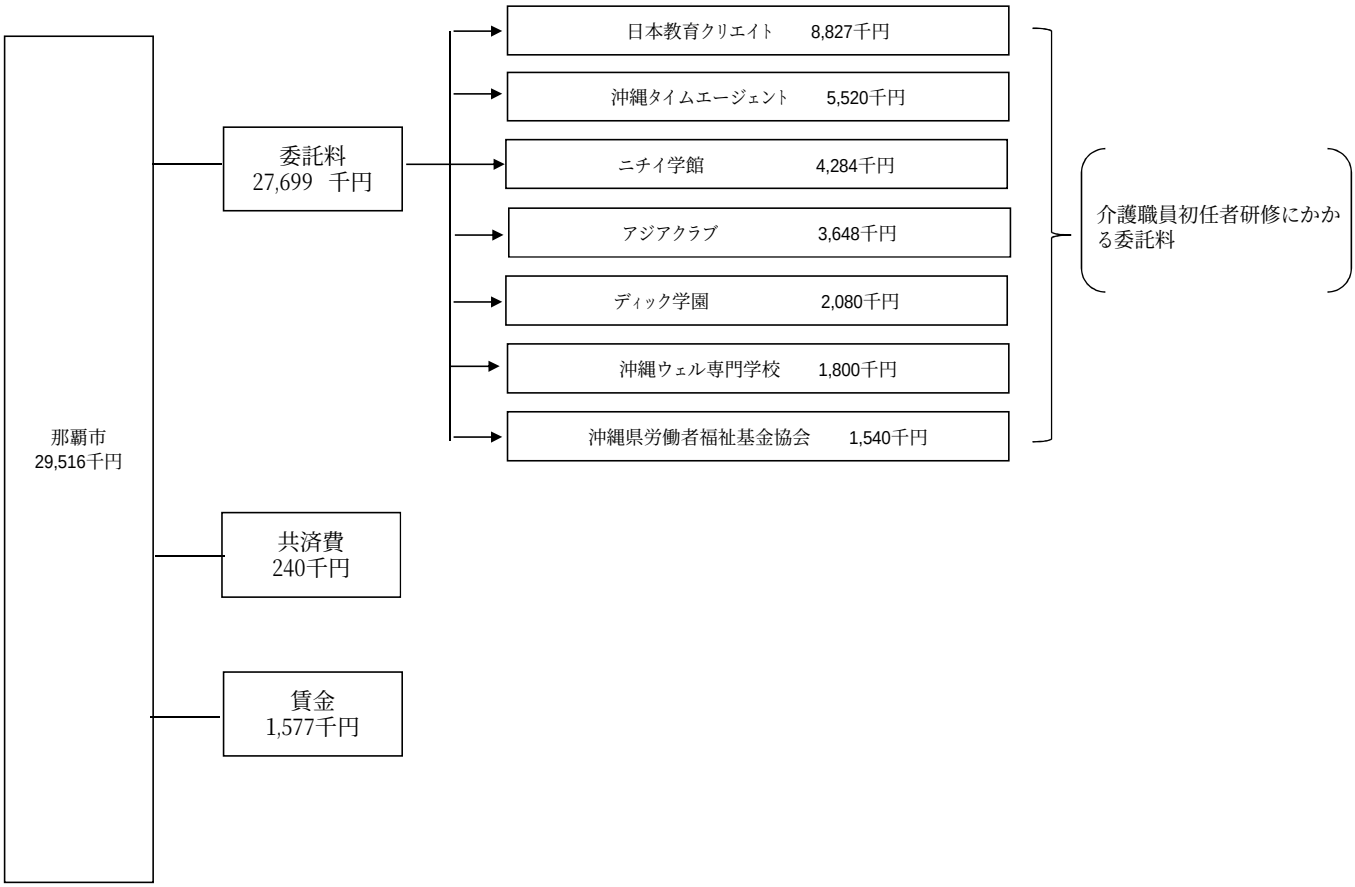
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・研修修了後、介護職への就職につながったのかといった検証が十分にできていない。	・事業者側に対して、受講する市民の就労支援への協力と研修修了後の就労状況の報告を依頼する。

今後の取り組み方針

・研修修了した市民がその後、就労状況の改善にまで至ったかについての検証を行うため、講座を行う事業者側に対して就労支援への協力および就労状況の報告を依頼し、今後の事業継続を考えていく上での参考とする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,516	29,516	23,612	5,904	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約について、研修場所、期間、時間帯等といった通学する市民にとってより通いやすい学校の選択肢を増やすため、平成25年度に沖縄県が指定し、那覇市内で研修事業を行う7事業者と随意契約を結んだ。 ○事業者への支出について、研修修了者についての報告を精査した上で、委託料を支出又は精算しており、使途は適性であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-③	マチグヮーいなぐ起業塾事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア 雇用機会の創出･拡大と求職者支援
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2、3－(1)
事業内容	ひとり親世帯や子育て中の女性、起業を考えている女性を対象に就業意欲を高め、女性の就労支援、女性起業家の育成を目標とした講座を15回程度、20名程度を対象に実施する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	853				
	(c)増減額(b-a)	853				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	853				
B. 執行済額		741				
うち交付金充当額		592				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		86.9%				
予算の状況の説明		那覇市中心商店街連合会と 499,800円で地方自治法施行令第167条の2第1項第1号及び那覇市契約規則第21条第1項に基づき随意契約を締結した。計画に基づき実施できた。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
講座の開催:全11回	目　標	(　11回　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	10回			
なし	目　標	(　－　)	(　－　)	(　　)	(　　)
	実　績	－	－		
達成状況説明	女性独自の視点からとらえた企業意欲を高めた講座内容を行った。 講座以外でもイベントに実践研修なども盛り込み、現場での体験も行うことで、より意識を高める内容の事業を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
講座受講者数　20人	目　標	(　　)	(　20人　)	(　　)	(　　)	(　－　)
	実　績		44人			
【参考指標】なし	目　標	(　　)	(　－　)	(　－　)	(　　)	(　－　)
	実　績		－	－		
進捗状況説明	目標指数20人に対し、44人の受講者となる関心の高い講座となり、目標を達成することができた。					

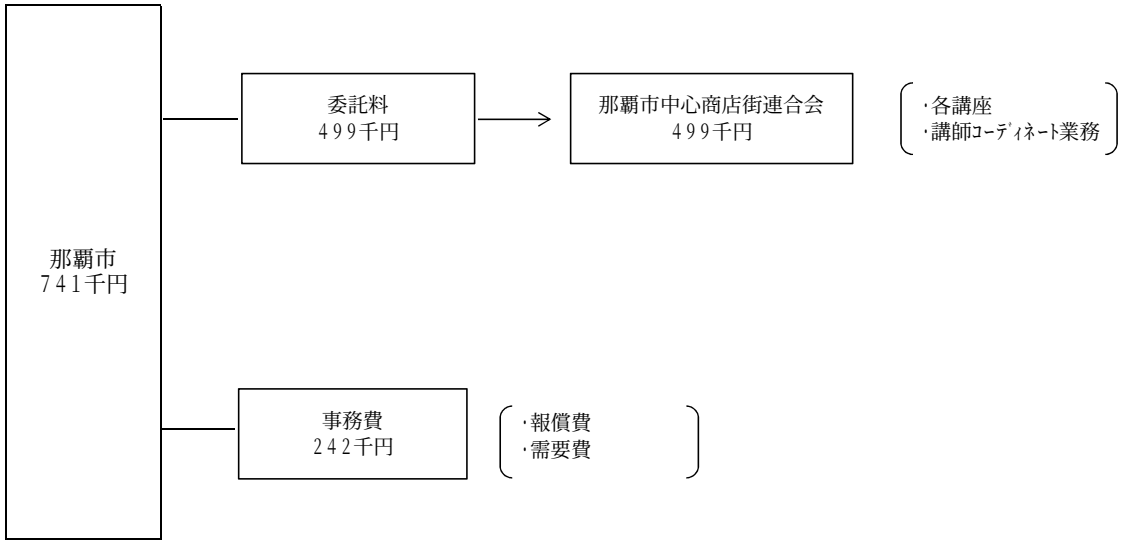
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当事業を行うことにおいて、那覇市平和通りや市場などで見受けられる小間空き店舗を活用して起業を考えている女性たちが、個々の意識高揚に繋がるように継続して講座を受講することが必要である。	受講生だけの就業支援策だけではなく、商店街や通り会との連携を図ることで受講生が起業しやすい環境づくりが必要である。

今後の取り組み方針

平成２５年度の実績を踏まえ、今後の必要性を検討した上で方向性を決める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
741	741	592	149	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・地方自治法施行令第167条の2第1項及び那覇市契約規則第21条第1項に基づき50万円を超えない予定価格による随意契約 支出先の那覇市中心商店街連合会は、本市中心市街地の活性化に欠かせない団体であり、地域の現状と企業する側の状況を把握しており、予算内容の使途に応じて目的に沿った執行を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	基礎学力向上のための学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したティーム･ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。教員有資格者を配置することで個に応じたきめ細やかな指導体制の強化を図ることにより、学習意欲の向上や基礎学力の定着を促す。
･学習支援員報償費　1授業時間当たり2,000円(教職有資格者) 1,500円 (無資格)
･学習支援員派遣時間　1学級につき1週あたり授業時数5時間を目途とする

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,448	38,042			
	(b)予算現額	9,448	38,042			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	9,448	38,042			
B. 執行済額		9,292	37,325			
うち交付金充当額		7,432	29,860			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		98.3%	98.1%			

予算の状況の説明：市内全小学校に学習支援員を配置し、基礎学力の定着を図ることにより、ほぼ事業計画どおりの執行となった。活動目標、成果目標の達成状況から適正な執行と考える。不用額は教職員の学力先進地視察旅費の実績残によるものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学習支援員配置学校数	目　標	(　小学校21校　)	(　小学校37校　)	(　　)	(　　)
	実　績	小学校21校	小学校37校		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：市内小学校３７校に４０名の学習支援員を配置。学校、クラスの状況に応じてティーム･ティーチング方式授業、少人数教室授業及び補修授業を行い、児童の学力等に配慮したきめ細やかな支援を実践。合計、15,470時間の支援を行い目標を達成している。市立全小学校で実施。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
学習支援員配置学校数 支援児童数	目　標	(　0　)	(小学校21校)	(小学校37校 3,300人)	(　　)	(累計 33,000人)
	実　績		小学校21校	小学校37校 3,300人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：学校からは、少人数教室等で個人の理解度に合わせた指導が行えたことで、基礎学力の向上につながり、理解できることで児童の学習意欲も向上にしたとの報告が多数寄せられたことから、小学3年生の算数の学力向上につながったと判断できる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇市は児童生徒の全国学力・学習状況調査において下位の状況となっていることが背景にある。 ・配置校の目標数は達成されているが、学習支援員に教員資格保持者を配置するため、人材の確保に苦慮している。	・個に応じたきめ細かな指導体制を強化することにより、児童の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図り学力向上を図っていく必要がある。 ・次年度は早い時期から募集を行うこと、学校との連携を密にすることで、早期の事業実施と人材確保が見込まれる。

今後の取り組み方針

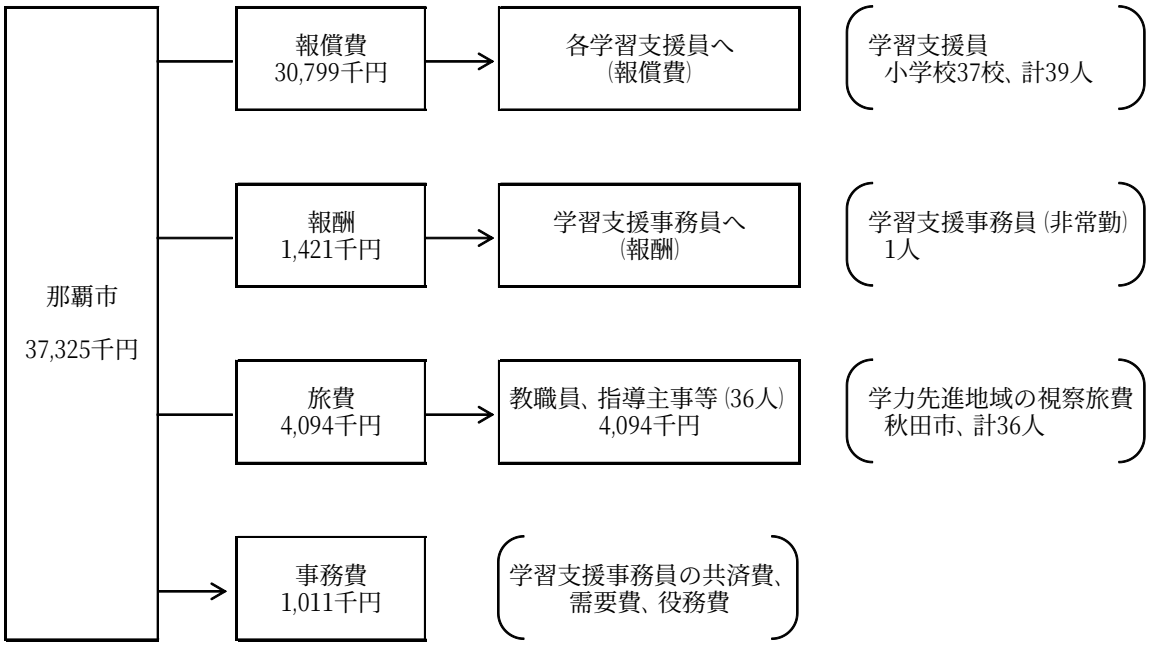
・教育体制を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上が図られる。

・年度末3月に小学校に対し事業の案内を行い、学校での早期人材確保を促す。

・平成26年度以降は全小学校に学習支援員を5月から配置し、支援時間を増やすことで、学力向上につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,325	37,325	29,860	7,465	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、事業実施要項に基づく申請・報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-②	小学校英語指導員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員（外国人・日本人）を小学校各校に配置し、小学校1年から各小学校へ配置された英語指導員と担任教諭とのティーム・ティーチング形式による英語の授業を行うことにより、中学校までの長期的な英語指導を実践することで英語によるコミュニケーション能力の育成及び国際感覚を身につけた人材の育成を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	54,024	85,440			
	(b)予算現額	54,024	85,440			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	54,024	85,440			
B. 執行済額		53,221	84,241			
うち交付金充当額		42,576	67,392			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		98.5%	98.6%			
予算の状況の説明		予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
英語指導員配置数	目　標	（外国人:18人 日本人:20人）	（外国人:18人 日本人:20人）	（　）	（　）
	実　績	外国人:18人 日本人:20人	外国人:18人 日本人:20人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内３８校の小学校に対して、外国人１８名・日本人２０名の計３８名を採用し、各校へ配置することによって活動目標を達成している。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
市内小学校への英語指導員派遣率	目　標	（0%）	（100%）	（100%）	（　）	（100%）
	実　績		100%	100%		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内全３８校の小学校に対して３８名の英語指導員を採用・配置することで、成果目標である英語指導員派遣率100%を達成している。

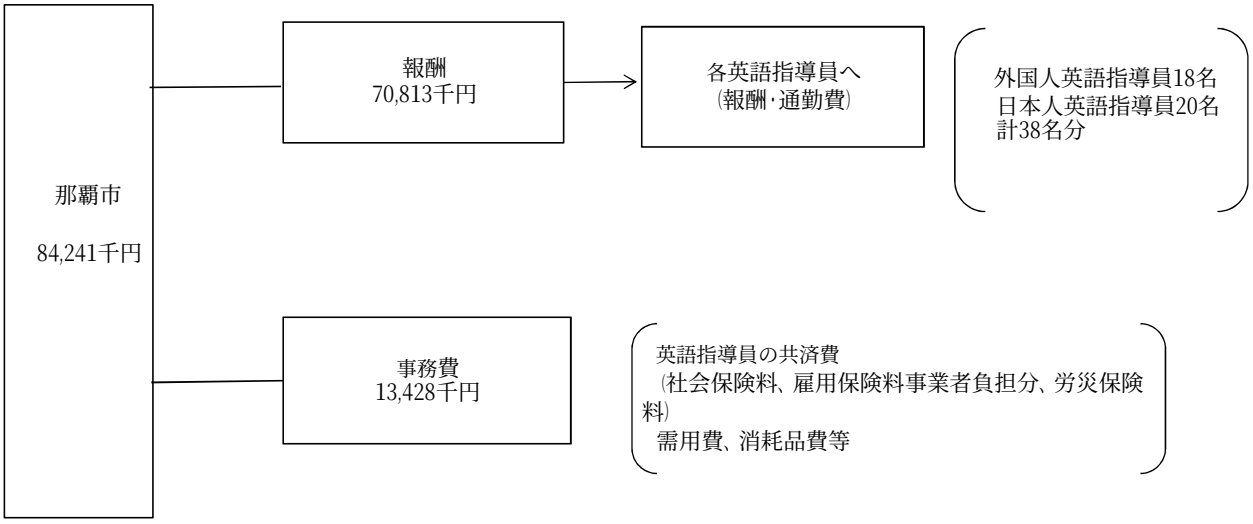
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小中学校教諭の英語教育への意識を高め、小中連携に向けた資質向上 ・英語指導員の資質の向上 ・小中学校における国際理解の推進	現状での課題を踏まえ、 ・授業参観等の小中連携の取り組みを通した、小中連携の英語教育の推進 ・英語指導員研修会の充実 ・異文化交流会の充実 等が必要である。

今後の取り組み方針

・小学校英語指導員配置事業を通して、引き続き小学校から中学校までの長期的な英語指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。
・新規英語指導員の研修会を充実し資質向上を目指す。
・小中学校における授業研究会を継続して実施し、指導助言やワークショップを充実させる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
84,241	84,241	67,392	16,849	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-③	中学校英語指導員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の滋養を図る。英語指導員は派遣校の学校長の指揮監督を受け、中学校外国語教育の援助及び英語弁論大会等の指導･教材研究及び教材作成･学級担任及び教科担任と共にチームを組んでの授業実践を行う。さらに、英語指導員が各中学校へ集まり、風土や音楽、世界遺産等の文化について生徒へ紹介する異文化交流会を実施することによって、更なる意欲関心の向上を図り、言語のみならず国際理解教育を推進する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,037	27,076			
	(b)予算現額	17,037	27,076			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	17,037	27,076			
B. 執行済額		16,287	26,902			
うち交付金充当額		13,029	21,521			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		95.6%	99.4%			

予算の状況の説明

予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
英語指導員配置数	目　標	（外国人:10人）	（外国人:10人）	（　）	（　）
	実　績	外国人:10人	外国人:10人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

平成２４年度は当初６名の指導員を採用していたところ、H24.7.31の事業執行内諾を受けて追加採用手続後、２学期開始の10月より４名追加採用･配置を行うことで、活動目標の英語指導員10名の配置を達成した。
平成２５年度は当初から10名を配置し、各学校の英語活動を充実できる配置とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
市内中学校への英語指導員派遣率	目　標	（0%）	（100%）	（100%）	（　）	（100%）
	実　績		100%	100%		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

１名当たりの英語指導員が２～３校の複数校の兼務を行うことで、成果目標である市内18中学校(分校１校を含む)への英語指導員の派遣率100%を達成。

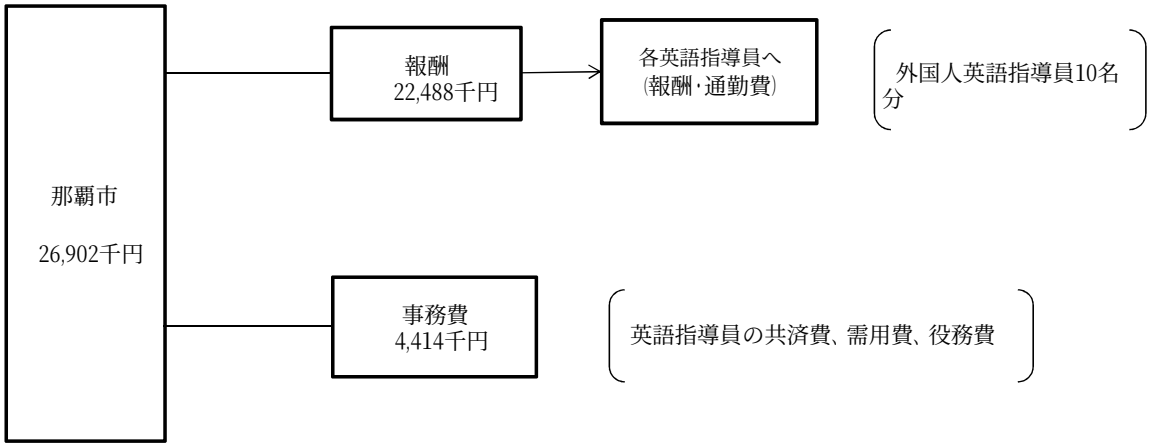
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小中学校教諭の英語教育への意識を高め、小中連携に向けた資質向上 ・英語指導員の資質の向上 ・小中学校における国際理解の推進	現状での課題を踏まえ、 ・授業参観等の小中連携の取り組みを通した、小中連携の英語教育の推進 ・英語指導員研修会の充実 ・異文化交流会の充実 等が必要である。

今後の取り組み方針

・中学校英語指導員配置事業を通して、引き続き小学校から中学校までの長期的な英語指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。
・新規英語指導員の研修会を充実し資質向上を目指す。
・小中学校における授業研究会を継続して実施し、指導助言やワークショップを充実させる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,902	26,902	21,521	5,381	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－④	特別支援教育充実事業（小・中学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-（3）-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育ヘルパーを各学校へ派遣し、特別支援教育相談員（臨床心理士）や認定就学者巡回指導員等と連携した支援体制の充実を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,187	125,010			
	(b)予算現額	30,187	125,010			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	30,187	125,010			
B．執行済額		23,646	123,674			
うち交付金充当額		18,916	98,939			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		78.3%	98.9%			

予算の状況の説明

予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数（小中学校）	目　標	（64人）	（80人）	（　）	（　）
	実　績	64人	80人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

ヘルパー要請のあった小中学校へ80人を派遣し、必要な支援を行った。併せて臨床心理士2名を配置し、保護者・学校に対して児童生徒の教育的ニーズや支援方法等を助言した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
支援児童生徒数	目　標	（0人）	（300人）	（300人）	（　）	（累計 3,000人）
	実　績		285人	349人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

ヘルパー要請のあった小中学校へ80人を派遣し、特別な支援を必要とする児童生徒349人に対して支援を行った。障がいの態様に応じて、ヘルパーが単数又は複数の児童生徒に対する支援を行うことで、目標を上回る支援を行うことができた。

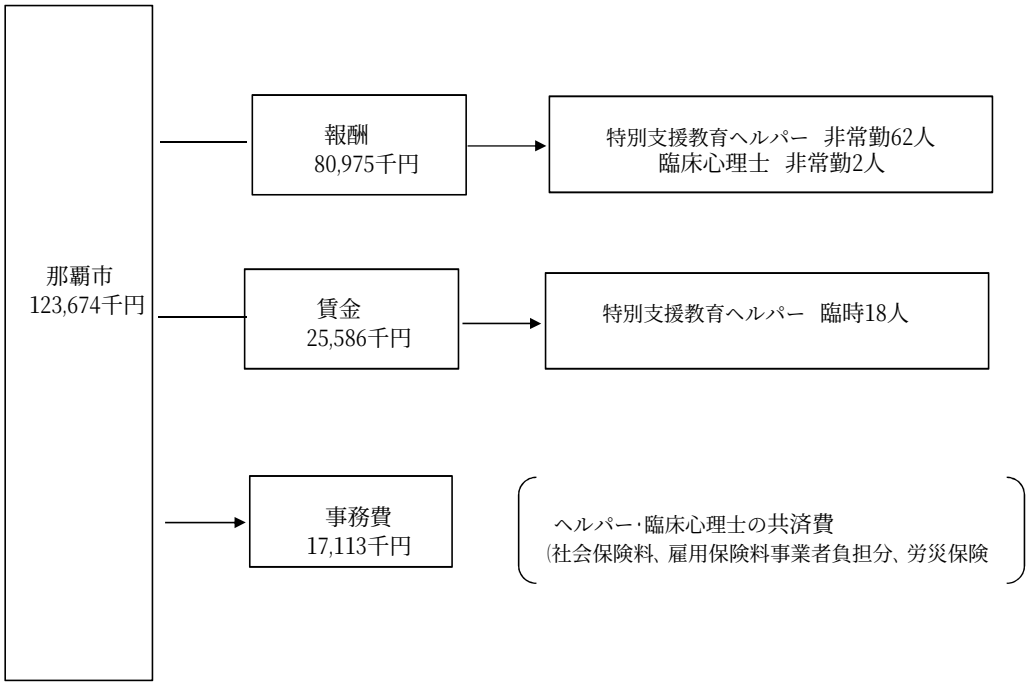
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特別支援教育を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、担任だけでは支援が難しい、発達障がい等のために安全確保や見守りが必要な児童生徒や、肢体不自由のため生活介助を必要とする児童生徒への支援が必要となってきている。 ・平成19年度の学校教育法改正により、小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に障がいによる困難を克服するための教育を行うことが明確に位置づけられ、地域の小中学校への就学を希望する保護者のニーズが年々増えている。	・各学校の実態把握と、それに基づく適切な指導助言、教育相談の充実が必要である。 ・障がいのある児童生徒の現状把握と、適正なヘルパー配置、その資質向上をはかる必要がある。

今後の取り組み方針

・特別支援教育ヘルパーや特別支援教育に精通した専門家を派遣することにより、安全に学校生活を送る環境を整え、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を進め、将来の自立や社会参加を見据えた教育が図られる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
123,674	123,674	98,939	24,735	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑤	特別支援教育充実事業（幼稚園）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（３）－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）
事業内容	教育の振興を図るため、特別に支援を要する幼児に対し、特別支援教育ヘルパーを各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や教育相談員と連携した支援体制の充実を図る。 （臨床心理士・教育相談員とは・・各幼稚園を巡回し、子どもの発達についての見立てや指導の方法についてのアドバイス、保護者相談等を行う者）				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,837	60,971			
	(b)予算現額	12,837	63,279			
	(c)増減額(b-a)	0	2,308			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	12,837	63,279			
B．執行済額		10,023	61,728			
うち交付金充当額		8,018	49,382			
次年度繰越額		－	－			
執行率（%）(B/A)		78.1%	97.5%			
予算の状況の説明		平成25年度の特別支援教育ヘルパーの報酬実績は、支援を要する幼児数が想定を上回ったため、2,308千円の補正増をおこなったが、適正に事業執行している。 執行残は勤務実績に基づく報酬、通勤手当等の不用である。　※平成24年度については12月18日～3月分				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数	目　標	（　29人　）	（　48人　）	（　）	（　）
	実　績	29人	48人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

特別支援教育ヘルパー（後述はヘルパー）の派遣要望があった31園に対し、ヘルパー48人（30園）を配置した。

・各園の特別な支援を要する幼児の人数や、発達の状況などを把握する。
・各園の状況や幼児の様子などを確認し、適正な配置に努める。
・支援を要する幼児の状況・幼児数により当初配置目標より５人増となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
特別支援教育ヘルパー配置数（幼稚園）	目　標	（　）	（　29人　）	（　48人　）	（　）	（　）
	実　績		29人	48人		
支援園児数	目　標	（　）	（　）	（　164人　）	（　）	（　）
	実　績			157人		

進捗状況説明

・24年度　配置要望園数（29園）に対し配置園数（29園）となり、100%配置できている。

・25年度　配置要望園数（31園）に対し配置園数（30園）であった。
　各園の状況や幼児の発達に応じた配置となった。（特別な支援を要する幼児：157名）
・大幅なヘルパーの増員配置により、支援を要する幼児への十分な配慮ができ、それに伴い、園児全体へもより細やかな対応ができるように　なった。

ヘルパーを配置することで、幼児の安全面と生活面の補助をしながら、個々の発達を促していくことができている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○発達障害をもつ幼児含め、特別な支援を要する幼児が年々増加している。ヘルパー需要への対応と適正な配置が課題である。 （特別な支援を要する幼児の数・・平成24年度：123名　平成25年度157名） ○安全面や教育的効果の面からﾍﾙﾊﾟｰ派遣に対する市民ニーズも高い。	○適正なヘルパーの配置を行うため、各園での預かり園児総数や特別な支援を要する園児数・必要とする支援の状況を把握し、配置を決定する。 ○ヘルパー任用時に、応募動機を確認しヘルパーとしての職責を担える人材を採用する。 ○研修等により、ヘルパーの資質を高める。 ○臨床心理士や教育相談員の巡回相談等を通し、幼児一人ひとりの発達を促しﾍﾙﾊﾟｰの支援の必要性を軽減する。 ○保護者へ支援の必要性の理解や幼稚園での園児の見守りや活動参加協力を求める。

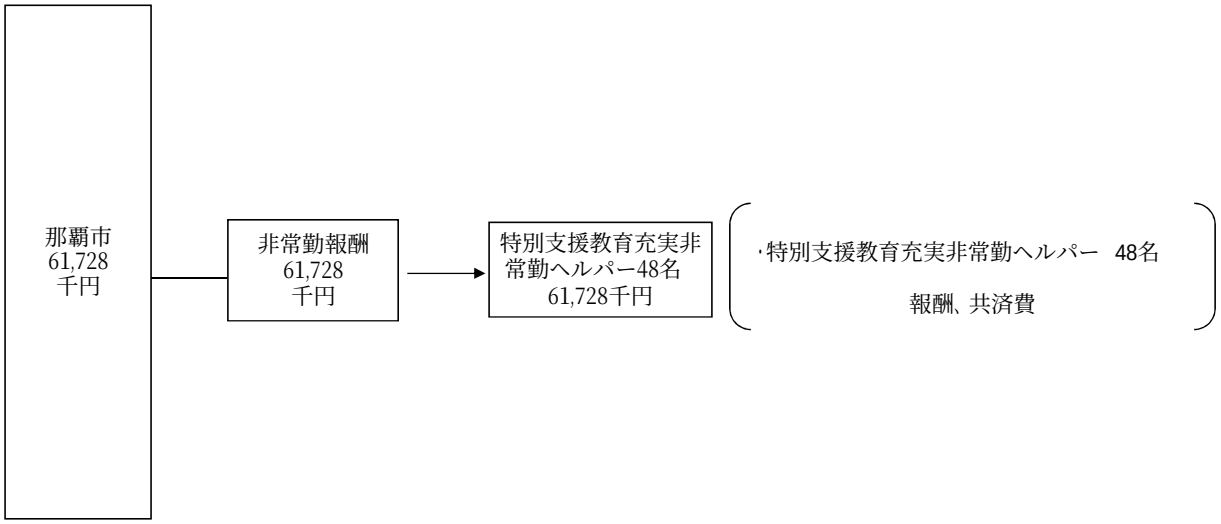
今後の取り組み方針

○特別な支援を要する幼児数の増加へ対応するため予算確保に努める。

○教諭やヘルパーの資質向上、保護者の協力、関係機関との連携を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
61,728	61,728	49,382	12,346	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、業務に対する熱意、専門性などを見極め、この責務を担うにふさわしい人材を選んでいる。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。 ○費目・使途についても那覇市非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑥	特別支援教育充実事業（幼稚園預かり保育）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	教育の振興を図るため、特別に支援を要する幼児に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援教育ヘルパーを各幼稚園へ派遣する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,907	18,036			
	(b)予算現額	4,907	20,050			
	(c)増減額(b-a)	0	2,014			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	4,907	20,050			
B．執行済額		4,008	18,728			
うち交付金充当額		3,206	14,982			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		81.7%	93.4%			
予算の状況の説明		非常勤特別支援教育充実ヘルパー（預かり）の報酬実績は、預かり保育を利用する支援を要する幼児数が想定を上回ったため、2,014千円の補正増をおこなったが、適正に事業執行している。 執行残は勤務実績に基づく報酬、通勤手当等の不用である。　※平成24年度については12月18日～3月分				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数（預かり保育実施幼稚園）	目　標	（13人）	（22人）	（　）	（　）
	実　績	13人	22人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

特別支援教育ヘルパー（預かり）（後述はヘルパー）の派遣要望のある26園に対して、ヘルパー22人（22園）を配置した。

・各園の預かり保育での特別な支援を要する幼児の人数や、発達の状況などを把握する。
・担当が各園の状況や園児の様子などを確認し、適正な配置に努める。
・支援を要する幼児の状況・幼児数により当初配置目標より8人増となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
特別支援教育ヘルパー配置数（預かり保育実施幼稚園）	目　標	（　）	（13人）	（22人）	（　）	（　）
	実　績		13人	22人		
支援園児数	目　標	（　）	（　）	（74人）	（　）	（　）
	実　績			78		

進捗状況説明

・24年度　派遣園数（13園）／派遣要望園数（26）×100＝54%
・25年度　派遣園数（22園）／派遣要望園数（26）×100＝85%

ヘルパーを配置することで、幼児の安全面と生活面の補助をしながら、個々の発達を促していくことができている。さらに午後まで幼稚園で園児を預かることで、子育て支援の充実につながっている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○特別支援教育を必要としている幼児が年々増加しているとともに、その幼児も預かり保育の利用を希望する場合が増えている。 ○安全面や教育的効果の面からﾍﾙﾊﾟｰ派遣に対する市民ニーズも高い。 ○派遣の必要な園に対し、８５％配置できるようになったが、まだ配置できていない園もある。	○適正なヘルパーの配置を行うため、各園での預かり園児総数や支援を要する園児数･必要とする支援の状況を把握し、配置を決定する。 ○ヘルパー任用時に、応募動機を確認しヘルパーとしての職責を担える人材を採用する。 ○研修等により、ヘルパーの資質を高める。 ○臨床心理士や教育相談員の巡回相談等を通し、幼児一人ひとりの発達を促しﾍﾙﾊﾟｰの支援の必要性を軽減する。

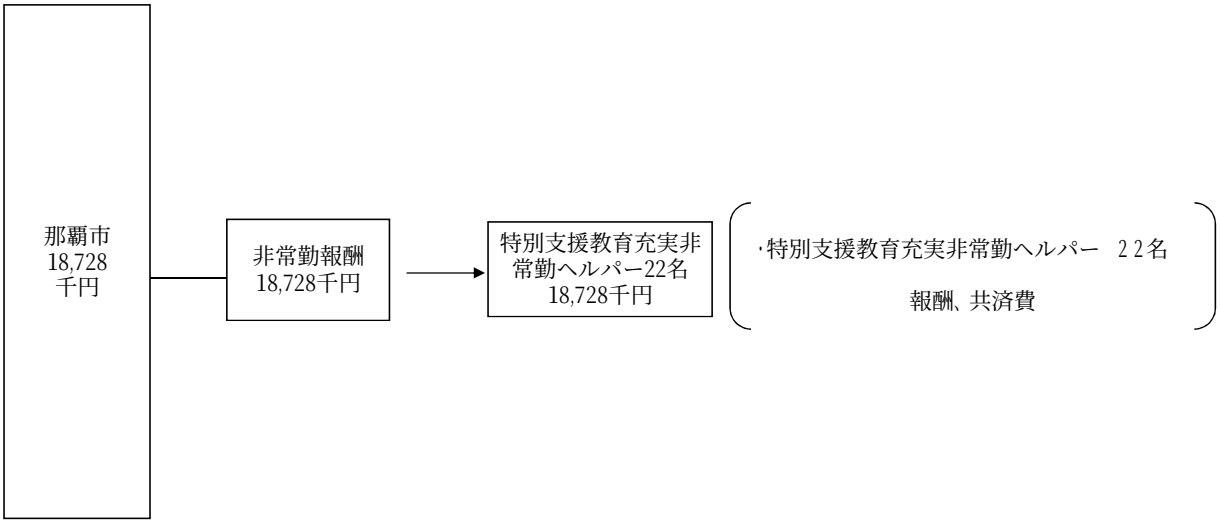
今後の取り組み方針

○支援を要する幼児数の増加へ対応するため予算確保に努める。

○教諭やヘルパーの資質向上、保護者の協力、小児デイサービス等関係機関との連携を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,728	18,728	14,982	3,746	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、業務に対する熱意、専門性などを見極め、この責務を担うにふさわしい人材を選んでいる。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。 ○費目･使途についても那覇市非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑦	預かり保育推進事業（ソフト交付金）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へとつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	27,256				
	(b)予算現額	27,256				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	27,256				
B．執行済額		26,114				
うち交付金充当額		20,891				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.8%				
予算の状況の説明		預かり保育臨時職員に係る賃金及び共済費で午前中の勤務に該当する分について、事業計画どおり適正に執行した。執行残の主な内容は通勤手当実績に係る分である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
預かり保育担当臨時職員配置数(預かり保育実施幼稚園)	目　標	(　35人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	35人			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

預かり保育実施園　35園に預かり保育臨時職員を各1人配置
午前から預かり保育臨時職員が配置されたことで、午前の園児の様子、活動内容を午後の預かり保育へ情報をつなぎ、一日の活動に連続性ができた。より充実した預かり保育が実施できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
預かり保育担当臨時職員配置数(預かり保育実施幼稚園)	目　標	(　)	(　35人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		35人			
預かり保育利用園児数	目　標	(　)	(　1,441人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1,512人			

進捗状況説明

預かり保育実施園　35園に預かり保育臨時職員を各1人配置
一日の園児の様子を把握することで、一人一人の状況に応じたよりきめ細やかな充実した預かり保育が実施できた。

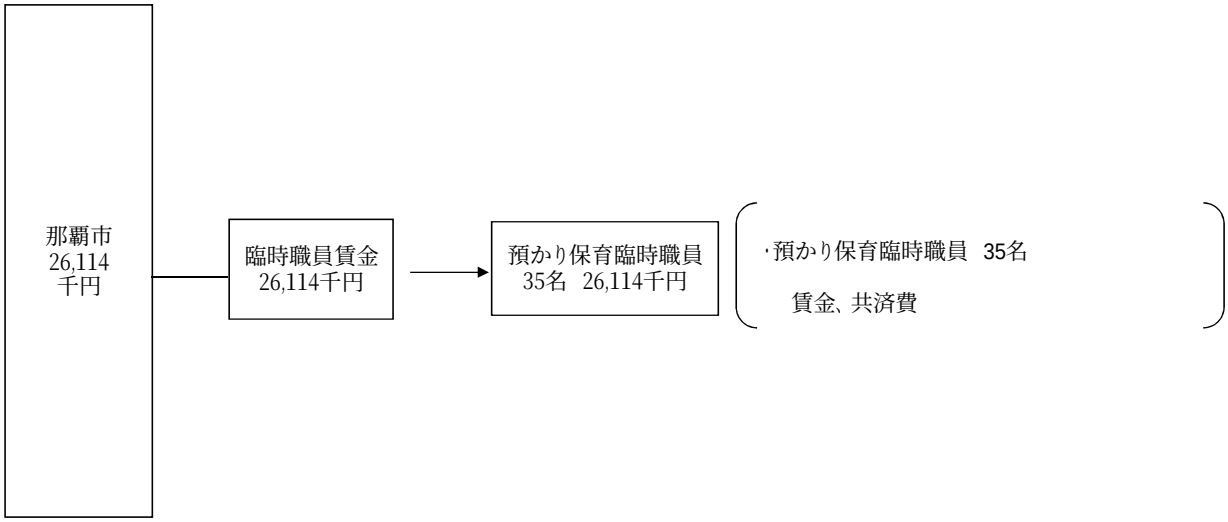
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○午前中から預かり保育臨時職員を配置することにより、午前の教育課程から　午後の預かり保育へ園児の一日の活動を引き継ぐことができるようになったが、預かり保育を利用する園児数が増加している。 ○午後からの預かり保育非常勤職員との情報共有や業務分担に偏りがないよう、調整しながらの対応が必要となる。	○学級担任と協力しながら、園児の状況を把握し、午後からの預かり保育非常勤と午前の園活動・園児の状況等を十分に情報伝達・情報共有しながら、保育をおこなう。 ○研修等により、保育の資質を高める。

今後の取り組み方針

継続して、各園へ預かり保育臨時職員を配置し、預かり保育の中心的役割として、午前の教育課程から　午後の預かり保育へ園児の一日の活動を引き継ぎ、きめ細やかな保育を充実させる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,114	26,114	20,891	5,223	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○勤務に対する賃金について、午前中からの勤務により預かり保育がより充実したものとなっている。 ○支出先の選定については、業務に対する熱意、専門性などを見極め、この責務を担うにふさわしい人材を選んでいる。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑧	学習支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒や過卒生を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,248	6,475			
	(b)予算現額	4,248	9,643			
	(c)増減額(b-a)	0	3,168			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	4,248	9,643			
B．執行済額		3,959	8,714			
うち交付金充当額		3,166	6,971			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		93.2%	90.4%			

予算の状況の説明

・不用額が929千円発生しているが、臨時教諭の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。※10月から補正予算増額（臨時教諭2人増員）が認められたが、結局は1カ月遅れで11月からの採用となったため。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・学習支援員配置数	目　標	（　2人　）	（　4人　）	（　　）	（　　）
	実　績	2人	4人		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒や過卒生を対象に、臨時教諭（年度当初は2人体制→11月から4人体制）による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組んだ。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・学習支援生徒数	目　標	（　　）	（　50人　）	（　50人　）	（　　）	（　　）
	実　績		50人	42人		
・高校入試合格率	目　標	（　　）	（　92%　）	（　92%　）	（　　）	（　　）
	実　績		92%	100%		

進捗状況説明

・学習支援事業における高校入試結果の実績として、過卒生12人中12人合格、現役中学生20人中20人合格となっており、全32人中の32人全員（100%）が合格を果たした。　※24年度は、全25人中の23人合格（92%）であった。

・25年度は高校受験対象者を中心に支援を強化した結果、高校受験者数も増え、合格率もアップした。

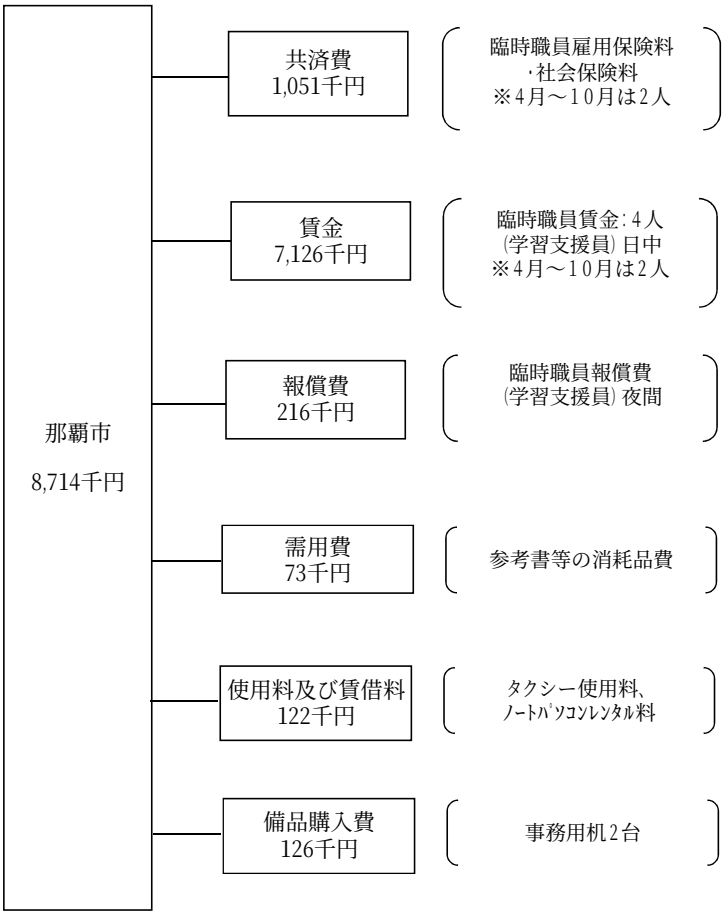
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・アルバイト等をしている生徒は学習支援時間を確保することが困難である。 ・同事業の需要がある中、２６年４月現在で学習支援員が２人減となった。	・家庭でも勉強する習慣を身につけさせる等工夫を行い合格率を維持する。 ・学習支援プログラムを作成し、支援活動を更に充実させる必要がある。

今後の取り組み方針

・今後も引き続き不登校等の児童生徒や過卒生で進学希望のある者へ、高等学校入試に向けた学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,714	8,714	6,971	1,743	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑨	学習ボランティア支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、退職教諭や地域人材によるボランティアを活用した学習支援に取り組む。

･活動内容　教科指導への支援、総合的な学習の時間への支援、学習に遅れのある児童生徒への学習支援
特別な支援を必要とする児童生徒への学習支援、校内研修･教材研究等の支援など

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,530	1,530			
	(b)予算現額	1,530	1,530			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	1,530	1,530			
B. 執行済額		1,254	1,472			
うち交付金充当額		1,002	1,177			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		82.0%	96.2%			

予算の状況の説明：学校への周知を図りながら事業を進めた結果、要望に基づいて必要なボランティアを配することができた。前年度より10%増で活動目標、成果目標を設定したが、その達成状況的もおおむね適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学習ボランティア実施校数	目　標	(小中学校 計20校)	(小中学校 計20校)	( )	( )
	実　績	小学校:15校 中学校:5校	小学校:18校 中学校:5校		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：市内の18小学校と5中学校において、個別指導など延べ1,500日、計58人のボランティアによる学習支援が実施された。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
学習ボランティア派遣人数	目　標	(0人)	(48人)	(50人)	( )	(累計 500人)
	実　績		48人	58人		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：市内の18小学校と5中学校において、個別指導など延べ1，500日、計58人のボランティアによる学習支援が実施された。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇市は、児童生徒の全国学力・学習状況調査において、依然として下位の状況となっている。 ・校長会や教頭会等で事業を周知した結果、小学校であらたに3校から申請が出された。	・個に応じたきめ細かな指導体制を強化することにより、児童生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着及び向上を図る必要がある。

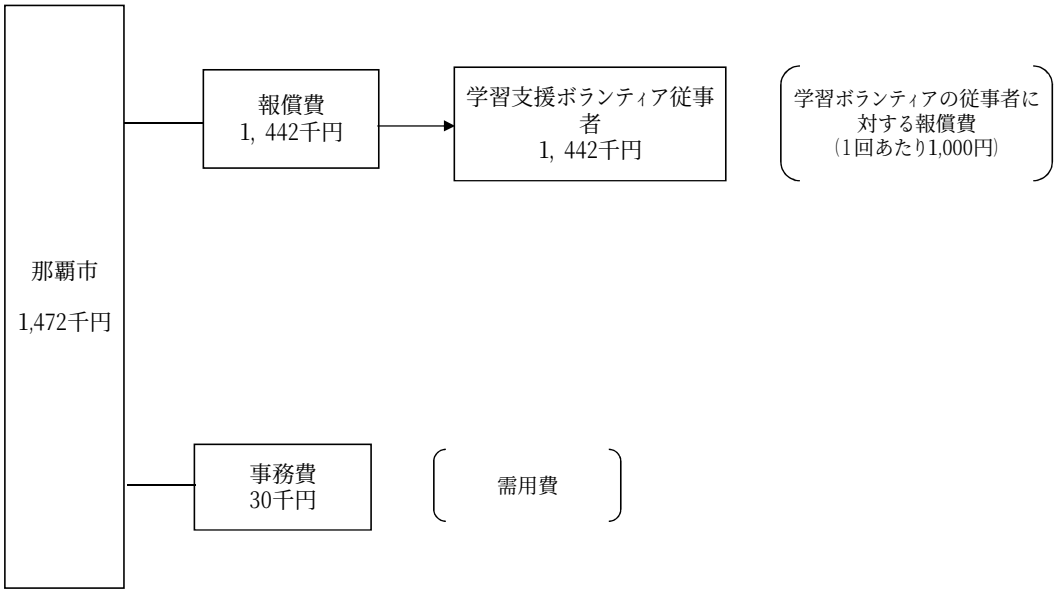
今後の取り組み方針

・教育体制を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供することで、児童生徒の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上が図られる。

・学校への通知や校長会・教頭会等における伝達で事業の周知を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,472	1,472	1,177	295	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、「学習支援ボランティア報償費事務処理要領」に基づく報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑩	学校サポートチーム支援員活用事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（1）－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（1）
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行う。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,466	10,755			
	(b)予算現額	7,466	10,755			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	7,466	10,755			
B．執行済額		6,717	10,034			
うち交付金充当額		5,373	8,027			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		90.0%	93.3%			
予算の状況の説明		・不用額が721千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績（交通費差額等）に伴う残が主なものであり、事業計画どおりに執行し、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・学校サポートチーム支援員配置数	目　標	（　5人　）	（　5人　）	（　）	（　）
	実　績	5人	5人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置（学習サポートチーム支援員を配置）し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・支援児童生徒数	目　標	（　）	（　30人　）	（　30人　）	（　）	（　）
	実　績		28人	33人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・自立支援教室（きら星学級）が支援した児童生徒数の実績として、通級支援14人、一時支援9人、集中支援4人、学校支援1人、自然宿泊体験3人、職場体験2人等であった。

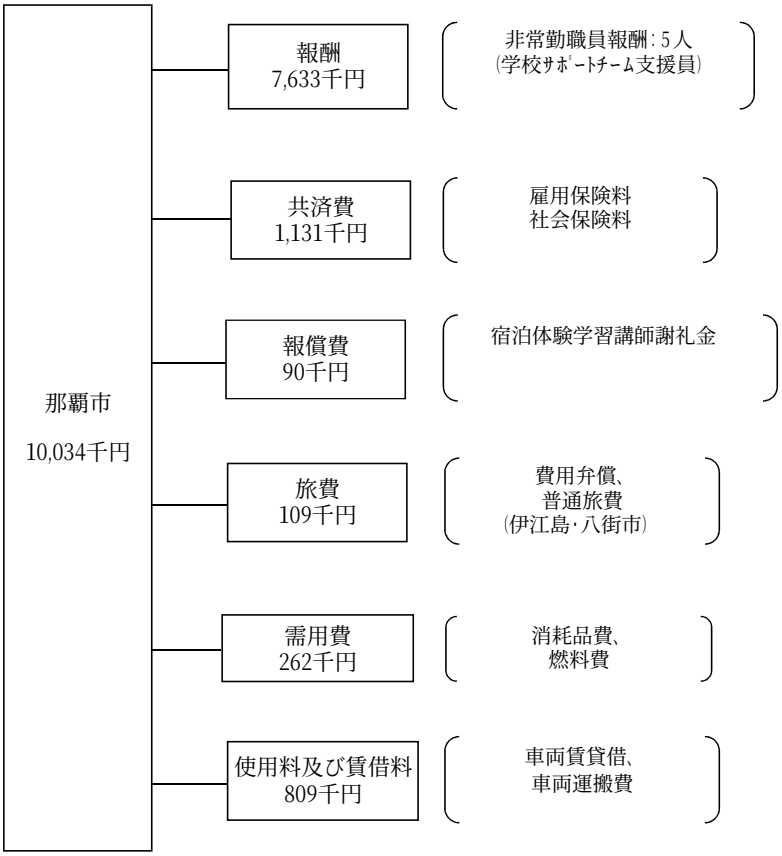
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・自立支援教室（きら星学級）の業務内容や支援員の役割（児童生徒支援）について、各種研修会で説明しているが、まだ学校への周知が充分ではない。 ・支援終了後、学校復帰や一部復帰、学校生活への適応がスムーズにいかない児童生徒がいる。	・更なる体験活動等の充実や、学校及び関係機関との連携強化を図る必要がある。 ・支援終了後、アフターフォローをどのように行うか、学校や保護者との更なる連携が必要である。

今後の取り組み方針

・遊び・非行傾向の不登校等で、学校外での指導や相談を必要とする児童生徒に対し、今後も引き続き、学校や社会への適応の促進及び将来の社会的自立に向けた支援等を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,034	10,034	8,027	2,007	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑪	教育相談支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談･支援に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a)当初予算額	23,328	36,247			
(b)予算現額	23,328	36,247			
(c)増減額(b-a)	0	0			
(d)繰越額	－	－			
A. 計(b+d)	23,328	36,247			
B. 執行済額	23,304	36,247			
うち交付金充当額	18,643	28,997			
次年度繰越額	0	0			
執行率（%）(B/A)	99.9%	100.0%			

予算の状況の説明：･事業計画どおりに執行し、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･教育相談支援員配置数(率)	目　標	(小学校:37人(100%) 中学校:17人(100%))	(小学校:37人(100%) 中学校:17人(100%))	( )	( )
	実　績	小学校:37人(100%) 中学校:17人(100%)	小学校:37人(100%) 中学校:17人(100%)		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：･将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談･支援に取り組んだ。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
･相談支援件数	目　標	( )	(1,000件)	(1,000件)	( )	( )
	実　績		1,093件	1,415件		
･相談支援回数	目　標	( )	(20,000回)	(20,000回)	( )	( )
	実　績		20,430回	24,970回		

進捗状況説明：
･相談支援件数の実績として、小学校1,140件、中学校275件、合計1,415件であり、主訴は、不登校、休みがち、分離不安、落ち着きがない、問題行動等であった。
･相談支援回数の実績として、小学校16,007回、中学校8,963回、合計24,970回であり、支援内容は、家庭訪問･登校支援、相談室等での支援、保護者支援等であった。

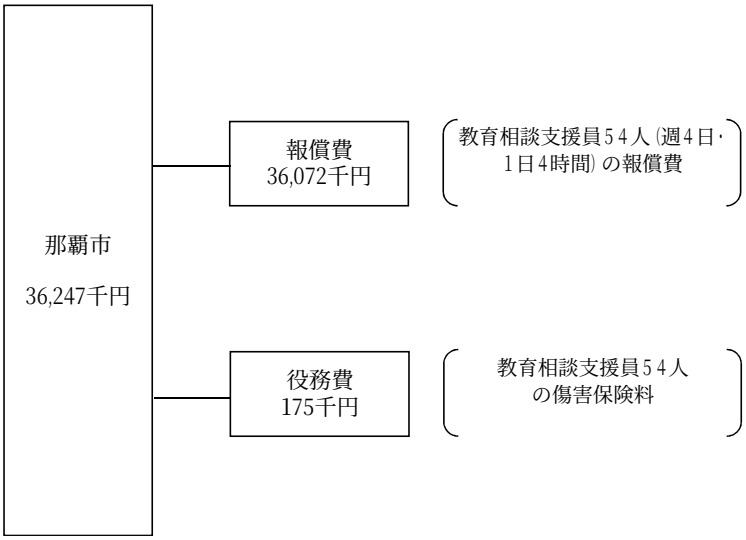
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・支援の依頼件数が増加傾向にあり、勤務時間内に業務を終えることが難しい状況である。 ・不登校が長期化、複雑化しているケースが増加傾向にある。	・支援員及び教職員等との連携や情報交換を密に行い、情報の共有や迅速な対応を更に図る必要がある。 ・家庭訪問等の早期支援や、関係機関との更なる連携を図る必要がある。

今後の取り組み方針

・不登校又は不登校傾向にある児童生徒と、子どものしつけに関し悩みを持つ保護者への対応を充実させる目的で、今後も引き続き教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談・支援に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,247	36,247	28,997	7,250	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑫	メンタルヘルスカウンセリング事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	16,606	26,265			
	(b)予算現額	16,606	26,265			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	16,606	26,265			
B. 執行済額		14,867	24,644			
うち交付金充当額		11,893	19,715			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		89.5%	93.8%			

予算の状況の説明

･不用額が162,1千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、事業計画どおりに執行しており、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･相談員配置数	目　標	（　9人　）	（　9人　）	（　）	（　）
	実　績	9人	9人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

･将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･教育相談(延)件数	目　標	（　）	（5,800件）	（5,800件）	（　）	（　）
	実　績		6，356件	6，621件		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

･教育相談(延)件数の実績として、電話相談、来所相談、アフターケア、教師のメンタルヘルス、支援員コンサルテーション等で、合計(延)6，621件の相談支援を行った。

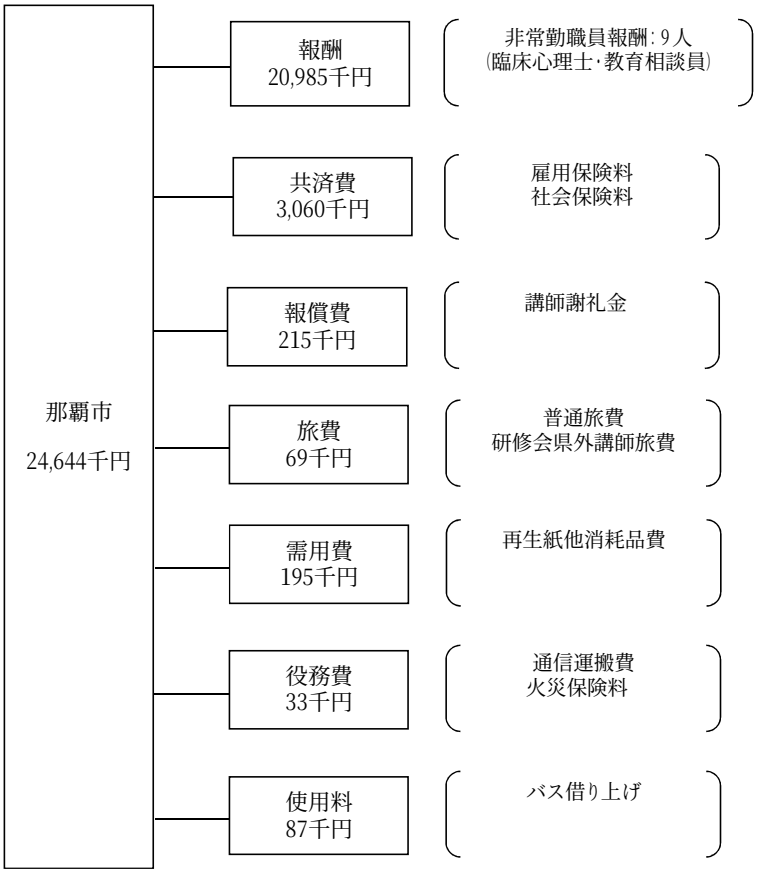
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・様々な症状による不登校相談であるが、その約半数が発達の課題を抱えた児童生徒であり、二次障害として不登校の問題が起こっている。 ・不登校児童生徒数は、前年度に比べ大幅に減少したものの、まだ全国平均の不登校率と比べたら多い。また、不登校予備軍（年間10日～29日欠席）も多い状況にある。	・各学校現場において、特別支援教育の視点からの学校適応に向けての取り組みを充実させる必要がある。 ・当課で把握している毎月の不登校状況及び各学校の効果的な取り組みを、早い時期にフィードバックし、早期対応の充実に繋げる必要がある。

今後の取り組み方針

・複雑化・深刻化する青少年問題（不登校・いじめ・暴力等）に対応するため、今後も引き続き、児童生徒及びその保護者、教師等への相談・支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,644	24,644	19,715	4,929	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑬	青少年旗頭事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（1）－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（1）
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承･発展に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,240	3,713			
	(b)予算現額	8,240	3,713			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	8,240	3,713			
B．執行済額		7,369	3,093			
うち交付金充当額		5,895	2,474			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		89.4%	83.3%			
予算の状況の説明		不要額が約62万円発生しているが、業務委託料の執行残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
全小中学校を対象に、旗頭修繕、制作及び演技指導等を実施	目　標	（　実施　）	（　実施　）	（　）	（　）
	実　績	実施	実施		
旗頭フェスタの開催	目　標	（旗頭フェスタの開催）	（旗頭フェスタの開催）	（　）	（　）
	実　績	旗頭フェスタの開催	旗頭フェスタの開催		
達成状況説明	開催間近での出場辞退が2校あったが、当初の予定期日どおり市内全55校中、49校の参加でフェスタを開催することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
旗頭フェスタに参加した児童生徒数	目　標	（　0人　）	（1.100人）	（1,210人）	（　）	（1,350人）
	実　績		1.148人	1,071人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	24年度は、１校当たり20人の参加を見込み目標値を設定したところ、それを上回る実績が残せた。 それを受けて25年度は目標値を上げて実施し、参加数は、49校と前年度より2校増えたが、参加人数は、目標値を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●参加する児童生徒の減少 ●教職員の過重負担の解消 ●フェスタ当日の進行に関して、細かな調整が必要。 ●当日、会場に駐車できないとの苦情が多かった。	●指導者の支援や現場確認等、学校との調整が必要。 ●前年生じた、綱引きにおける事故が生じないようにする。 ●搬入トラックの駐車場を確保する

今後の取り組み方針

●指導者の支援のために、旗頭講習会を行う。

●事故が生じないように配慮する。また、スムーズに演技が進むようにプログラムを組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,093	3,093	2,474	619	0

那覇市
3,093 千円
―
委託料
3,093千円
―
那覇市青少年健全育成市民会議
3,093千円
（青少年旗頭事業にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は本市の青少年健全育成の実践団体であり、各学校や地域との繋がりを勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑭	那覇市児童生徒県外交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア
					教育機会の拡充
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。郷土の歴史、文化等についての事前研修を5回程度行った上で、県外に派遣し、異なる文化、風土を体験させ広い視野を養う。また、研修の仕上げとして事後研修4回程度を行い、次世代の育成を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,620	4,740			
	(b)予算現額	4,620	4,740			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,620	4,740			
B. 執行済額		3,889	4,286			
うち交付金充当額		3,111	3,428			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		84.2%	90.4%			

予算の状況の説明：当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
交流事業で県外に派遣した児童生徒数	目　標	(　38人　)	(　38人　)	(　　)	(　　)
	実　績	38人	40人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：市内全中学校(市立:17校、私立:3校)から依頼した2名ずつの参加があった。
対象校を1校増やしたこともあり、目標以上を達成できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
交流事業で県外に派遣した児童生徒数	目　標	(　0人　)	(　38人　)	(　38人　)	(　　)	(　40人　)
	実　績		38人	40人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：市内全中学校(市立:17校、私立:3校)から依頼した2名ずつの参加があった。
対象校を1校増やしたこともあり、目標以上を達成できた。

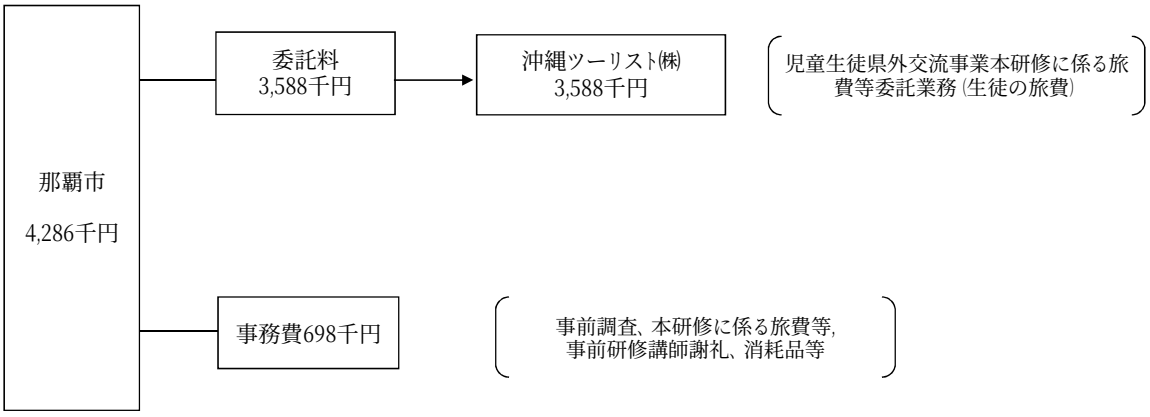
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●参加者数を増やす目標は達成されたが、引率者4人の割に参加人数が多いため、移動や作業等が思うように進まない場面がある。進行スケジュール等の見直しを図り、安全でスムーズな運営を検討する必要がある。 ●研修報告会が長時間及び単調になったため、時間配分・内容について検討するよう出席者から意見があった。	●事業効果測定のため、今回新たに、過去参加者のその後の動向を学校側（担当教諭）に対して調査を行った。学校内外での活動や希望する進路、将来の夢などについて前向きであったり、良い影響が見受けられる。今後はそれら効果を数値化できるよう、さらなる改善を図る。 ●学校行事の日程都合に応えるため、事業開催時期を変更したので、生徒らが参加しやすい環境を整えていきながら今後も学校側と連絡を密にしながら改善を図っていく。 ●事業内容について役割分担、時間配分など見直しを図っていく。（特に事前・事後研修）

今後の取り組み方針

次代を担う人材の育成という観点から、引き続き、生徒の幅広い視野を養うための効果的な方法を検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,286	4,286	3,428	858	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業務委託は入札により決定し、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑮	街頭指導事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（1）－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（1）

事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,233	20,041			
	(b)予算現額	12,233	20,041			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	12,233	20,041			
B．執行済額		11,409	19,528			
うち交付金充当額		9,126	15,622			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		93.3%	97.4%			
予算の状況の説明		・不用額が513千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものである。ほぼ事業計画どおりに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・専任指導員配置数	目　標	（　６人　）	（　６人　）	（　　）	（　　）
	実　績	６人	６人		
・青少年指導員配置数	目　標	（　８０人　）	（　８０人　）	（　　）	（　　）
	実　績	８０人	８０人		

達成状況説明	・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組んだ。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・街頭指導実施回数	目　標	（　　）	（　１,０５０回　）	（　１,０５０回　）	（　　）	（　　）
	実　績		１,０４０回	１,００８回		
・青少年の指導人数	目　標	（　　）	（　２,４００人　）	（　２,４００人　）	（　　）	（　　）
	実　績		２,４５６人	１,９３５人		

進捗状況説明	・街頭指導実施回数の実績は合計１,００８回であり、指導員２,９９２人、警察補導員・学校職員・ＰＴＡ・ボランティア等７,２９０人が関わった。 ・青少年の指導人数の実績は合計１,９３５人であり、行為別の内訳は、夜遊び１,４１６人、怠学１９６人、喫煙１７１人が主なものであった。 ・実施回数の減少は、青少年の実態把握分析や学校連携を深める業務に重点を置いたためであり、それが指導人数の減小にも影響した。

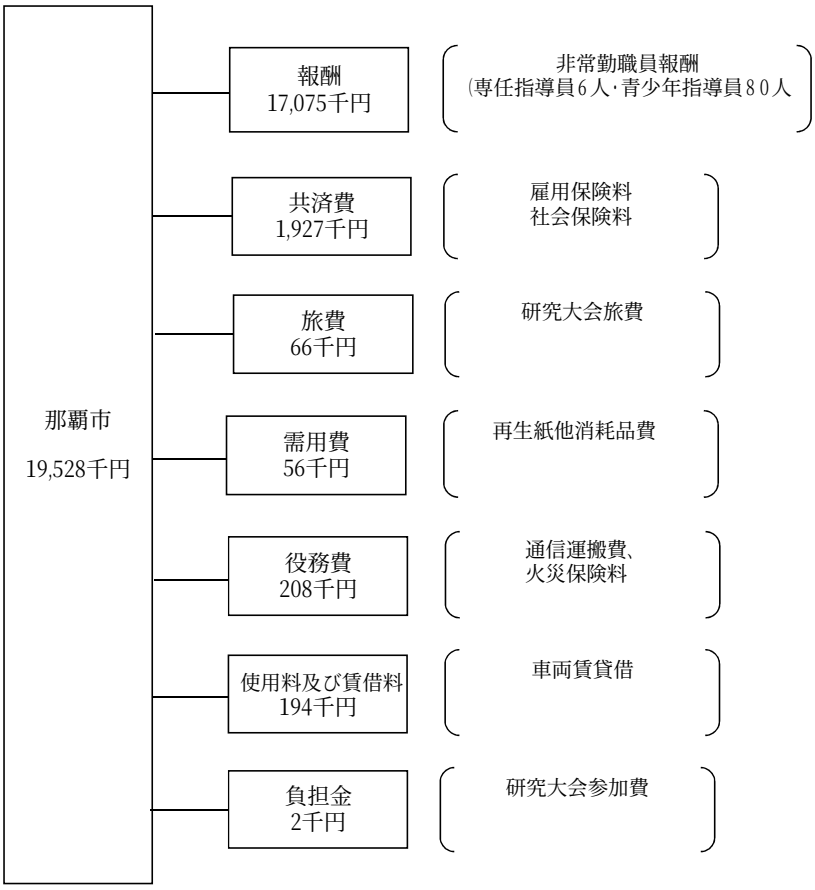
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・沖縄県における少年補導の現状は、年々増加傾向にあり、警察による人口千人あたりの本県の少年補導率は全国ワースト1位となっている。 ・25年度の実施回数の減少は、青少年の実態把握分析や学校連携を深める業務に重点を置いたためであり、それが指導人数の減小にも影響した。	・街頭指導事業を充実させるとともに、地域、企業、関係機関を巻き込んで、青少年の非行の未然防止に向けた取り組みの強化を検討する。 ・25年度に実施した、青少年の実態把握分析や学校連携を深める業務に重点を置いたことを踏まえ、街頭指導の効率の更なる向上に努める。

今後の取り組み方針

・専任指導員及び青少年指導員を中心に、青少年の問題行動がよくみられる繁華街・公園・ゲームセンター・学校周辺等での巡回指導を今後も引き続き行い、非行の未然防止や早期発見・早期対応に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,528	19,528	15,622	3,906	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑯	生徒サポーター派遣事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-５-（３）-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-（１）

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、学校内に教育支援室を設置して非行傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む生徒サポーターを市内の全中学校（１７校）へ派遣する。
生徒サポーターは遊び･非行傾向で特に個別の指導や相談を必要とする生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や体験活動を通した個別指導を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,431	17,185			
	(b)予算現額	10,431	17,185			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	10,431	17,185			
B．執行済額		9,912	15,863			
うち交付金充当額		7,929	12,690			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		95.0%	92.3%			

予算の状況の説明：予算残額は実績に基づく報償費の残であるが、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
生徒サポーター配置学校数	目　標	（　中学校：17校　）	（　中学校：17校　）	（　　）	（　　）
	実　績	中学校：17校	中学校：17校		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：那覇市内の全17中学校に生徒サポーターを計34名配置し、延べ15987.5時間の支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内中学校への生徒サポーター派遣率	目　標	（　0%　）	（　100%　）	（　100%　）	（　　）	（　100%　）
	実　績		100%	100%		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：市内全１７中学校へ生徒サポーター（計34名）を配置し、生徒への支援活動を行うことにより、成果目標である市内中学校への派遣率100%を達成している。

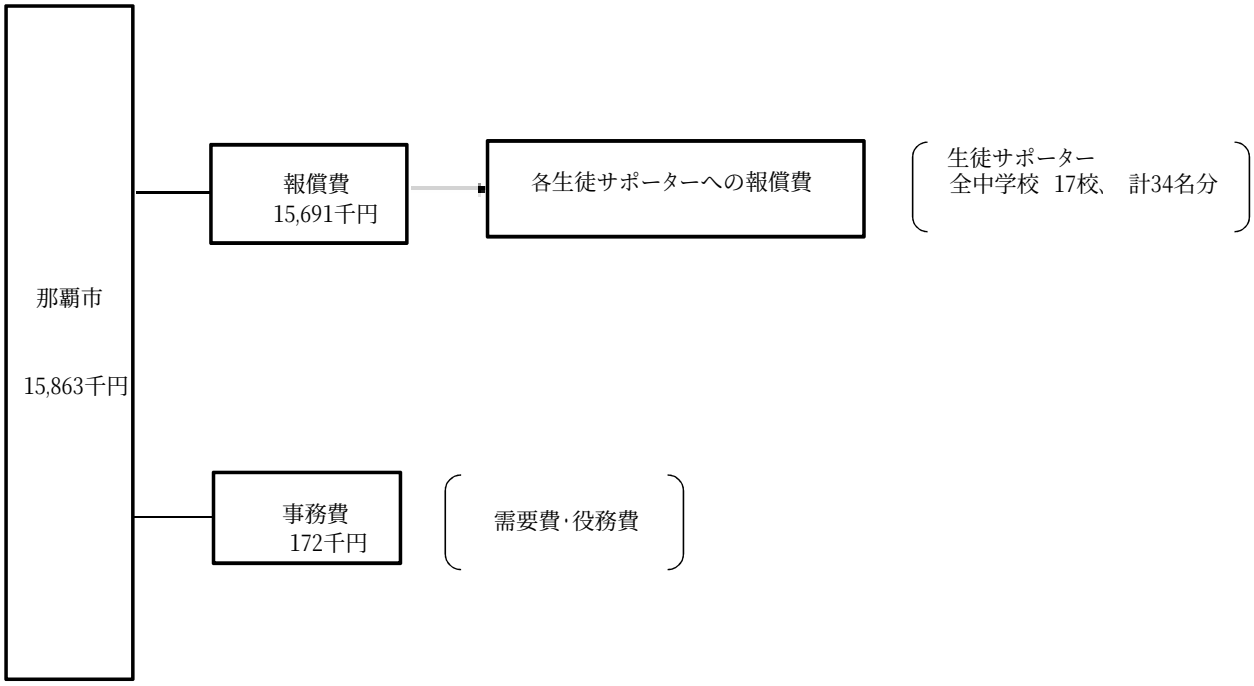
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・文部科学省の調査における不登校生徒に占めるあそび・非行の割合は、全国平均でほぼ10%余りで推移しているが、那覇市では30%台で推移しており、全国平均の約3倍となっている。 ・文部科学省の全国学力・学習状況調査や件学力到達度調査の結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」が課題となっている。	・現在、生徒サポーターには保護司や民生委員、青少協会長など様々な経験を有する方々の協力を得ている。今後もこれらの方々の協力を得ながらも、地域の方々との連携を深めながら事業を進めていく必要がある。 ・今後は1人当たりの活動時間を増やす検討を行っていきたい。

今後の取り組み方針

・生徒サポーターという活動内容を踏まえ、対象となる生徒への支援やサポーターの人材の確保のために、今後も地域に理解のある方々や自治会・青年会など地域の活動に取り組んでいる方々からの協力を得ることによって、学校・地域による支援活動として取り組み、「あそび・非行」による不登校等の問題行動の早期発見・早期対応を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,863	15,863	12,690	3,173	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、「那覇市生徒サポーター派遣事業実施要領」に基づき事業を実施し、学校からの報告に基づいて支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑰	スポーツ広場整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（１）－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	環境部　クリーン推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）
事業内容	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、今後のスポーツツーリズムの振興を支え沖縄振興に資する人材育成に有益な施設として、スポーツ広場を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	38,549		11,840		
	(b)予算現額	38,549		11,840		
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	24,117			
	A．計(b+d)	38,549	24,117	11,840		
B．執行済額		7,590	2,462	2,096		
うち交付金充当額		6,072	1,969	1,676		
次年度繰越額		24,117		0		
執行率（%）(B/A)		19.7%	10.2%	18%		

予算の状況の説明
・備品購入費(乗用草刈機、自動散水機）に660千円、工事請負費（パーゴラ）に1,436千円を執行。
・機具庫設置にかかる設計委託料、工事請負費の7,900千円、既設信号改良工事費の891千円については未執行。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
スポーツ広場の施設整備	目　標	（　施設整備　）	（　整備用具購入、整備拡張　）	（　　）	（　　）
	実　績	一部環境整備完了 備品整備完了	整備用具購入完了 一部施設整備完了		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明
・備品(乗用草刈機、自動散水機）購入済。
・パーゴラ設置済。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
広場利用の活性化を図るため、施設を整備する。	目　標	（　施設整備　）	（　　）	（　機具格納庫：1棟，パーゴラ：6基，草刈機：1台　）	（　　）	（　　）
	実　績			パーゴラ３基,草刈機１台,自動散水機１基		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明
・乗用草刈機１台及び自動散水機１基を購入済。
・パーゴラは小型６基を中型３基に変更し設置済。
・機具庫設置に係る設計及び施工については、平成２４年度繰越事業のトイレ設置工事と同時期執行を予定していたが、トイレ設置工事の入札が鉄筋工等の不足により成立しなかった状況から、機具庫設置ついては平成２５年度は執行しないこととした。
・既設信号機の改良は、予定機種が生産中止となり、他の機種では当初の目的が達せられないため執行しないこととした。

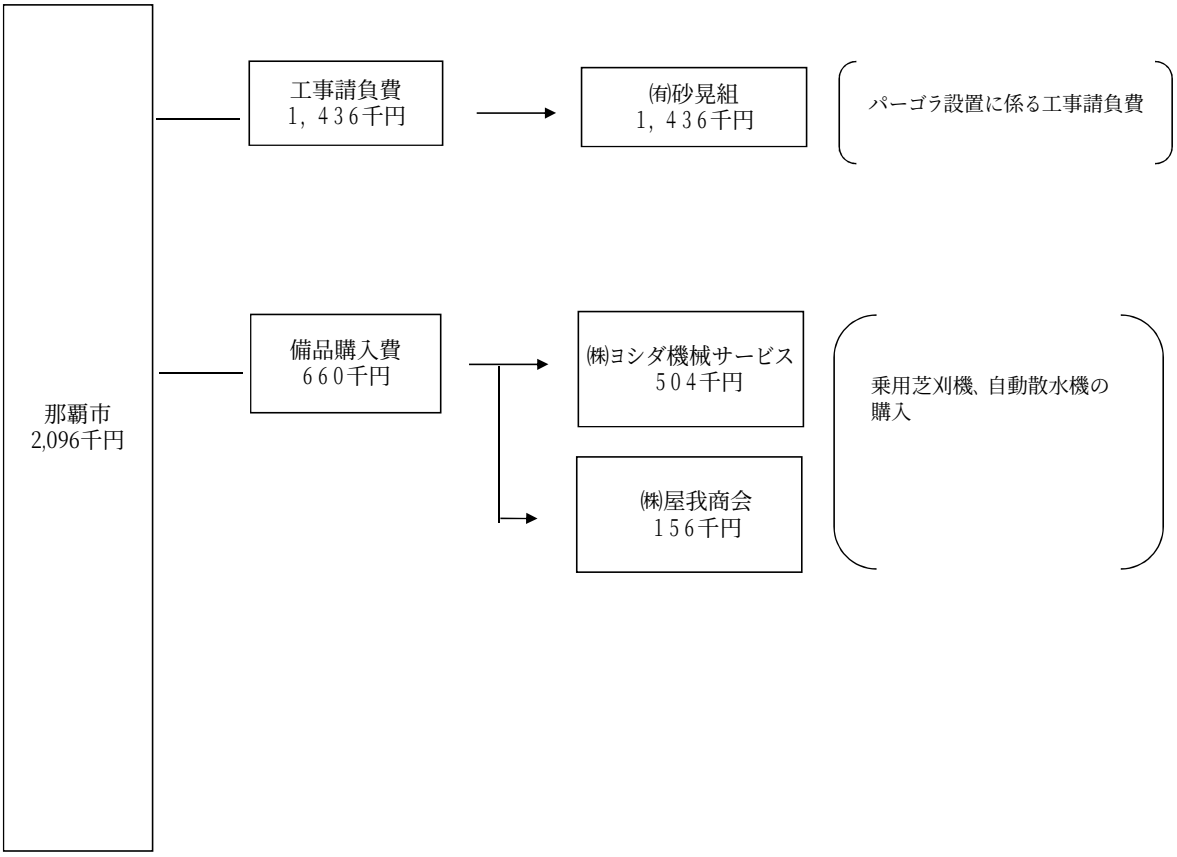
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当施設は、最終処分場敷地に設置しているため、可燃性ガスへの注意喚起等、利用者の安全性については十分配慮する必要がある。	現在、当施設は、自動車道を跨ぐ大名橋のみを利用しているが、施設環境が整い、大きな大会等の開催を考えた際は、関係者や関係車両の安全性や効率性を踏まえた通行経路を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

現在、給水設備はあるが、基本設備である常設トイレが設置されていない。今後の展開としては、これら基本設備の整備後に大会等の誘致も可能であると考えている。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,096	2,096	1,676	420	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者、備品購入業者は入札により選定。執行は適性であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑱	児童のスポーツ県外派遣補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市･県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a)当初予算額	2,434	7,050			
予算の状況 (b)予算現額	2,434	7,050			
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0	0			
予算の状況 (d)繰越額	－	－			
予算の状況 A．計(b+d)	2,434	7,050			
B．執行済額	1,212	6,118			
うち交付金充当額	969	4,894			
次年度繰越額	0	0			
執行率（%）(B/A)	49.8%	86.8%			

予算の状況の説明：当該事業の効果により、児童生徒の県外派遣（予選突破）が増加している。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大会派遣児童生徒数(累計)：290人	目　標	(　220人　)	(　290人　)	(　　)	(　　)
	実　績	264人	373人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：野球、サッカー等の17競技の大会に目標を上回る373人（団体･個人合わせ75件）の児童生徒を県･市の代表として県外大会へ派遣することができた。
目標を上回った要因としては、野球やサッカーなどの団体競技の派遣が予想より多かったこと及び平成24年度から当該事業の概要をホームページに掲載し、広報に務めたことから、ゴルフ等のスポーツ少年団に加盟していない個人の申請が増加したことが考えられる。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
大会派遣児童生徒数(累計)：290人	目　標	(　172人　)	(　220人　)	(　290人　)	(　　)	(　290人　)
	実　績		264人	373人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：野球、サッカー等の17競技の大会に目標を上回る373人（団体･個人合わせ75件）の児童生徒を県･市の代表として県外大会へ派遣することができた。平成24年度から当該事業の概要をホームページに掲載し、広報していることから今後も申請が増える可能性がある。
目標を上回った要因としては、野球やサッカーなどの団体競技の派遣が予想より多かったこと及び平成24年度から当該事業の概要をホームページに掲載し、広報に務めたことから、ゴルフ等のスポーツ少年団に加盟していない個人の申請が増加したことが考えられる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現状で特に課題なし。 平成24年度から事業の広報に務めたこと、要綱を改正し補助額が増加したこともあり、前年度に比べより多くの児童が当事業を活用し、県外大会へ出場する機会を生かすことができた。	より多くの児童に県外大会へ出場する機会を生かしてもらうために、これまで以上に当事業の広報に努めていく必要がある。

今後の取り組み方針

那覇市スポーツ少年団と連携し、各競技団体へ当事業のPRを行う。
また、派遣が決まった団体、個人へ当事業の活用を促す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,236	6,118	4,894	1,224	6,118

那覇市
6,118千円

→

補助金
6,118千円

→

柔道、テニス（11）、水泳（7）、ゴルフ（10）、ミニバスケットボール（2）、野球（9）、空手（4）、サッカー（12）、剣道、ソフトテニス（2）、なぎなた（3）、レスリング、ソフトボール（2）、卓球（3）、キンボール（2）、アイスホッケー（3）、バレーボール（2）

以上75件373人の県外派遣に伴う航空運賃実費の1/2補助

6,118千円

交付対象外経費

航空運賃実費の1/2　6,118千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑲	児童･生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-５-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-（1）

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市･県を代表する児童･生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。
･補助対象：市内小中学校の児童生徒
･派遣対象：スポーツ･文化両面で学校教育活動の一環で、県の代表として県外に派遣される場合
･補助額：１人当たり航空賃実費の半額

実施方法　□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,960	9,435			
	(b)予算現額	4,352	9,435			
	(c)増減額(b-a)	392	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A．計(b+d)	4,352	9,435			
B．執行済額		4,352	9,357			
うち交付金充当額		3,481	7,485			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	99.2%			

予算の状況の説明：児童生徒の活躍に伴い、ほぼ事業計画どおりの執行となった。活動目標、成果目標の達成状況から適正な執行と考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大会等派遣児童生徒数	目　標	(　280人　)	(　400人　)	(　　)	(　　)
	実　績	280人	505人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：市内延べ51小中学校からの申請に対して、計505名分の児童生徒県外派遣旅費の補助を行った（大会種別は、合唱、吹奏楽、サッカー、バスケットボール、テニス等。派遣地は、鹿児島市、福岡市、宮崎市、熊本市等）。児童･生徒のスポーツ面、文化面での活躍がめざましく、目標を上回る派遣数となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
大会等派遣児童生徒数	目　標	(　0人　)	(　280人　)	(　400人　)	(　　)	(　累計 4,000人　)
	実　績		280人	505人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：市内延べ51小中学校からの申請に対して、計505名分の児童生徒県外派遣旅費の補助を行った（大会種別は、合唱、吹奏楽、サッカー、バスケットボール、テニス等。派遣地は、鹿児島市、福岡市、宮崎市、熊本市等）。児童･生徒のスポーツ面、文化面での活躍がめざましく、目標を上回る派遣数となった。

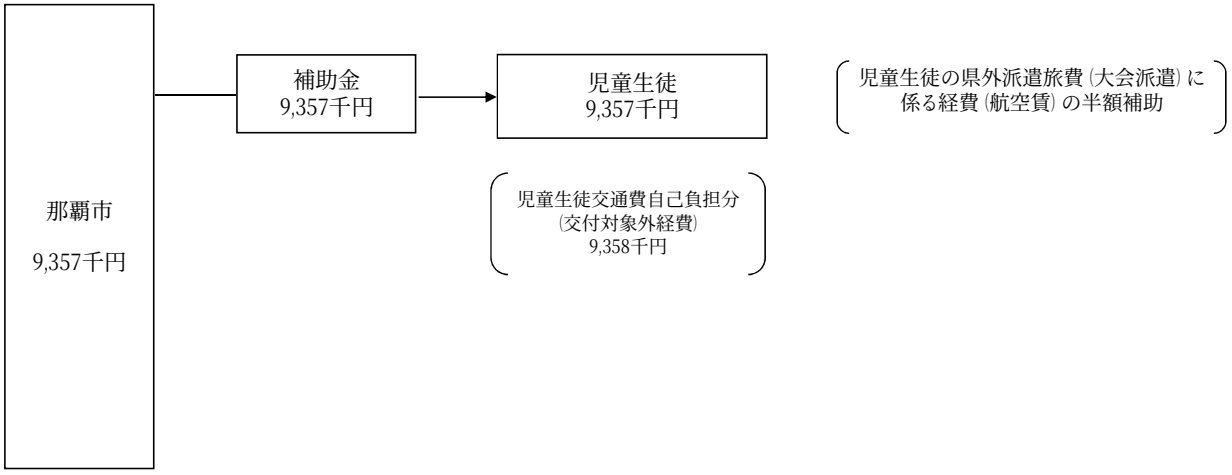
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・離島県である沖縄の地理的条件により、県外への大会派遣については多大な負担を伴う。 ・H25年度はほぼ100％の予算執行であったが、年度によっては予算の過不足が生じることが予想される。	・児童生徒の県外大会への積極的な参加を促すために費用の一部助成が必要であり、早期より事業の周知をはかる。

・県外派遣の負担軽減により、県外派遣の機会を増やし、次代を担う児童生徒の可能性を引き出し、教育の振興を図る。

・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、事業の周知をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,715	9,357	7,485	1,872	9,358



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑳	離島等自然体験学習事業　自然教室		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。自然体験を通じて、自然とのふれあいや地域社会への理解を深め、集団宿泊活動の中で自主、自律、協力等社会上の望ましい態度や実践力を育む。
活動内容：1泊～2泊で県立石川・玉城青少年の家等に宿泊
キャンプファイヤーやテント泊、野外炊飯、ウォークラリー等、現地の資源（自然）を最大限に生かした自然体験活動を行う。

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,710	12,147			
	(b)予算現額	9,710	12,147			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	9,710	12,147			
B．執行済額		8,420	9,308			
うち交付金充当額		6,736	7,446			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		86.7%	76.6%			

予算の状況の説明：予算残額は実績に基づく指導員・看護師への謝礼金・保険料の残額、及びバス賃借料・扶助費の残額であるが、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
実施学校数	目　標	（小学校34校）	（小学校33校）	（　）	（　）
	実　績	小学校34校	小学校33校		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：県の離島体験事業のみ参加した4校を除き、残りの市内全33小学校が自然体験学習を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
自然体験活動を実施した児童数	目　標	（0人）	（3,100人）	（3,000人）	（　）	（累計 33,000人）
	実　績		3,246人	3,004人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：県の離島体験事業のみ参加した4校を除き、残りの市内全33小学校が自然体験学習を実施し、小学校5年生3,004人が参加した。

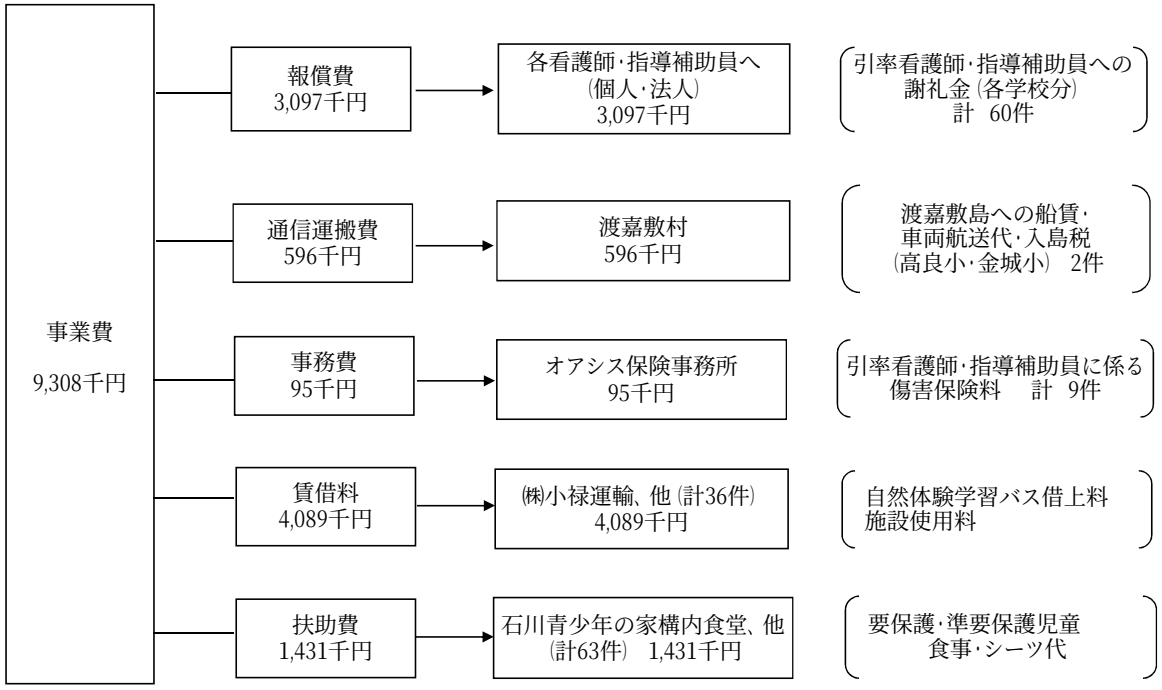
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・全国学力調査や県学力調査結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」について課題があることが明らかになっている。 ・亜熱帯性のある島嶼件である沖縄で、その自然特性を生かした「生きる力」を育む教育が求めらている。	・離島での自然教室実施を促し、カヌーやカヤック体験等、山だけでなく海での自然体験をすることで、より豊かな感性を磨く。

今後の取り組み方針

・離島等への積極的な児童派遣を促し、自然環境の中での宿泊生活を通じて、通常の学校生活では得難い人間的なふれあいを深めると共に、社会生活上の望ましい態度や意欲を育てることで、次代を担う人材の育成を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,308	9,308	7,446	1,862	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、自然教室実施要項に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-21	幼稚園冷房機設置事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（２）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成24年度～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）
事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－	19,870		
	(b)予算現額	23,904	－	28,472		
	(c)増減額(b-a)	23,904	0	8,602		
	(d)繰越額	－	23,904	－		
	A．計(b+d)	23,904	23,904	28,472		
B．執行済額		0	21,182	18,127		
うち交付金充当額		0	16,945	14,501		
次年度繰越額		23,904	－	0		
執行率（%）（B/A）		0.0%	88.6%	63.7%		
予算の状況の説明		24年度繰越分においては当初予定していた分の設置が完了した 25年度分については教室の利用状況を検証し、当初予定していた4園（11教室）から9園（12教室）での設置となったものの、概ね予定どおりの執行となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
冷房機設置園数	目　標	（10園）	（4園）	（　）	（　）
	実　績	10園	9園		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：H25年度　冷房機設置　9園及び　H24年度　繰越分10園を実施

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
冷房機設置園数	目　標	（　）	（10園）	（4園）	（　）	（　）
	実　績		10園	9園		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：H25年度　冷房機設置　9園及び　H24年度　繰越分10園を実施。H26年度に3園実施予定。

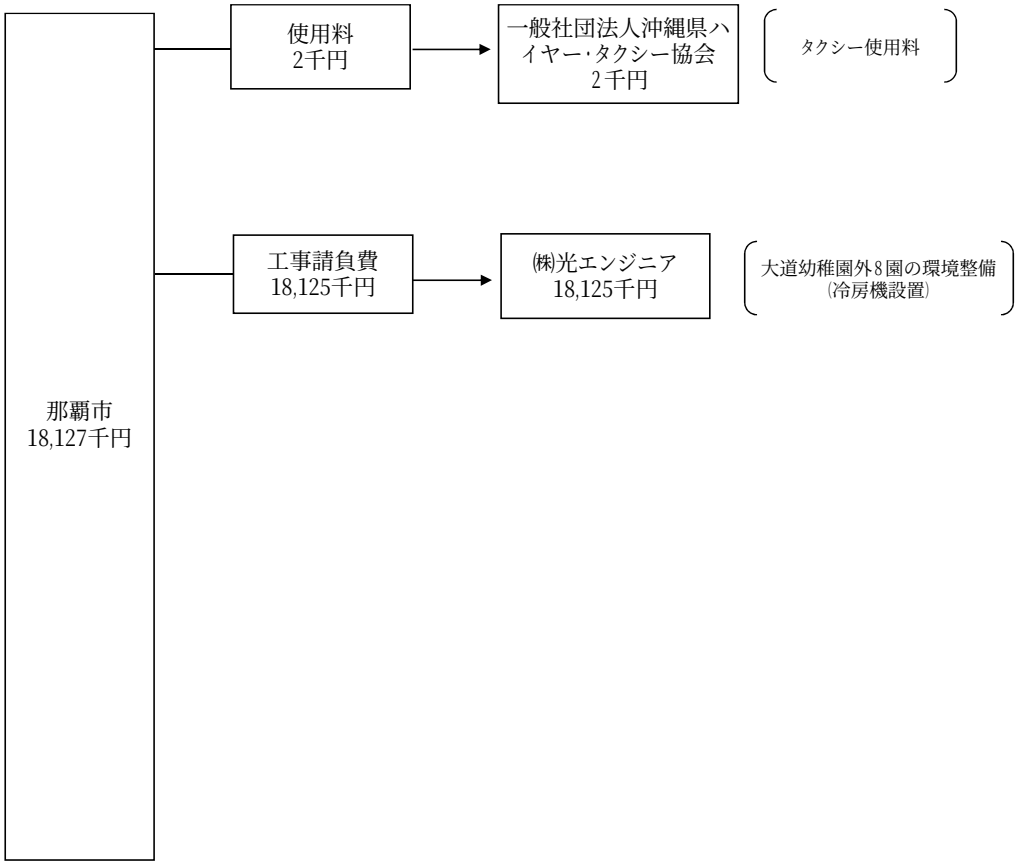
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○冷房機器設置に伴い、園児の活動状況に応じた効率的・効果的な使用をおこなう。	○園児数の増減により、教室数(学級数）の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。

今後の取り組み方針

(今後の展開方針)
H25年度に9園、　H24年度　繰越分として10園を実施。
H26年度に3園実施予定
幼稚園冷房機設置事業は平成26年度で終了。教室の利用状況をみながら検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,127	18,127	14,501	3,626	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-22	小学校施設環境整備事業（冷房設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0	76,243		
	(b)予算現額	76,236	0	86,070		
	(c)増減額(b-a)	76,236	0	9,827		
	(d)繰越額	－	76,228	－		
	A．計(b+d)	76,236	76,228	86,070		
B．執行済額		7	65,054	67,867		
うち交付金充当額		5	52,044	54,293		
次年度繰越額		76,228	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	85.3%	78.9%		

予算の状況の説明

・平成24年度(繰越)分及び平成25年度分において、不用額がそれぞれ11,174千円、18,203千円となっている。その内訳は、臨時職員の賃金や工事請負費の設計残及び入札残などであるが、それぞれの年度で計画していた事業内容はすべて実施した。また、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みても適正であると考える。
・整備教室数を増やすため、工事請負費を増額補正した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校冷房施設整備:21校	目　標	(21校 39教室)	(21校 60教室)	( )	( )
	実　績	21校 39教室	21校 60教室		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：平成２５年度分においては、２１校60教室の設置を行い、当年度の目標を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
小学校冷房施設整備:21校	目　標	(-)	(21校 39教室)	(21校 60教室)	( )	(21校 212教室)
	実　績		21校 39教室	21校 60教室		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：平成２５年度分の２１校60教室の機器設置に向けて取り組み、目標を達成した。

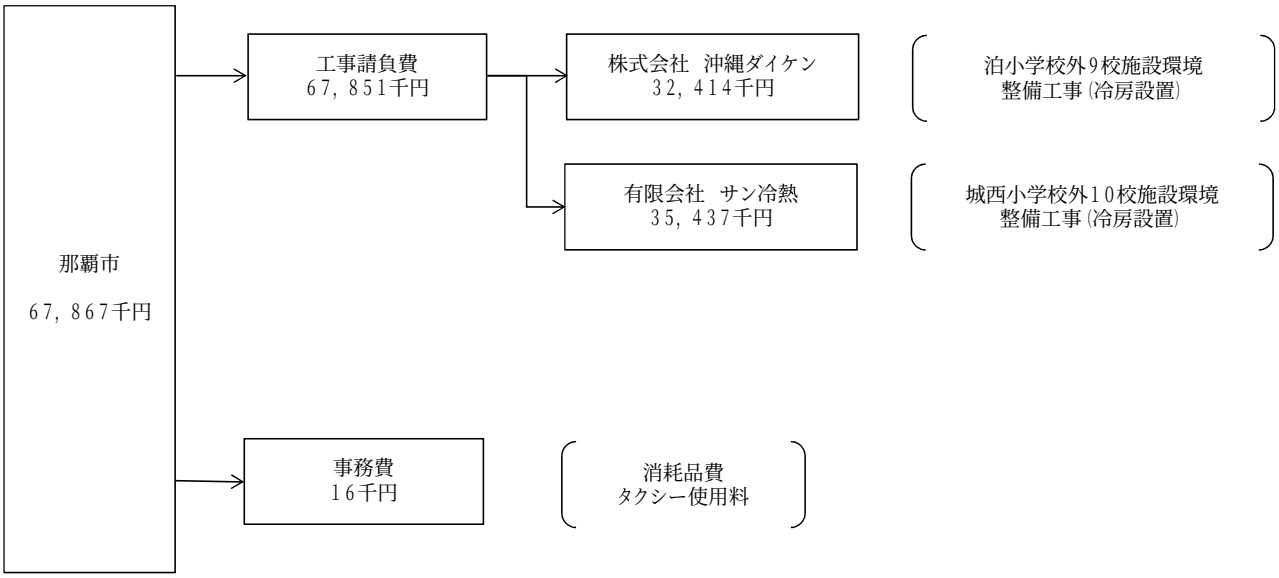
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	冷房機器の設置に伴い、今後、電気容量の不足が考えられるため、受変電設備の改修について、検討を要する。	生徒数の増減により、毎年教室数の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。 当該事業は、普通教室（特別支援教室含む）の整備計画であり、今後は、特別教室を含めた整備計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

（今後の展開方針）　※児童生徒数の増減により整備教室数に変更あり。
H26年度：小学校20校冷房施設整備
H27年度：小学校15校冷房施設整備
H28年度：小学校5校冷房施設整備
H29年度：小学校3校冷房施設整備（予定）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
67,867	67,867	54,293	13,574	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-23	中学校施設環境整備事業（冷房設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。

実施方法

□直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0		17,861		
	(b)予算現額	17,971		22,600		
	(c)増減額(b-a)	17,971	0	4,739		
	(d)繰越額	－	17,966	－		
	A．計(b+d)	17,971	17,966	22,600		
B．執行済額		5	15,812	16,651		
うち交付金充当額		3	12,650	13,320		
次年度繰越額		17,966	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	88.0%	73.7%		

予算の状況の説明

・平成24年度(繰越)分及び平成25年度分において、不用額がそれぞれ2,154千円、5,949千円となっている。その内訳は、工事請負費の設計残及び入札残などであるが、それぞれの年度で計画していた事業内容はすべて実施した。また、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みても適正であると考える。
・整備教室数を増やすため、工事請負費を増額補正した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校冷房施設整備:6校	目　標	(5校 11教室)	(6校 15教室)	( )	( )
	実　績	5校 11教室	6校 15教室		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明

平成２５年度分においては、６校15教室の設置を行い、当年度の目標を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
中学校冷房施設整備:6校	目　標	(-)	(5校 11教室)	(6校 15教室)	( )	(7校 47教室)
	実　績		5校 11教室	6校 15教室		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明

平成２５年度分の６校15教室の機器設置に向けて取り組み、目標を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	冷房機器の設置に伴い、今後、電気容量の不足が考えられるため、受変電設備の改修について、検討を要する。	生徒数の増減により、毎年教室数の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。 当該事業は、普通教室（特別支援教室含む）の整備計画であり、今後、特別教室を含めた整備計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

（今後の展開方針）　※児童生徒数の増減により整備教室数に変動あり。
H26年度：中学校6校冷房施設整備
H27年度：中学校2校冷房施設整備
H28年度：中学校1校冷房施設整備

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,651	16,651	13,320	3,331	0

那覇市
16，651千円
→
工事請負費
16，651千円
→
株式会社　石川電設
16，651千円
（石田中学校外4校施設環境整備工事（冷房設置））

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-24	幼稚園施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（２）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成24年度～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）

事業内容

塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－	33,572		
	(b)予算現額	32,005	－	55,085		
	(c)増減額(b-a)	32,005	0	21,513		
	(d)繰越額	－	32,005	－		
	A．計(b+d)	32,005	32,005	55,085		
B．執行済額		0	28,727	51,674		
うち交付金充当額		0	22,981	41,339		
次年度繰越額		32,005	－	0		
執行率（%）（B/A）		0.0%	89.8%	93.8%		

予算の状況の説明：・予算残については、ほとんどが入札残である。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
外壁塗装実施園数：４園	目　標	（3園）	（4園）	（　）	（　）
	実　績	3園	4園		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・平成２５年度４園実施。事業を完了した

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
外壁塗装実施園数：４園	目　標	（　）	（3園）	（4園）	（　）	（　）
	実　績		3園	4園		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・平成２５年度４園実施で事業を完了した
・幼稚園施設老朽化抑制事業(平成24年度3園、平成25年度4園、合計7園）の事業完了

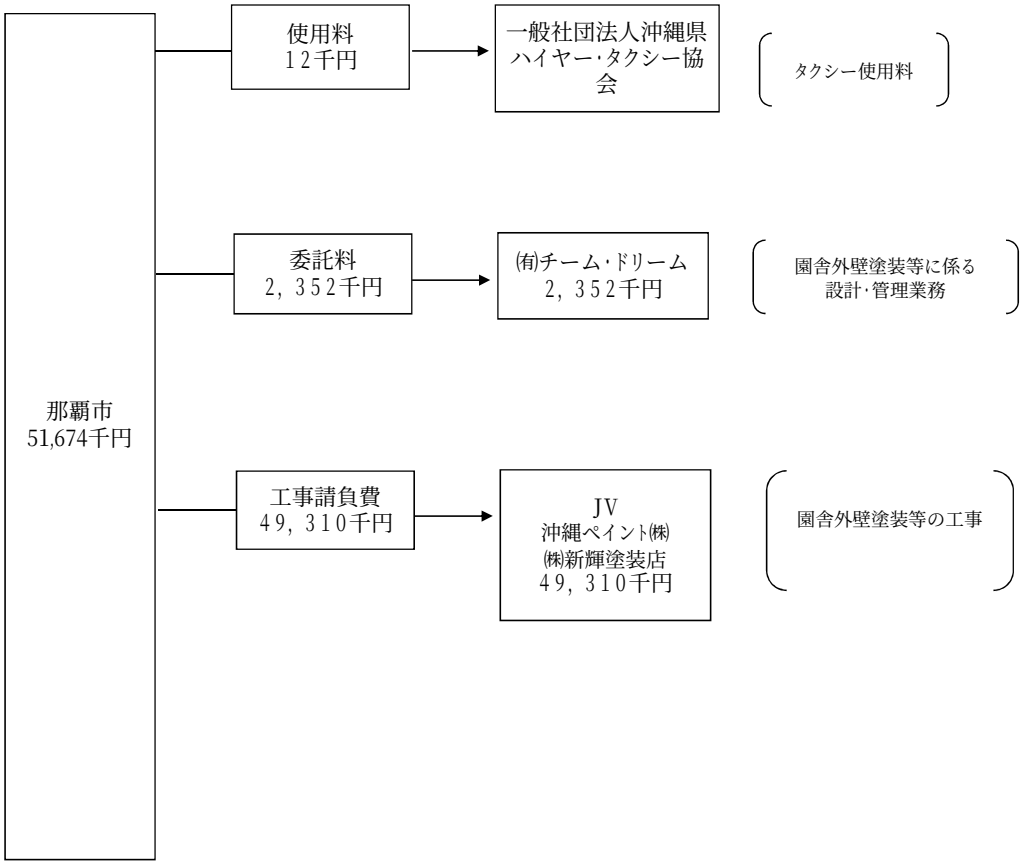
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○幼稚園を運営しながら作業を行う必要があるため、作業時間や作業内容の制約をうけるため、事業の進捗に支障が生じる。	○幼稚園を運営しながらの作業であることを念頭においた作業の配分が求められる。

今後の取り組み方針

○綿密な作業配分の計画を立て、集中作業時の人員確保等に務める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
51,674	51,674	41,339	10,335	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託は指名競争入札、工事請負は一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-26	中学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－（3）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－	50,000		
	(b)予算現額	50,000	－	46,933		
	(c)増減額(b-a)	50,000	－	▲ 3,067		
	(d)繰越額	－	50,000	－		
	A．計(b+d)	50,000	50,000	46,933		
B．執行済額		0	38,462	38,466		
うち交付金充当額		0	30,769	30,772		
次年度繰越額		50,000	0	0		
執行率（%）（B/A）		0.0%	76.9%	82.0%		
予算の状況の説明		・予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校校舎等外壁整備：1校（金城中学校）	目　標	（　1校　）	（　1校　）	（　　）	（　　）
	実　績	1校	1校		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：・平成25年度内で事業を完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中学校校舎等外壁整備：1校（金城中学校）	目　標	（　　）	（　1校　）	（　1校　）	（　　）	（　　）
	実　績		1校	1校		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：・平成25年度内で事業を完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・足場設置後の打診調査で、設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が多数あり、下地補修に想定外の時間を要した。	・事前調査の段階で、可能な限りの打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、作業をスムーズに進めることができると思われる。

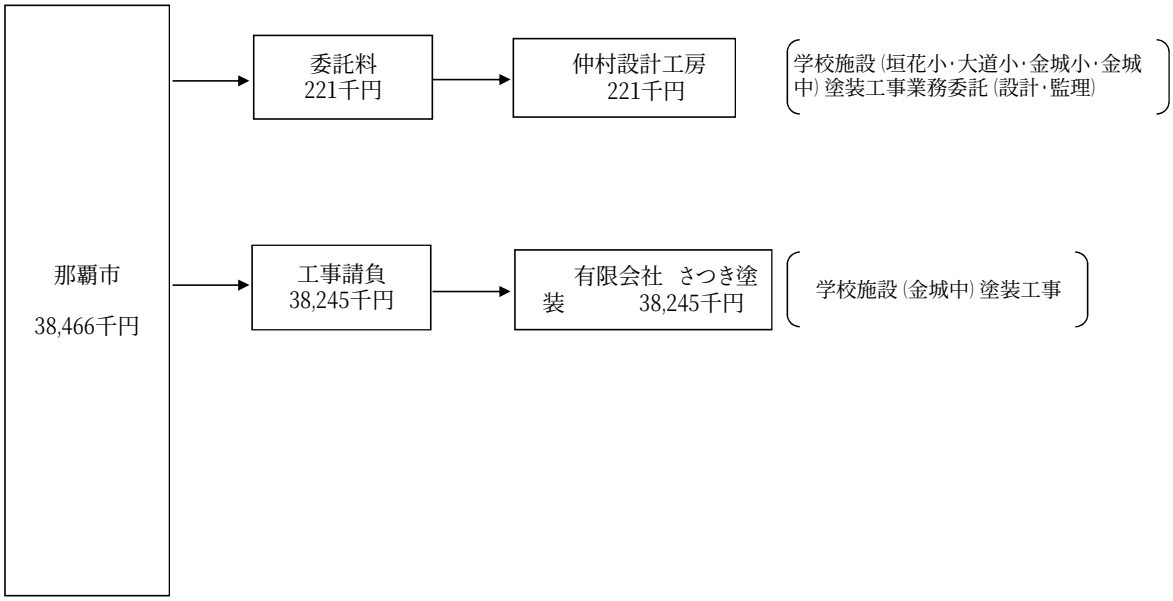
今後の取り組み方針

・今後も学校施設の劣化は進行するため、施設の長寿命化のためにも定期的な点検・調査を行い、適切な時期に全面再塗装を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,466	38,466	30,772	7,694	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託は指名競争入札、工事請負は一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-27	校舎等剥離補修業務事業（小学校）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（３）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-（１）

事業内容

塩分規制以前に建築された学校施設は、海砂を用いたことによる塩害等の影響によりコンクリートや鉄筋が劣化し、剥落が多く発生している。そのため、改築までの緊急危険回避のため、剥落や腐食防止などの剥離補修を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0	55,933		
	(b)予算現額	67,747	0	55,933		
	(c)増減額(b-a)	67,747	0	0		
	(d)繰越額	－	67,747	－		
	A．計(b+d)	67,747	67,747	55,933		
B．執行済額		0	28,487	41,809		
うち交付金充当額		0	22,789	33,447		
次年度繰越額		67,747	0	0		
執行率（%）（B/A）		0.0%	42.0%	74.7%		

予算の状況の説明

２４年度に行われた学校施設の劣化調査に基づき、剥離補修を行い、２５年度分を完了した。また、補修用予算は概算での要求であったため、劣化調査の結果から、補修箇所や掛かる経費が当初の想定よりも少なくなったことにより、若干低い執行率となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校剥離補修施設整備：13校	目　標	（　10校　）	（　13校　）	（　　）	（　　）
	実　績	7校	6校		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

劣化調査の結果や補修計画の精査によって、補修ではなく改築や解体での対応を行うなどにより、全体的に補修対象校や補修箇所が少なくなった。なお、２５年度補修計画の段階で、塩分規制後の学校が数校含まれていたことが判明したため、これらを交付金対象校から除き、一般財源での補修を行った。したがって、当初目標よりは少なくなったものの、２５年度分における補修対象校は、すべて補修を完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
小学校剥離補修施設整備：13校	目　標	（　0　）	（　10校　）	（　13校　）	（　　）	（　　）
	実　績		7校	6校		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

剥離補修を行ったことにより、コンクリート等の落下の危険性が低減。補修計画のとおり２５年度事業は完了した。

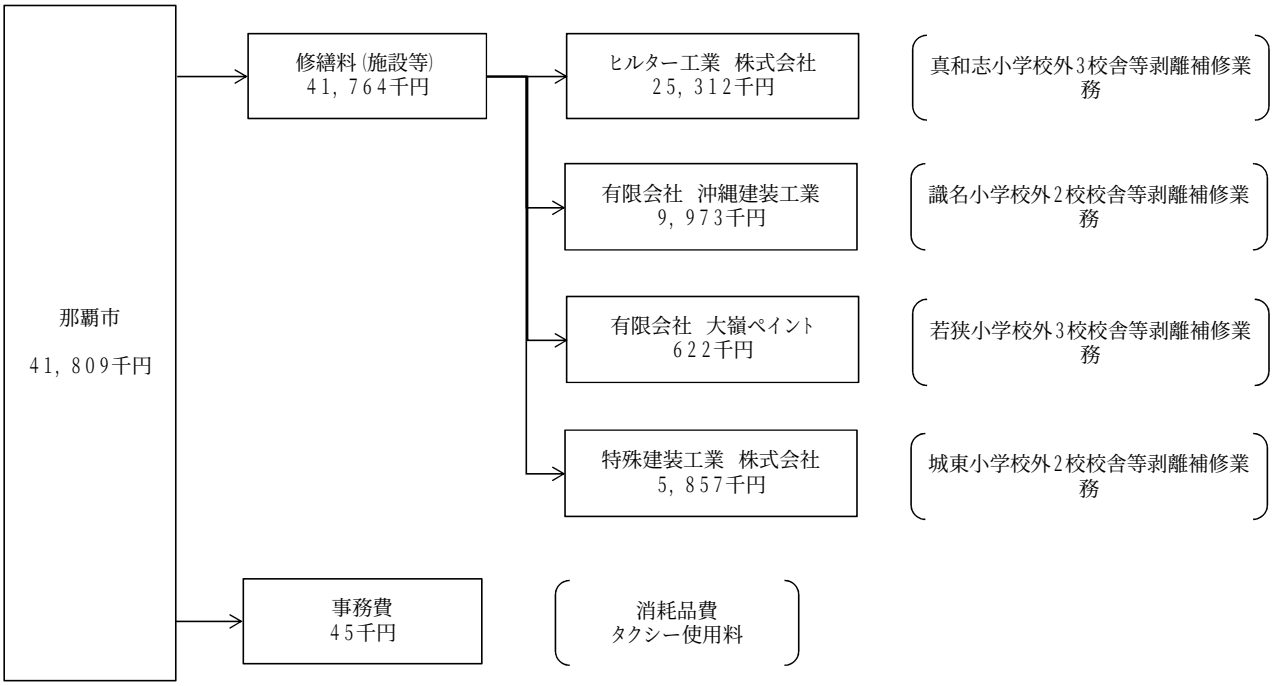
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	補修のための足場設置後の打診調査で、事前調査段階では確認できなかったコンクリート等の浮きが多数見つかった。 また、補修よりも解体や改築を行ったほうが効率的な学校施設もあったため、補修計画の見直しが必要であった。	事前調査の段階で、可能な限り足場を設置して打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、より効率的な補修が行えると思われる。 また、想定以上に劣化が激しい場合は、改築計画の前倒しや解体等で対応することも、選択肢の一つとして検討する。

今後の取り組み方針

今後も学校施設の劣化は進行するため、定期的な点検・調査を行い、必要に応じて適切な補修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,809	41,809	33,447	8,362	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、指名競争入札にて決定しており、適正に執行されていると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-28	校舎等剥離補修業務事業（中学校）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（３）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-（１）

事業内容

塩分規制以前に建築された学校施設は、海砂を用いたことによる塩害等の影響によりコンクリートや鉄筋が劣化し、剥落が多く発生している。そのため、改築までの緊急危険回避のため、剥落や腐食防止などの剥離補修を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0	19,277		
	(b)予算現額	53,562	0	19,277		
	(c)増減額(b-a)	53,562	0	0		
	(d)繰越額	－	53,562	－		
	A．計(b+d)	53,562	53,562	19,277		
B．執行済額		0	32,977	15,932		
うち交付金充当額		0	26,381	12,745		
次年度繰越額		53,562	0	0		
執行率（%）（B/A）		0.0%	61.6%	82.6%		

予算の状況の説明

２４年度に行われた学校施設の劣化調査に基づき、剥離補修を行い、２５年度分を完了した。また、補修用予算は概算での要求であったため、劣化調査の結果から、補修箇所や掛かる経費が当初の想定よりも少なくなったことにより、若干低い執行率となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校剥離補修施設整備：3校	目　標	（　5校　）	（　3校　）	（　　）	（　　）
	実　績	4校	3校		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

劣化調査の結果や補修計画の精査によって、補修ではなく改築や解体での対応を行うなどにより、全体的に補修対象校や補修箇所が少なくなった。しかしながら、２５年度分における補修対象校は、すべて補修を完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中学校剥離補修施設整備：3校	目　標	（　0　）	（　5校　）	（　3校　）	（　　）	（　　）
	実　績		4校	3校		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

剥離補修を行ったことにより、コンクリート等の落下の危険性が低減。補修計画のとおり２５年度事業は完了した。

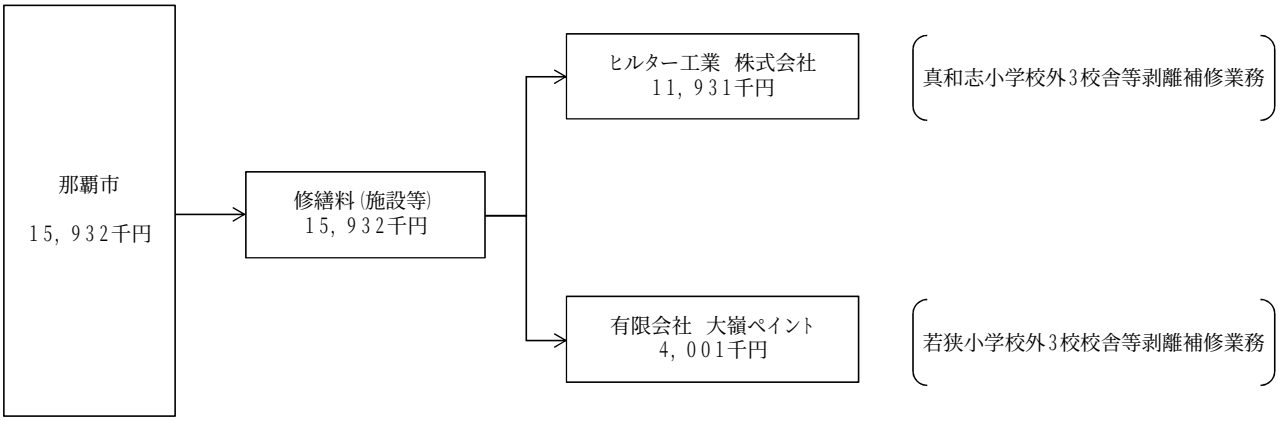
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	補修のための足場設置後の打診調査で、事前調査段階では確認できなかったコンクリート等の浮きが多数見つかった。 また、補修よりも解体や改築を行ったほうが効率的な学校施設もあったため、補修計画の見直しが必要であった。	事前調査の段階で、可能な限り足場を設置して打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、より効率的な補修が行えると思われる。 また、想定以上に劣化が激しい場合は、改築計画の前倒しや解体等で対応することも、選択肢の一つとして検討する。

今後の取り組み方針

今後も学校施設の劣化は進行するため、定期的な点検･調査を行い、必要に応じて適切な補修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,932	15,932	12,745	3,187	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、指名競争入札にて決定しており、適正に執行されていると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-29	老朽化校舎解体工事事業（神原小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－（3）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、神原小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心･安全の確保を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	73,411				
	(b)予算現額	73,411				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	73,411				
B．執行済額		65,392				
うち交付金充当額		52,313				
次年度繰越額		0				
執行率（%）（B/A）		89.1%				
予算の状況の説明		･予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･神原小学校老朽化校舎解体	目　標	（　1校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：･神原小学校の老朽校舎を解体撤去するため、設計監理業務を委託発注し、その後、解体工事を発注した。年度内に目標の解体工事までを終えた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
･神原小学校老朽化校舎解体	目　標	（　）	（　1校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：･平成25年度内で事業を完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小学校の児童が、既設校舎を使いながら隣の校舎を解体する工事なため、児童や近隣住民等へ支障がないよう、十分な調整が必要である。	・事業執行をする上で更なる効率化を図るため、学校が長期に休みがとれる夏休み等の活用を行う。そのため、事業スケジュールの早期執行が必要である。

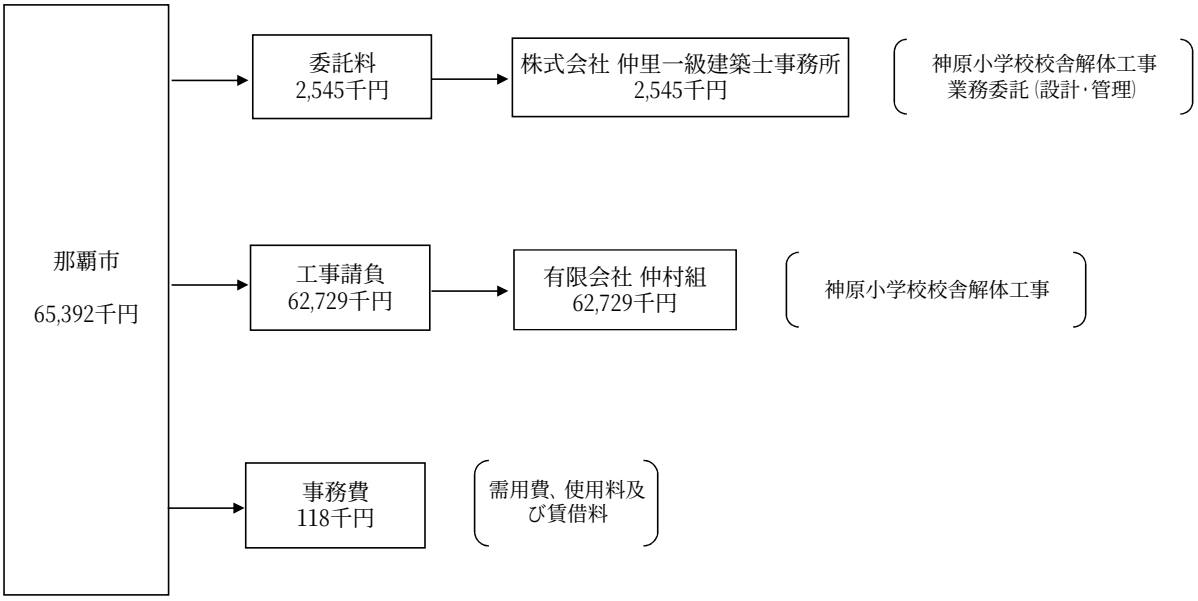
今後の取り組み方針

・解体時期、工事期間中の安全確保、解体跡地の利用方法など、事前に学校側との調整が必要であるため、十分な調整期間を確保する必要がある。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
65,392	65,392	52,313	13,079	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託は指名競争入札、工事請負は一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-30	老朽化校舎解体工事事業（高良小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－（3）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、高良小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心･安全の確保を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	71,086				
	(b)予算現額	41,119				
	(c)増減額(b-a)	▲ 29,967				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	41,119				
B. 執行済額		30,501				
うち交付金充当額		24,400				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		74.2%				
予算の状況の説明		･予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･高良小学校老朽化校舎解体	目　標	（　1校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：･高良小学校の老朽校舎を解体撤去するため、設計監理業務を委託発注し、その後、解体工事を発注した。年度内に目標の解体工事までを終えた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
･高良小学校老朽化校舎解体	目　標	（　）	（　1校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：･平成25年度内で事業を完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小学校の児童が、既設校舎を使いながら隣の校舎を解体する工事なため、児童や近隣住民等へ支障がないよう、十分な調整が必要である。	・事業執行をする上で更なる効率化を図るため、学校が長期に休みがとれる夏休み等の活用を行う。そのため、事業スケジュールの早期執行が必要である。

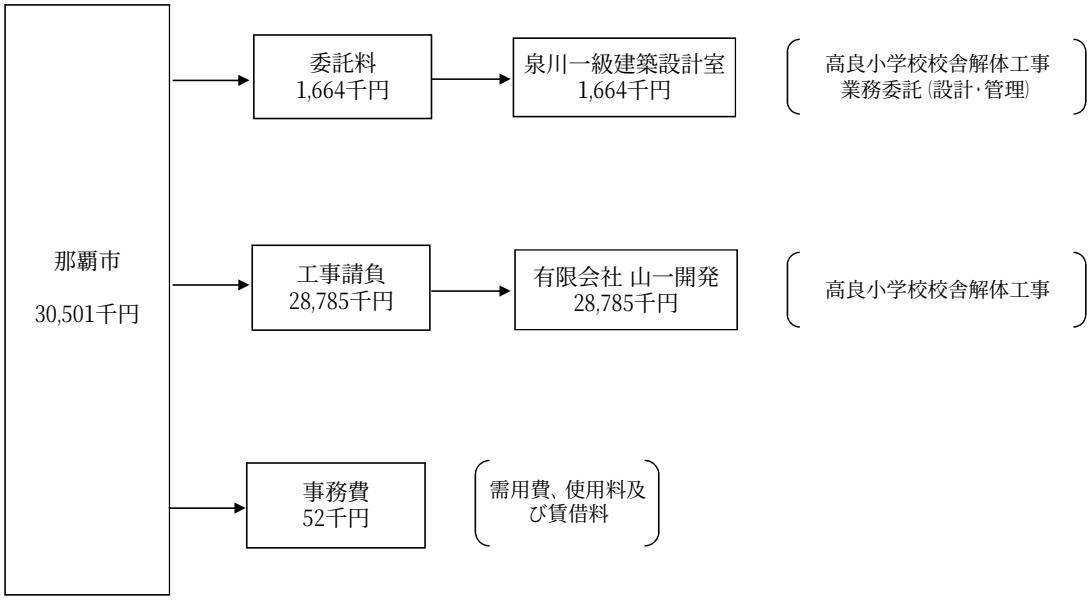
今後の取り組み方針

・解体時期、工事期間中の安全確保、解体跡地の利用方法など、事前に学校側との調整が必要であるため、十分な調整期間を確保する必要がある。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,501	30,501	24,400	6,101	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託は指名競争入札、工事請負は一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-31	幼稚園熱中症対策事業（ミスト発生機設置）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（２）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）
事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策としてミスト発生機を設置し、より良い教育環境を確保する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	8,485				
	(c)増減額(b-a)	8,485				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	8,485				
B．執行済額		5,727				
うち交付金充当額		4,581				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.5%				
予算の状況の説明		公立幼稚園（36園）分のミスト発生機購入費。不用額は入札残によるもの。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
ミスト発生機購入設置：公立幼稚園36園	目　標	（　36園　設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	36園設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：公立幼稚園全36園へミスト発生機を設置

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
全幼稚園へミスト発生機設置完了（ミスト発生機購入設置：公立幼稚園36園）	目　標	（　）	（　36園設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		36園設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成２５年度に各園(全36園）へ設置完了し平成２６年度より活用。
今後は効率的･効果的な使用をおこなう。

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○気温や湿度、また園児の屋外活動状況をみながら、適切な使用をおこなう	○定期的なメンテナンスを行い、良好な状態での使用する。 ○熱中症対策として効果的な設置場所や運用の検討を行う。 ○冬場等の使用できない期間の活用を検討する。

今後の取り組み方針

○H26年度以降において屋外活動の際に各幼稚園で使用し、ミスト発生機の効率的な使用に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,727	5,727	4,581	1,146	

那覇市 5,727千円 → 備品購入 5,727千円 → 株式会社国際重機 5,727千円

・ミスト発生機購入設置（36幼稚園）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○入札により、効果的に購入できた。 ○購入台数、入札参加数が多かったことで、落札額が低くなり、　落札残となった
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-32	教育の情報化推進タブレット端末導入事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育研究所	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)
事業内容	電子黒板配置に合わせて、小学校及び中学校にタブレット端末を導入し、児童生徒の学習意欲、コミュニケーション能力の向上と協働学習による学力向上を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	29,950				
	(b)予算現額	29,950				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	29,950				
B. 執行済額		25,740				
うち交付金充当額		20,592				
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		85.9%				
予算の状況の説明		・タブレット端末等の購入は入札による執行残あり。 ・タブレット端末等を活用した授業支援を行うサポーター派遣は入札による執行残あり。 ・導入学校視察は当初県外視察3人で試算していたが、実績は県外視察2人、県内視察2人のため執行残あり。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
タブレット端末等の導入	目　標	（小学校3校に115台 中学校3校に75台）		（　）	（　）
	実　績	小学校3校に115台 中学校3校に75台			
導入校へのタブレットサポート支援員の配置	目　標	（6名配置）		（　）	（　）
	実　績	6名配置			

達成状況説明：タブレット端末等の購入で、小学校3校に115台、中学校3校に75台、合計190台のタブレット端末を導入。電子黒板と連携して活用するためのソフトやその他周辺機器も導入した。
導入校へのタブレット端末を使った学習の実施を支援するサポート支援員を各校へ配置した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
小学校、中学校とも半数以上の教室でタブレット端末を使った学習ができるよう指導する。	目　標	（　）	（半数以上の教室で実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		目標未達成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：タブレット端末等を導入し、児童生徒の学習意欲やコミュニケーション能力の向上を図る授業や協同学習を実施した。また、校内研修や公開授業等を行った。実績については、タブレット端末等の導入が2月10日であり、タブレット端末等を活用した授業支援を行うサポーター派遣期間も約2ヶ月と短く、H25年成果目標(指標)である半数以上の教室での実施は達成できなかった。導入時期が教職員の繁忙期である年度末ということもあり、研修や教材研究の時間を作ることが困難な状況であった。

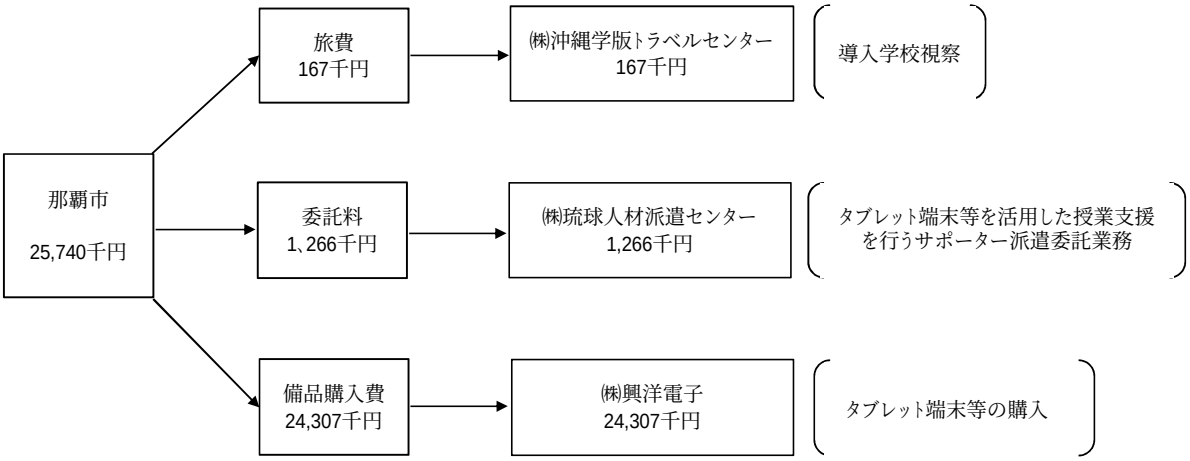
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	タブレット端末等の導入が2月10日であり、タブレット端末等を活用した授業支援を行うサポーター派遣期間も約2ヶ月と短く、さらに、年度末の3月は教職員の繁忙期であり、研修や教材研究の時間を作ることが難しい。また、教職員の人事異動等もある。	タブレット導入校において、教諭を対象とした研修を重ねていくと共に、タブレット端末を活用した授業の参観を通して指導助言等を行い、タブレット端末の活用推進や授業での効果的活用を図っていく。

今後の取り組み方針

タブレット端末等の導入学校の校内で研修等を開催し、タブレット端末や電子黒板等を活用して、引き続き、児童生徒の学習意欲、コミュニケーション能力の向上と協働学習による学力向上を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,740	25,740	20,592	5,148	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○入札により効果的に機器の導入や業務委託を行うことができ、支出先、費目・使途等については妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-33	学力向上に向けた調査研究事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章ー５ー(3)ーア
担当部課名	学校教育部　教育研究所	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度		確かな学力を身につける教育の推進
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

那覇市では、これまで本学力調査を中学校1･2年生に実施し、本調査結果の分析を基にした教師の指導力や授業改善への取組を重点的に行っている。同様な取組を小学校でも実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、3年生対象となっている「基礎学力向上のための学習支援事業」との連携を意識しながら、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるための調査研究を実施する。将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、基礎学力の向上、進学率など教育水準の向上を目指す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,998				
	(b)予算現額	3,998				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	3,998				
B. 執行済額		3,878				
うち交付金充当額		3,102				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.0%				
予算の状況の説明		･不要額が119千円発生しているが、委託料のプロポーザル契約による実績残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･那覇市内３７全小学校の２年生への学力調査実施	目　標	（　実施(1回)　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施(1回)			
･那覇市内３７全小学校の４年生への学力調査実施	目　標	（　実施(1回)　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施(1回)			

達成状況説明：･予定通り、各学校において大きな問題もなく、そして滞ることなく実施することが出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
那覇市内３７全小学校の２年生･４年生を対象とした調査を実施し、全国学力学習状況調査において市平均正答率と全国との差を縮めることを目標とする。	目　標	（　　）	（2年:77 4年:65）	（2年:78 4年:66）	（　　）	（2年:79 4年:67）
	実　績		2年:75.9 4年:62.6			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：･那覇市の2年生の平均正答率は75.9で全国平均78.4より2.5ポイント低く、那覇市の4年生の平均正答率は62.6で全国平均67.5より4.9ポイント低い。教科別では小2の国語が全国より3.5ポイント低く、算数が1.6ポイント低い。小4の国語で、2.6ポイント低く、算数は7.2ポイント低い。特に小4の算数の落ち込みが大きいことが把握できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・実施結果をもとに、学力到達率の低い内容について、各学校で分析及び考察を行い、全体的な傾向をまとめ研究所で説明会を実施した。今年度は調査実施初年度のため、経年比較を行うことができないが、当該学年の分析を行ったことで、次年度の計画の中に対応策を位置づけることができた。	・実施時期を4月に固定し、経年比較が可能な調査とする。 ・経年比較により、落ち込みのある内容を明確にし、各学校の具体的な改善策を提案する。

今後の取り組み方針

・結果活用において、有効な手だてについては学力向上の具体的な対応策として、各学校に紹介していく。
・那覇市全体として、落ち込み傾向にある問題を把握し、課題に対しての授業改善講座を実施していく。
・各学校における落ち込みのある分野については、計画訪問や要請訪問、そして法定研修の中で具体的に指導を強化するよう促していく。
・小中ともに経年比較を強化し、きめ細かな支援を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,878	3,878	3,102	776	0

那覇市 3,878千円 → 委託料 3,878千円 → 沖縄県教科書供給株式会社 3,878千円

（標準学力調査にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者選定については、プロポーザル方式をとっており、妥当であったと考えている。 ・事業目的に合った費用であり、適正に処理されたと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	伝統芸能公演事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊、沖縄芝居等の本県伝統芸能の公演会を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,872	12,224			
	(b)予算現額	4,872	12,224			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	4,872	12,224			
B．執行済額		4,872	12,223			
うち交付金充当額		3,897	9,778			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、「組踊」と「沖縄芝居」の公演をそれぞれ1回開催し、本県が世界に誇る伝統芸能の普及を図った。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
伝統芸能公演実施:2回	目　標	(　1回　)	(　2回　)	(　　)	(　　)
	実　績	1回	2回		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				
達成状況説明	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、「組踊」と「沖縄芝居」の公演をそれぞれ1回開催した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･伝統芸能公演実施回数:2回 ･来場者数:1，800名(2回合計)	目　標	(0回 0人)	(1回 900人)	(2回 1,800人)	(　　)	(　　)
	実　績		1回 900人	2回 2,180人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					
進捗状況説明	･24年度の検証結果を踏まえ周知に力を入れた結果、目標の1,800名を超える来場者数を達成した。					

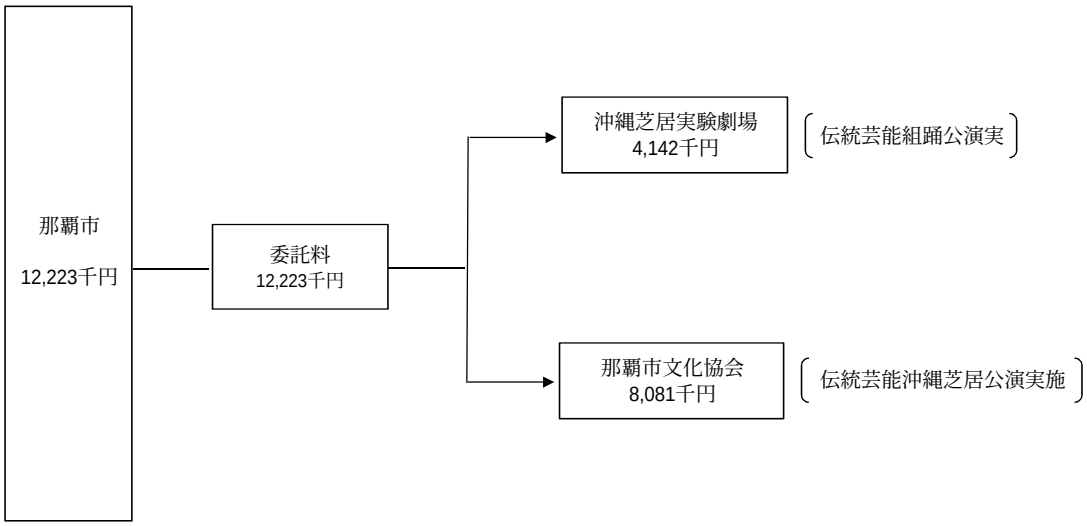
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業終了後のアンケートにおいて、高い評価を受けており、継続の要望もあり今後も集客が期待できる。 ・入場無料により、関心の薄かった層を集客することができ、また、初心者にも理解し易く親しみやすい演目を加えたことで、多くの方から「はじめて鑑賞して理解し易く感動しました。」との声が寄せられ、これまで接する機会が無かった方々に広く伝統芸能に対する理解、普及が図られた。	・初心者にも理解しやすいような演目を加え、底辺の拡大を図る。 ・入場整理券の一人あたりの配布枚数を見直して（上限5枚→3枚）、広く行き渡るようにする事で集客の拡大を図る。

今後の取り組み方針

自主事業を予算の面と業務量の面から検証を行い、本事業は平成26年度より年度一公演の実施として、新たな伝統芸能公演を含めて検討し開催する。
伝統芸能の承継に多くの市民の理解と支持を拡大していく。
公演の鑑賞を通して、伝統芸能を承継していく人材を発掘していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,223	12,223	9,778	2,445	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-②	市民文化発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇等を通じた市民文化活動の発表と発信に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,184	4,129			
	(b)予算現額	3,187	4,129			
	(c)増減額(b-a)	3	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	3,187	4,129			
B. 執行済額		3,187	4,129			
うち交付金充当額		2,549	3,302			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		･ふれあいジャズフェスティバルについては当初計画どおり事業実施。活動目標、成果目標を達成。 ･平和劇については、台風襲来に伴い公演延期となったため、延期に伴う追加費用を流用。公演を10月から1月に延期し事業実施。活動目標、成果目標を達成。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･平和劇、ジャズ音楽公演実施各1回	目　標	(　2公演　)	(　2公演　)	(　　)	(　　)
	実　績	2公演	2公演		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				
達成状況説明	「ふれあいジャズフェスティバル」、平和音楽劇「レトロモダン那覇」公演を各1回実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
平和劇、ジャズ音楽公演実施:各1回	目　標	(　　)	(　2公演　)	(　2公演　)	(　　)	(　　)
	実　績		2公演	2公演		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					
進捗状況説明	･ふれあいジャズフェスティバルには市内小中学校20校が参加、平和音楽劇「レトロモダン那覇」には公募により参加した10代～80代までの市民29名が出演し盛況を収めた。					

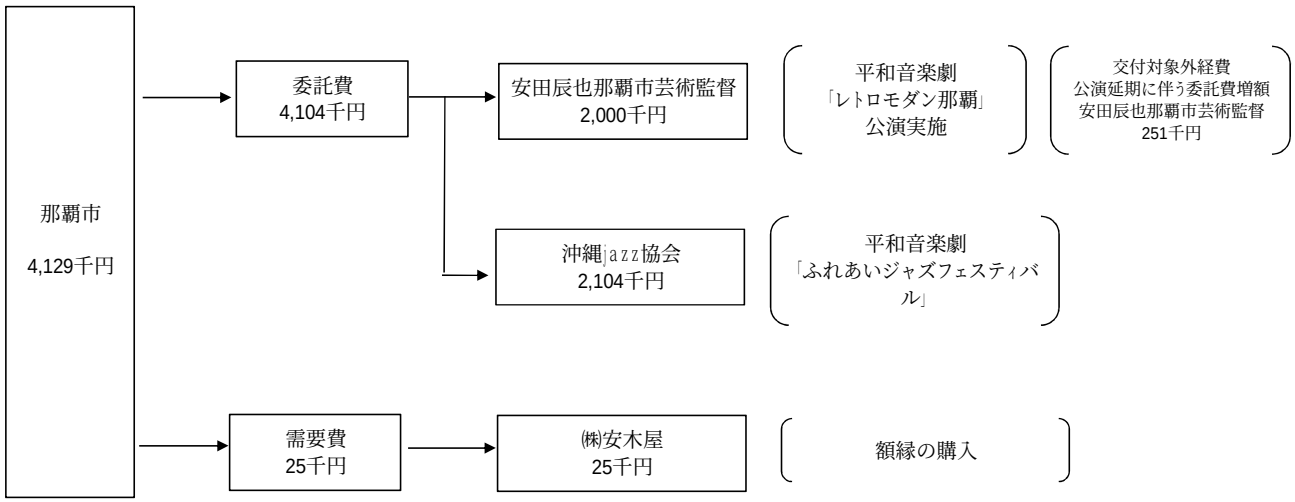
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・普段なかなか舞台で演じる機会のない出演者から大変良かったと好評で、次年度も是非参加したいという声が数多く聞かれた。（平和音楽劇） ・指導者がいない、楽器が足りない等の理由で今までジャズに取り組む機会のなかった学校が、この事業を通して取り組むことができた。（ジャズフェスティバル）	・より多くの市民に体験してもらうため、インターネットの活用を行なうなどして事業の周知徹底を図る。（平和音楽劇） ・新規校や今までジャズフェスティバルに参加したことのない先生方にも取り組んでもらうために、事業の魅力PRも含めて学校への呼びかけを強化し、より多くの子ども達にジャズを体験してもらう。（ジャズフェスティバル）

今後の取り組み方針

・平成26年度も市民参加型の音楽劇公演、小中学生参加型の「ふれあいジャズフェスティバル」を継続して実施する。
・多くの市民・小中学生を参加させ、文化活動のよさを伝え、市民文化活動の活性化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,380	4,129	3,302	827	251



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-③	なは市民芸術展		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する市民文化の発展のため、市民から文化芸術作品の公募をして作品展を開催し、本市文化の振興発展と県内外から観光誘客に繋げる。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	450				
	(b)予算現額	458				
	(c)増減額(b-a)	8				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	458				
B. 執行済額		458				
うち交付金充当額		366				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		･当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標･成果目標も達成状況を鑑みて適正だったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
なは市民芸術展の開催	目　標	（　芸術展の開催　）		（　　）	（　　）
	実　績	芸術展の開催			
	目　標	（　　）		（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	沖縄振興に資する市民文化芸術の発展のため、市民から作品を公募し展示会を開催した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
･応募作品:100点以上 ･芸術展開催期間中の来場者数:1,200名	目　標	（　　）	（100点以上 1,200名以上）		（　　）	（　　）
	実　績		139点 1,382名			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）		（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	目標を超える作品の応募があり、来場者数も目標を達成した。					

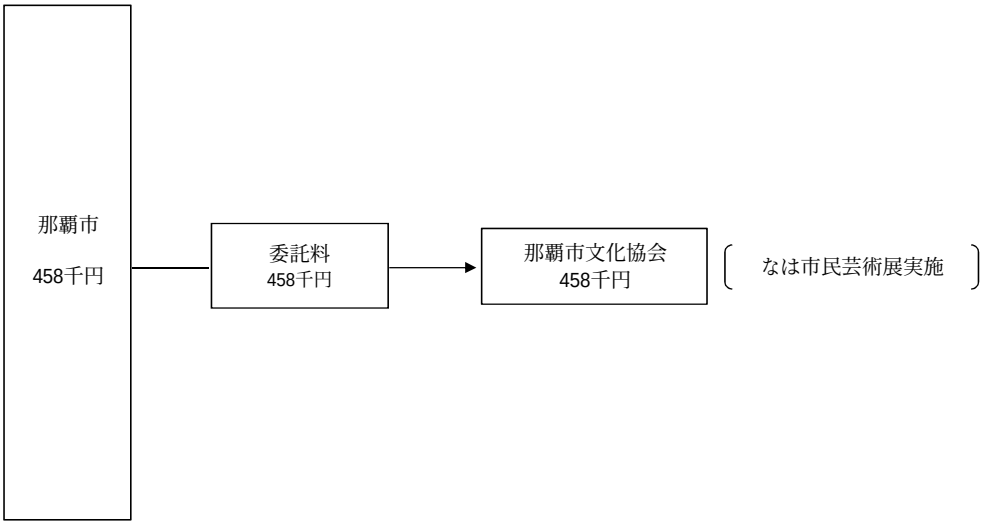
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・芸術展として発表の機会を設けることで、一般・学生の芸術文化においての人材育成が図られた。 ・各分野（絵画・版画・彫刻・デザイン・写真・書道）の芸術作品が一同に展示されることで関心を引き、多くの方が芸術文化に触れる機会となった。	・早めに募集周知を図ることで、作品製作に要する期間がとれ、応募者増が期待でき、また質の高い作品の応募が期待できる。 ・学生向けの周知を強化し、学生の応募を増やすことで若手育成を図る。

今後の取り組み方針

・若い人材の発掘・育成を図れるよう、学生向けの周知を強化する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
458	458	366	92	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-④	文化芸術発信事業（パレット）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－エ
					文化の発信・交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容	著名な舞台芸能、音楽家等を招いて演劇、演奏会等を開催し、県内外から誘客促進に繋げるとともに、市民文化の発展を促進する。また、那覇市民ギャラリーの収蔵品の整理、補修を行い、鑑賞する機会を多くし、文化芸術の振興を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,544				
	(b)予算現額	17,832				
	(c)増減額(b-a)	8,288				
	(d)繰越額	0				
	A．計(b+d)	17,832				
B．執行済額		14,516				
うち交付金充当額		11,612				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		81.4%				

予算の状況の説明	当初予算から、収蔵品修復等業務として8,288千円増額補正した。 不用額が3,317千円については、収蔵品修復等業務委託において、当初予定していた保存修復作業のうち、収蔵品の状態調査、保存環境整備を優先的に実施し、次年度以降に洗浄・鑑定業務を実施する方向で見直したことにより発生している。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・著名な舞台芸能、音楽家等を招いての演奏会の開催	目　標	（　演奏会の開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	演奏会の開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	国外・県外の著名な実演団体を招いてのコンサート（江戸糸あやつり人形芝居「笑うタクボク　雲は天才である」、「チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン」コンサート、「音楽の絵本」コンサート）を開催した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
・舞台演劇、演奏会等の公演実施回数：3回	目　標	（　）	（　3回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4回			
・来場者数：９００名（3公演合計）	目　標	（　）	（　９００名　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		１，１４２名			
	目　標	（　）	（　）		（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	・公演を4回実施した。（「チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン」コンサートは２日間開催で計２回公演を行なった。） ・来場者数は1,100名以上を集客し、盛況を収めた。

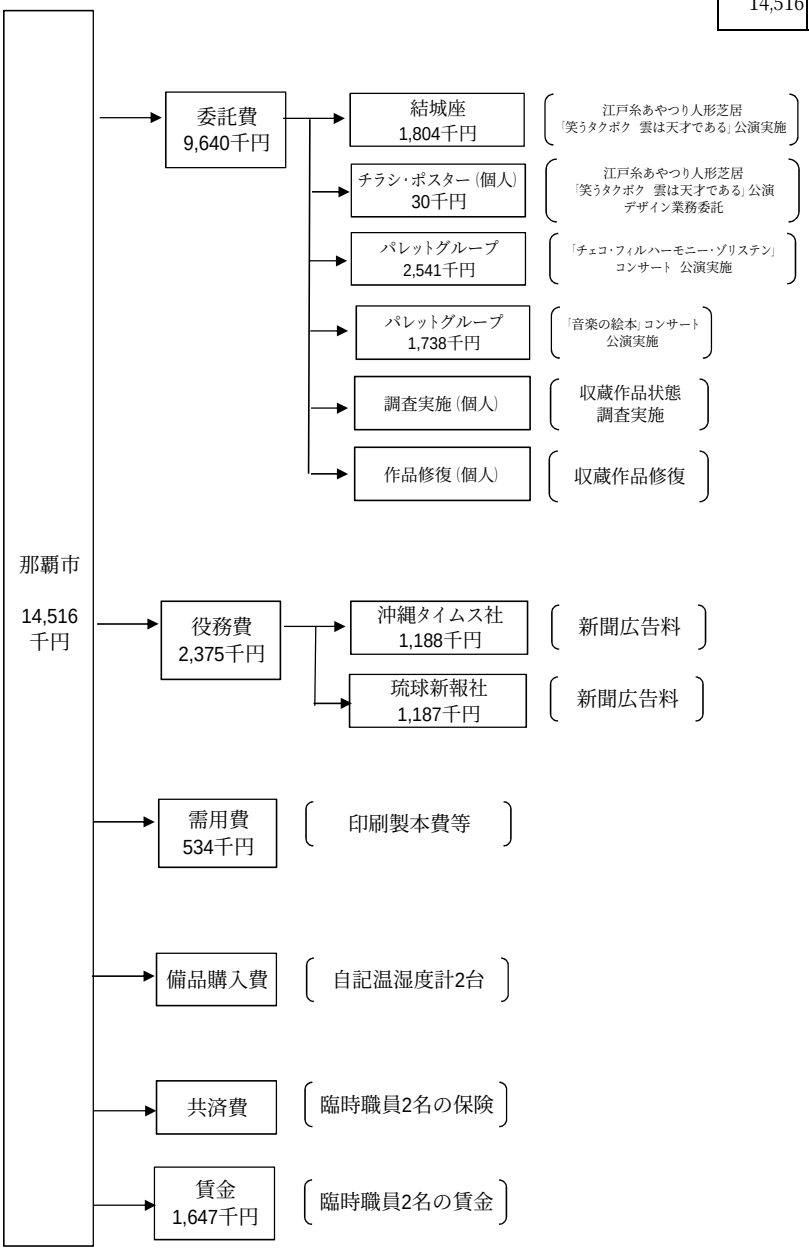
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・音楽の絵本コンサート（親子向けのクラシックコンサート）は、普段入場制限等でクラシックコンサートを鑑賞できない小さな子供連れの家族などが鑑賞できたため、特に,好評を博した。 ・収蔵作品の保存環境の整備、作品情報の整理等が課題である。	・公演情報の早期の周知徹底を図る ・収蔵作品の保存環境の整備・作品の情報を整理し、計画的かつ効果的な修復等の実施を図る。

今後の取り組み方針

・自主公演事業については、事業費・人的負担等を総合的に考慮した結果、平成２６年度は事業を見送る。
・収蔵作品の整理・補修等業務については、今後も継続していく。作品の保存環境の整備、情報の整理をすることで、修復等の実施を図り、収蔵作品展を開催し、市民に鑑賞させ、文化芸術の振興を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,516	14,516	11,612	2,904	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は、特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が他に存在していないことから、随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑤	創作エイサー発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	･沖縄の伝統芸能であるエイサーの創造発展を推進することにより、文化の振興発展とコンテスト開催による本市への誘客推進を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,414				
	(b)予算現額	1,414				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	1,414				
B. 執行済額		1,332				
うち交付金充当額		1,065				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.2%				
予算の状況の説明		･当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標･成果目標も達成状況を鑑みて適正だったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	26年度	27年度
創作エイサーコンテストの開催	目　標	(　1回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1回			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：沖縄の伝統文化であるエイサーの継承と新しい文化の創造及び青少年の育成を目的に、創作エイサーコンテストを開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
･創作エイサーコンテスト参加団体:10団体 ･創作エイサーコンテスト来場者数:1,300名	目　標	(　0　)	(　10団体 1，300名　)		(　)	(　)
	実　績		12団体 1，300名			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：･目標を上回る団体の参加があり、来場者数も目標を達成した。

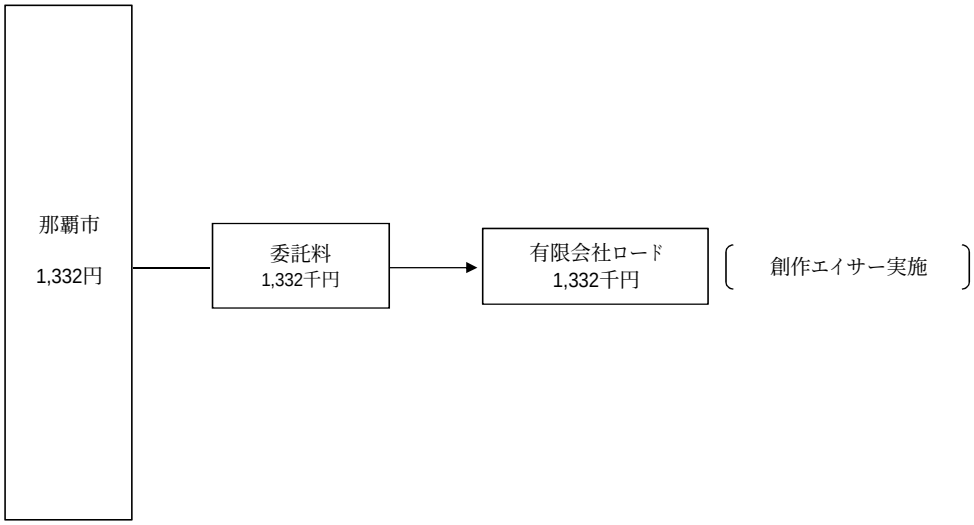
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・参加の多くが青少年を中心とした団体で、青少年の育成並びに伝統文化の継承と新たなエイサー文化の創造を育むことが出来た。 ・事業終了後のアンケートにおいて、継続の要望もある等、高い評価を受けており、継続の要望もあり今後も集客が期待できる。	・創作エイサーの認知度を上げることで、本市及び近隣市町村からの参加団体を増やす。

今後の取り組み方針

・伝統芸能から発生した、創作エイサーの認知度を上げるPR等を行い、参加団体増につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,332	1,332	1,065	267	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、公募を実施し一社しか応募が無く、事業の実績経験のある業者で、遂行の能力も問題のない業者であり、妥当であったと考えている。 ・事業内容に沿った、予算規模の拡大を要する。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑥	うちなーぐち発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	市内の小中学校と一般市民を対象にウチナーグチを用いた舞台公演を行うことで、伝統文化の基本となる言語文化の継承を推進するとともに、公演会を通じた誘客促進を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,849				
	(b)予算現額	2,755				
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,094				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	2,755				
B. 執行済額		2,755				
うち交付金充当額		2,203				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		･一般対象のうちなーぐち講座については当初計画どおり事業実施。活動目標を達成。 ･小中学校対象の講座については、参加希望校がなく年度内の実施が見込めない状況となったため、実施を見送り減額補正とした。 ･地域の言語と伝統文化の継承を図るため「島々ぬくとぅば語やびら大会」を開催。当初予算への要求が間に合わなかったため増額補正した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･ウチナーグチ講座の開催	目　標	（　講座の開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催(一般のみ)			
･成果発表会を開催する	目　標	（成果発表会の開催）		（　）	（　）
	実　績	開催(一般のみ)			

達成状況説明：
･一般向け講座、成果発表については当初計画通り実施、活動目標を達成。
･小中学生向け講座、成果発表については、事業参加の学校応募がなく年度内に参加校が見込めない状況となったため、実施見送り。活動目標を達成できなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
･ウチナーグチ講座参加者数:100名(一般、小学生、中学生合計)	目　標	（　）	（100名）	（　）	（　）	（　）
	実　績		40名			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･一般向け講座は参加者40名で、成果公演を実施し盛況を収めた。
･小中学生対象の講座実施を見送ったため、成果目標を達成できなかった。

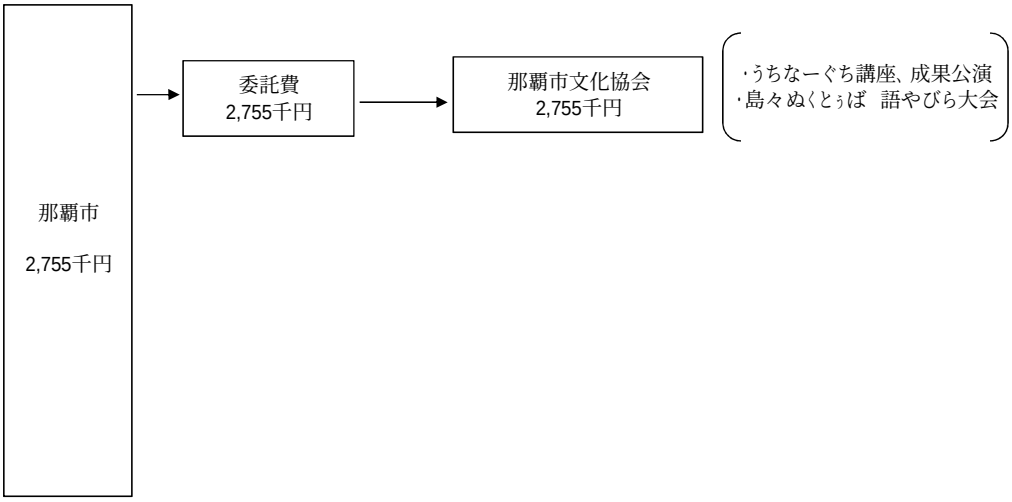
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・市内小中学校を対象に事業を予定していたが、学校行事との日程調整・参加児童生徒の確保等が困難との理由から応募校がなく、事業実施を見送った。 ・一般市民を対象とした成果公演、島々ぬくとぅば語やびら大会についてはいずれも会場がほぼ満席になるなど盛況となり、うちなーぐちへの関心の高さが伺えた。	・小中学校を対象とした事業を見直し、一般を対象とした事業内容の充実を図り、募集・PRを徹底して参加者増へつなげる。

今後の取り組み方針

平成２６年度のうちなーぐち講座については一般向け講座のみ実施し、「島々ぬくとぅば語やびら大会」も開催する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,755	2,755	2,203	552	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑦	壺屋焼物博物館企画展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容	沖縄振興に資する伝統産業の振興発展のため、本市の観光施設でもある壺屋焼物博物館で、企画展を開催し、市内外からの誘客促進と壺屋焼の継承発展に取り組む。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	897				
	(b)予算現額	0				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	897				
B. 執行済額		712				
うち交付金充当額		569				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		79.4%				

予算の状況の説明：・不要額185千円は、主にﾊﾟﾈﾙ制作委託料(75千円)、需用費(40千円)、臨時職員の社会保険料(39千円)、賃金(30千円)などである。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
企画展の開催:1 回	目　標	(　1回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1回			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：
琉球王国時代末期から現代にいたるまでの、特に白い化粧土と青い釉薬をテーマに沖縄県内出土の中国産、日本産焼き物及び沖縄県内で作られた焼物作品を展示する企画展「Okinawa　Blue＆White沖縄が愛した青と白」を開催した。
・実施日　平成25年10月11日～11月17日
・期間中観覧者数　2,414人

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
企画展観覧者数:2,000人	目　標	(　)	(　2,000人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		2,414人			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：
展示会開催期間中2,414人の方が訪れた。関連する行事として、開催前にマスコミなど関係者向けに内覧会を実施した。また期間中、絵付け体験教室を実施した。内覧会では学芸員による展示解説を行ったほか、絵付け体験教室では親子･観光客の参加者もあり、小中学生や、観光客などへ焼物をとおして沖縄の伝統的な歴史文化について理解を深める機会とすることでき、同時に、博物館のへの観光客の誘客を図ることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・企画展の内容は、壺屋焼きの特徴でもある白い化粧土に青の釉薬が施された焼物を中心に企画展名称を「沖縄が愛した青と白」として実施した。青と白という色をﾃｰﾏにしたことから、青色と白色の色が映える夏場の時期に実施することで、夏場に多く訪れる県外の観光客の方々に与える印象も強くなったとのでは思われた。 ・今回初めて内覧会を実施した。招待した関係者は議員や資料借用者とした。実施日が議会の日程もあり議員の参加者が少なかった。また資料借用者は県外在住のため参加しなかった。壺屋陶器事業協同組合や地域自治会関係者は招待しなかった。招待する関係者の範囲をどの範囲にするか今後留意する必要ががあると思われた。	・展示会の開催時期について、その企画内容が事業目的である焼物を通した沖縄の歴史文化の発信と観光客の誘客がより効果的になるような時期を検討する必要がある。 ・事前に内覧会を実施したが関係者への告知や内覧会実施時期についても検討する必要がある。

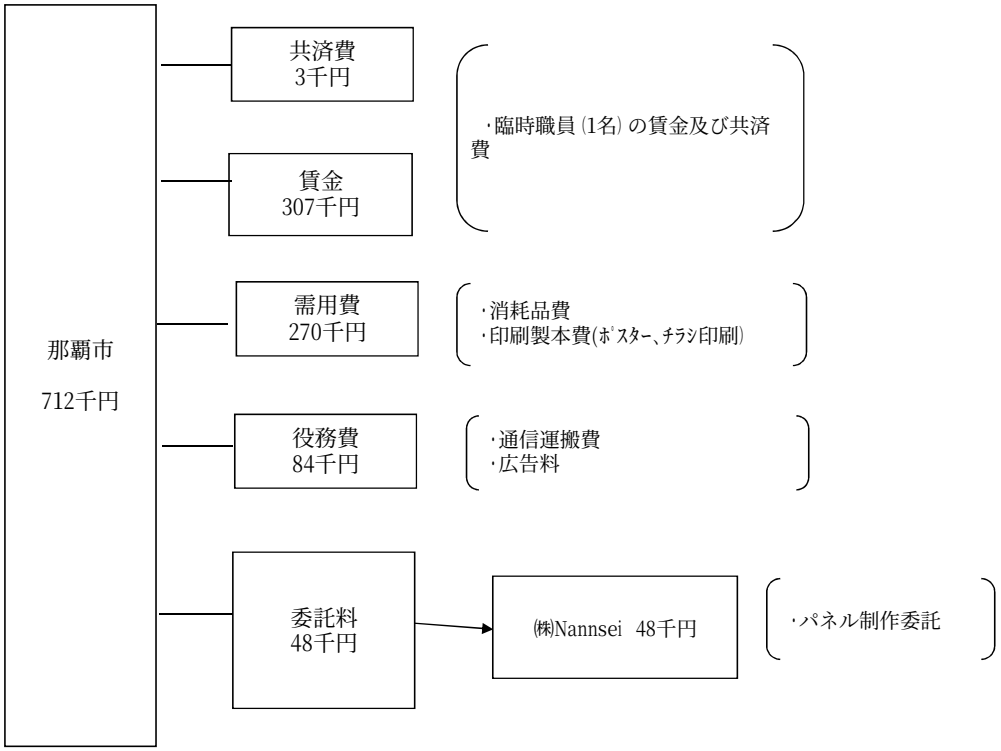
今後の取り組み方針

企画展の内容について、時期、対象者、関連行事の実施等、総合的に勘案し事業目的がより効果的に発揮できるよう取り組んでいきたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
712	712	569	143	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、実績、会社組織、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑧	伝統芸能･文化の継承発展補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存･継承に関わる活動に対して補助を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,000	2,000			
	(b)予算現額	2,000	2,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	2,000	2,000			
B. 執行済額		1,460	1,000			
うち交付金充当額		1,167	800			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		73.0%	50.0%			
予算の状況の説明		･当初計画通り事業実施。活動目標は達成したが、成果目標としていた交付団体数10団体には届かなかったため、執行率が50%にとどまった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･市内各地の伝統芸能文化の掘り起こし	目　標	（　掘り起こし　）	（　掘り起こし　）	（　）	（　）
	実　績	対象団体への呼びかけ実施	対象団体への呼びかけ実施		
･保存継承活動に対し補助を行う	目　標	（　補助の実施　）	（　補助の実施　）	（　）	（　）
	実　績	補助の実施	補助の実施		
達成状況説明		･今回の補助対象に該当すると思われる市内各地の伝統芸能文化に関わる団体へ補助事業の周知を図った。 ･市内団体が行っている伝統芸能の保存継承活動に対して補助金の交付を行なった。			

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
伝統芸能文化団体等の保存継承活動支援団体数:10団体	目　標	（　）	（　5団体　）	（　10団体　）	（　）	（　）
	実　績		5団体	5団体		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		･10団体への補助金交付を目標に、市の広報誌等での応募呼びかけ･新規団体の情報収集を行い電話で直接呼びかける等事業の周知を図り6団体への補助金交付を決定した。しかし、補助対象となる期間が短かかったこともあり、修繕が補助対象期間に終了できないとの理由で交付を辞退した団体があったため5団体への交付にとどまった。				

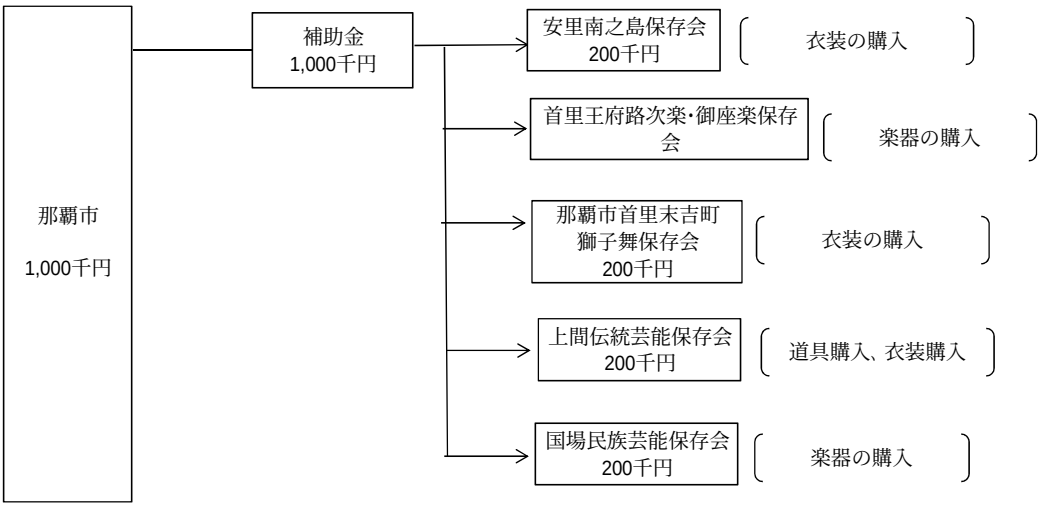
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・補助金交付要綱の整備に時間を要したことで、事業の周知や交付対象期間が 短くなり、支給を受けられない団体もあった。（既に事業が終了していて、必要書類等の準備が出来ない等）	・補助金事業の周知時期と期間を早めに行う。 ・対象団体の調査、研究

今後の取り組み方針

・関係団体から補助金対象となる新規団体の情報を集め、調査・研究を行い対象団体の拡大を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,000	1,000	800	200	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・交付対象団体は必要書類の提出を受けた上で審査会を経て決定しているため、適切だったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑨	那覇市舞台芸術体験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,415	7,000			
	(b)予算現額	5,415	7,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,415	7,000			
B. 執行済額		5,390	7,000			
うち交付金充当額		4,312	5,600			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.5%	100.0%			
予算の状況の説明		･当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標･成果目標も達成状況を鑑みて適正だったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させる。	目　標	（　中学校1校　）	（小･中学校各1校）	（　）	（　）
	実　績	中学校1校	小･中学校各1校		
･成果発表会を開催する。	目　標	（　1公演　）	（　2公演　）	（　）	（　）
	実　績	1公演	2公演		
達成状況説明	･小中学校各1校でうちなーぐちを用いた音楽劇「負きてぇならん」「フェンスに吹く風」を題材に、舞台芸術体験事業を実施。 ･小中学校それぞれ那覇市民会館大ホールにおいて成果公演を行なった。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
舞台芸術体験事業参加児童生徒数：50名	目　標	（　）	（25名）	（50名）	（　）	（　）
	実　績		19名	47名		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	･参加児童生徒数は合計47名で目標にわずかに届かなかったが、昨年度実績を上回った。(小学校：22名、中学校25名)					

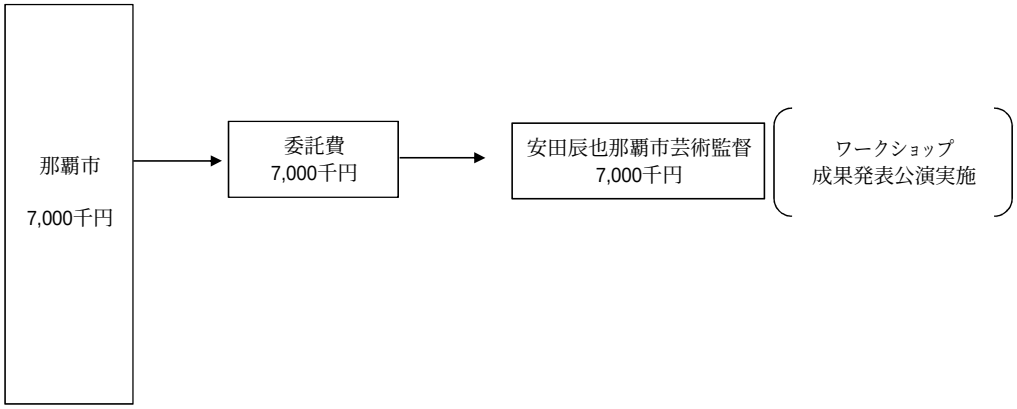
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学校側への事業内容のPR不足 ・学校側との調整不足 ・成果公演へのさらなる集客	・直接学校に出向いての事業内容のPRを強化する ・事業の実施から実施後にかけての担当教諭との情報交換をこまめに行なう ・公演会場、事業実施校の近隣校に直接出向くなどして、成果公演の広報の強化を図る ・中学校を対象とした場合、高校受験等により参加生徒の確保が難しいため、一部事業を見直し小学校を対象とした事業に特化する。

今後の取り組み方針

・平成２６年度は小学校１校で実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,000	7,000	5,600	1,400	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑩	伝統文化継承種まき事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－ウ
					子ども･若者の育成支援
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣し、継承に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,631	2,196			
	(b)予算現額	1,631	2,196			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	1,631	2,196			
B．執行済額		1,619	2,164			
うち交付金充当額		1,295	1,731			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.3%	98.5%			
予算の状況の説明		ほぼ計画どおりに執行した。目標回数と実績回数の数え方の違いがあり当初は、保育所1ヶ所あたり講師派遣　2度/月＝1回というカウント方法で設定し、実績として出してきた214回はのべの回数となる。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
9ヶ所の公立保育所に講師派遣	目　標	(12回※1ヶ所当り)	(9ヶ所(108回))	( )	( )
	実　績	12回※1ヶ所当り	9ヶ所(214回)		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：公立保育所において、琉球舞踊や空手、ウチナー口、わらべうたなどに精通している方々を講師として2度/月、4月から3月まで連続で体験することができた。目標回数と実績回数の数え方に違いがあり当初は、保育所1ヶ所あたり講師派遣　2度/月＝1回というカウント方法で設定し、実績回数の214回はのべの回数となる。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
専門講師派遣回数:108回	目　標	(0回)	(12回※1ヶ所当り)	(108回)	( )	( )
	実　績		12回※1ヶ所当り	214回		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：月2回実施できたので、「琉球舞踊」「空手」「壷屋焼」「わらべうた」「ウチナー口」等の専門講師から教授され児童も喜んでいる。児童の表現力も上がり地域のお祭りや保育所の諸行事で披露するなど日常の保育の中での反映もみられる。種まき事業の効果で地域とのつながりも徐々にとれるようになってきている。

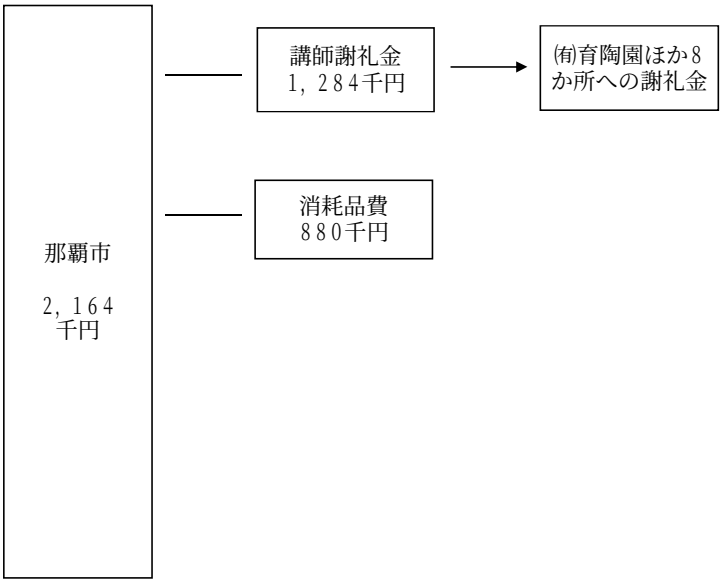
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○琉球舞踊、空手、方言などの設定は、0～5歳の年齢幅があるので内容がぼやけてしまう。伝統文化の「種まき」としたレベルで行う。	○直接、指導を受ける効果は、大きいので事業を継続し、後継者の育成、沖縄の振興へつなげる。

今後の取り組み方針

○地域の伝統文化に精通する方々による指導は、真にわかりやすく効果が大きいので継続していく。
○幼児からの取り組みにより沖縄の理解を深め、継承に資することを図る。
○実施回数を２４回から３５回に増。
○伝統文化の環境を整える意味から、島太鼓、パーランクー等の備品を購入し、更に意欲をもって事業に取り組めるようにしていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,164	2,164	1,731	433	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○保育の場でも専門講師による質の高い指導が受けられとの報告があり、伝統文化の継承に資することが図られ事業内容に見合った執行ができた。 ○講師の選定は講師プロフィールで実績を確認して選定したので妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑪	子どもが輝くまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

沖縄振興に資する文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組むとともに、参加する各青少年育成団体の活動や連絡先等の情報を共有し子供たちのやってみたいことや居場所づくり等を支援する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	713	500			
	(b)予算現額	713	500			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	713	500			
B. 執行済額		603	439			
うち交付金充当額		482	351			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		84.6%	88.0%			
予算の状況の説明		不要額が60千円発生しているが、子どもフェスタ運営費の実績残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	目　標	（子どもフェスタの開催）	（子どもフェスタの開催）	（　）	（　）
	実　績	子どもフェスタの開催	子どもフェスタの開催		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇市ぶんかテンブス館および広場にて、舞台の部が２５団体、展示･体験の部が１２団体参加して、「子どもフェスタinなは」を開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
子どもフェスタ参加児童生徒数	目　標	（0人）	（600人）	（650人）	（　）	（750人）
	実　績		630人	750人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：舞台出場の参加児童生徒数を目標値600人(参加団体数30団体×20人/団体)とし、実績は37団体参加し、計750人が参加した。

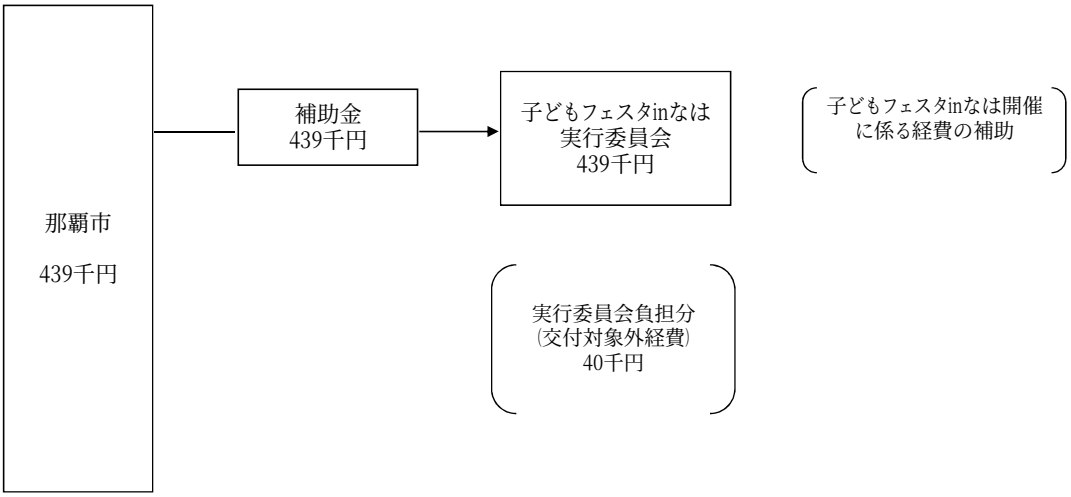
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●事前に参加案内をする等の周知が不足したため、参加申込できなかった団体から不満の声があった。 ●子どもフェスタ開催当日においては、来場者への関わり方を踏まえて、スムーズに運営できるよう、会場前広場にプログラム等を設置し案内を工夫する必要がある。	●出演募集の広報活動を強化する。 ●プログラム内容等をホール受付以外、会場前広場にも案内等を設ける。

今後の取り組み方針

●出演団体の紹介･主演時間が載ったしおりを作り、他団体や来場者に活動内容を周知し出演団体の発展につなげ、伝統文化の継承発展に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
479	439	351	88	40



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑫	郷土資料整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－エ
					文化の発信・交流
担当部課名	生涯学習部　中央図書館	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土関係資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客等を含めた利用者へ提供し活用を図る。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	73,300		4,000		
	(b)予算現額	73,300		4,000		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	69,300	－		
	A．計(b+d)	73,300	69,300	4,000		
B．執行済額		4,000	56,243	4,000		
うち交付金充当額		3,200	44,994	3,200		
次年度繰越額		69,300	0	0		
執行率（%）(B/A)		5.5%	81.2%	100.0%		
予算の状況の説明	事業は計画通り進んでおり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・郷土関係資料の購入及び貸出	目　標	（2,000冊購入）	（900冊購入）	（　）	（　）
	実　績	1,007冊購入 延べ863点貸出	1,148冊購入 延べ6,988点貸出		
・16ﾐﾘﾌｨﾙﾑのDVD化　295本	目　標	（295本）	（--------）	（　）	（　）
	実　績	294本	--------		
達成状況説明	郷土関係資料の購入に関しては目標値の900冊を上回り、1,148冊購入することができた。また、多くの郷土関係資料を貸出できた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・郷土関係資料の購入及び貸出：約900点	目　標	（無）	（2,000冊購入）	（900冊購入）	（　）	（　）
	実　績		1,007冊購入 延べ863点貸出	1,148冊購入 延べ6,988点貸出		
・16ﾐﾘﾌｨﾙﾑのDVD化　295本	目　標	（　）	（295本）	（------）	（　）	（　）
	実　績		294本	-------		
進捗状況説明	郷土資料関係資料の購入に関しては、H24年度の実績からH25年度の目標値を設定しており、順調に事業を進めることができた。 また、多くの資料を貸し出すことができ、目標を十分に達成できたと考えている。					

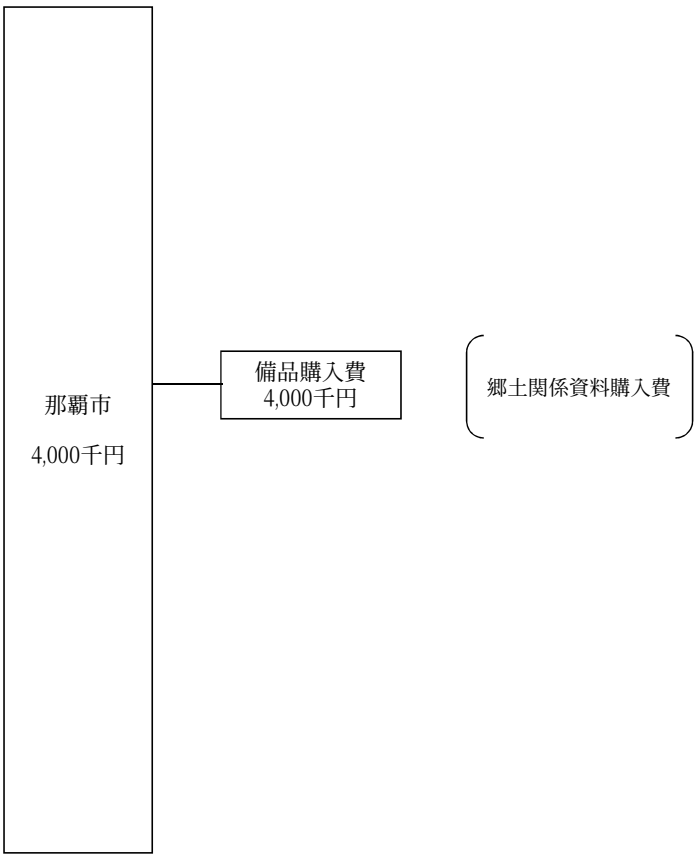
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・郷土関係資料は大人だけではなく、生徒・児童にも広めていく必要がある。	・郷土関係資料は、郷土に特化した資料であるがゆえ、その利用価値を広めていくことが更なる利用数を増やしていくことが重要である。そのためには図書館としての広報のあり方を考えていく必要がある。

今後の取り組み方針

郷土関係資料は大人だけではなく、児童・生徒にも利用しやすい広い範囲の資料を揃えていくことが必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,000	4,000	3,200	800	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	順調に郷土資料を揃えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑬	文化芸術発信拠点施設整備事業（パレット）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容

沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	-	27,837		
	(b)予算現額	112,058	-	51,773		
	(c)増減額(b-a)	112,058	-	23,936		
	(d)繰越額	―	25,685			
	A．計(b+d)	112,058	25,685	51,773		
B．執行済額		77,304	24,165	47,870		
うち交付金充当額		61,843	19,332	38,296		
次年度繰越額		25,685	0	0		
執行率（%）（B/A）		69.0%	94.1%	92.5%		

予算の状況の説明：活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考える。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
パレット市民劇場の施設整備	目　標	（パレット市民劇場の施設整備）	（パレット市民劇場の施設整備）	（　）	（　）
	実　績	パレット市民劇場の施設整備	パレット市民劇場の施設整備		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
施設整備工事を完了した
・舞台機構改修工事
・舞台照明改修工事
・デジタルシネマ機器改修工事

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
パレット市民劇場の施設整備	目　標	（　）	（パレット市民劇場の施設整備）	（パレット市民劇場の施設整備）	（　）	（　）
	実　績		パレット市民劇場の施設整備	パレット市民劇場の施設整備実施		
【参考指標】	目　標	（　）	（パレット市民ギャラリーの施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		パレット市民ギャラリーの施設整備			

進捗状況説明：
施設整備工事を完了した
・舞台機構改修工事
・舞台照明改修工事
・デジタルシネマ機器改修工事

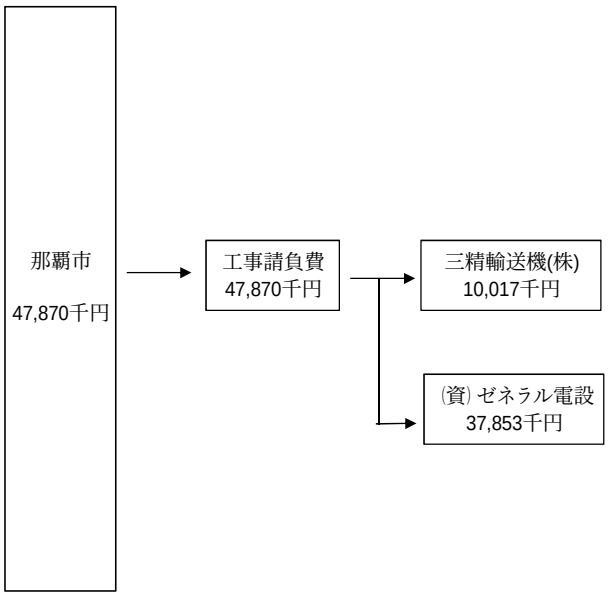
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	機器の経年劣化 時代に即さない機器の混在	設備の点検を行い更新可能な機器を選定する

今後の取り組み方針

設備の適切な更新作業を進め、さらなる施設の機能強化につなげる

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
47,870	47,870	38,296	9,574	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者は業務内容及び実績等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑭	文化芸術発信事業（市民会館）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ
					文化の発信・交流
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点施設として、ピアノを愛好する市民に演奏体験の機会を提供し、本市の文化芸術の振興を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	112,058	1,160			
	(b)予算現額	112,058	1,160			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	-	-			
	A．計(b+d)	112,058	1,160			
B．執行済額		77,304	1,153			
うち交付金充当額		61,843	922			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		69.0%	99.4%			
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標・成果目標も達成状況を鑑みて適正だったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
グランドピアノの演奏体験を実施する。	目　標	（演奏体験を実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	演奏体験を実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	沖縄振興に資する文化発信拠点施設として、グランドピアノ演奏体験を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
演奏体験参加者：30組(2日間)	目　標	（0）	（30組）	（　）	（　）	（　）
	実　績		77組			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	当初予定していた目標の2倍以上の参加者があり、盛況であった。					

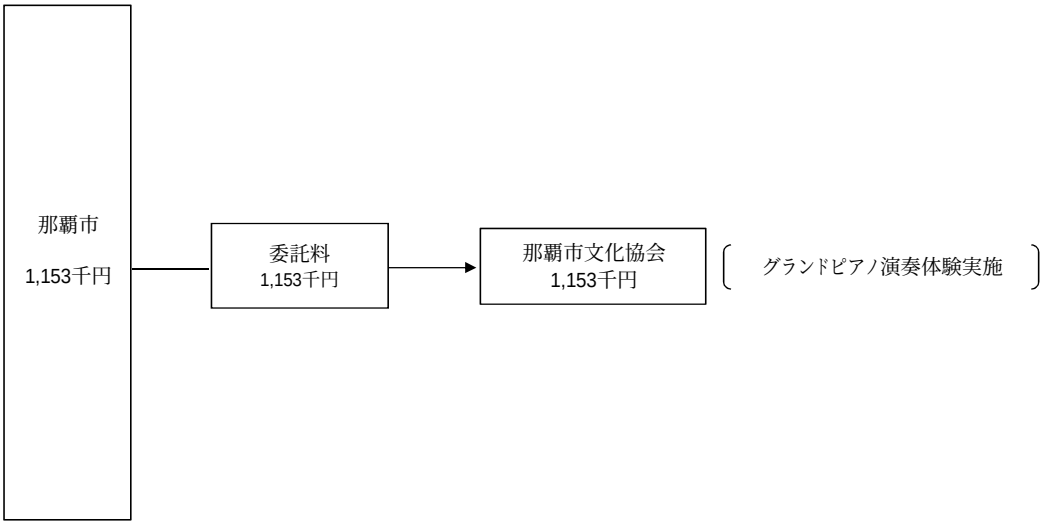
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・世界の二大名器と称されるグランドピアノを反響板設営の大ホールで演奏できたことは貴重な体験で感動を与えることが出来た。 ・幅広い年齢層の参加者へ、貴重な演奏体験の機会を提供できた。	・事業としては貴重な体験ができる機会として、体験者から満足度の高い評価を得られているが、他の文化事業との整合性や自主事業全体的な業務量の問題から新たな市民文化の育成事業を調査・研究する。

今後の取り組み方針

・新たな市民文化の育成事業を調査・研究する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,153	1,153	922	231	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・この事業は特殊性を有しており、専門的かつ円滑に執行できる団体等が県内において他に存在しないことから随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑰	観光資源文化財整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	・沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財（民俗文化財）「内金城嶽」に隣接する石畳道の修復、県市定文化財（史跡）「弁ケ嶽」にある「小嶽」の整備を行い、観光資源としての活用を図る。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,953				
	(b)予算現額	1,953				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A．計(b+d)	1,953				
B．執行済額		1,887				
うち交付金充当額		1,510				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.6%				
予算の状況の説明		・不用額65千円が生じているが、工事請負費の執行残。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・内金城嶽周辺石畳道の修復工事	目　標	（石畳道の修復）	（　）	（　）	（　）
	実　績	工事完了			
・弁ケ嶽（小嶽）修復工事	目　標	（弁ケ嶽（小嶽）の修復工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績	工事完了			
達成状況説明	平成25年11月29日内金城嶽周辺石畳道の修復工事完了。 平成25年10月31日弁ケ嶽（小嶽）修復工事完了。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
内金城嶽周辺石畳道修復 弁ｶﾞ嶽（小嶽）修復工事	目　標	（　）	（文化財の修復）	（　）	（　）	（　）
	実　績		工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	平成25年11月28日内金城嶽周辺石畳道の修復工事完了。 平成25年10月29日弁ケ嶽（小嶽）修復工事完了。					

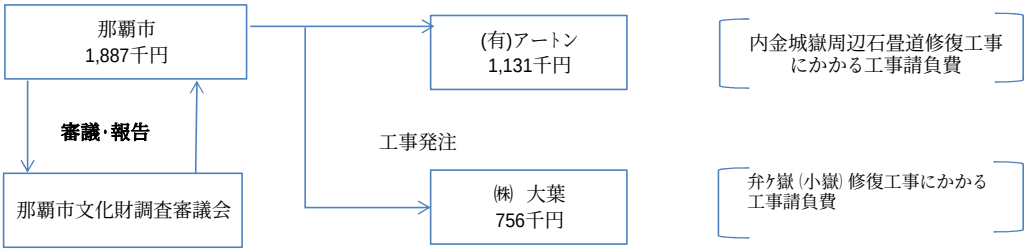
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光資源として保存活用を図るため、市指定文化財「内金城嶽」、県指定文化財「弁ヶ嶽（小嶽）」の保存整備工事を実施した。	文化財を修復することにより、地域の財産として良好な状態で保存継承するとともに、歴史的遺産を活用した観光振興の促進を図る。

今後の取り組み方針

文化財を修復することは、本県・本市の文化振興のみならず、観光振興にとっても不可欠であり、積極的に推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,887	1,887	1,510	377	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事事業者は実績経験のある業者を選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要性等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑱	歴史博物館デジタルミュージアム構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	那覇市歴史博物館が所蔵する県内唯一の国宝「琉球国王関係資料」等をインターネット上で公開するデジタルミュージアムを構築し広く発信する。また資料解説を多言語化し観光の国際化や多様なニーズに対応する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	16,318				
	(c)増減額(b-a)	16,318				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	16,318				
B. 執行済額		15,855				
うち交付金充当額		12,684				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.2%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
ホームページ構築(リニューアル) 美術工芸品の修理及びデジタル化	目　標	（完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完了			
文書資料の修理 インターネット上の公開	目　標	（完了 公開）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完了 公開			
達成状況説明	歴史博物館所蔵資料からデジタルミュージアムを構築しインターネット上で公開した。資料の細部まで観察できる機能を付し、併せて資料解説の多言語化を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
ホームページ構築(リニューアル) 美術工芸品の修理及びデジタル化 文書資料の修理 インターネット上の公開	目　標	（　）	（完了 公開）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完了 公開			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	ホームページ構築、美術工芸品の修理及びデジタル化、文書資料の修理を完了した。 歴史博物館所蔵資料からデジタルミュージアムを構築し、インターネット上に公開した。					

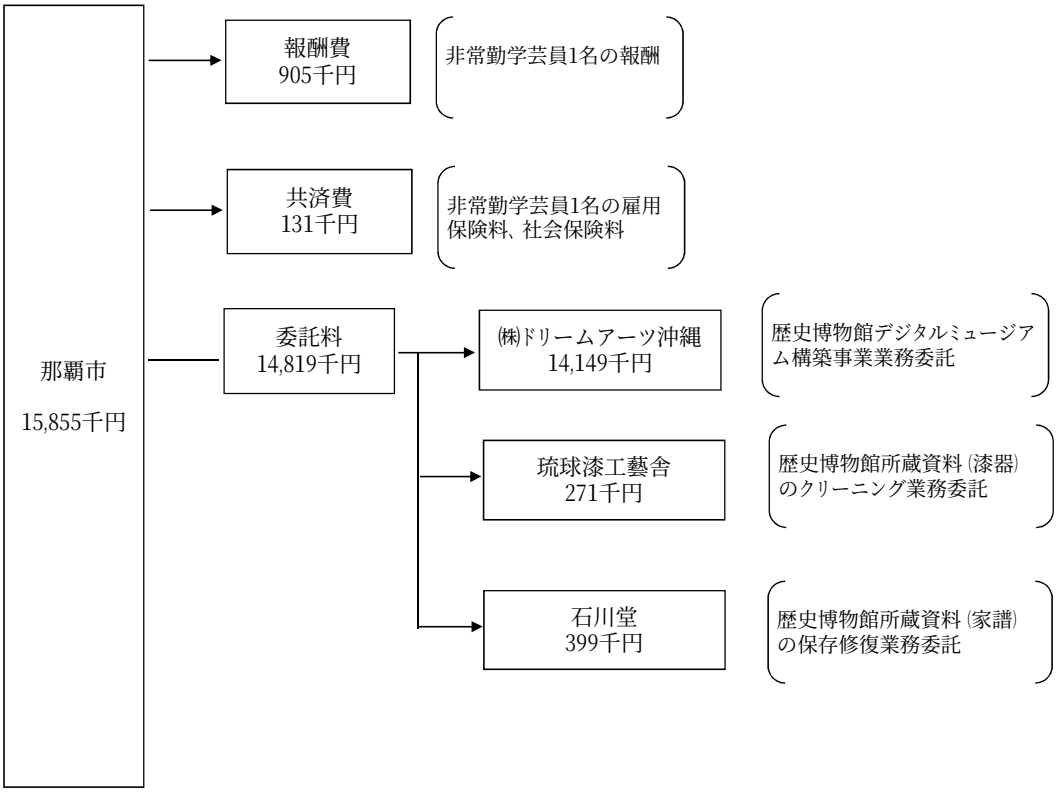
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	デジタルミュージアム構築によって、新着情報等が今までより、目立つようになったが、定期的なﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの更新をしなければ、閲覧者から見ると運営が滞っているような印象を持たれる可能性がある。	企画展毎に情報を発信し、歴史博物館への誘客促進を図る。

今後の取り組み方針

デジタルミュージアムを用いて歴史博物館の情報を広く世界へ発信し、観光客の誘客促進、市民へ郷土の歴史・文化を学ぶツールとして活用してもらい教育普及に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,855	15,855	12,684	3,171	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑲	壺屋の歴史･文化発信事業（特別展事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信･交流
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の振興発展及び市内外からの誘客促進のため、昨年度購入した厨子資料群の平成26年度特別展開催に向けた調査及び資料整理を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	18,518	0			
	(b)予算現額	18,518	5,692			
	(c)増減額(b-a)	0	5,692			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	18,518	5,692			
B．執行済額		16,211	5,312			
うち交付金充当額		12,968	4,249			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		87.5%	93.3%			
予算の状況の説明		･不要額380千円は、主に非常勤職員（2人）の報酬（229千円）、共済費（32千円）、普通旅費（109千円）などである。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

sikkou		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･厨子資料個々の調査･撮影及び解説原稿作成 ･展示会開催に向けた県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整	目　標	（　）	（左記活動目標のとおり）	（　）	（　）
	実　績		左記目標全て達成		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：非常勤職員２名を採用し、購入した厨子の採寸、実測図の作成、写真撮影、その他基礎調査を行った。平成26年１１月特別展実施に向けて基礎資料の調査を行った。修復については無事に完了し、担当業者から修復完了の報告を受け、当館職員で確認した。活動目標は達成している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･厨子資料個々の調査･撮影及び解説原稿作成 ･展示会開催に向けた県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整	目　標	（　）	（　）	（左記成果目標のとおり）	（　）	（　）
	実　績			左記目標全て達成		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：昨年度の成果を取りまとめ、展示会の準備を進めている。資料カタログ、展示期間中に配布するレジュメの作成にむけて、原稿の執筆を行っている。平成２６年５月には、石棺修復完了の報告展を開催し、１１月に特別展実施するむねの告知を行い、問い合わせも複数あった。

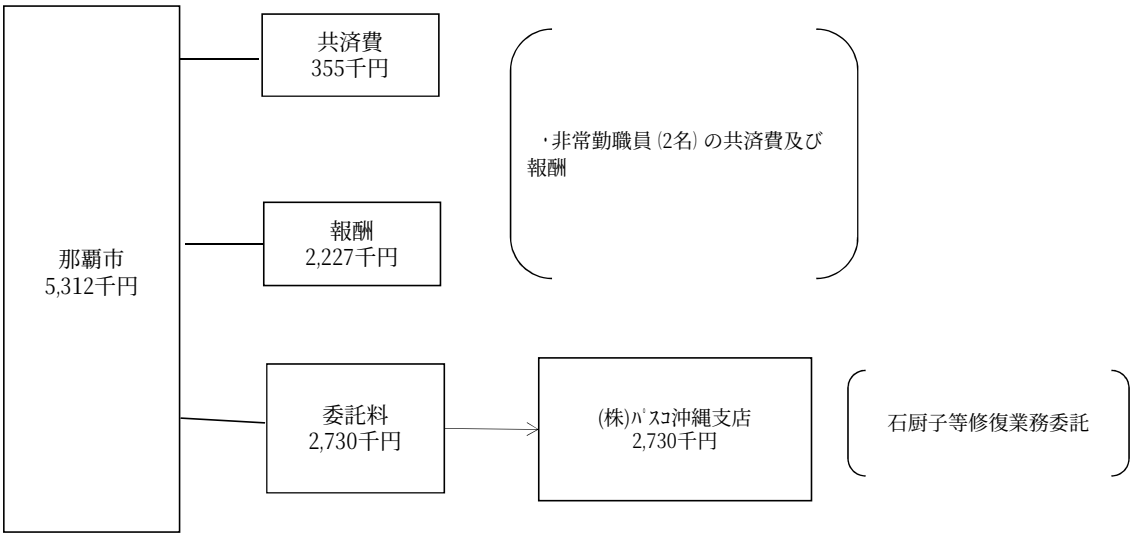
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初予定した県外からの資料借用は、行わないことになり、それに応じて展示会は自館所蔵資料のみで行うことに方針を変更した。	展示会は1・2階常設展示室を総入れ替えして実施する。２００基近い厨子を展示す予定である。厨子は重量もあるため、重量物が運ぶことができる非常勤職員2名を採用する。厨子は歴史遺物、文化財でもあることから学芸員資格を有しているものが望まれる。現在、重量物がもてるだけの腕力があり、なおかつ考古学・歴史学の知識と学芸員資格が有する非常勤職員を探している。

今後の取り組み方針

チラシ・ポスターの作成、カタログ・配布資料作成、展示パネル作成のため、原稿の作成、および入札業務を行う。常設展示室総入れ替えの展示となるため、展示プラン、資料の移動プランを作成する。告知・広報のため報道機関への情報提供を継続的に行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,312	5,312	4,249	1,063	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、一般競争入札により決定した。実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑳	文化芸術発信拠点施設整備事業（壺屋焼物博物館サイン及び監視機器）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
					文化の発信・交流
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼き物博物館の正面及び側面の壁面等に施設ｻｲﾝを施すとともに、展示室内監視機器の整備を行い、,施設のｸﾞﾚｰﾄﾞｱｯﾌﾟ及び観光施設としての機能強化を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	3,789				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	3,789				
B. 執行済額		3,241				
うち交付金充当額		2,592				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		85.5%				

予算の状況の説明：・不要額548千円は、主にｻｲﾝ・駐車場案内板等制作業務委託の入札他による執行残額(273千円)、展示室内監視機器購入の入札による執行残額(275千円)である。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・施設正面、壁面への施設名称ｻｲﾝ及び駐車場案内板の設置 ・展示室監視機器(ｶﾒﾗ・ﾓﾆﾀｰ)のﾘﾆｭｰｱﾙ	目　標	（左記活動目標のとおり）	（　）	（　）	（　）
	実　績	左記目標全て達成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・施設正面及び壁面への施設名称ｻｲﾝの取り付け及び駐車場案内板の設置完了
・展示室内監視機器を一式購入・設置し監視機器装置のﾘﾆｭｰｱﾙが完了

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
・案内ｻｰﾋﾞｽ向上のための施設正面、壁面への施設名称ｻｲﾝ及び駐車場案内板の設置　・文化財資料及び観覧者の安全対策強化のための展示室監視機器(ｶﾒﾗ・ﾓﾆﾀｰ)のﾘﾆｭｰｱﾙ	目　標	（　）	（左記活動目標のとおり）	（　）	（　）	（　）
	実　績		左記目標全て達成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・施設名称ｻｲﾝの設置により、博物館の位置がわかりやすくなり、壺屋周辺地域を訪れる観光客などの利便性が向上した。
・展示室内監視装置のﾘﾆｭｰｱﾙにより、観覧者の安全対策及び展示資料の保安管理がより強化された。

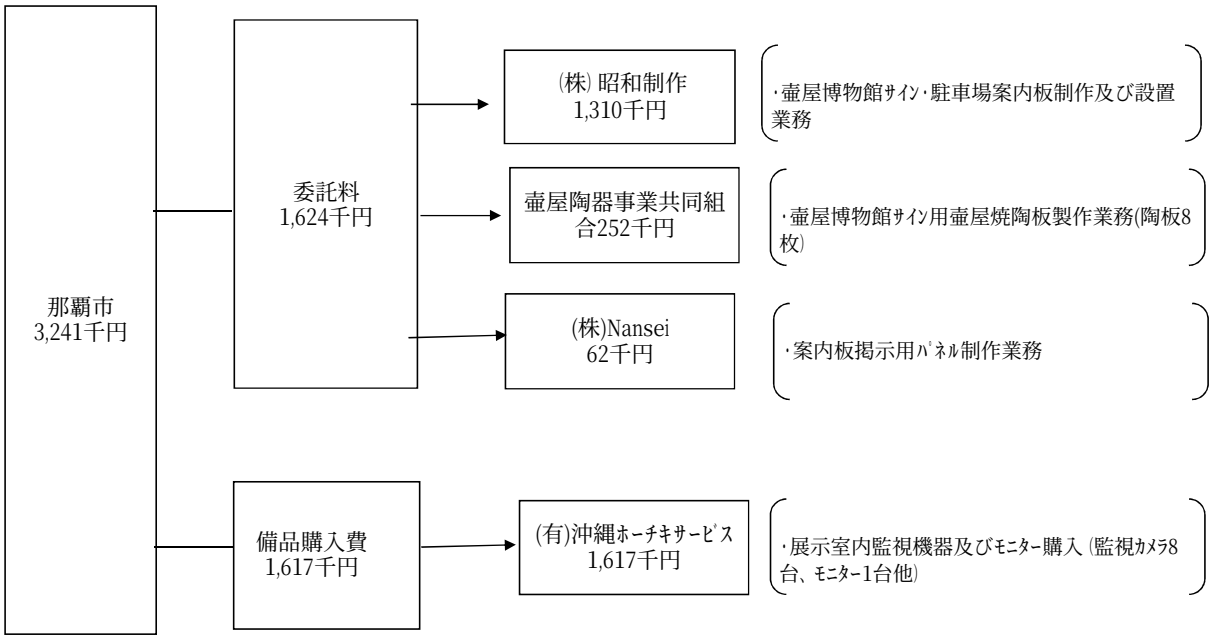
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・増加する外国人観光客に対する案内ｻｰﾋﾞｽの向上、利便性の確保	・増加する外国人観光客に対応した多言語のｻｲﾝ、案内表示板の検討

今後の取り組み方針

・増加する国内外の観光客等の利便性向上に向けて、観光施設としての博物館への誘客促進のための施策を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,241	3,241	2,592	649	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-21	国宝尚家関係資料「金簪」複製品作製事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

琉球国王の「王冠」の付属品である金簪の複製品を作製する事業。琉球王国時代を代表する金工品の一つであるため、複製品を作製し、展示公開に供し、文化資源を活用した観光資源を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	5,000				
	(c)増減額(b-a)	5,000				
	(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	5,000				
B. 執行済額		4,987				
うち交付金充当額		3,990				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				

予算の状況の説明：当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
「金簪」の複製品の作製	目　標	（　完成　）		（　）	（　）
	実　績	完成			
「金簪」の作製工程の記録	目　標	（　記録作製　）		（　）	（　）
	実　績	記録作製			

達成状況説明：「金簪」の複製品の完成。「金簪」の作製工程の記録を作製し、パンフレットを作製した。

成果目標(指標)及び進捗状況

		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
「金簪」の複製品の作製の完了 「金簪」の作製工程の記録の完了	目　標	（　）	（　完了　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：「金簪」の複製品を完成し、「金簪」の作製工程の記録を作製した。

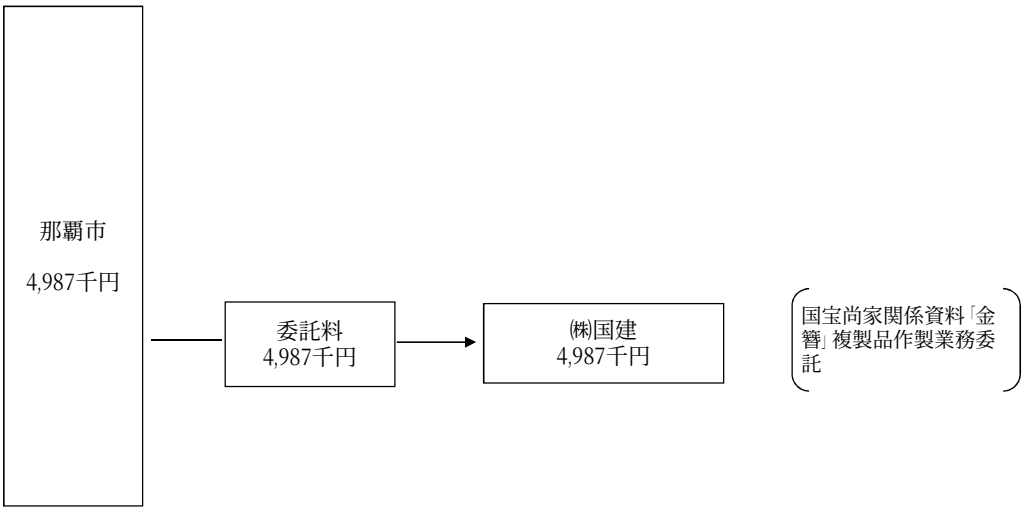
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	完成した「金簪」の複製品展示。 作製工程を記録した資料の活用。	完成した「金簪」の複製品の展示方法の検討。 「金簪」の複製品作製工程を記録した資料の公開方法の検討。

今後の取り組み方針

「金簪」は「王冠」の付属品と位置づけられるが、金工品としての作製技術の高さを見てもらうために、「金簪」のみでの展示も計画する。
「金簪」の作製工程の記録を写真等にて公開し、金工技術伝承など沖縄の文化振興を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,987	4,987	3,990	997	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、一般競争入札により業者選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	認可外保育施設の環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)

事業内容

戦後、アメリカの統治下にあり保育環境の整備が遅れた。
その遅れに対する子育て施設の拡充を図るため、①指導監督基準を満たした施設に対しての施設改修費の補助、②害虫駆除等を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,000		51,289		
	(b)予算現額	50,499		35,011		
	(c)増減額(b-a)	25,499	0	▲ 16,278		
	(d)繰越額	－	34,369	－		
	A. 計(b+d)	50,499	34,369	35,011		
B. 執行済額		16,024	34,368	34,329		
うち交付金充当額		12,819	27,494	27,463		
次年度繰越額		34,369	－	0		
執行率（%）(B/A)		31.7%	100.0%	98.1%		

予算の状況の説明：指導監督基準維持継続事業の対象となる施設が、実施要綱基準を満たしていないことから維持継続困難のおそれがあるため、10施設を満たすことはできなかったものの、執行率は約98%と概ね予定どおりの執行となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
認可外保育施設改修　10園	目　標	(　16園　)	(　10園　)	(　　)	(　　)
	実　績	16園	8園		
【参考:H24年度繰越】衛生消毒及び害虫駆除を実施する認可外保育施設	目　標	(　90園　)	(　90園　)	(　　)	(　　)
	実　績	58園	72園		

達成状況説明：
・施設改修は8施設で目標の10施設を満たしていないが、執行率は90%となっている。
・衛生消毒及び害虫駆除については、実績が前年度の58施設を上回る72施設となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(～33年度)
認可外保育施設改修　10園	目　標	(　0　)	(　16園　)	(　10園　)	(　　)	(　　)
	実　績		16園	8園		
【参考:H24年度繰越】衛生消毒及び害虫駆除を実施する施設割合	目　標	(　　)	(　64%　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		64%			

進捗状況説明：
指導監督基準維持継続事業の対象となる施設が、実施要綱基準を満たしていないため、対象施設は目標に届かなかった。
今後は、指導監督基準を満たす保育環境整備の重要性について指導しながら、保育環境のレベルを維持若しくは向上させるための本事業の活用等を、施設側とより一層協議しながら進めていく必要がある。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	【指導監督基準維持継続事業】 ○施設整備が困難な認可外保育施設は、改修箇所が多く、快適な保育環境づくりの改修では優先順位や修繕内容等の検討に工夫が必要である。 ○本事業にて、ﾄｲﾚ等水周り箇所、床の張替え等大掛かりな改修が出来るものの、不慣れな契約事務について課題も多い。 【衛生環境向上事業】 ○施設長が衛生環境の維持について管理が必要との認識がない場合も多いが、本事業の実施により、専門業者による指摘、アドバイス等受ける事で、環境維持、継続実施の意義について少しづつであるが理解が得られるようになった。	【指導監督基準維持継続事業】 ○効果的な予算執行の観点から業者選択、契約事務について、合同入札の実施など検討の余地がある。 【衛生環境向上事業】 ○保育環境（衛生環境）の重要性を理解し、保育環境として継続できるよう施設側を指導する必要がある。

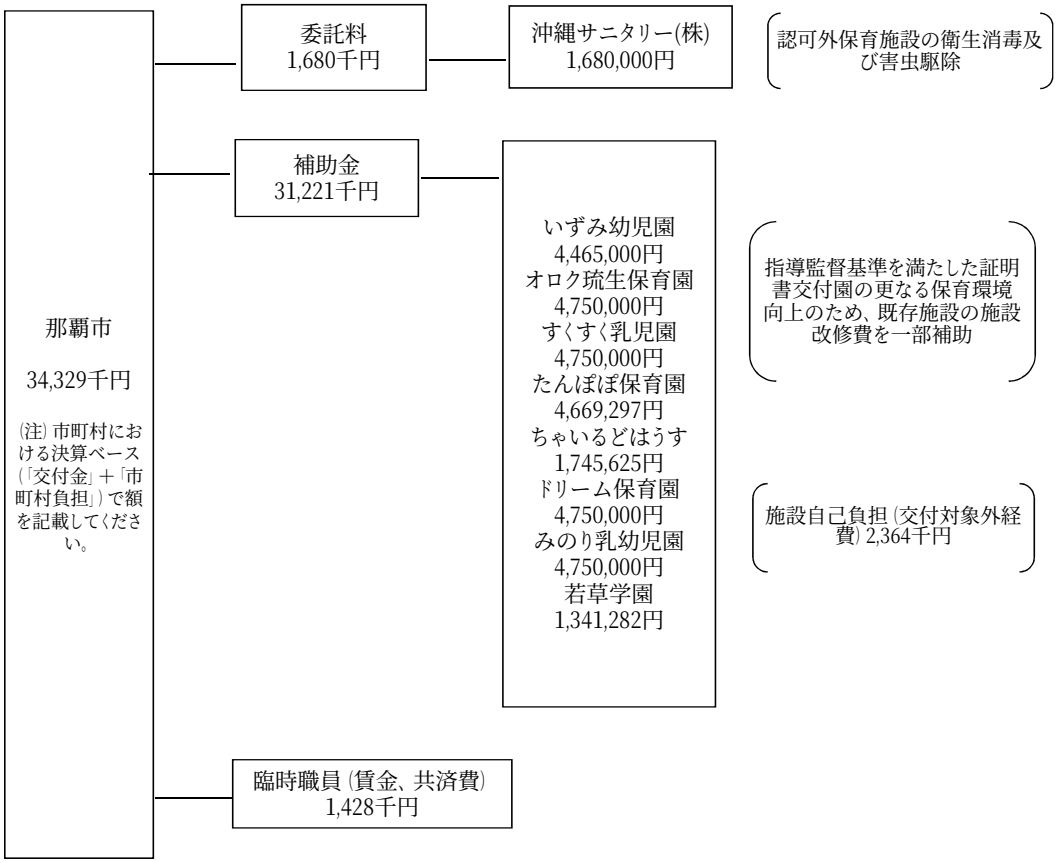
今後の取り組み方針

【指導監督基準維持継続事業】
○立入調査等で指導、助言を行った箇所について改善を勧め、施設の設置者と十分な協議を行うこと。

【衛生環境向上事業】
○立入調査等で指導、調整をしながら、害虫防除委託業者と事前の生息調査結果に基づく手法を検討すること。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,693	34,329	27,463	6,866	2,364



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定し、妥当であったと考えている。 ○認可外保育施設には施設整備に関する公的支援がほとんどなく、認可外に対する他の事業補助の事例、財政負担の面から、事業費の1割という負担割合は妥当だと判断する。 ○予算規模は事業内容に見合ったもので、真に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-②	児童クラブ賃借料補助金		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（２）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（４）
事業内容	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、民間施設等に賃借して活動している児童クラブに対して、家賃等の補助を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	11,541	14,904			
	(b)予算現額	11,541	14,858			
	(c)増減額(b-a)	0	▲ 46			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	11,541	14,858			
B．執行済額		8,957	14,858			
うち交付金充当額		7,165	11,885			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		77.6%	100.0%			
予算の状況の説明		対象団体からの申請の結果46,900円の執行残が発生したが、当初計画していた事業内容は全て実施した。 活動目標、成果目標の達成状況等踏まえ適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
賃借料補助を行っている児童クラブ：18ヶ所	目　標	（17ヶ所）	（18ヶ所）	（　）	（　）
	実　績	17ヶ所	18ヶ所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	予定していた児童クラブ18ヶ所への賃借料補助を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
賃借料補助を行っている児童クラブ：18ヶ所	目　標	（　）	（811人）	（18ヶ所）	（　）	（　）
	実　績		811人	18ヶ所		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	平成24年度に賃借料補助を行った児童クラブのうち、1ヶ所は小学校内の専用施設に移転したので減。平成25年度に運営補助の対象となった児童クラブ2ヶ所を追加して賃借料補助を行った。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○平成24年度の賃借料補助金は3月交付だったため、年度内の運営が厳しい状況となる児童クラブもあった。	○平成25年度より補助金交付時期や回数を見直し、年4回（6月・9月・12月・3月）に交付。児童クラブ運営の負担軽減に努めた。

今後の取り組み方針

○平成26年度以降も年4回に分けた概算払いを予定。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,346	14,858	11,885	2,973	7,488

那覇市
14,858千円

→

補助金
14,858千円

→

・高良児童クラブ
・末吉児童クラブ
・松川児童クラブ
・あすなろ児童クラブ
・愛心児童クラブ
・城東児童クラブ
・たばる児童クラブ
・識名児童クラブ
・小禄南児童クラブ
・はなぞの児童クラブ
・こざくら児童クラブ
・めかる児童クラブ
・にこにこ児童クラブ
・第2城東児童クラブ
・泊キッズ児童クラブ
・みやび児童クラブ
・汀良児童クラブ
・あめくピース児童クラブ

以上、18ヶ所

（賃貸物件で活動している児童クラブに対する賃借料補助）

（団体負担分（交付対象外経費）7,488千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○額の確定時において、賃貸借契約書、領収書または口座引落明細書の提出により、事業規模、費目、使途が適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-③	ナハノホイク･保育施設情報総合サイト設置運営事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２５～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)

事業内容

条件による絞り込み、所在地のマッピング、保育料金帯や保育の特徴など、現在ほとんど提供されていない認可外保育所の情報を中心とした保育所情報を積極的に発信することで、保護者の保育所選びの俎上に載せていくことが重要である。
また、セキュリティ機能を備えた保護者への連絡通知機能(Wifiを介すれば、電話回線が不通となるような緊急時の連絡手段としても期待)などもサイト上で提供し、認可外保育所の運営支援の一環とする。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	19,993				
	(c)増減額(b-a)	19,993				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	19,993				
B. 執行済額		19,993				
うち交付金充当額		15,994				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画通り平成25年度事業として執行した。委託については、プロポーザル方式で業者を選定した後、不用額は減額補正を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度明け)	目　標	（サイトの開設と仮運用）	（　）	（　）	（　）
	実　績	サイトの開設と仮運用			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：翌年度4月1日からの稼働が可能なように、年度内に開設して仮運用することが目標とされた。3月終盤にβ版(試行版)が完成し、仮稼働状況が確認できたことから目標達成とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度明け)	目　標	（　-　）	（サイトの開設と仮運用）	（　）	（　）	（　）
	実　績		サイトの開設と仮運用			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年度は本稼働をおこなわないため、施策が目指す成果を測りがたいことから、活動目標と同じく「サイトの開設」を目標とし、その達成をみたところである。

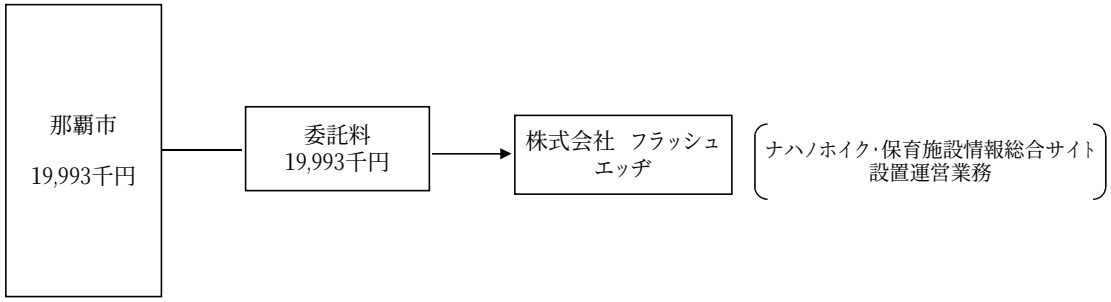
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○かかる情報サイトの必要性はむしろ顕在化していくと思われ、推進する上での問題点や外部環境の変化は見いだされない。	○完成後も、サイトのブラッシュアップを想定する。

今後の取り組み方針

○本稼働にあたって必要なフォローアップ体制（新規追加施設への案内、既存施設へのサポートなど）を充実させるとともに、サイトのブラッシュアップが可能な委託体制を採択してあたっていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,993	19,993	15,994	3,999	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算要求時の予算規模は見積もりによっており妥当。事業者の選定および契約金額は、プロポーザル方式により内容と価格面での競争を経ており、いずれも妥当であったと考えている。 ○受益者が無料であることは一般的といえる。 ○委託料によって仕様書に合致したサイトが構築されたことから妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-④	ナハノホイク案内人（ナビィ）設置事業（コンシェルジュ設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（2）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施（予定）年度	平成２５～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（4）

事業内容

認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育相談をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させる。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	804				
	(c)増減額(b-a)	804				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	804				
B．執行済額		758				
うち交付金充当額		606				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.3%				

予算の状況の説明：事業計画通り平成25年度中の勤務実績に対する支払いを完了。（執行残の内容は事務職員の勤務実績にもとづく賃金、通勤手当等の不用である。）

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
コンシェルジュの設置、研修、案内業務の開始（「ナハノホイク」β版（試行版）を活用した案内の試行）	目　標	コンシェルジュの設置、研修、案内業務の開始	（　）	（　）	（　）
	実　績	コンシェルジュの設置、研修、案内業務の開始			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：年度内に「保育施設情報相談員」の職を設置して任用を開始した。従来は行えていなかった、認可外保育施設に関する情報提供を行える体制が設置されたことから、目標は達成したものと考える。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
案内件数　700件（7件/日）	目　標	（－）	（700件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		470件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：11月から3月にかけての5ヶ月間で700件、一日あたり7件の相談を想定したが4.8件前後の実績となった。
設定した目標には達していないが、従来は行われていなかった認可外保育施設に関する情報提供が500件近く実施できたことは評価できると考えている。

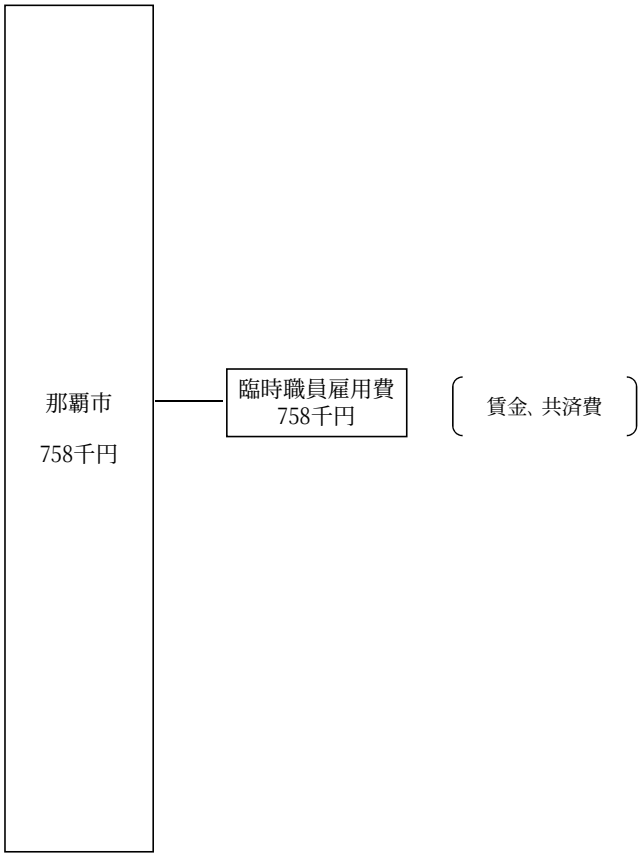
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○保育に関する相談機能をみた場合、①施設情報の提供、②空き施設への斡旋、③子育て相談といった機能のうち、保育施設情報相談員で対応できているのは①のみである。 ○斡旋するにたる保育施設の量的充実、および認可外保育施設の質的向上に取組、斡旋機能も備えていきたい。	○臨時職員では継続任用が困難であるため、施設情報提供におけるスキルが蓄積しにくいと思われる。

今後の取り組み方針

最大1年間までしか任用できない臨時職員から、最大3会計年度まで任用できる非常勤職員に身分替えをおこなって、新たな任用をおこなう。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
758	758	606	152	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設置要領に沿って、入所事務の経験を持つ人材を登用した。 ○賃金額は本市の基準によっている。 ○受益者負担が無料であることは、市の直接実施事業であることから問題はない。 ○臨時職員の雇用経費のみへの使途である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-⑤	認可外保育施設･絵本読み聞かせ実施事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域のおける子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)

事業内容

認可外保育施設において、保育従事者による『絵本の読み聞かせ』を位置づけるため、専門講師による「読み聞かせ」研修会を実施し、入所している児童に対し絵本等を配付する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
	(b)予算現額	5,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,000				
B. 執行済額		5,000				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：絵本読み聞かせ研修会(市内3ヶ所)、絵本配布等当初計画した事業内容は全て実施した。委託契約については、プロポーザル方式で業者を選定、100%の執行率となっている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
「読み聞かせ研修会」の開催及び各施設へ「絵本」の配付	目　標	首里、小禄、本庁･真和志地区での研修会開催。対象施設への絵本の配本。	（　）	（　）	（　）
	実　績	首里、小禄、本庁･真和志地区での研修会開催。対象施設86中85施設へ1,811冊配本した。			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：研修会のテーマを「赤ちゃんと絵本」とし、赤ちゃん絵本の役割、読み聞かせの声の役割を講義し、保育従事者へ伝えることができた。
配本では、園の希望に沿った的確な選定が行えた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
知識の共有、モチベーションの向上を図る集合研修の開催(首里、小禄、本庁･真和志の3地区) ※対象施設への絵本の配本。	目　標	（　－　）	（研修参加及び配本施設数86施設）	（　）	（　）	（　）
	実　績		研修参加＝77 配本＝85(1は閉園)			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：対象施設･全園へ配本できた。
食育、安全指導がテーマの絵本を選定し、保育展開に活用できる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○食育、安全指導がテーマの絵本の推奨したところ、要望も拡大し、保育展開が期待できる。 ○人気絵本の「手袋人形制作」を実施したところ、「読み聞かせの充実感が得られた」の感想があった。 ○選定した絵本は、研修の参加時に手渡しであったが、参加できなかった施設へは郵送、配達を依頼し、全園へ配本できた。	○研修開催、絵本の配本は前期に行い、立入調査や専門講師派遣の際に、実践の様子を聞き取り、年間とおして施設と関わっていく。 ○保育所での実践が肝心なので、保育従事者が負担なく行える工夫もしていきたい。

今後の取り組み方針

立入調査や専門講師派遣の際に聞き取ったことを研修内容や絵本の選定に反映させるなどし、より保育の質向上を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,000	5,000	4,000	1,000	0

那覇市 5,000千円 → 委託料 5,000千円 → 沖縄県子どもの本研究会5,000千円（絵本読み聞かせ研修会開催、絵本の選定及び配本業務の委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プロポーザル方式により募集したところ、1社の応答であったが、この1社は研修及び保育士の指導に実績があったので、市契約規則に基づき随意契約を行った。 ○研修会、絵本配布を保育の専門家へ委託することで、認可外保育施設対し保育所指針に沿った指導が行えたものと、完了報告から確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-⑥	認可外保育施設熱中症対策支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)

事業内容

認可外保育施設が行う熱中症予防対策に対して冷房機、扇風機、空気清浄機等の設置について支援(補助)を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	44,500				
	(c)増減額(b-a)	44,500				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	44,500				
B. 執行済額		24,289				
うち交付金充当額		19,431				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		54.6%				

予算の状況の説明：補助の上限額50万円は、冷房機等の設置工事費用も含めた額で設定した。64施設において、熱中症対策として冷房機等を設置できたものの、実績残は工事費や購入価格の割引、自己負担が捻出できない施設があったこと等による。(補助金を利用した施設数は72%)

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
認可外保育施設:89施設	目　標	(　89施設　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	64施設			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：事業申請時、各施設長から暑さ対策状況を聞き取りしたうえで、認可外保育施設の熱中症対策として事業検討した。
しかしながら、実際に実施する際に、クーラーの買い替えの見込み数が想定より下回り、部屋ごとにクーラーを設置するなどで機器の規模が小さくなったことなどで、実績残となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
熱中症対策等保育環境の改善に取り組む認可外保育施設に冷房機、空気洗浄機等設置完了(市内全認可外保育施設:89施設)	目　標	(　)	(　89施設　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		64施設			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：本格的な暑さはこれからだが、午睡(昼寝)時に使用すると寝つきがよいなど、児童の疲労回復につながっている。

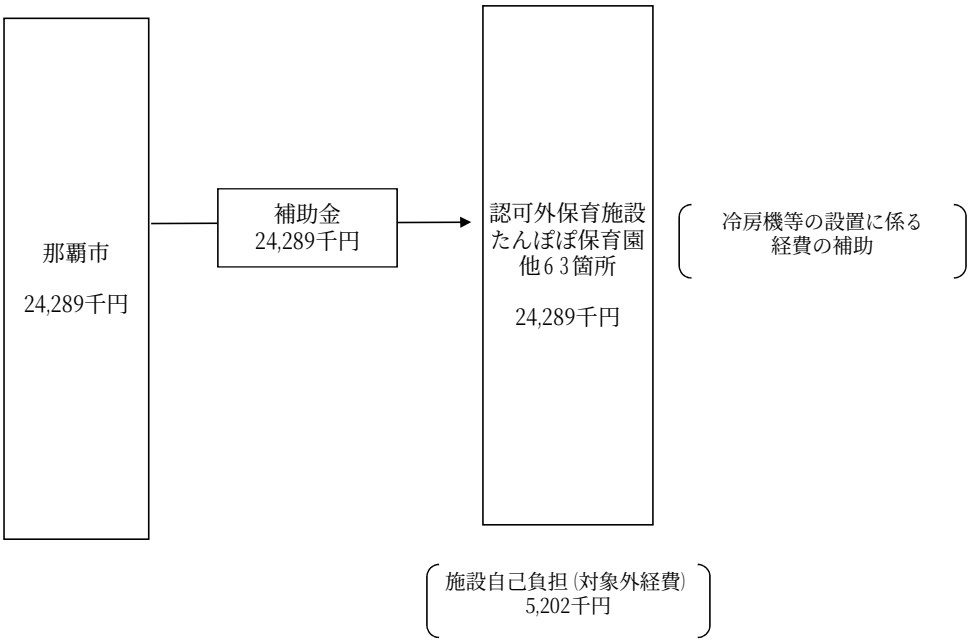
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○実績報告書によると、各施設において保育環境を整えることができている。	○各施設で良好な状態で使用できるよう、市からの熱中症に関する情報の提供。 ○適切で効果的に運用できるよう、室温計（湿度）の使用を励行。 ○立入調査及び巡回などの訪問時に状況の把握等。

今後の取り組み方針

○熱中症に関する情報を取り入れ、施設へ情報提供を行い、予防対策を注意していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,491	24,289	19,431	4,858	5,202



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的である児童の安全を得られるものであった。額の確定においては、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-⑦	児童館熱中症対策事業（ミスト発生機設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)
事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外に体力増進指導のための広場を備える市内4児童館にミスト発生機を設置する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	943				
	(c)増減額(b-a)	943				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	943				
B. 執行済額		636				
うち交付金充当額		509				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.4%				
予算の状況の説明		児童館4館分のミスト発生機を購入し、計画どおり執行。不用額は入札残による。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
ミスト発生機購入設置(児童館)：4園	目　標	(　4館　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	4館			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	
	広場を備える市内児童館4館にミスト発生機設置。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
屋外に広場を備える児童館へミスト発生機設置完了 (ミスト発生機購入設置：児童館4館)	目　標	(　)	(　4館　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		4館			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	
	平成25年度に市内児童館4館にミスト発生機設置完了。平成26年度より活用。

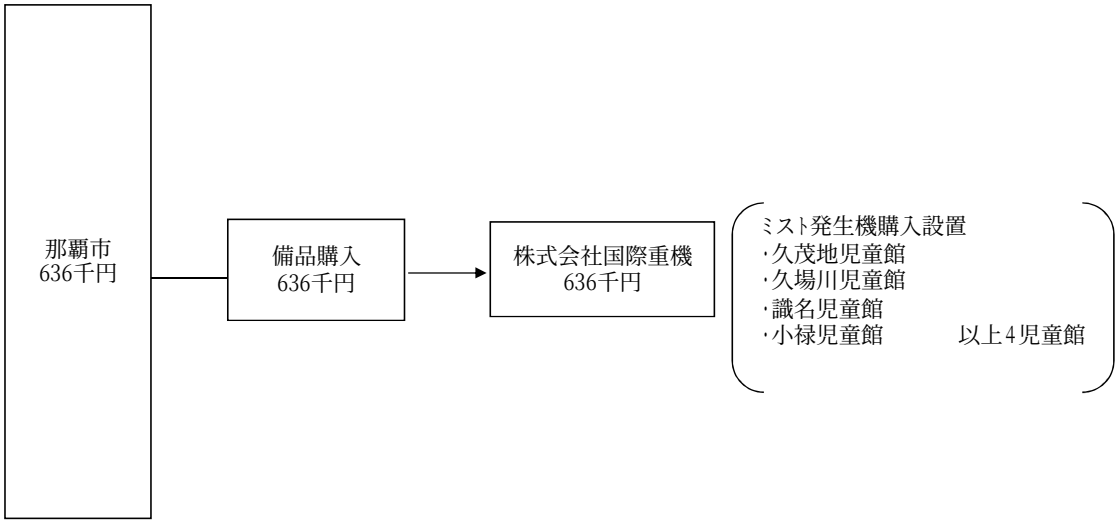
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○気温や湿度の状況を見ながら、適切に使用する。	○定期的なメンテナンスを行い、良好な状態での使用する。 ○熱中症対策として効果的な設置場所や運用の検討を行う。 ○冬場等の使用できない期間の活用を検討する。

今後の取り組み方針

平成２６年度以降において野外活動の際に使用し、ミスト発生機の効率的な使用に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
636	636	509	127	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○部内の別施設でのミスト発生機購入事業と共同で入札を行い、効果的に購入できた。 ○購入台数、入札参加数が多かった事で、落札額が低くなり、落札残となった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-⑧	保育所熱中症対策事業（ミスト発生機設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)
事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策として公立保育所にミスト発生機を設置し、より良い保育環境を確保する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	2,122				
	(c)増減額(b-a)	2,122				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	2,122				
B．執行済額		1,432				
うち交付金充当額		1,145				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.5%				
予算の状況の説明		公立保育所（9箇所）分のミスト発生機購入費。不用額が出ているが入札残によるもので事業内容はすべて実施した。また、こどもみらい部の他課と連携し、共同で入札を行うなど、予算の効率的な執行に努めた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
ミスト発生機購入設置：公立保育所9箇所	目　標	（　9箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	9箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	全公立保育所9箇所へミスト発生機設置

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
全公立保育所へミスト発生機購入、設置完了（公立保育所9箇所）	目　標	（　）	（　9箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		9箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	平成２５年度に全保育所にミスト発生機設置完了。平成２６年度より活用。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○気温や湿度の状況を見ながら、適切に使用する。	○定期的なメンテナンスを行い、良好な状態で使用する。 ○熱中症対策として効果的な設置場所や運用の検討を行う。 ○冬場等の使用できない期間の活用を検討する。

今後の取り組み方針

平成２６年度以降において屋外活動に使用し、ミスト発生機の効率的な使用に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,432	1,432	1,145	287	

那覇市
1,432千円

→ 備品購入
1,432千円

→ 株式会社国際重機
1,432千円

（ミスト発生機購入
・天久　、与儀、若狭浦、めおと橋、松川、大道、赤平、久場川、宇栄原　　以上　　全９公立保育所）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○部内の別施設での購入事業と共同で入札を行い、効果的に購入できた。 ○購入台数、入札参加数が多かった事で、落札額が低くなり、落札残となった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-①	海外移住那覇市出身者研修受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の促進
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7
事業内容	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世･3世らを研修生として受け入れる。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,153	1,326			
	(b)予算現額	1,153	1,326			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	1,153	1,326			
B. 執行済額		1,052	1,116			
うち交付金充当額		841	892			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		91.2%	84.2%			
予算の状況の説明		･当初予定していたレンタカーの利用が不要となったため燃料費(7,000円)と使用料及び賃借料の一部(54,000円)が不要となった。 ･上記以外について、執行残はあるものの当初計画していた内容をすべて実施した。 ･活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて、適正な執行であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
研修生受入	目　標	(　2人　)	(　2人　)	(　　)	(　　)
	実　績	2人	2人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明

･ブラジルとボリビアから各1人、那覇市出身者の3世を2ヶ月間受け入れた。
･沖縄の伝統芸能であるエイサー、三線を習得。世界遺産、観光名所等の視察、沖縄･那覇の歴史についての学習等を行い、ルーツ沖縄･那覇について知識を深めた。
･在沖の親戚や知人との交流のほか、各研修先やバスツアーなどで多くの市民、県民と交流した。
･各々の大学の専攻科目に関係する行政施設や民間企業にて2週間の研修を行い、移住先の発展に寄与する人材育成を図ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
南米からの研修受入人数	目　標	(　2人　)	(　2人　)	(　2人　)	(　　)	(　2人　)
	実　績		2人	2人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明

平成26年3月現在で、事業開始後25名の研修生を迎えたことになり、それぞれが現地県人会においても自らのアイデンティティーを再認識することにより、その他の次世代現地沖縄県人の方々への意識醸成へ寄与している。今後も本事業の継続により、海外のウチナーンチュとのネットワーク構築に努める。

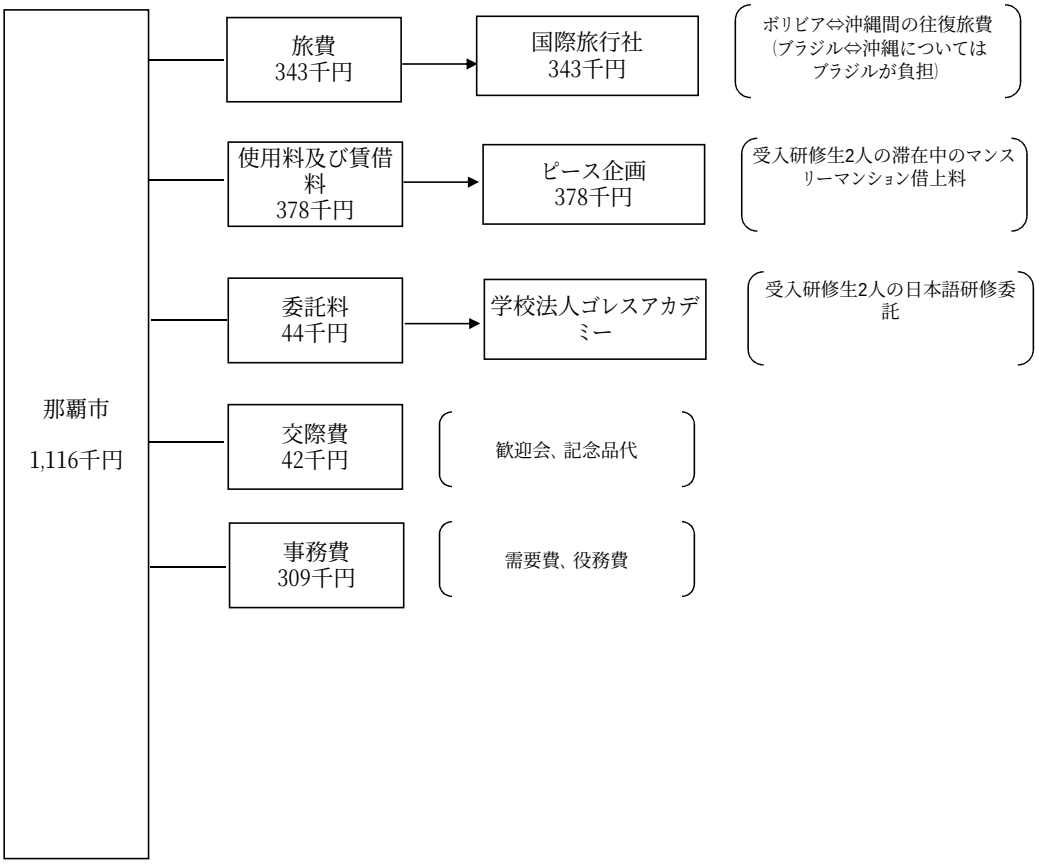
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・これまで受け入れた研修生は、帰国後に研修生同士を結ぶネットワークを作り、ウチナーンチュとしてのアイデンティティーを深め、那覇市との交流の架け橋となっている。世代が進むにつれ那覇市と海外ウチナーンチュとの関係性の脆弱化が懸念される中、本事業の効果は大きいものと考える。 ・毎年受入れる各研修生ごとへ、画一的ではないきめ細かな研修・体験を提供することにより、自らのアイデンティティーを再認識させるとともに、親戚や、多くの市民の方々との交流の場を提供することにより、ルーツであるふるさと那覇市への思いを再認識してもらい、帰国後も相互に気持ちを繋いでいけるよう支援する。	・研修生ごとへのきめ細かな対応をするとともに、帰国後も様々な通信手段などを通して、こまめに連絡をとり、現地県人会との窓口として連絡を取り合う。 ・沖縄伝統芸能の習得にかかる研修プログラムをさらに充実させる

今後の取り組み方針

今後も継続実施し、本市と関係各国を繋ぐ役割を担う「世界のウチナーンチュ」の人材育成と、交流推進のためのネットワークの構築を行う

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,116	1,116	892	224	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-②	那覇長崎平和交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7
事業内容	平和に対する意識を高め、今後の平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、7月には沖縄において長崎県の中学生と本市中学生が共に南部戦跡を巡る平和学習を行い、8月には長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,342				
	(b)予算現額	1,342				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	1,342				
B. 執行済額		1,193				
うち交付金充当額		953				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		88.9%				
予算の状況の説明		・不要額が149千円発生しているが、那覇長崎平和交流事業における旅費をホテルパックとし経費を抑えたことによるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
沖縄での平和学習参加生徒	目　標	(　40名　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	40名			
長崎への平和学習派遣生徒	目　標	(　8名　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	8名			

達成状況説明
・H25活動目標に揚げた人数目標を達成した。
・長崎平和と友情の翼事業では、7/24日～7/26日にかけて那覇市立松城中学校の生徒40名と長崎市訪問団(中学生40名引率7名)が南部戦跡平和学習等を通し交流することで、戦争の実相と平和の尊さを学ぶことができた。
・長崎平和と友情の翼事業に参加した中学生の内、8名を長崎への平和学習(青少年ピースフォーラム)に派遣し、沖縄・長崎の次世代を担う青少年が互いの歴史と現状を知ることにより、平和意識の高揚を図り、次世代への戦争体験の継承することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
沖縄での平和学習参加生徒	目　標	(　)	(　40名　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		40名			
長崎への平和学習派遣生徒	目　標	(　)	(　8名　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		8名			

進捗状況説明
・平成25年度成果目標を達成し、戦争の実相と平和の尊さを次世代へ継承することができた。
・長崎平和と友情の翼事業について、長崎市より隔年事業としたいとの申し出があり、平成26年度については実施見送りとなる。平成27年度は実施予定。
・青少年ピースフォーラムは従前通り実施し、平和の尊さを学ぶ機会を子どもたちに提供することで、平和を希求する市民の思いを受け継いでいく。

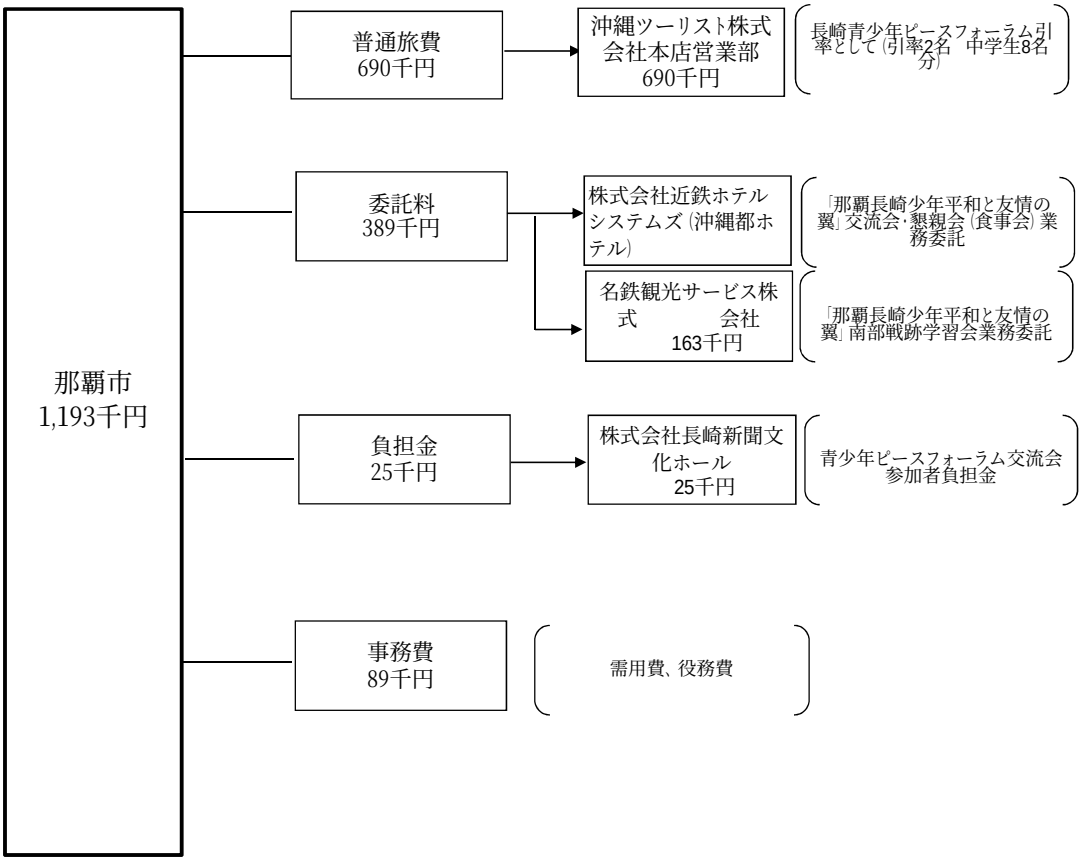
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	(ｱ)長崎平和と友情の翼事業について、長崎市より隔年事業としたいとの申し出があり、平成26年度については実施を見送ることとなった。平成27年度実施となる。 (ｲ)青少年ピースフォーラムは、長崎平和と友情の翼事業に参加する生徒から8名を選定していたが、長崎平和と友情の翼事業が隔年事業となるため、参加生徒の選定見直しを行う必要がある。	(ｱ)(ｲ)を踏まえ、那覇長崎平和と友情の翼事業のない年度（H26、H28、H30、H32）については、青少年ピースフォーラム参加生徒選定方法を、公募とする等改善策を検討する。

今後の取り組み方針

取り組みの検証を踏まえ、平成26年度から、青少年ピースフォーラム派遣生徒を公募とする方法を検討する。
隔年事業となった長崎平和と友情の翼事業に今後も隔年で参加し、長崎との交流を通して、戦争の実相と平和の尊さを次世代へ継承していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,193	1,193	953	240	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については、事業目的に即し真に必要なものに限定しており、適正であったと考えている。 ○委託先は、共同開催者である長崎市の業務委託先、宿泊先と随意契約を行う等、合理的かつ適当な理由で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10	未来にはばたく臨港型都市再開発事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(13)－ア 早期の事業着手に向けた取組
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－8
事業内容	市内に残された米軍基地問題解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	5,000			
	(b)予算現額	5,000	5,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,000	5,000			
B. 執行済額		4,725	4,725			
うち交付金充当額		3,780	3,780			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		94.5%	94.5%			
予算の状況の説明		計画どおりに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
(1) 跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進	目　標	合意形成活動全体計画見直しを行う	跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進		
	実　績	合意形成活動全体計画見直しを行った	合意形成活動を実施した		
(2) 那覇軍港への進出企業可能性調査	目　標	－	那覇軍港への進出企業可能性調査		
	実　績	－	勉強会のテーマを様々な業界の動向や将来展望等の視点から選定し実施した		

達成状況説明：平成24年度に見直した合意形成活動全体計画に基づき、跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えることに重点を置き、全体計画の説明会の開催、勉強会の開催、次世代の会の立ち上げ、次世代の会による県内先進地視察及び意見交換の実施、情報誌の発行を行った。那覇軍港の進出企業の可能性を知るため、様々な業界の動向や将来展望のほか、投資先を選ぶ視点や必要な条件などについて、那覇軍港のポテンシャルを踏まえながらテーマを選定し実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
(1) 跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進	目　標		合意形成活動全体計画見直し案の策定	跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進		
	実　績		合意形成活動全体計画見直し案の策定	合意形成活動を実施した		
(2) 那覇軍港への進出企業可能性調査	目　標		－	那覇軍港への進出企業可能性調査		
	実　績		－	勉強会のテーマを様々な業界の動向や将来展望等の視点から選定し実施した		

進捗状況説明：平成24年度に見直した合意形成活動全体計画に基づき、跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えることに重点を置き、全体計画の説明会の開催、勉強会の開催、次世代の会の立ち上げ、次世代の会による県内先進地視察及び意見交換の実施、情報誌の発行を行った。那覇軍港の進出企業の可能性を知るため、様々な業界の動向や将来展望のほか、投資先を選ぶ視点や必要な条件などについて、那覇軍港のポテンシャルを踏まえながらテーマを選定し実施した。次年度は、全体計画の説明会の開催、勉強会の開催、情報誌の発行などを継続しつつ、次世代の会の活動が継続的に行えるよう支援していく予定。また、平成28年度頃からは、跡地利用方針･基本計画･事業計画段階に移行し、跡地利用の基本方針などの検討に取り組んでいく予定である。

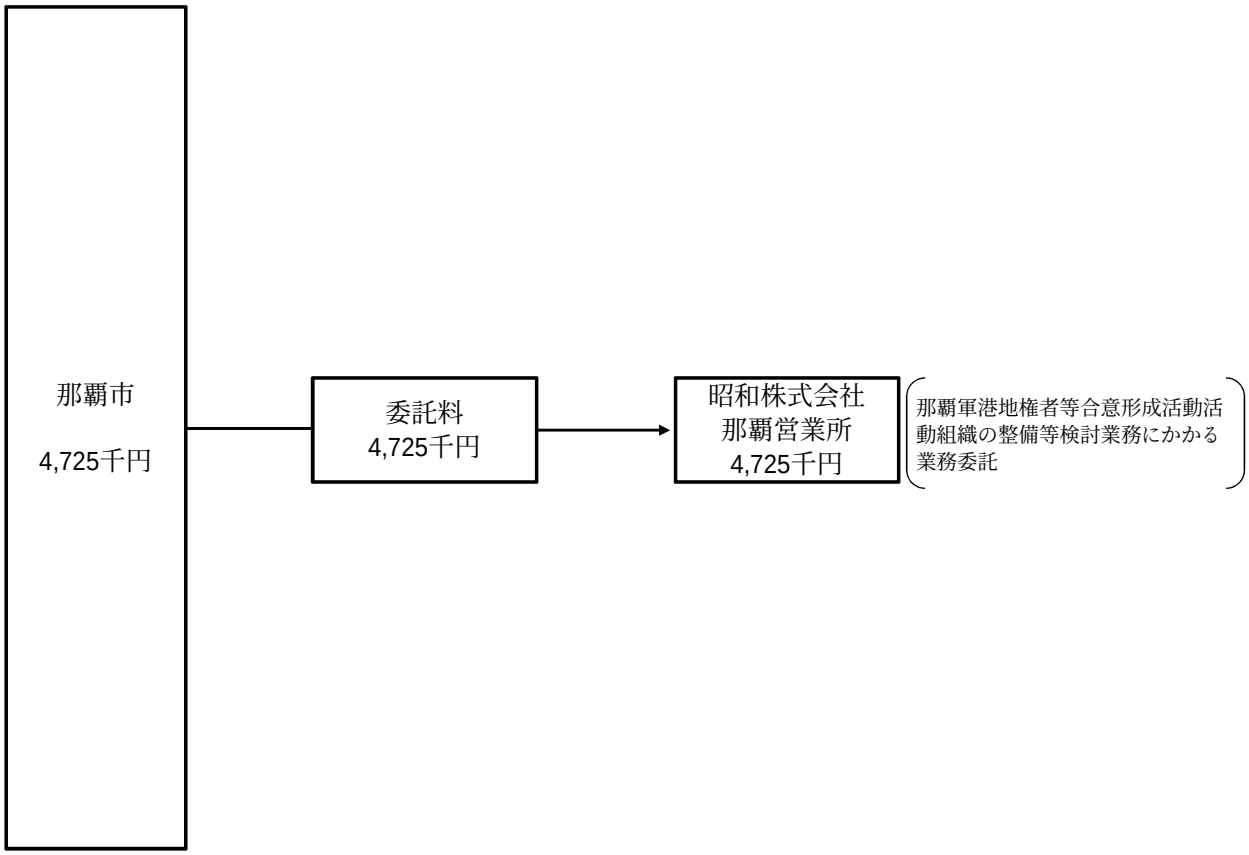
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●推進上の課題 ①より多くの地権者等に対して全体計画の説明が必要である。 ②勉強会の継続による幅広い知識の取得が必要である。 ③幅広く、分かりやすい情報提供が必要である。 ④次世代の会の継続した活動につなげていく必要がある。 ⑤次世代の会が様々な組織と意見交換及び先進地の視察による活動意識の醸成が必要である。 ●外部環境の変化 ①沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画の発表（平成25年4月） ②嘉手納より南の駐留軍用地跡地の返還及び跡地利用の進捗状況	●推進上の課題を踏まえ、合意形成活動全体計画に基づく合意形成活動を行っていく。 ●嘉手納より南の駐留軍用地跡地の返還及び跡地利用の進捗状況を踏まえ、那覇軍港の跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えていく。

今後の取り組み方針

跡地利用方針・基本計画・事業計画段階である第2ステージに移行するまでの期間として概ね3年（平成27年度）を想定し、第2ステージへ移行するための合意形成活動達成目標を次の5つ設定している。
①全体計画のさらなる周知
②跡地利用計画づくりに向けた意識醸成
③若い世代の組織の設置
④土地活用に関する知識の習得
⑤国有地を道路や公園・緑地等の公共用地に充当することの検討

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,725	4,725	3,780	945	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者は指名競争入札により選定
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-①	離島連携事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（１２）－オ 交流と貢献による離島の新たな振興
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９

事業内容

県都･那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島の５つの離島と連携事業を行い、５町村との交流強化に取り組む。

実施方法

■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	44,897	44,933			
	(b)予算現額	44,897	44,933			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	44,897	44,933			
B．執行済額		23,597	25,542			
うち交付金充当額		18,877	20,433			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		52.6%	56.8%			

予算の状況の説明：･台風等の天候による船便の欠航が相次いだため、助成券の利用率が60.5%にとどまり、執行率が伸びなかった。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
離島5町村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550名	目　標	（交通費･宿泊費の助成）	（5,550人）	（　）	（　）
	実　績	交通費･宿泊費の助成	3,635人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
･交付決定者数は、渡嘉敷村1,514人、座間味村1,350人、粟国村987人、渡名喜村805人、久米島町995人、計5,651人であった。
･助成券使用者数は、渡嘉敷村987人、座間味村894人、粟国村675人、渡名喜村462人、久米島町617人、計3,635人であった。
･台風等の天候不良で船便の結構が相次いだことが要因で目標を下回った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
離島5町村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550名	目　標	（5,000人）	（5,000人）	（5,550人）	（　）	（5,000人）
	実　績		2,973人	3,635人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･助成券使用者数は、渡嘉敷村987人、座間味村894人、粟国村675人、渡名喜村462人、久米島町617人、計3,635人であった。
･台風等の天候不良で船便の結構が相次いだことが要因で目標を下回った。
（交付決定（5,651人）が助成券を使用した場合の助成金額は、37,194千円で執行率は93%になるため、事業周知は徹底されており、離島振興策としての効果は高いことが伺える。）

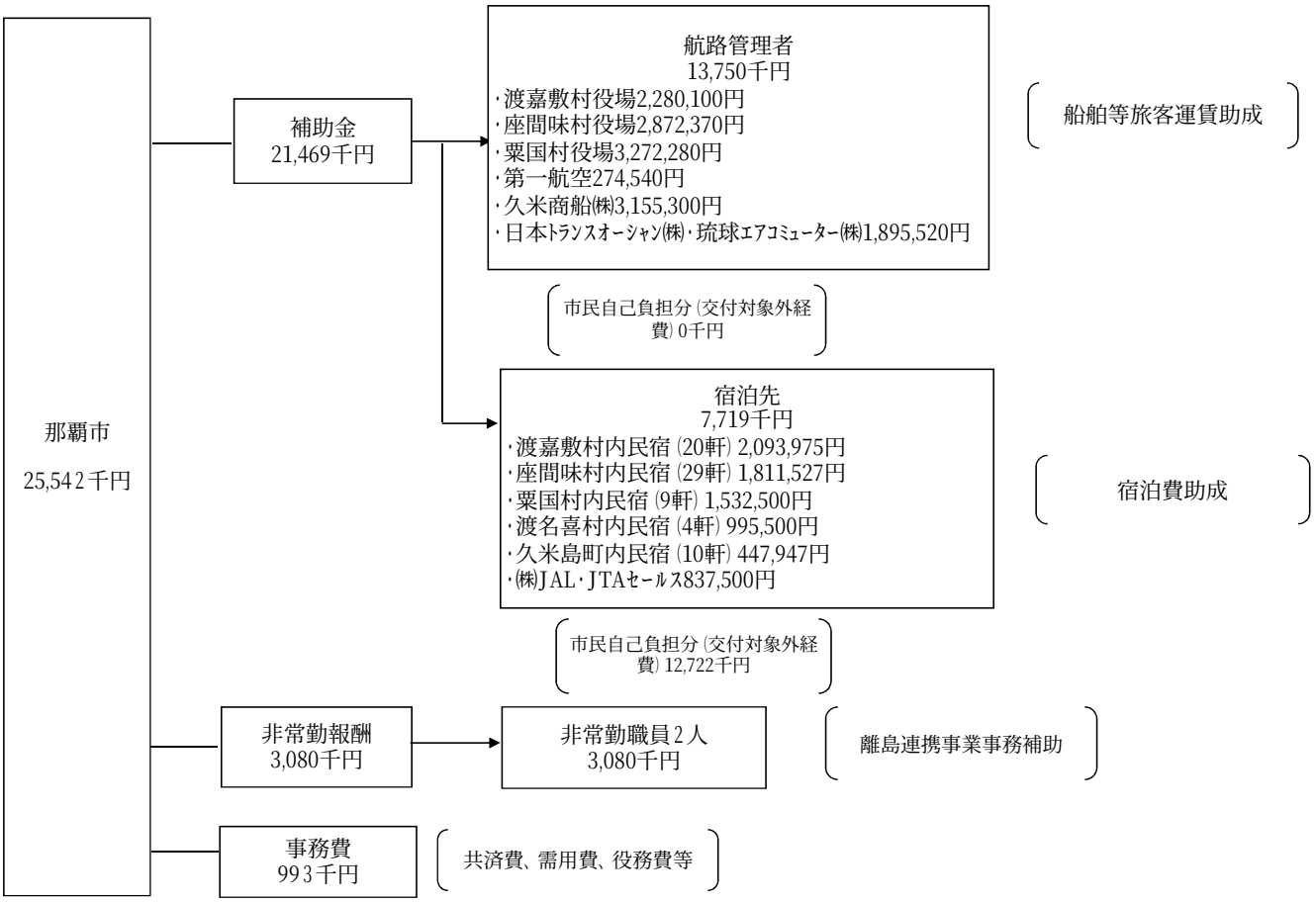
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成25年度は、対象離島に久米島町が加わり離島5町村で実施した結果、応募者数は前年度より約2,300名の増となった。 ・離島航路は、台風等の天候不良による欠航が多く、助成券を利用できなかった市民が多くいたため、執行率の低さにつながっている。 ・前期・後期と分けず通年で募集した。	・申請受付を窓口のみから、26年度は市民の利便性向上を図り、郵送受付も可能とすることにより、申請者数の増が見込まれる。

今後の取り組み方針

本事業は当初の計画どおり、平成26年度をもって一旦終了するが、本事業の効果、評価を踏まえて那覇市及び関係離島町村の新たな連携施策を検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,264	25,542	20,433	5,109	12,722



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-②	離島体験学習支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（１２）－オ 交流と貢献による離島の新たな振興
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９

事業内容

県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。
・対象／那覇市立小中学校児童生徒とその引率者
・場所／近隣離島（久米島町・座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・南北大東村）で部活動の合宿やリーダー研修等を実施する場合
・補助／海上交通費の全額・航空賃の半額・宿泊費（1泊5,000円を上限として2泊まで）

実施方法　■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,458	3,950			
	(b)予算現額	9,458	3,950			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A．計(b+d)	9,458	3,950			
B．執行済額		1,938	2,013			
うち交付金充当額		1,550	1,610			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		20.5%	51.0%			

予算の状況の説明
・不要額が1,937千円発生しているが、利用が集中する秋季休業期を中心とする10月に台風が多数襲来し（23号～27号）、船の欠航に伴い多くの計画が中止になったこと、航空機の利用が予想より少なかったこと、等による。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
離島等派遣延べ人数	目　標	（140人）	（160人）	（　）	（　）
	実　績	140人	184人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明
市内延べ9小中学校からの申請に対して、計184人分の派遣費に対する補助を行った。
渡嘉敷島・久米島における運動部の合宿が主な内容である。
事業開始が平成24年度であり、事業の周知がはかられてきたことにより、目標を上回る利用者数（実績数）となり、離島振興がはかられた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
離島等派遣延べ人数	目　標	（0人）	（140人）	（160人）	（　）	（200）
	実　績		140人	184人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明
市内延べ9小中学校からの申請に対して、計184人分の派遣費に対する補助を行った。
渡嘉敷島・久米島における運動部の合宿が主な内容である。
事業開始が平成24年度であり、事業の周知がはかられてきたことにより、目標を上回る利用者数（実績数）となり、離島振興がはかられた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・離島県である沖縄で、県都・中核市としての那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして、那覇市観光の幅と魅力を高めるため、県内近隣離島の振興発展を図る必要がある。 ・文科省の全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査の結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」について課題があることが明らかになっている。また、亜熱帯性の島嶼県である沖縄で、その自然特性を生かした「生きる力」を育む教育が求められている。 ・離島への渡航に対する補助であるため、台風や強風による船の欠航、交通手段の変更も予想される。	・離島体験学習への児童生徒の積極的な参加を促し、離島振興をはかるため、費用の一部助成が必要であり、早期より事業の周知をはかる。

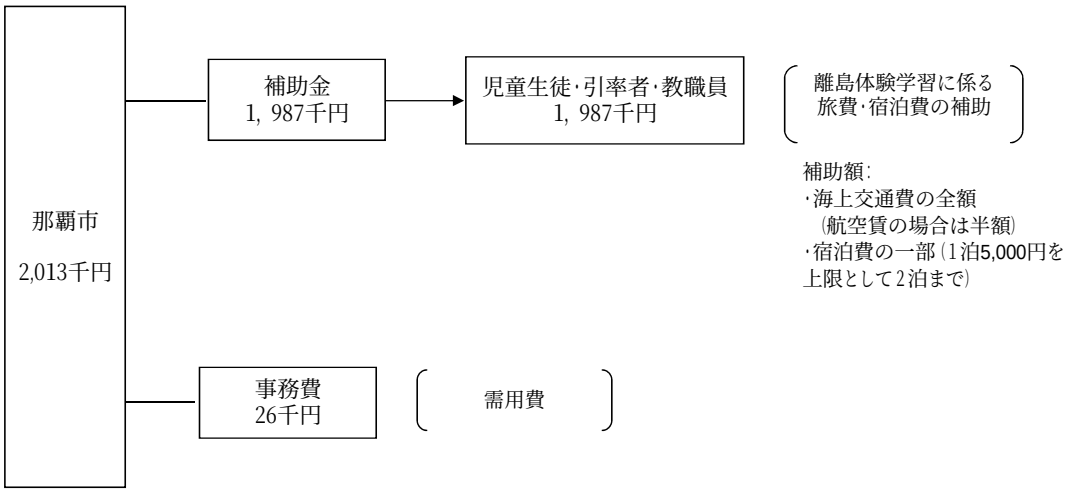
今後の取り組み方針

・離島派遣費用の負担軽減により、機会を増やし、次代を担う児童生徒の人材育成、教育の振興と離島の振興を図る。

・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、さらなる事業の周知をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,013	2,013	1,610	403	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模については、執行額が天候に左右される面もあるために予測が困難であり、検討を要する。 ・本事業が、離島派遣費用の負担軽減により、機会を増やし、次代を担う児童生徒の人材育成を図ると共に、県内離島への関心を高め、今後の離島観光の牽引的役割を果たすことを目的とするため、現行補助（負担）割合は妥当なものと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-①	モノレール沿線ベランダ緑化支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－(1)

事業内容

沖縄の豊かな自然環境保全を目的として、H24年度に緑のカーテンや屋上緑化のためのプランター等をモノレール沿線地域に無料配付した。今年度は配付した植栽プランター植物の維持管理に必要なアドバイス等のアフターフォローを行い、亜熱帯をイメージさせる都市景観の形成に取り組む。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	65,184	3,743			
	(b)予算現額	65,184	3,000			
	(c)増減額(b-a)	0	▲ 743			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	65,184	3,000			
B．執行済額		63,776	2,999			
うち交付金充当額		51,020	2,399			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		97.8%	100.0%			

予算の状況の説明：本事業は、「平成２４年度那覇市モノレール沿線ベランダ緑化促進事業」で植栽プランターを配付する世帯を６００件と想定し予算を計上したが、配付世帯が４７１世帯に留まったため７４３，０００円の補正減を行った。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
植栽プランター配付世帯への訪問指導実施	目　標	(　)	(　訪問　1413件　)	(　)	(　)
	実　績		訪問　1411件		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：
・6月から8月に、月一回植物の専門知識取得者によるプランター設置宅を訪問し、植栽プランターの維持管理への指導アドバイスや相談等支援業務を行った。（1413件：471件×３回訪問）
・その他、モノレール沿線沿いを３地区に分け、それぞれの地区において植栽プランターの維持管理に関する講習会を開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
モノレール沿線の建築物緑化面積2415.6㎡の維持	目　標	(　)	(　)	(　2415㎡　)	(　)	(　)
	実　績			2412㎡		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：
・植栽プランターの生育状況は、２６８４鉢の設置に対し２８６１鉢が良好に管理されており、本事業が適正に実施されたものと認める。尚、配布プランター３減の原因は設置者の転居によるものである。維持面積2412㎡＝(2861鉢×.0.9/㎡(0.6×1.5m)
・その他、植栽プランターの維持管理講習会を３回開催し、各回平均３５人の参加があった。

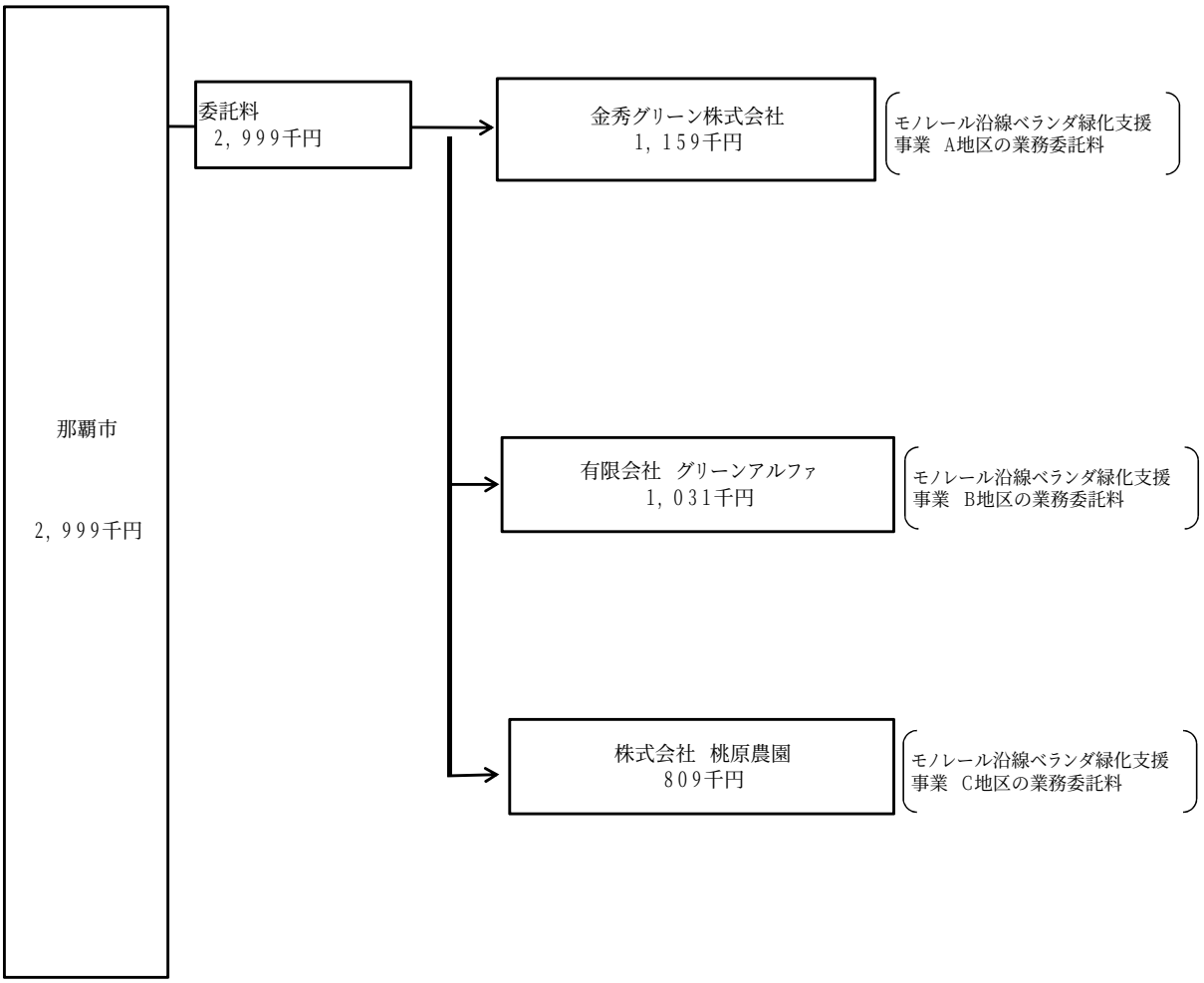
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業により都市景観がよくなったかとのアンケート(467世帯からの回答)を実施したところ「大変よくなった」、「良くなった」が全体の83.9%を占めるなど、高い評価を得られているものの、プランターが大きいため台風時に移動が課題となるといった指摘もあった。	当該事業の効果検証アンケートの集計結果は、満足度の高い結果となっており、事業は高い評価が得られたものと考えている。

今後の取り組み方針

沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した、高率補助によるモノレール沿線沿いの緑化促進事業は終了するが、今後においては、花と緑で潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創生実現やヒートアイランド現象の緩和、二酸化炭素の排出抑制など地球温暖化対策の施策として、那覇市の単独事業である緑のカーテン及び屋上・壁面等の建築物緑化事業を積極的に推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,999	2,999	2,399	600	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、平成24年度に実施した「那覇市モノレール沿線ベランダ緑化促進事業」のフォローアップ事業として位置付けており、引き続き前年度同業者との委託は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-②	水資源有効利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア
					3Rの推進
担当部課名	環境部　環境保全課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)
事業内容	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留･浸透施設等の設置に対して補助を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,040	1,200			
	(b)予算現額	1,040	1,200			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	1,040	1,200			
B. 執行済額		366	766			
うち交付金充当額		292	612			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		35.2%	63.8%			
予算の状況の説明		･去年の補助件数の実績は10件だったが、広報を強化したことにより25年度は20件で執行率を63.8%まで伸ばすことができた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
雨水貯水･浸透施設の設置補助件数	目　標	(　30件　)	(　30件　)	(　　)	(　　)
	実　績	10件	20件		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明

･那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に基づき、以下のことを行う。①補助金の交付が適当と認められた申請者に対して交付決定を通知する、②当該工事が完了したら、提出された実績報告書等に基づき現場確認を行い、申請者に対して交付確定を通知する、③申請者より提出された補助金交付請求書に基づき補助金を交付する。
･住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。
･補助制度を開始した平成14年度以降の実績をみると、最小12件、最大27件、平均18件／年で推移しており25年度は平均を上回ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
雨水貯水･浸透施設の設置補助件数	目　標	(　　)	(　30件　)	(　30件　)	(　　)	(　30件　)
	実　績		10件	20件		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明

･住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。
･補助制度を開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年で推移しており25年度は平均を上回ることができた。

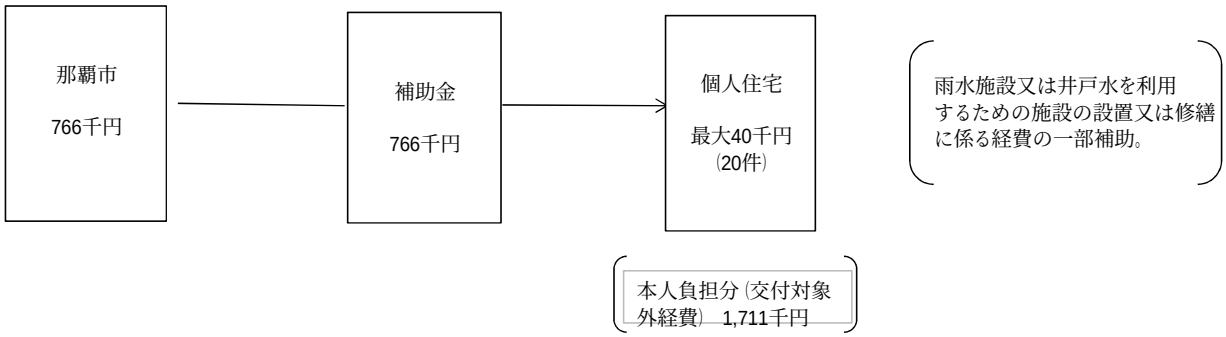
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・補助制度を開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に幅があるため、申請件数の予測が困難な面がある。 補助件数が目標に達してない要因としましては、当補助制度の市民に対する周知が十分ではないと思われる。	・補助制度の更なる周知を図るため、あらゆる媒体機会を活用して広報を強化する。

今後の取り組み方針

●周知・広報の強化
・那覇市広報（市民の友）で周知する。
・チラシを配布する。（自治会長会、各支所、公民館等）
・市ホームページで周知する。
・その他関係機関等を通して周知・広報を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,478	766	612	154	1,711



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に沿って交付対象者を決定しており、妥当であると考える。 ・受益者負担の約3分の1を補助しており、妥当であると考える。 ・補助金額確定時において支出等に関する書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-③	市内湧水水質調査業務		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア
					3Rの推進
担当部課名	環境部　環境保全課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容	沖縄の豊かな自然環境保全のため、平成24年度に実施した市内の井泉･湧水･井戸の現況調査結果を基に水質調査を実施し、今後の水資源有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	15,519	7,634			
	(b)予算現額	15,519	7,634			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	15,519	7,634			
B. 執行済額		13,968	7,350			
うち交付金充当額		11,173	5,880			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		90.0%	96.3%			
予算の状況の説明		･不用額284千円発生しているが、委託費の入札差額によるもので当初計画していた調査業務はすべて実施し、活動内容、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･生活環境項目についての湧水水質分析調査(対象:118地点)	目　標	(　3, 716件　)	(　118地点　)	(　　)	(　　)
	実　績	3, 762件	138地点		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明	･平成25年度は、平成24年度調査で水が確認された公開地点(118地点)、公開検討地点(20地点)の計138地点において水質･水量について調査した。 ･渇水時や災害時に生活用水として活用するための基礎資料となった。 ･調査地点が増えた理由は、新たに公開検討地点を追加調査をしたためである。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(16　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･生活環境項目についての湧水水質分析調査(対象:118地点)	目　標	(　3, 716件　)	(　3, 716件　)	(　118地点　)	(　　)	(　　)
	実　績		3, 762件	138地点		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明	･本事業により災害時や渇水時に生活用水として利活用の情報を市民に提供できるようファイルを作成した。 ･138地点のうち、災害時に生活用水として重要地点16地点(本庁:3、首里:6、小禄:3、真和志:4)の水量調査した結果、全体の給水割合は9%であった(本庁:20%、首里:11%、小禄:3%、真和志:3%)。

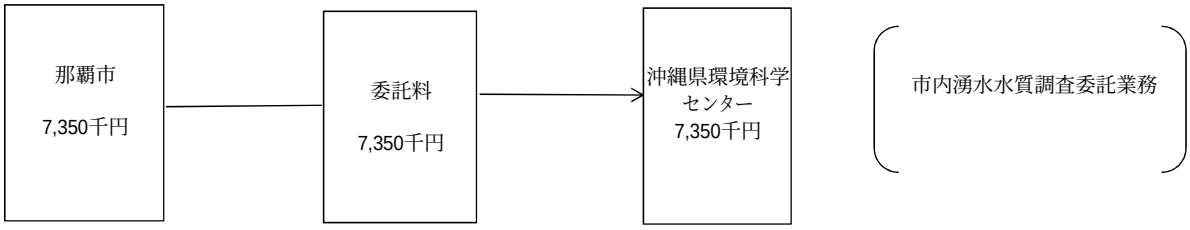
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・水質の季節変動を把握するため、夏季の調査が望まれる。 ・市民の財産である井戸・湧水等調査においては、個人情報の保護に配慮する。	・水質安定性の面から鑑みて、調査時期を検討する。 ・今後同様な調査を実施していく際についても、個人情報の保護に配慮する。

今後の取り組み方針

・今回の事業で調査した現況を把握し、今後の水資源の有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。
・災害時等における利活用については、市民防災室や上下水道局等関係部署に情報を提供する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,350	7,350	5,880	1,470	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、適正に執行されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-④	観光振興に資する亜熱帯･島嶼地域型環境保全･創造事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(3)－ウ 低炭素都市づくりの推進
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

本県の亜熱帯･島嶼地域の豊かで独自の自然環境という観光リゾート地としての優位性をさらに強化するため、今後必要となる観光に資する環境保全･創造事業を網羅した環境基本計画を策定した。策定した計画は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に沿って、本市が今後取り組む環境施策を盛込んだ内容となっている。

･平成24年度　基礎調査、現状分析、基本方針等の策定
･平成25年度　上記の平成24年度の取り組みを踏まえ新たな環境基本計画の策定

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,280	5,094			
	(b)予算現額	3,280	5,094			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	3,280	5,094			
B. 執行済額		3,280	5,094			
うち交付金充当額		2,624	4,075			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		計画通り執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
環境基本計画の策定	目　標	（市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定）	（環境基本計画の策定）	（　）	（　）
	実　績	市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	環境基本計画の策定		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を踏まえ、平成25年度に、新たな環境基本計画である第2次那覇市環境基本計画を策定した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
環境基本計画の策定	目　標	（　）	（市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定）	（環境基本計画の策定）	（　）	（　）
	実　績		市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	環境基本計画の策定		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を踏まえ、平成25年度に、新たな環境基本計画である第2次那覇市環境基本計画を策定した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本計画は、平成２６年度から平成３５年度までの１０年間の計画となっており、毎年の進捗状況を検証し、ＰＤＣＡサイクルにより、進捗管理をする必要がある。	本計画は、平成２６年度から平成３５年度までの１０年間の計画であるが、中間地点である５年後（平成３０年度）に見直しを予定しており、外部環境の変化に適切に対応する必要がある。

今後の取り組み方針

上記の「推進上の留意点」、「改善の余地の検証」に留意し、本計画に盛込んだ各種施策の着実な実施により、本市の環境の保全・創造を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,094	5,094	4,075	1,019	0

那覇市
5,094千円

→ 委託料 5,094千円 → 株式会社プレック研究所沖縄事務所 5,094千円

（平成25年度那覇市環境基本計画策定事業(観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業)に係わる業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-①	救命講座普及啓発推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	消防局　救急課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）
事業内容	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習会を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,386	7,704			
	(b)予算現額	5,386	7,704			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	5,386	7,704			
B．執行済額		5,167	7,304			
うち交付金充当額		4,133	5,843			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		95.9%	94.8%			
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
応急手当受講者数：6,000人	目　標	応急手当講習（実施人数5,000人）	（応急手当講習実施人数6,000人）	（　）	（　）
	実　績	6,294人実施（目標人数達成）	6,260人実施（目標人数達成）		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：救命講座普及啓発推進事業で採用した非常勤職員が実施した救命講習会、普通救命講習会Ⅰ･Ⅲ･上級救命講習会の3時間以上の充実した講習会が増加し、入門コース等の時間数が短い講習会･人数が減少した状況である。結果、講習人数は若干減少したが、充実した時間数の講習会を実施し、目標人数6,000人を超えた状況である。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
応急手当講習受講者数：6,000人	目　標	（　）	（5,000人）	（6,000人）	（　）	（　）
	実　績		6,294人	6,260人		
【参考指標】 那覇市消防局平成24年（消防年報･消防OA端末統計資料） 那覇市消防局平成25年（消防年報･消防OA端末統計資料）	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･救命講習会の際に、那覇市の救急現状及びコンビニAED救命事案等の状況説明を実施している。このような取り組みで市民の意識が高まり更なる受講者が見込まれる
･東北大震災等の影響から、防災･安心･安全に関わる救命についての意識向上が見込まれる。

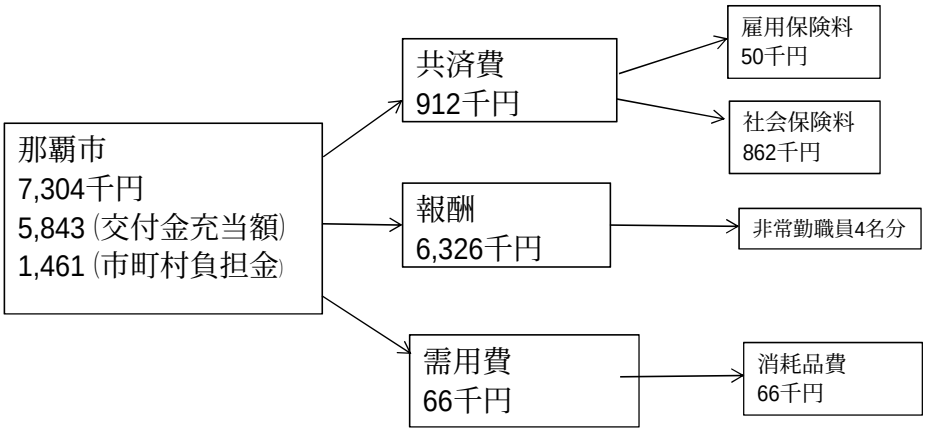
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・救命講習会の増加に伴い、修了証カード作成等の事務作業時間が減少している。 ・救命講習を夜間及び土・日に開催するに伴い、非常勤勤務体系の問題（代休）等の勤務取扱いの問題	・事務作業時間を確保するため、業務効率の改善に努める ・夜間及び土・日に開催する ・救命講習会を夜間及び土・日に開催するに伴い、非常勤の代休行使・勤務体系について、出勤簿・業務日誌・時間外勤務・代休執行表等を活用し救急課職員により管理する。

今後の取り組み方針

・救命講習受講人数6,000人を目標に、充実した救命講習会を実施し、その中で那覇市の救急事情・コンビニAED等の広報活動に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,304	7,304	5,843	1,461	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・全ての費目・使途は必要なものに限定している。 ・需要費に関しては、消耗品（非常勤職員被服代）も見積りあわせで購入する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑥	津波緊急一時避難施設誘導看板設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容	災害発生時に速やかな避難ができるよう、津波緊急一時避難施設への案内誘導表示を充実させ、防災体制を強化する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	1,445				
	(c)増減額(b-a)	1,445				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,445				
B. 執行済額		1,292				
うち交付金充当額		1,033				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		89.4%				
予算の状況の説明		委託事業者を入札で選定したため、予算額と落札額との差額分の予算残が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･津波緊急一時避難施設の表示板設置数	目　標	(　55施設　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	76施設			
･電柱へ掲示用の誘導看板の設置	目　標	(　200か所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	200か所			

達成状況説明：計画当初は津波緊急一時避難施設の指定数５５であったが、業者へ委託契約時点までに指定数が７６と増えた。予算範囲内で７６指定施設分を製作し掲示した。電柱への誘導案内板は1施設あたり２～３か所で対応した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
･津波緊急一時避難施設の表示板設置完了	目　標	(　)	(　55施設　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		76施設			
･電柱へ掲示用の誘導看板の設置完了	目　標	(　)	(　200か所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		200か所			

進捗状況説明：本業務により津波災害に対して低海抜地域の住民等へ避難できる場所の周知を図ることができた。今後も津波緊急一時避難施設のさらなる充実を図るため、その指定数の拡充を目指しており、新たに指定する施設に対しても看板もしくは表示シールを提供する予定である。また、あわせて電柱の誘導案内板についての維持管理も適切に行なっていく。

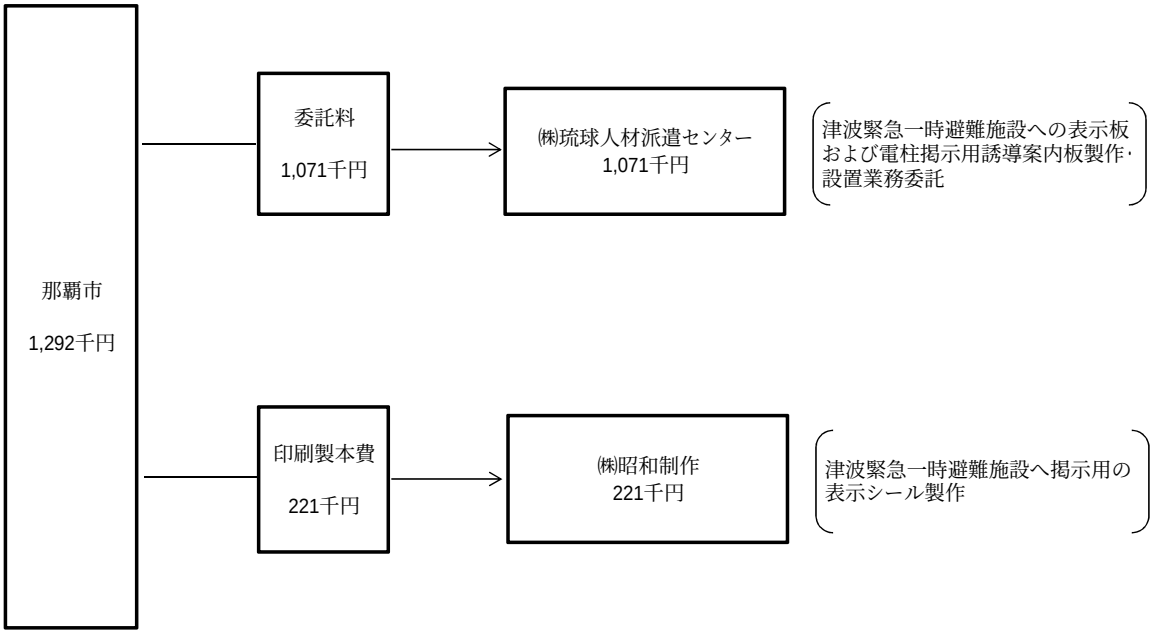
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	指定する施設の所有者へ表示板の掲示について同意を得る必要があり、また、希望される表示板の規格や枚数を把握するため、文書郵送でアンケート実施した。しかし、すべての指定施設から回答を得るまで1か月以上を要してしまい、結果、事業者選定の入札が遅れ、受託事業者の実施期間が2か月と短期間になってしまった。	施設側には、指定するときに施設へ表示板を掲示する旨同意を得ておけば、アンケートで時間を要しなかった。

今後の取り組み方針

今後新たに指定する施設に対し、協定締結後すぐ表示板の掲示などについて同意を得る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,292	1,292	1,033	259	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で委託事業者を選定し実施。 ○表示シールの製作は、合見積もりによる事業者選定。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑦	地域（防災）案内付き掲示板設置改修補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	市民文化部　まちづくり協働推進課	事業実施（予定）年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（2）
事業内容	自治会所有の掲示板について、住民や観光客等の安全安心･景観に資する沖縄らしいデザインの制作と、次年度の設置等に向けて現況調査を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,369				
	(b)予算現額	4,369				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	4,369				
B．執行済額		4,369				
うち交付金充当額		3,495				
次年度繰越額		0				
執行率（%）（B/A）		100.0%				
予算の状況の説明		掲示板の現況調査及び那覇市自治会長会連合会との連絡調整を行いながら、掲示板のデザイン制作を行うことができる業者を選定するために、プロポーザル審査を行い委託業者を選定した結果、事業計画どおりの予算執行がなされた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
地域（防災）案内付き掲示板のデザイン作成	目　標	（掲示板デザイン作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	作成完了			
掲示板設置に向けた現況調査	目　標	（掲示板の現況調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績	現況調査完了			

達成状況説明

那覇市内の自治会所有管理の掲示板584基の現況調査業務を行い、掲示板の状態を把握することで、新設又は改修補助の基準や、新設及び改修の需要を把握することができた。掲示板を維持管理している自治会長の代表で組織する那覇市自治会長連合会の支部長及び事務局を役員とした委員会において、沖縄特有の自然環境に耐えうる工夫、維持管理の効率化、必要となる防災情報の掲載及び各支部で決めたキャラクターを施した掲示板のデザイン作成ができ、地域に馴染む掲示板の設置がされることが期待できる。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
地域（防災）案内付き掲示板のデザイン作成	目　標	（　）	（掲示板デザイン作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		作成完了			
掲示板設置に向けた現況把握	目　標	（　）	（掲示板の現況調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績		現況調査完了			

進捗状況説明

那覇市内の自治会所有管理の掲示板584基の現況調査業務を行い、掲示板の状態を把握することで、新設又は改修補助の基準や、新設及び改修の需要を把握することができた。掲示板を維持管理している自治会長の代表で組織する那覇市自治会長連合会の支部長及び事務局を役員とした委員会において、沖縄特有の自然環境に耐えうる工夫、維持管理の効率化、必要となる防災情報の掲載及び各支部で決めたキャラクターを施した掲示板のデザイン作成ができ、地域に馴染む掲示板の設置がされることが期待できる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	H25年度事業の掲示板の現況調査業務において、掲示板の種類が約270種類程度あることが判明し、統一的な改修を多くの種類がある掲示板に施すことが技術的に厳しい状況が明らかになった。 よって、改修についての基準を決め、ある程度の統一的な改修ができるように調整する必要がある。	平成25年度事業で判明した現状を基に事業計画を再度検討し事業を進めていく必要がある。 また、作成する掲示板の積極的な利用のため、防災マップの常時掲示等を検討する。

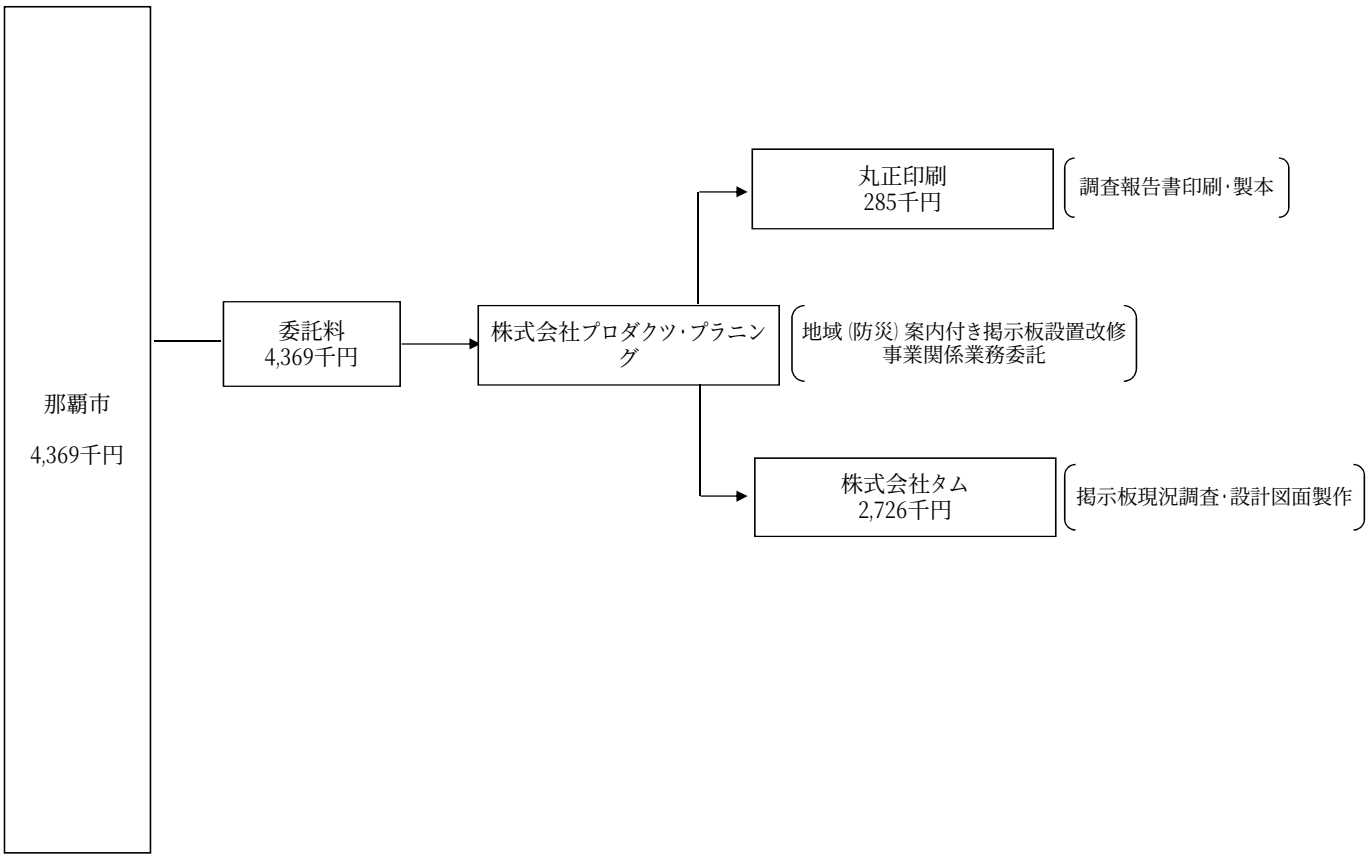
今後の取り組み方針

・改修に関して、より効果的な改修ができる掲示板を対象とするため、改修する掲示板の基準を設ける。

・中学校区防災マップの常時掲示を補助金の条件に盛り込む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,369	4,369	3,495	874	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、事業計画を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑧	那覇市コンビニＡＥＤステーション設置事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	消防局　救急課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	39,841	1,964			
	(c)増減額(b-a)	39,841	1,964			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	39,841	1,964			
B．執行済額		39,474	1,942			
うち交付金充当額		31,579	1,554			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.1%	98.9%			

予算の状況の説明：・計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内コンビニでＡＥＤ未設置5店舗にＡＥＤを設置（平成25年度中に新規開店する店舗へ設置）	目　標	（100店舗以上）	（5店舗）	（　）	（　）
	実　績	118店舗	5店舗		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・那覇市内コンビニ全126店舗（H26. 5.20現在・独自調べ）中の、123店舗に設置している状況であり、設置率97.6%である。
・コンビニ側の社会貢献理念・協力があり、H25年度新規5店舗にAEDを設置することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）：100%	目　標	（0%）	（100%）	（97.60%）	（　）	（　）
	実　績		100%	97.60%		
【参考指標】 ・独自調査【H26年5月20日現在】 那覇市内コンビニ数：126店舗 那覇市内コンビニAED設置数：123店舗	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・平成25年6月4日那覇バスターミナルでの心肺停止事案で、市民によるコンビニAEDを使用した、社会復帰（救命）事例があり、AEDの重要性が認識できる事例であった。
・平成25年度中その他5件の使用実績あり、AED適応外事案であったが、コンビニAEDの認識向上が見られた。
・各県自治体・消防からのの問い合わせ・行政視察等もあり、全国的にも好印象である。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業を推進するにあたり、全国各地の自治体からの多くの問合わせがありあり、好評価を受けたことから、モデルケースとしての資料等の準備が必要。 ・「コンビニ＝AED」「コンビニに行けばAEDがある」という意識づけをするため、更なる広報活動を実施していく必要がある。 ・年間数店舗の新規開店や閉店、改装などがあり、「全店舗設置」状況になることが難しい	・「全店舗設置」というコンセプトから ①コンビニ閉店・改装に伴い、AEDの貸し出しが出来ない場合は、電子媒体等を利用した広報を行う。②新規開店店舗にもオープンにあわせて設置できるよう事前に購入し準備する。

今後の取り組み方針

・24時間利用できるAEDの観点から、24時間営業の「ファミリーレストラン」「ガソリンスタンド」「ファーストフード店」も視野に入れて拡充を検討したい。
・沖縄県内に新規進出を検討しているコンビニがあるため、コンビニAED設置に向けて説明・調整を実施する。
・更に広報活動を実施し、「コンビニ＝AED」の認識向上に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,942	1,942	1,554	388	

那覇市
1,942千円
1,554千円（交付金充当額）
388千円（市町村負担金）
→
備品購入
（AED5器）
1,942千円
→
株式会社
琉球光和

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入費及び需用費の支出先は、入札により決定 ○支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑨	防災や学力向上等に向けた情報共有支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	企画財務部　情報政策課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地域防災計画に基づく市の各機関の役割周知及び防災訓練の実施前後における指導助言、小中学校における学力向上に資する教育指導法の研究や学校間及び教育委員会との情報交換等、情報共有化を推進支援するためのWeb会議ｼｽﾃﾑを導入する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	49,163				
	(c)増減額(b-a)	49,163				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	49,163				
B. 執行済額		33,233				
うち交付金充当額		26,586				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.6%				

予算の状況の説明：・大型モニター調達台数の変更のため、減額補正を行った。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・Web会議システムサーバーの整備 ・システム利用のためのパソコン、マイクスピーカ、Webカメラ等機器の整備 ・モニタ、書画カメラの整備	目　標	（サーバーの整備 PC等機器の整備 モニタ、書画カメラの整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	サーバーの整備 PC等機器の整備 モニタ、書画カメラの整備			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：目標であった会議システムサーバーの整備、およびパソコン、モニタ、書画カメラ等の整備配布を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
・Web会議システムサーバーの整備完了 ・パソコン、マイクスピーカ等機器(85台)の整備完了 ・モニタ(5台)、書画カメラ(4台)の整備完了	目　標	（　）	（サーバー整備完了 PC等機器 85 台 モニタ 5 台 書画カメラ 4 台）	（　）	（　）	（　）
	実　績		サーバー整備完了 PC等機器 85 台 モニタ 5 台 書画カメラ 4 台			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：目標であった会議システムサーバーの整備、およびパソコン、モニタ、書画カメラ等の整備配布を行った。

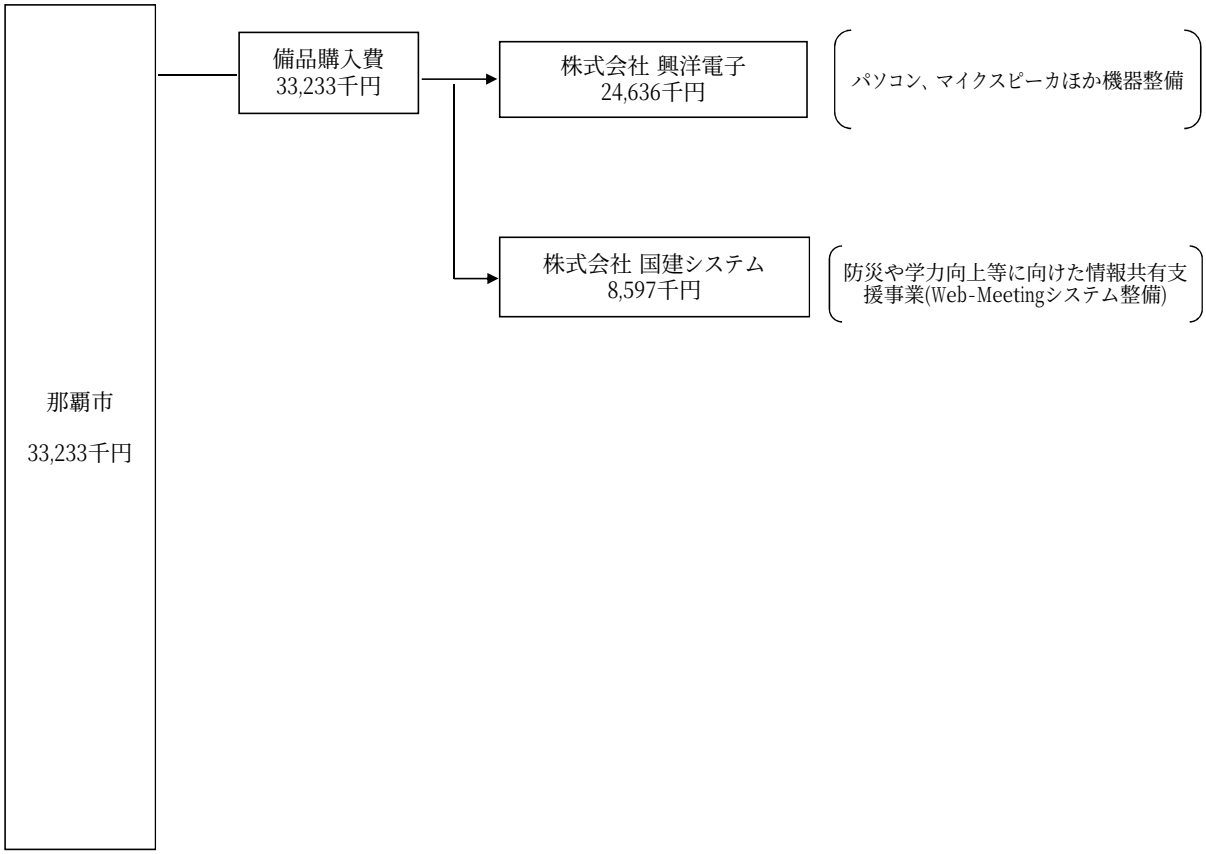
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・機器類の配布を終えたが、現状ではシステムの操作方法の周知が不十分である。	・紙媒体でのマニュアルの配布を行い操作方法の周知を図る。

今後の取り組み方針

・地域防災計画に基づく市の各機関の役割周知及び防災訓練の実施前後における指導助言に活用
・小学校及び中学校における学力向上に資する教育指導法の研究や小中系統性のある指導カリキュラムの研究、学校間及び教育委員会との情報交換、その他市の組織全体の情報共有化の推進に活用
・システムの構築業者と連携しセキュリティ面も考慮しながら運用していく。
・防災分野において、年間3回程度、教育分野において小中一貫校各グループ年間約60回程度の会議開催を目指す

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,233	33,233	26,586	6,647	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○Web会議システムの調達(Web会議システムサーバーの調達・設置)についてはプロポーザル方式による性能調達でおこない妥当である。 ○システムを利用するためのパソコンおよびスピーカー、マイク等の機器、大型モニター等は一般競争入札でおこない妥当である。予算額は、適正な規模となっており、費目、使途は必要最小限のものに限定し支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑩	災害ボランティア中央センター等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	福祉部　福祉政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震、津波や台風などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターへ配置する備品の整備を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	3,043	653			
	(c)増減額(b-a)	3,043	653			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	3,043	653			
B. 執行済額		2,582	652			
うち交付金充当額		2,065	521			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		84.9%	99.8%			

予算の状況の説明：平成24年度予算においては、当初26の品目において整備予定であったが、一部の品目において事業者の在庫不足により調達不能となった。平成24年度で整備できなかった備品のうち2品目を25年度に整備した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
災害ボランティア中央センター備品の整備	目　標	(　26品目　)	(　2品目　)	(　)	(　)
	実　績	22品目	2品目(MCA無線機、トイレテント)		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：平成24年度は、災害ボランティア中央センター運営マニュアル作成、同センター備品の整備、平成25年度は、同センターにMCA無線機、トイレテントを追加整備

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
災害ボランティア中央センター備品の整備	目　標	(　)	(　26品目　)	(　2品目　)	(　)	(　)
	実　績		22品目	2品目(MCA無線機、トイレテント)		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：整備した備品やマニュアルを基に、災害ボランティア中央センターの設置訓練を那覇市社協が行った。また、市内の地域の防災訓練においても整備備品を活用した訓練を実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	整備した備品を十分に活用できるよう、継続して実地訓練を行う必要がある。	万が一の災害時にも迅速に対応できるよう、マニュアル周知の研修や中央センター立ち上げ訓練を毎年度、実施することが必要である。

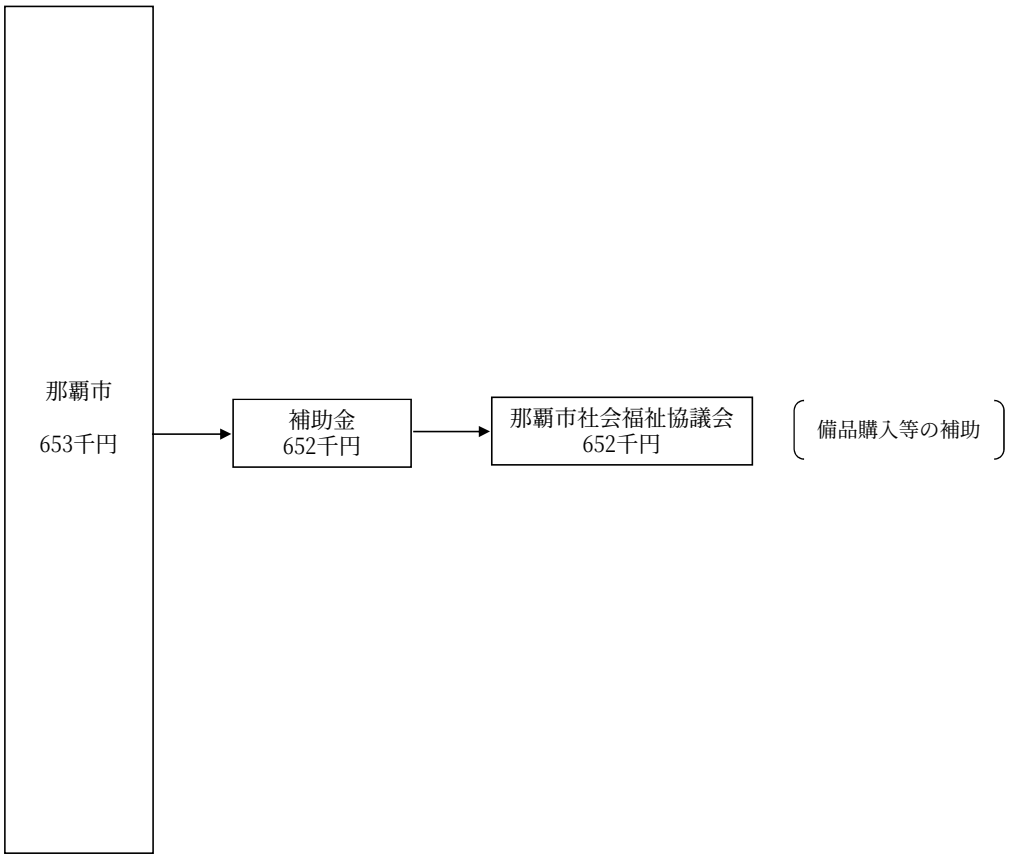
今後の取り組み方針

・災害ボランティア中央センターマニュアルの職員への周知及び初動訓練のブラッシュアップ

・自治会単位や地域で行われる避難訓練と連動した災害ボランティア中央センター設置訓練の実施

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
652	652	521	131	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・那覇市地域防災計画において、災害ボランティアセンターは那覇市社協が設置することになっており、その設置に必要な備品購入経費やマニュアル作成経費などを当該団体へ補助することは、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-②	戦略的交通まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(7)－ウ 人に優しい交通手段の確保
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12
事業内容	公共交通機関利用についての意識啓発ｲﾍﾞﾝﾄである「なはモビリティウィーク＆カーフリーデー」の実施及び自動二輪車駐車場実証実験を行う。 具体的には、自動二輪車駐車場の本格運営に向けて、自動車5台分のスペースを二輪車駐車場として転用、運用し、その設置効果を確認する実証実験である。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	41,629	－	13,500		
	(b)予算現額	41,629	－	13,500		
	(c)増減額(b-a)	0	－	0		
	(d)繰越額	－	18,710	－		
	A．計(b+d)	41,629	18,710	13,500		
B．執行済額		22,919	18,688	13,252		
うち交付金充当額		18,335	14,950	10,601		
次年度繰越額		18,710	0	0		
執行率（%）(B/A)		55.1%	99.9%	98.2%		
予算の状況の説明		・不用額が248千円発生しているが、委託費の入札残によるもの及び自動二輪車駐車場実証実験に伴う駐車場利用料金の精算によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・なはモビリティウィーク＆カーフリーデーの実施	目　標	（　イベント実施　）	（　イベント実施　）	（　　）	（　　）
	実　績	イベント実施	イベント実施		
・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施	目　標	（　　-　　）	（実証実験の実施）	（　　）	（　　）
	実　績	-	実証実験の実施		
達成状況説明	・カーフリーデーイベント及び実証実験を予定通り実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
・なはモビリティウィーク＆カーフリーデーの実施	目　標	（　実施　）	（　実施　）	（　実施　）	（　　）	（　実施　）
	実　績		実施	実施		
・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施	目　標	（　　-　　）	（　　-　　）	（　実施　）	（　　）	（　　-　　）
	実　績		-	実施		
進捗状況説明	・カーフリーデーイベントについては、平成19年度より継続して実施している。 ・自動二輪車駐車場の実証実験は、予定通り実施した。					

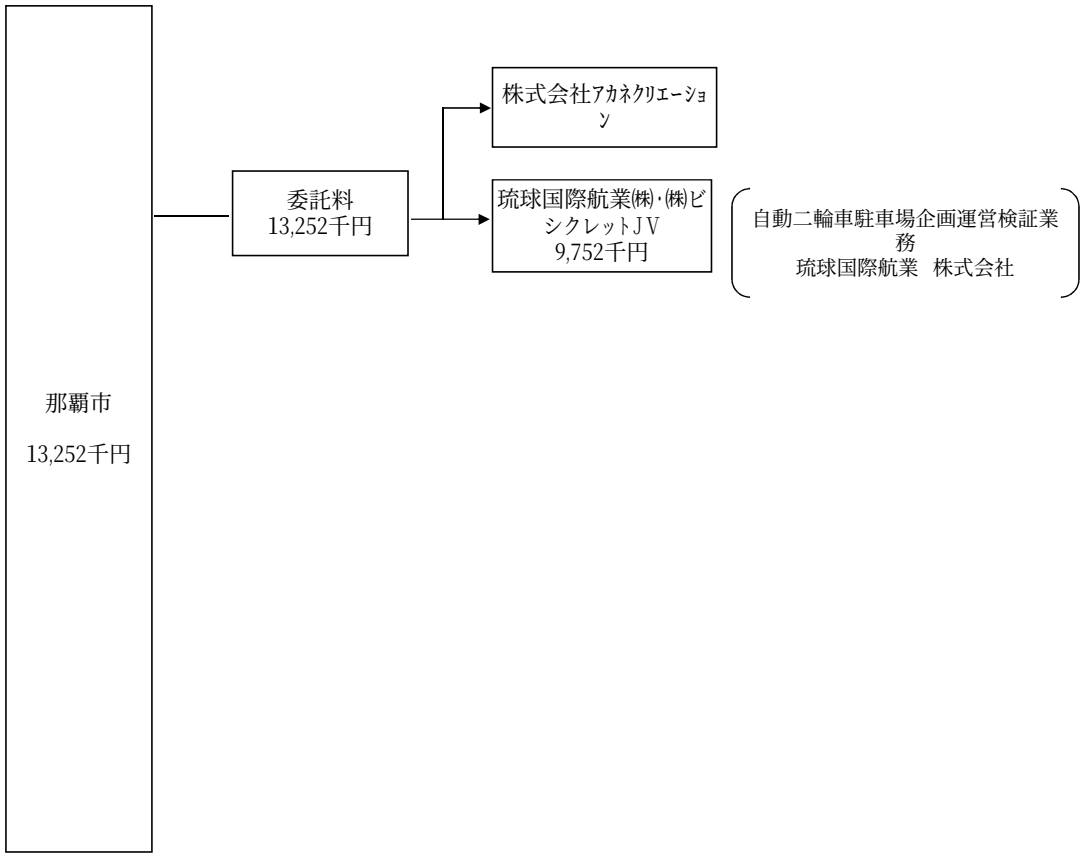
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成24年度の改善余地の検証を行った中で挙げられた公募型のプロポーザル方式に取り組んだが、プロポーザルの審査・評価方法等を決めることに時間を要したことから、イベント実施に向けて時間的なゆとりがなかった。	・早期に事業着手することにより、スケジュールにゆとりを持たせ、充実したイベント実施が行えるよう検討が必要である。

今後の取り組み方針

平成26年度事業においては、プロポーザル方式の手続き等も確定していることから、早期に事業着手し、充実したイベント実施を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,252	13,252	10,601	2,651	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-③	亜熱帯庭園都市形成推進調査（道路）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12
事業内容	戦後無秩序に居住化されてきた特殊な地域も含め、道路基盤等の整備の遅れている地域に、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進すべく基礎調査を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	10,000			
	(b)予算現額	5,000	10,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額					
	A．計(b+d)	5,000	10,000			
B．執行済額		5,000	9,797			
うち交付金充当額		4,000	7,837			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	98.0%			
予算の状況の説明		・不要額が203千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
まちづくり基礎調査実施	目　標	（　）	（まちづくり基礎調査実施）	（　）	（　）
	実　績		まちづくり基礎調査実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	長期未着手道路の変更に向けた検討を行うことにより、現況に見合う道路及び沿線の土地利用の増進を図るため、那覇市都市計画マスタープランにおいて位置づけられた道路の都市計画決定に向けた基礎調査を実施した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
まちづくり基礎調査実施	目　標	（　）	（　）	（実施）	（　）	（実施）
	実　績			実施		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	長期未着手道路の変更による検討を行い、都市計画決定に向けた基礎調査を完了した。					

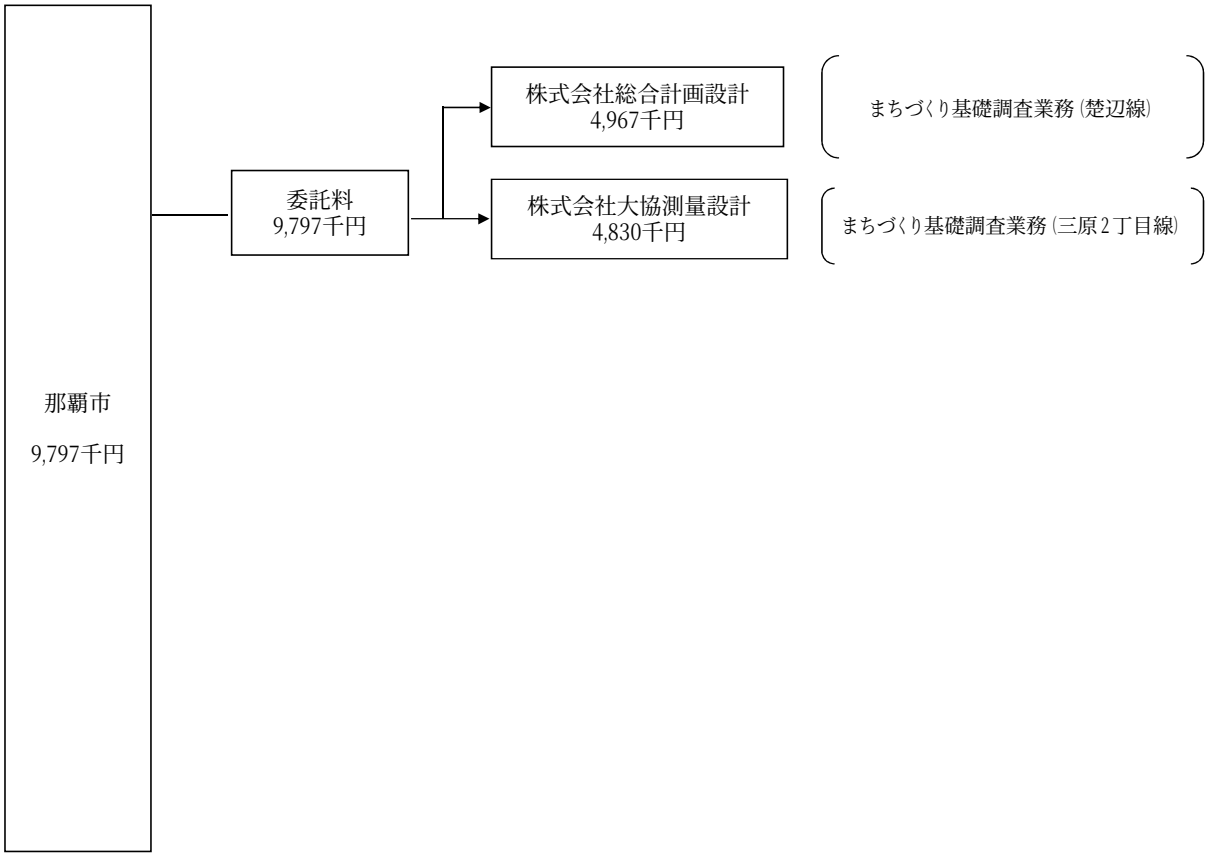
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・戦後の人口集中の下で、道路の基盤整備が追いつかないまま市街化が進み、密集住宅地を形成するに至った経緯がある。 ・道路が狭く歩行者の安全性が確保されておらず、生活環境上の問題がある。 ・長期未着手道路の変更による検討を行った結果、道路構造令等による見直しが生じている。	生活道路の安全で快適な歩行者空間を確保するため、狭小な道路を拡幅し地域の基盤改善を図る必要がある。

今後の取り組み方針

長期未着手都市計画道路及び那覇市都市計画マスタープランにおいて位置づけられた道路の中でも優先度の高い路線からまちづくり基礎調査を実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,797	9,797	7,837	1,960	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-④	亜熱帯庭園都市形成推進調査（市街地再生）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	都市計画部　市街地整備課	事業実施（予定）年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じたまちづくりの課題）のために、都市機能の更新が進まない中心市街地の区域（栄町市場街区及び新栄通り街区）について、地域に即したまちづくりの方針を定めるための基礎調査を実施した。
（調査概要）
・地区診断
・まちづくり勉強会の実施
・まちづくり基本方針（案）の策定

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,000				
	(b)予算現額	6,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A．計(b+d)	6,000				
B．執行済額		5,765				
うち交付金充当額		4,611				
次年度繰越額		0				
執行率（%）（B/A）		96.1%				

予算の状況の説明

不用額が235千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標・成果目標の達成状況を鑑みても適正であると認識している。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
まちづくり基本方針（案）の策定（環境改善方策）	目　標	（まちづくり基本方針（案）の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	まちづくり基本方針（案）の策定			
	目　標	（　－　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・対象地区に係る基礎条件（位置、歴史、人口構成等）、社会条件（上位計画、関連事業、交通、都市基盤、商業動向、地域コミュニティ等）、空間条件（土地利用、建物現況、権利形態等）について調査を行い、地区の現況把握・課題抽出を行った。
・地区診断の成果を元に地元勉強会を実施し、今後のまちづくりのあり方（将来像）について意見交換を行った。
・まちづくり勉強会における地域の意見を踏まえ、まちづくりの基本方針（案）を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（27年度）
まちづくり基本方針（案）の策定（環境改善方策）	目　標	（　－　）	（まちづくり基本方針（案）の策定）	（　）	（　）	（まちづくり基本方針の確立）
	実　績		まちづくり基本方針（案）の策定			
【参考指標】	目　標	（　－　）	（　－　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績					

進捗状況説明

各地区について、地区診断、地元勉強会を通じたまちづくり基本方針（案）作成を実施し、予定していた成果目標を達成できた。

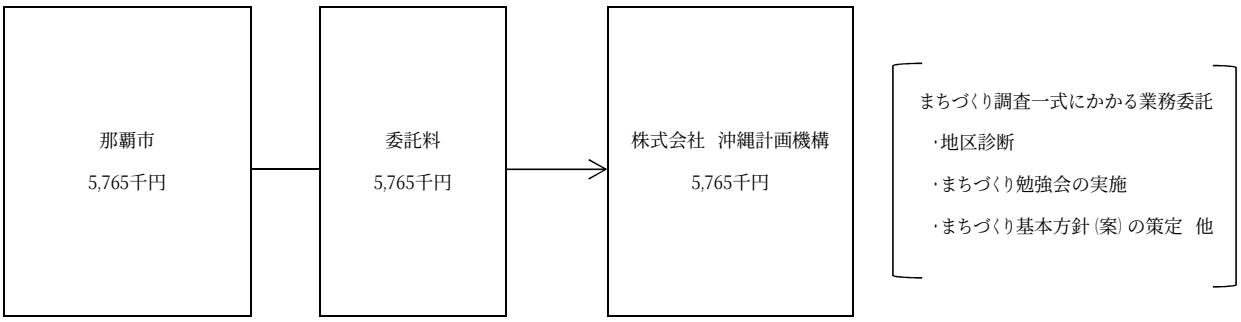
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・栄町市場街区には、土地所有者・建物所有者・借地人・店子と多様な権利形態の多くの権利者が存在し、各々の利害も異なることから、まちづくりに対する意見の集約が難しい状況がある。 ・近年の栄町市場にあっては、施設の老朽化が著しい中でも、観光客を含めた来街者が増加している状況がある。 ・現栄町市場の大きな特色である「相対売り」は、その大部分が零細権利者である店子（借家人）により担われている。	・協働のまちづくりを推進する上で、地域がまちづくりの主体である旨の意識啓発を併せて行う必要を感じた。 ・自己の利益の追求のみではまちづくりは進展せず、トータルでまちの魅力を向上させることが、結果として自己の利益にも繋がって行く理解を共有する必要がある。 ・地域資源、継承していくべき魅力は何なのかを、十分に議論し地域で再認識する必要がある。 ・円滑な合意形成・事業推進のためにも、将来的には、まちづくりの推進主体となる地元組織の立ち上げについても、検討して行く必要がある。

今後の取り組み方針

・住民意識の啓発を含めた丁寧な説明と意見交換を積み重ねることで、利害の異なる多様な権利者の意見集約を図って行く。
・栄町市場街区の「特色」・「魅力」を継承した、まちづくり基本方針の策定を推進して行く。
・まちづくり基本方針の策定にあたっては、店子を含めた地元関係人が、事業後も生活再建可能な事業スキームを模索・提起して行く。
・新栄通り街区のまちづくりにあっては、策定中の上位計画や事業進捗中の周辺開発事業等の当該地区へ与える影響等を踏まえた検討が必要との結論に至った
　ことから、関連施策に関する情報収集を継続しながら、適宜、地元まちづくり組織との意見交換を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,765	5,765	4,611	1,154	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については、所在、実績、専門分野等を勘案の上、10者を指名し、制限付き指名競争入札にて選定した。 ○費目・使途については、事業目的達成のために必要な経費に限定されており、かつ業務内容等についても完了検査時に適切な実施を確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑦	亜熱帯庭園都市形成推進調査事業（密集住宅市街地再生方針）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	建設管理部　建設企画課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じたまちづくりの課題）に対応するため、平成24年度に実施した基礎調査の成果報告を踏まえ、平成25年度は、密集市街地再生方針案（基本的な方向性の決定）を策定する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額					
	(b)予算現額	4,215	6,735			
	(c)増減額(b-a)	4,215	6,735			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	4,215	6,735			
B．執行済額		4,208	6,706			
うち交付金充当額		3,366	5,365			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.8%	99.6%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容を実施できた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
密集市街地再生方針案（基本的な方向性の決定）策定	目　標	（　基礎調査　）	（　方針案策定　）	（　）	（　）
	実　績	基礎調査	方針案策定		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	平成25年度密集住宅市街地再生方針案は、庁内ワーキングにより再生対象地区の選定や類型別に応じたモデル地区の抽出等、課題に応じた各方針及び施策案を定めた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
密集市街地再生方針案（基本的な方向性の決定）策定	目　標	（　）	（　基礎調査　）	（　方針案策定）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査	方針案策定		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	密集住宅市街地の地区ごとの課題や各方針案について、庁内ワーキングによる情報の共有化を図ることができた。

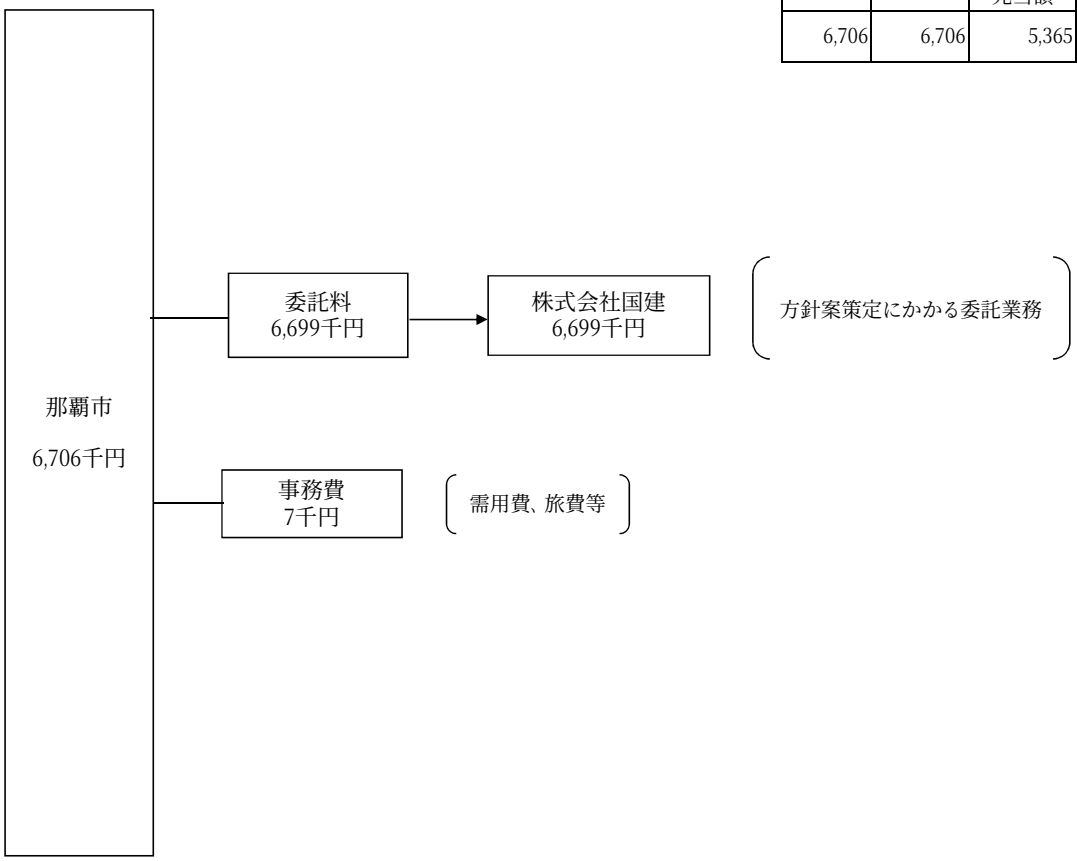
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今後の方針策定関連業務においては、住民意向を踏まえた実効的な方針策定が求められるため、事業の趣旨を地域に説明する方法と具体的施策の検討が必要である。	平成25年度方針案を踏まえた具体的施策の導入の検討、整備優先地区の抽出、整備目標、整備プログラムを作成については、引続き庁内ワーキングによる連携を図る必要がある。

今後の取り組み方針

整備優先地区調査等による重点整備が必要な地区を明確にしたうえで、今後、地域住民の意向調査を実施し、密集住宅市街地の再生方針を定める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,706	6,706	5,365	1,341	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑧	アメリカ統治下議会議事録電子化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	議会事務局　議事管理課	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録･議事録(1961～1969まで)を電子化し、本土と異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,474				
	(b)予算現額	7,874				
	(c)増減額(b-a)	▲ 1,600				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	7,874				
B. 執行済額		6,848				
うち交付金充当額		5,479				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.0%				
予算の状況の説明		業務委託料について、指名競争入札を実施したところ落札差額が生じたため、不用額を減額補正した。 予定していた当該年度執行事業については、予定通り執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
議事録電子化の実施 対象議事録:約7,300ページ	目　標	(　)	(予定議事録電子化完了)	(　)	(　)
	実　績		予定議事録電子化完了		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：予定していた1970年～1972年までの議事録7300ページ(21冊)を電子化した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
電子化した議事録をホームページで公開する	目　標	(　)	(　)	(電子化議事録HP公開)	(　)	(　)
	実　績			電子化議事録HP公開		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：予定していた1970年～1972年までの議事録7300ページ(21冊)を電子化し、議会事務局のホームページ上で公開した。

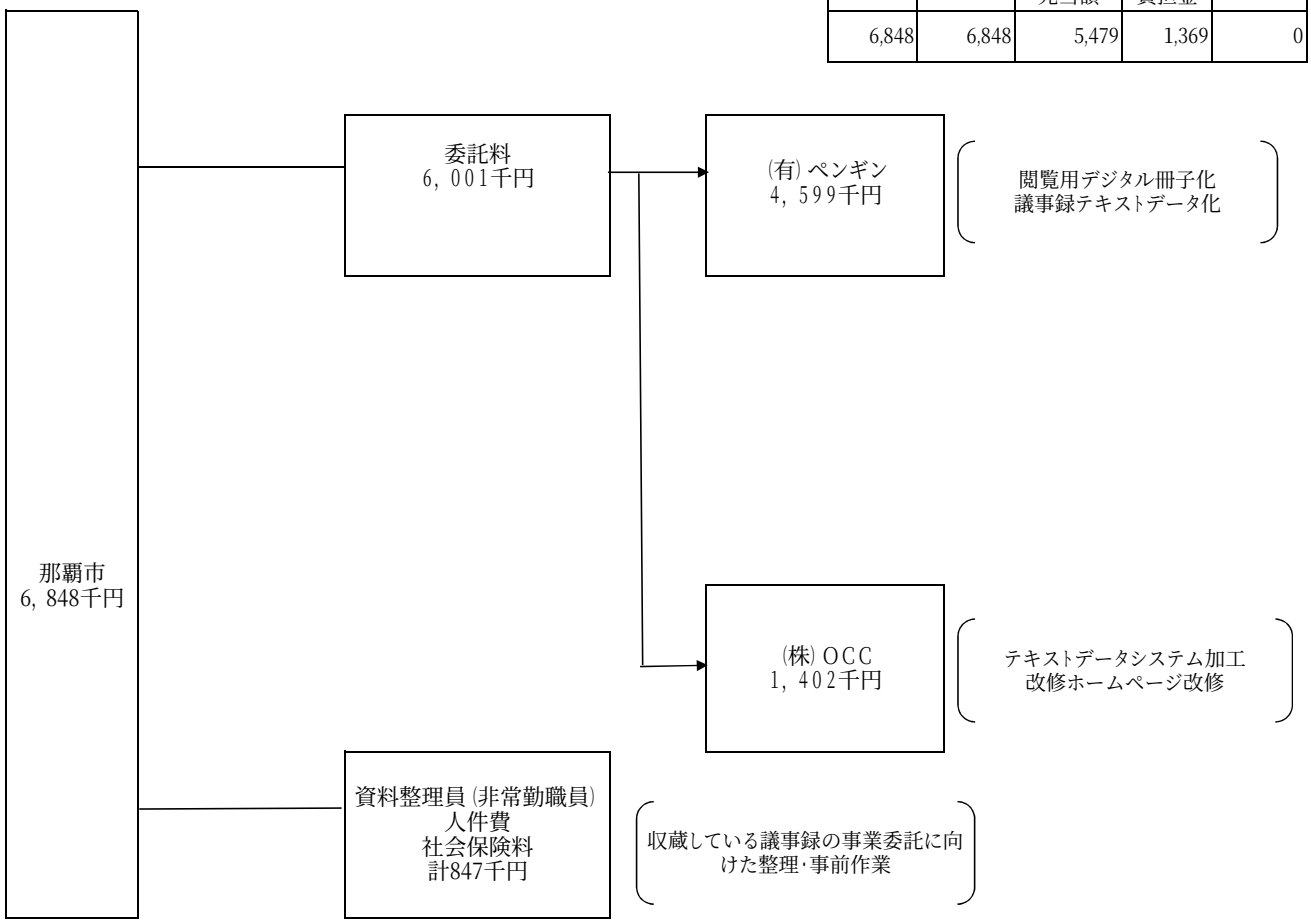
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	議事録の一部を電子化しただけであり、新聞等でも取り組みが紹介されているが、完結には程遠い状況である。 アメリカ統治下の記録としての貴重さもさることながら、紙資料の劣化への対応も今後検討が必要になるものと考えている。	平成２６年度には、１９６１年～１９６９年分18，000ページの電子化を予定している。 市民や歴史研究等のニーズの把握に努めながら、システム上の改善策と議事録保存手法等の検討を引き続き進めていきたい。

今後の取り組み方針

(今後の展開方針)
H26年度：議事録電子化の実施
（約18,000ページ）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,848	6,848	5,479	1,369	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○議事録電算化の委託については、指名競争入札による選定を実施している。 ○ホームページ改修等にかかる委託部分については、既存のシステムの改修に関連するため、特定業者しか受託できない等、隋契の合理的に理由がある。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑨	那覇市まちづくり基礎調査のための資料整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－1－(3) 主体性･自立性を基軸とする地域づくり
担当部課名	企画財務部　企画調整課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容	本市のまちづくりの推進、地域の活性化に寄与する事業や施設建設等を検討する際に利用するため、本市全域を撮影した航空写真資料を整備し、企画、都市計画、建設、教育部門等々、多岐にわたる行政分野で活用する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	4,935				
	(c)増減額(b-a)	4,935				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,935				
B. 執行済額		4,935				
うち交付金充当額		3,948				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明	年度中途の１２月補正により、年度内執行に必要な額を予算化して、事業執行に取り組んだ。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
本市全域を撮影した航空写真資料の作製	目　標	資料納品（アルバム20セット）ロール版9セット	（　）	（　）	（　）
	実　績	資料納品 アルバム20セット ロール版9セット			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	年度内に業者委託を実施し、年度末までに委託した成果品の納品を受けた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
本市全域を撮影した航空写真資料の作製完了	目　標	（　）	（資料納品 アルバム20セット とロール版9セット）	（　）	（　）	（　）
	実　績		資料納品 アルバム20セット ロール版9セット			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	年度内に業者委託を実施し、年度末までに委託した成果品の納品を受けた。

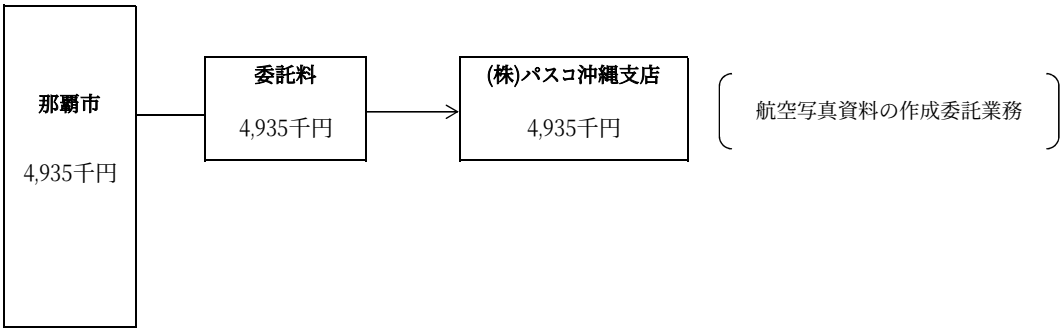
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・作成する航空写真資料は、できる限り最新データを確保することが重要であり、執行期間の確保も含めて事業化する前段階で検討を行った。 その結果として契約から2ヶ月間での成果品納品につなげることができたものである。	・作成した資料の仕様面で、今回作成した資料には、既存の施設名称等を初めて付記した他、アルバムの連続性を示す番号の振り方でも工夫したところであるが、今後使いやすさ等の面から改善する余地がないか、検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・急速に変わる市域の状況を踏まえて、定期的に同様の資料作成を行っていくことが必要であり、今後定期的な事業化あるいは、さらに簡便なタイプ、電子化等のコストダウンも含めて取り組みを検討していきたい。そのためにも今回作成した資料を全庁的に共有できるようにして、積極的に活用していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,935	4,935	3,948	987	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当該事業については、資産税課にて運用している航空写真データを印刷物として調達するものであり、著作権、産業財産権も契約により、当該事業者が有しているため、業者選択の余地はない。よって、随意契約による選定は妥当である。 ○積算見積より、事業費を必要最小限にしぼって事業化しているため、評価は妥当なものと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15	戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ
					戦後処理問題の解決
担当部課名	市民文化部　ハイサイ市民課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１２

事業内容

戦災により滅失した戸籍を再製するための根拠資料である沖縄関係戸籍について、電子データ化することにより保存性を高め、震災にも耐えうる管理運用を実施し、市民ニーズに円滑に対応できるようシステムを構築する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	74,995	145,952			
	(b)予算現額	74,995	145,952			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	74,995	145,952			
B．執行済額		62,839	145,907			
うち交付金充当額		50,271	116,725			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		83.8%	100.0%			

予算の状況の説明：事業計画どおり執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
沖縄関係戸籍の電算化の実施 対象戸数 85，801件	目　標	（原票読み込み作業の完了）	（沖縄関係戸籍のシステム構築電算化率100%）	（　）	（　）
	実　績	原票読み込み作業の完了	沖縄関係戸籍のシステム構築電算化率100%		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：仮戸籍、臨時戸籍、福岡戸籍の電算化達成。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
沖縄関係戸籍のシステム構築電算化率100%	目　標	（　）	（原票読み込み作業の完了）	（沖縄関係戸籍のシステム構築電算化率100%）	（　）	（　）
	実　績		原票読み込み作業の完了	沖縄関係戸籍のシステム構築電算化率100%		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成26年3月、納品作業後のデータ等検査により確認、電算システムから沖縄特殊戸籍が出力できるようになった。

電算化した数量、	見出し数	枚数		見出し数	枚数
仮戸籍申告書	26，874戸	219，018枚	重複戸籍の除籍	1，889戸	2，830枚
臨時戸籍	52，806戸	91，718枚	○本除籍	658戸	1，203枚
福岡仮戸籍	8，969戸	26，152枚			
除かれた福岡仮戸籍	3，318戸	11，723枚			

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	古い紙書類を電算化することで保存性が高まり、バックアップデータが確保された。	古い紙書類の取り扱い、今後市民ニーズへの対応も含めて、検討を進めていきたい。

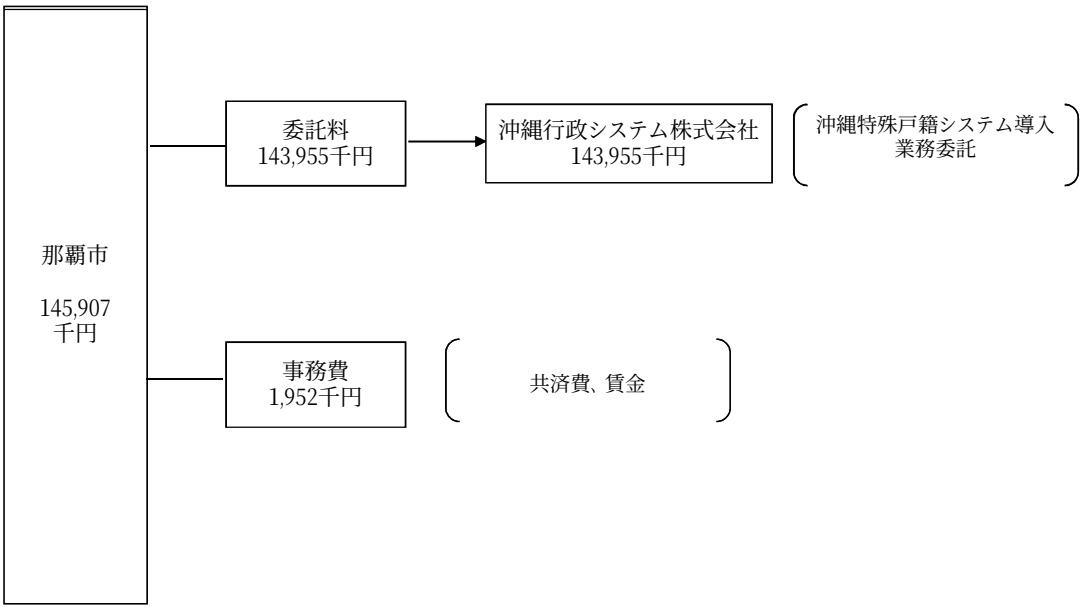
今後の取り組み方針

当該データを管理するシステムの向上も含めて、市民ニーズに積極的に応えられるよう整備を検討していく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
145,907	145,907	116,725	29,182	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、現システムとの相互関連性を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。(地方自治法施行令題67条の2第1項第2号に基づく) ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	16-①	歯科保健予防対策モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進
担当部課名	健康部・保健所　健康増進課	事業実施(予定)年度	平成２５～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

モデル地区を設定し、小学校区まちづくり協議会等の協力のもと、校区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施し、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図る。また、市内在住の妊婦に対し歯科健診を実施し、出産後の乳幼児期や妊産婦本人に対する口腔の健康管理の向上を図る。
本年度は小学校区のモデル地区を2地区選定し、本事業を実施する計画策定等のために推進会議を設置する。
また、妊婦歯科健診実施のための計画を策定する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	2,148				
	(c)増減額(b-a)	2,148				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	2,148				
B. 執行済額		1,138				
うち交付金充当額		910				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		53.0%				

予算の状況の説明
・推進会議の委員数を当初は2地区で２０名を予定していたが、効率性を考え2地区から選出した１０名で委員を構成し実施。
・臨時職員の採用を6ヶ月間予定していたが、実際は平成２６年1月からの3ヶ月間であった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
小学校区のモデル地区設定	目　標	(　2地区　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	2地区			
妊婦歯科健診実施等の計画策定にかかる推進会議を設置	目　標	(　推進会議設置　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	推進会議設置(3回開催)			

達成状況説明
・推進会議を3回開催し、モデル地区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯科健診や歯みがき教室、フッ化物洗口等の実施計画を行い、実際に歯科健診や歯みがき教室、フッ化物洗口等を実施して、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図った。
・妊婦歯科健診の実施要領、仕様書、健診票等を作成した。
・那覇市内歯科診療所に対して「妊婦歯科健診説明会・研修会」を開催した。
・本事業周知のためのポスターやチラシを作成し、関係機関、関係団体等に配布した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
・モデル地区を2地区設定 ・推進会議を設置 ・歯科健診・歯みがき教室の実施	目　標	(　)	(3指標の達成)	(　)	(　)	(　)
	実　績		モデル地区：2地区 推進会議設置 歯科健診等の実施			
・歯科健診・歯みがき教室実施計画を策定 ・フッ化物洗口実施計画を策定 ・妊婦歯科健診実施計画を策定	目　標	(　)	(実施計画策定)	(　)	(　)	(　)
	実　績		実施計画策定			

進捗状況説明
・推進会議を3回開催し、モデル地区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯科健診や歯みがき教室、フッ化物洗口等の実施計画を行い、実際に歯科健診や歯みがき教室、フッ化物洗口等を実施して、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図った。
・妊婦歯科健診の実施要領、仕様書、健診票等を作成した。
・那覇市内歯科診療所に対して「妊婦歯科健診説明会・研修会」を開催した。
・本事業周知のためのポスターやチラシを作成し、関係機関、関係団体等に配布した。

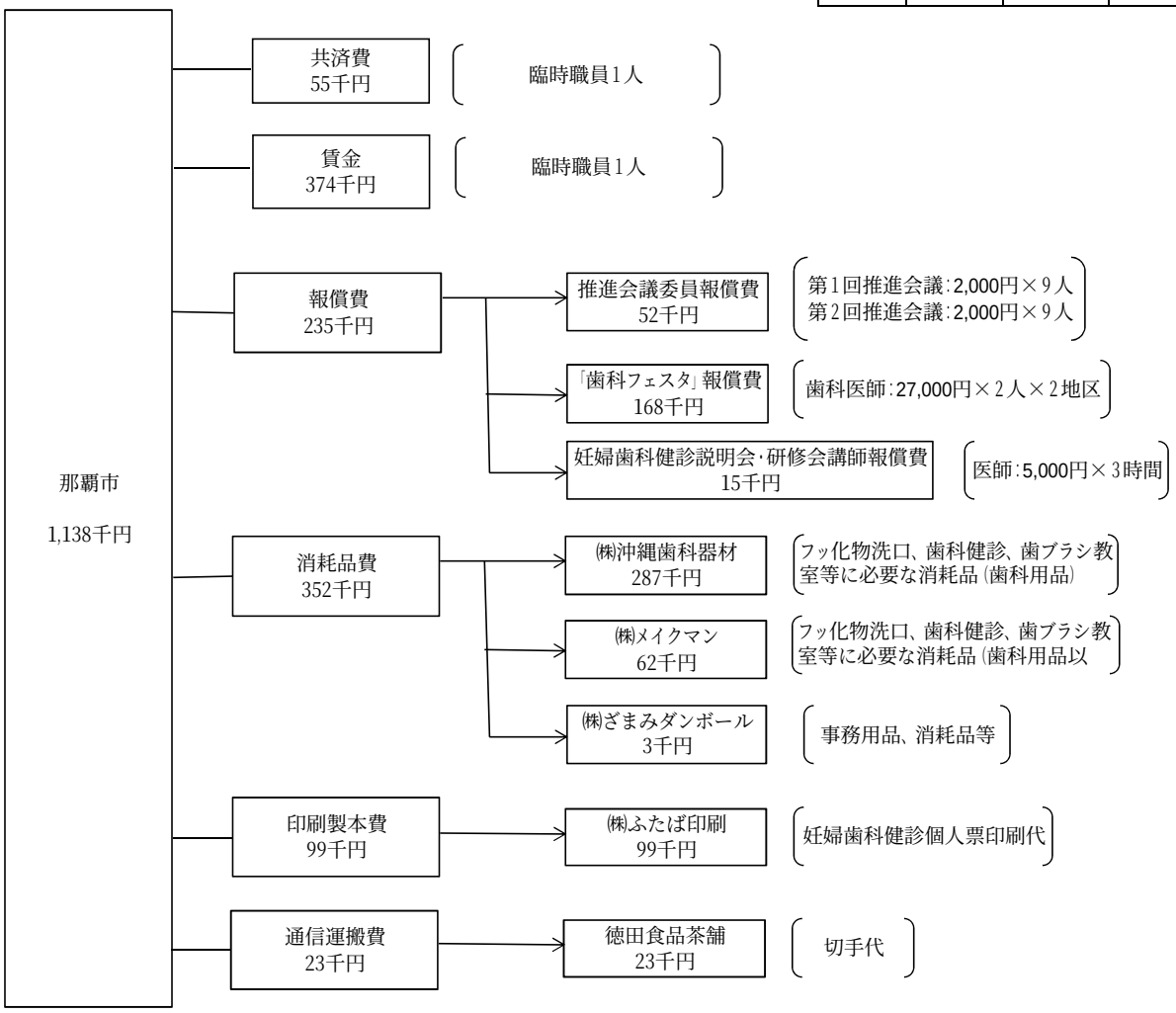
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・推進会議にて意見交換、情報交換を行い、さらに効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図る必要がある。 ・新事業である妊婦歯科健診の受診率を向上させる必要がある。	・う蝕予防や歯科保健向上のために必要な知識の普及啓発をモデル地区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して積極的に行う。 ・妊娠期は生活リズムの変化やホルモンのバランスの変化、つわりの出現等でむし歯や歯周病に罹患しやすい状況になる可能性があり、妊婦の口腔管理能力の向上を図ることが、妊婦自身及び生まれてくる子どもの口腔疾患や低体重児の出生の予防とその健康増進に繋がることを周知する。

今後の取り組み方針

モデル地区の2小学校全児童に対して歯科健診・歯みがき教室・フッ化物洗口を実施する。
市内在住の妊婦に対して歯科健診を実施。健診結果の集計、事業の評価を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,138	1,138	910	228	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・金額が大きな消耗品等に関しては、事前に見積書を提出していただき、購入先を選定した。 ・妊婦歯科健診の業務委託先は、市内全歯科診療所に「妊婦歯科健診説明会・研修会」の案内を出し、受講した医療機関から希望者を募り委託締結した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	16-②	職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－1－(ア) 沖縄の職や風土に支えられた健康づくりの推進
担当部課名	健康部・保健所　健康増進課	事業実施(予定)年度	平成２５～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4
事業内容	那覇市内にある職場の健康づくりの実態やニーズをアンケート調査し、その基礎調査の結果を職場の健康づくりに係る検討委員会で分析･検討し、職場が主体的に健康づくりに取り組めるよう、環境づくり(メニュー作成など)を行った。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	3,423				
	(c)増減額(b-a)	3,423				
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	3,423				
B. 執行済額		3,413				
うち交付金充当額		2,730				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		事業計画どおり執行。 契約金額が、当初見積もりより低く抑えることができた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
基礎調査の実施	目　標	(基礎調査の実施)	( )	( )	( )
	実　績	調査報告書の完成			
健康づくりメニューブックの作成	目　標	(メニューブックの完成)	( )	( )	( )
	実　績	メニューブックの完成			
公募事業の実施要領の検討･作成	目　標	(実施要領の作成)	( )	( )	( )
	実　績	実施要領の作成			

達成状況説明

･676事業所の実態が把握できた。
結果は、従業員数:6～20人が半数、保険は協会けんぽ8割強、健診未実施2割弱、健診結果未把握3割弱、健康課題としては，肥満4割強、喫煙3割、多量飲酒2割と感じている。健康づくりへの関心有無:関心あり8割、健康づくりの組織なし9割強、職場の組織目標へ職員の健康づくりが明示なし8割、課題としては、時間がない4割、経費ない3割、設備ない、取組み方がわからない、社員が参加しない2割、健康づくりの支援としてのニーズは、健康づくりの情報提供5割、成功事例の紹介2割、補助事業を希望する事業所が3割の183事業所であった。
･職場における健康づくりメニューブックが完成できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
職場の健康づくりの実態把握	目　標	( )	(実態把握)	( )	( )	( )
	実　績		実態把握			
健康づくりメニューブックの完成	目　標	( )	(メニューブックの完成)	( )	( )	( )
	実　績		メニューブックの完成			
モデル事業の実施要領の完成	目　標	( )	(実施要領の完成)	( )	( )	( )
	実　績		実施要領の完成			

進捗状況説明

アンケート調査で現状やニーズに応じた健康づくりの取り組み事例の紹介、健康情報として、肥満に対して、食事や運動、喫煙、減酒の取り組み内容を掲載した健康づくりメニューブックが完成でき、HPへの掲載、冊子配布により、職場に提供でき活用されている。また、職場が主体的に取り組む健康づくり支援として、「頑張る職場の健康チャレンジ助成事業」について実施要領を作成できたことで、チャレンジ事業所の公募ができ、さらに15事業所が主体的に健康づくりの取り組みの企画提案書を提出することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	アンケート調査結果の特に自由意見については、さらに分析を加え、支援の方法や予算化にも反映させていきたい。 助成事業に選定されなかった事業所にもニーズに応じて支援を行う。	中小事業所の保険者等の関係機関との役割分担や連携のあり方、支援体制を検討していきたい。お互いの事業や役割を効果・効率的に発揮して支援していくために保険者と協定を結ぶことを検討していきたい。助成事業の応募説明会では、那覇市の健康課題等の理解や職場の健康づくりへの意識啓発、健康づくりの具体的な取り組み方、那覇市の事業についても合わせて情報提供を行う。

今後の取り組み方針

多くの職場に、作成した「職場における健康づくりメニューブック」を、あらゆる方法で情報提供し、また、必要時、相談に応じ、職場が主体的に健康づくりが行えるよう支援する。
助成事業で選定された事業所に対し、企画した健康づくりを計画的に、また、効果がでるよう支援を行う。さらにその取り組みを他の事業所への波及も図るためにＨＰや広報誌等で周知していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,413	3,413	2,730	683	0

那覇市 3,413千円 → 委託料 3，413千円 → 株式会社 都市科学政策研究所 3，413千円（職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、公募式プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	